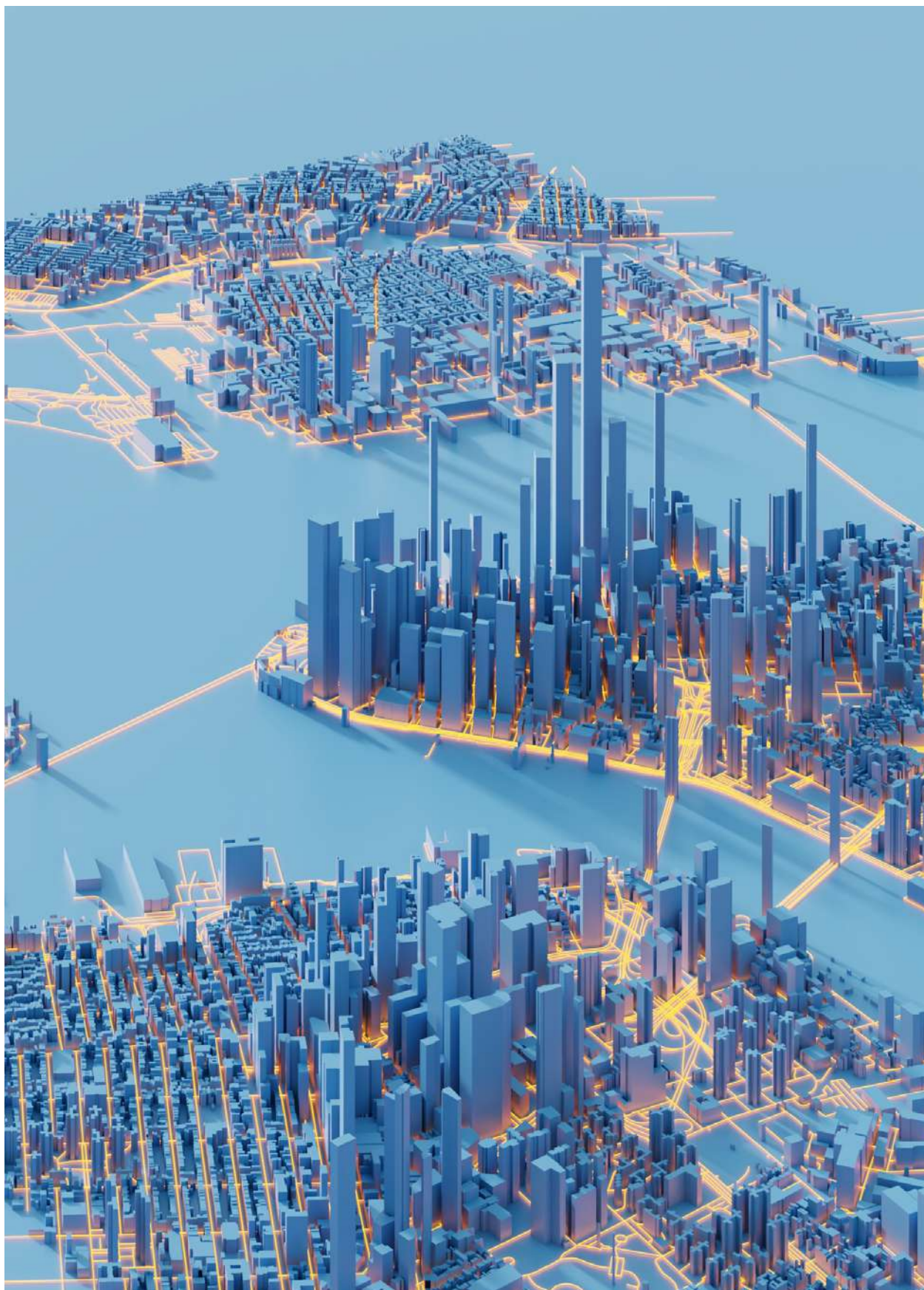




PLATEAU
by MLIT

Handbook of 3D City Models
3D都市モデル導入のためのガイドブック



3D都市モデル標準製品仕様書

Standard Data Product Specification for 3D City Model

series No. **01**

はじめに

- 本書は、各地方公共団体等が3D都市モデルを整備する際に、その製品仕様を容易に作成でき、かつ、整備された3D都市モデルを国際標準に適合したものとすることを目的として提供する標準文書である。
- 「3D都市モデル」は、都市空間をデータによって再現したもの、すなわち、現実の都市空間から必要な情報を取捨選択し、データとして記述したものである。あらゆるデータがそうであるように、3D都市モデルも何らかのソリューション（ユースケース）を創出するために整備されるものであるから、そのデータ内容や範囲等はユースケースに依存する。しかし、ユースケースごとに異なる仕様の3D都市モデルを整備することはデータ作成の観点から非効率であり、多用途への展開を考慮する場合は流通性や再利用性を阻害する懸念がある。
- 3D都市モデルの流通性・再利用性を高め、様々な分野・用途での利用に資するデータとするため、には、「標準」に適合することが重要である。本書は、地理空間データに関する標準化団体であるOpen Geospatial Consortium（OGC）が策定した3D都市モデルのためのオープンデータモデル及びデータ形式の国際標準である「CityGML」と、このCityGMLの拡張規則であるApplication Domain Extension（ADE）に基づき内閣府地方創生推進事務局が都市再生に必要なデータを拡張した「i-都市再生技術仕様（案）」（i-UR）を我が国における3D都市モデルの標準仕様として採用し、「標準製品仕様」として示すものである。
- 標準製品仕様は、CityGML及びi-URに準拠して作成され、Project PLATEAUの2020年度及び2021年度の成果を踏まえ、様々な地物やその属性の定義、また、品質要求及び評価手順を示している。さらに、必要な地物等に過不足があった場合に、国際標準に準拠しつつ3D都市モデルをカスタマイズするための規則を示している。そのため、3D都市モデルを整備する場合には、本書を参照することで、国際標準に準拠した3D都市モデルの製品仕様（以下、「拡張製品仕様」と呼ぶ）を作成できる。
- 今後、3D都市モデルの整備主体が、本書を参照し、ユースケースに応じた拡張製品仕様を作成することで、国際標準に適合した3D都市モデルが整備され、様々な分野での利用が促進されることを期待する。

改定の概要

2021/3/26発行 3D都市モデル標準製品仕様書 第1.0版

- 2020年度に発行した標準製品仕様は、以下に示す三つのユースケースに3D都市モデルが使用されることを想定し、その製品仕様を定めている。
 1. 都市に関わる様々な地理空間データを格納する基盤（オープンデータ化を含む）
 2. 3次元空間における都市計画決定情報の可視化
 3. 災害リスク情報の3次元可視化

2022/3/29発行 3D都市モデル標準製品仕様書 第2.0版

- 2021年度は、以下の観点により2020年度の製品仕様を拡張し、標準製品仕様を改定した。
 1. 地物の拡充
 - 道路空間を構成する「都市設備」、「植生」、「都市計画決定情報」を追加した。
 2. LOD（Level Of Detail：詳細度）の拡大及び精緻化
 - 「建築物」及び「道路」について、標準製品仕様を対象とするLODの段階を拡大した。
 - データ品質の品質化を図る観点からLODの定義を精緻化した。
 3. 引用する仕様（i-UR）の更新
 - 2020年度の標準製品仕様は、i-UR第1.4版をデータモデル及び符号化仕様として採用した。2021年度の標準製品仕様は、i-UR第2.0版（i-UR2.0）を採用する。なお、i-UR2.0は、i-UR1.4に2020年度及び2021年度のProject PLATEAUの検討成果が反映され、改定されたものである。

目次

1	概覧	1
1.1	製品仕様の作成情報	1
1.2	目的	1
1.3	製品の範囲	1
1.4	引用規格等	2
1.5	用語と定義	2
1.6	略語	3
2	適用範囲	3
3	データ製品識別	4
3.1	データ製品の名称	4
3.2	データ製品の日付	4
3.3	データ製品の問合せ先	4
3.4	データ製品の地理記述	4
4	データの内容及び構造	5
4.1	はじめに	5
4.1.1	標準製品仕様が対象とする地物と LOD	5
4.1.2	建築物の LOD	6
4.1.3	道路の LOD	12
4.1.4	都市設備の LOD	15
4.1.5	植生の LOD	16
4.1.6	地形の LOD	17
4.1.7	応用スキーマクラス図の記法	18
4.1.8	応用スキーマ文書の読み方	21
4.2	応用スキーマクラス図	23
4.2.1	3D 都市モデル応用スキーマパッケージ図	23
4.2.2	Core (CityGML)	25
4.2.3	Apperance (CityGML)	26
4.2.4	Building (CityGML)	27
4.2.5	CityFurniture (CityGML)	28
4.2.6	CityObjectGroup (CityGML)	29
4.2.7	Generic (CityGML)	29
4.2.8	LandUse (CityGML)	31
4.2.9	Relief (CityGML)	32
4.2.10	Transportation (CityGML)	33
4.2.11	Vegetation (CityGML)	34
4.2.12	WaterBody (CityGML)	35
4.2.13	UrbanObject (i-UR)	36
4.2.14	UrbanFunction (i-UR)	40
4.2.15	空間スキーマプロファイル (GML)	55

4.3 応用スキーマ文書.....	56
4.3.1 基本データ型.....	56
4.3.2 Core (CityGML)	58
4.3.3 Appearance (CityGML)	58
4.3.4 Building (CityGML)	61
4.3.5 CityFurniture (CityGML)	75
4.3.6 CityObjectGroup (CityGML)	77
4.3.7 Generic (CityGML)	77
4.3.8 LandUse (CityGML)	80
4.3.9 Relief (CityGML)	81
4.3.10 Transportation (CityGML)	84
4.3.11 Vegetation (CityGML)	91
4.3.12 WaterBody (CityGML)	95
4.3.13 UrbanObject (i-UR)	96
4.3.14 UrbanFunction (i-UR)	115
4.3.15 空間スキーマプロファイル (GML)	266
4.3.16 コードリスト及び列挙型 (Enumeration)	271
5 参照系.....	312
5.1 空間参照系.....	312
5.2 時間参照系.....	312
6 データ品質.....	312
6.1 標準製品仕様の品質要求.....	312
6.2 品質評価手順に関する共通事項.....	312
6.3 品質要求及び品質評価手順.....	313
6.3.1 完全性.....	313
6.3.2 論理一貫性.....	314
6.3.3 位置正確度.....	320
6.3.4 時間正確度.....	324
6.3.5 主題正確度.....	324
7 データ製品配布.....	326
7.1 配布書式情報.....	326
7.1.1 書式名称.....	326
7.1.2 符号化仕様.....	326
7.1.3 文字集合.....	327
7.1.4 言語.....	327
7.2 配布媒体情報.....	328
7.2.1 ファイル単位.....	328
7.2.2 境界線上の地物の取り扱い.....	329
7.2.3 ファイル名称.....	329
7.2.4 フォルダ構成とフォルダ名称.....	331
7.2.5 媒体名.....	332

7.2.6 オープンデータのための配布媒体情報	333
8 メタデータ	334
8.1 メタデータの形式	334
8.2 メタデータの記載項目	334
8.3 メタデータの作成単位	335
8.4 メタデータのファイル名称	335
9 その他	336
9.1 データ取得	336
9.2 製品仕様のプロファイル	336
9.2.1 拡張規則	336
9.2.2 制限規則	337
9.3 XMLSchema の多重度と運用上の多重度についての留意事項	337
9.4 XMLSchema タグの日本語表記	337
9.5 品質評価ツール	337

1 概覧

1.1 製品仕様の作成情報

製品仕様の題名	3D 都市モデル標準製品仕様 第 2.3 版
日付	2022/09/30
作成者	国土交通省都市局
言語	日本語
分野	都市
文書書式	PDF

1.2 目的

「3D 都市モデル標準製品仕様書」（以下、「標準製品仕様書」と呼ぶ）は、各都市において 3D 都市モデルを整備する際にその製品仕様を適切に作成でき、かつ、各都市の製品仕様に従って整備された 3D 都市モデルが国際標準に準拠したものになることを目的として提供する標準文書である。

標準製品仕様書では、以下に示す三つのユースケースに 3D 都市モデルが使用されることを想定し、その製品仕様（以下、「標準製品仕様」と呼ぶ）を定めている。

- 都市に関わる様々な地理空間データを格納する基盤（オープンデータ化を含む）
- 3次元空間における都市計画決定情報の可視化
- 災害リスク情報の3次元可視化

各都市の 3D 都市モデルを整備する際には、あらかじめ標準製品仕様書を参照し、各都市の製品仕様（以下、「拡張製品仕様」と呼ぶ）を決定し、製品仕様書（以下、「拡張製品仕様書」と呼ぶ）を作成しなければならない。

3D 都市モデルのユースケースによって必要な地物（現実世界の現象を抽象化した概念）やその属性（地物の特性）は異なる。また、対象となる都市の環境により、同じユースケースであっても必要な地物等が異なる場合がある。そこで、標準製品仕様書では、標準製品仕様から、国際標準に準拠しつつ、3D 都市モデルに含めたい地物やその属性を抽出したり、不足する地物や属性を追加したりするための規則を定めている。この規則に従い、拡張製品仕様を決定することで、それぞれの拡張製品仕様書を作成できる（図 1-1）。

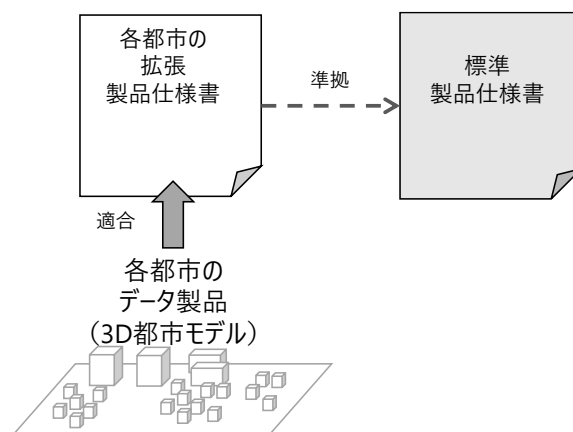


図 1-1 本書の位置づけ

1.3 製品の範囲

標準製品仕様に基づくデータ製品の空間範囲は日本国内全域を含む範囲とする。

標準製品仕様に基づくデータ製品の時間範囲は任意であり、特に定めない。

1.4 引用規格等

文書名	URL
Data Encoding Specification of i-Urban Revitalization -Urban Planning ADE-ver.2.0 (内閣府地方創生推進事務局)	https://www.chisou.go.jp/tiiki/toshisaisei/itoshisaisei/iur/index.html
OpenGIS® OGC City Geography Markup Language (CityGML) Encoding Standard, Version 2.0, OGC document 12-019 (Open Geospatial Consortium)	https://www.ogc.org/standards/citygml
OpenGIS® GML 3.1.1 simple dictionary profile, Version 1.0.0, OGC document 05-099r2 (Open Geospatial Consortium)	https://www.ogc.org/standards/gml
地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 (国土交通省国土地理院)	https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html
JMP2.0仕様書 (国土交通省国土地理院)	https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html
品質の要求, 評価及び報告のための規則 (国土交通省国土地理院)	https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html

引用規格等のうち、版の記載があるものは、その版を適用し、その後の改正版(追補を含む。)は適用しない。版の記載がないものは、その最新版(追補を含む。)を適用する。

1.5 用語と定義

標準製品仕様で使用する用語を示す。以下に記載のない用語とその定義については、JPGIS 2014 付属書 5 (規定) 定義に従う。

3D 都市モデル

都市空間の地物及び属性を都市スケールで3次元的に再現した CityGML 形式のデータ。

Levels Of Detail (LOD)

詳細さの度合い(詳細度)であり、CityGML において定義されている、一つのオブジェクトの幾何をその利用や可視化の目的に応じて、複数の段階に抽象化することを可能とする、マルチスケールなモデリングの仕組みである。

[参考 OpenGIS® OGC CityGML Encoding Standard]

応用スキーマ

一つ又は複数の応用システムによって要求されるデータのための概念スキーマ。

[出典 JPGIS]

地物

現実世界の現象の抽象概念。

地物は型又はインスタンスとして存在できる。地物型又は地物インスタンスはいずれか一方を意味する場合に用いるべきである。

[出典 JPGIS]

地物属性

地物の特性。

[出典 JPGIS]

地物関連

地物間の関係。

[出典 JPGIS]

関連役割とは、関連において相手の地物に対する自分の役割を指す。

[参考 地理情報標準プロファイル (JPGIS) Ver. 1.0 解説書]

プロファイル

1 つ以上の基本規格のセット又は基本規格のサブセット及び該当する場合には特定の機能を達成するために必要なそれらの基本規格から選択された条項、クラス、オプション及びパラメータの識別。

[出典 ISO 19106:2004^[1]]

補足 標準製品仕様書は、i-UR 及び CityGML から 3D 都市モデルとして必要な地物型等を i-UR 及び CityGML と矛盾なく抽出した、i-UR 及び CityGML のプロファイルである。また、各都市で作成される拡張製品仕様書も、i-UR 及び CityGML のプロファイルでなくてはならない。

1.6 略語

CityGML	City Geography Markup Language
GML	Geography Markup Language
i-UR	Data Encoding Specification of i-Urban Revitalization -Urban Planning ADE-
JPGIS	Japan Profile of Geographic Information Standards
LOD	Level Of Detail
MMS	Mobile Mapping System
UML	Unified Modeling Language

なお、標準製品仕様で使用する以下の略語について、特段の記載がない場合は、それぞれ下表に示す版を指す。

略語	使用する版	備考
CityGML	CityGML 2.0	
GML	GML 3.1.1	ISO19136 に対応する GML の版は GML 3.2.1 であるが、CityGML 2.0 が参照する GML の版は、GML 3.1.1 である。そのため、GML 3.2.1 と矛盾のない範囲で GML 3.1.1 を使用する。
i-UR	i-UR 2.0	

2 適用範囲

標準製品仕様が適用される範囲の名称は「3D 都市モデル標準製品仕様 適用範囲」とし、適用される範囲は「データ集合系列」とする。

3 データ製品識別

データ製品の識別に必要な事項を、3.1 から 3.4 に示す。

3.1 データ製品の名称

データ製品の名称は、「3D 都市モデル_[市区町村コード]_[整備年度]_[オプション]」とする。

[市区町村コード]には、3.4 に示す 3D 都市モデルの地理記述に対応するコード（都道府県の場合は、JIS X0401 に示される 2 桁の都道府県コード、市区町村の場合は都道府県コードに JIS X0402 に示される市区町村コードを加えた 5 桁）を記述する。データ製品に複数の都道府県や市区町村が含まれている場合には、代表とする都道府県または市区町村のコードを記述する。

[整備年度]には、データ製品が整備された年度（4 桁の西暦）を記述する。

[オプション]は、任意の半角英数字とする。同一市区町村、同一年度に複数の 3D 都市モデルを整備した場合に、これを区別するために使用する。[オプション]を使用しない場合には、_[オプション]は省略する。

3.2 データ製品の日付

データ製品の日付は、3D 都市モデルの整備にかかる業務の際の仕様書等により指定する。

3.3 データ製品の問合せ先

データ製品についての問合せ先として、3D 都市モデルの整備主体を記載する。

3.4 データ製品の地理記述

3D 都市モデルに含まれる都道府県、市区町村の名前を記述する。複数の都道府県や市区町村が含まれている場合には、それぞれを列記する。

4 データの内容及び構造

4.1 はじめに

本書では、3D 都市モデルに含まれるデータの内容及び構造に共通する事項を示す。

4.1.1 標準製品仕様が対象とする地物と LOD

CityGML では、5 つの LOD の段階が定義されているが、標準製品仕様では、LOD0 から LOD3 までの 4 つの段階を対象とする。

- LOD0 は、都市オブジェクトの幾何を平面に投影し、3 次元の数値地形モデルに重畳し 3 次元的に利用することを想定した、広域を対象とするモデルである。
- LOD1 は、都市オブジェクトの幾何を、一律の高さを与えた簡易な立体 (箱モデル) で表現する、都市域全体を対象として想定するモデルである。
- LOD2 は、都市オブジェクトの幾何を、意味を持つ境界面に区分した立体 (屋根モデル等) で表現する、都市の一定のエリアを対象として想定するモデルである。
- LOD3 は、都市オブジェクトの幾何を LOD2 よりも更に詳細に表現する、限定されたエリアを対象として想定するモデルである。

各 LOD で地物の幾何の表現及び使用可能な地物は異なる。標準製品仕様を対象とする地物とその LOD を表 4-1 に示す。

標準製品仕様では複数の LOD で表現される地物について、各 LOD の定義を定める (0~4.1.6)。

なお、CityGML の 5 つ目の段階である LOD4 については、現時点でデータモデル標準化の知見や技術が十分蓄積されていないため、標準製品仕様書の対象としていない。Project PLATEAU では、データ作成実証等を通じて今後 LOD4 を標準製品仕様書に取り込んでいく予定である。

表 4-1 標準製品仕様を対象とする地物と LOD

	LOD0	LOD1	LOD2	LOD3
3D 都市モデルの 対象範囲	広域	都市域	特定のエリア	限定されたエリア
建築物	○	○	○	○
道路		○	○	○
都市計画決定情報		○		
土地利用		○		
災害リスク		○		
都市設備		○	○	○
植生		○	○	○
地形		○	○	○

4.1.2 建築物の LOD

(1) LOD の定義

建築物の LOD を以下のように定義する。

- LOD0：建築物の形状を、建築物の外形線により囲まれた平面として表現する建築物モデル。建築物の外形線として、屋根の外形線 (RoofEdge) 又は地表と壁面との交線 (FootPrint) のいずれかを使用する。標準製品仕様は、原則として屋根の外形線を使用する。ただし、ユースケースの必要に応じて、地表と壁面との交線を使用できる。

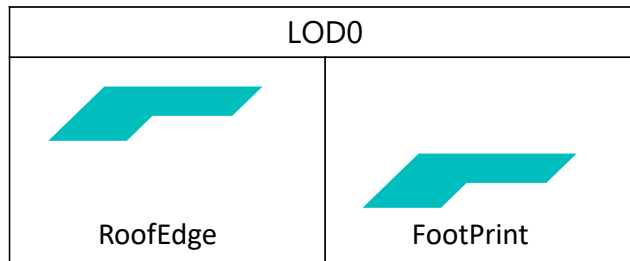


図 4-1 LOD0

- LOD1：建築物の形状を、建築物の外形線により囲まれた平面に一律の高さを与えて立ち上げた立体として表現する建築物モデル。

この時、建築物の外形線により囲まれた平面として、LOD0 の形状を使用する。

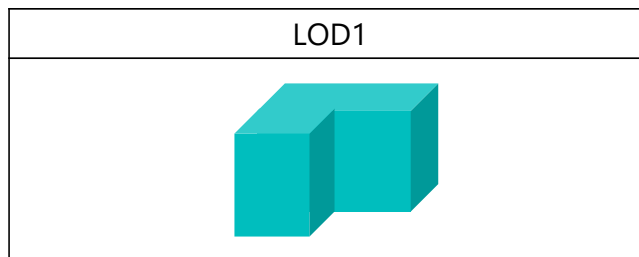


図 4-2 LOD1

- LOD2：建築物の形状を、屋根形状を含む立体として表現し、立体の境界面を、屋根面、壁面及び接地面に区分するとともに、必要に応じ建築物の外側の付属物を区分し、かつ、必要に応じ屋根面の代替として屋外床面を境界面の区分に用いる建築物モデル。

LOD2 は、取得対象の異なる LOD2.0、LOD2.1 及び LOD2.2 に分かれる。標準製品仕様は、原則として LOD2.0 とする。ただし、ユースケースの必要に応じて、LOD2.1 又は LOD2.2 を採用できる。建築物の LOD2 の定義を表 4-2 に示す。LOD2.0、LOD2.1 及び LOD2.2 は、表 4-2 に示す地物の取得基準のうち「○」がつく地物を区分し、これを表現しなければならない。

表 4-2 LOD2 の定義

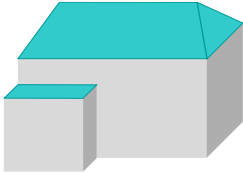
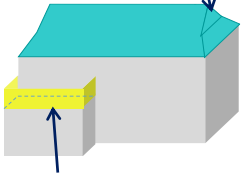
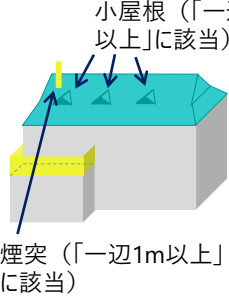
地物		取得基準	例	LOD2.0	LOD2.1	LOD2.2
屋根	屋根面（屋外床面）	一辺 3m 以上	母屋（家の主体を成す部分）の屋根面。	○	○	○
		「一辺 3m 以上」又は「一辺 1m 以上かつ面積 3m ² 以上」	小屋根（母屋に差し掛けて造られた屋根）のうち、規模の大きいもの。		○	○
		「一辺 1m 以上」又は「面積 1m ² 以上」	比較的規模の小さい小屋根。			○
	軒	LOD2 では、軒は表現しない。 軒とは、屋根の一部であり、外壁の線から外に突き出した部分である。				
付属物		屋根を含む建物上面に設置された「一辺 3m 以上」又は「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の付属物を表現	住宅等の場合：バルコニー、サンルーム、屋外階段 ビルの場合：バルコニー、サンルーム、屋外階段、庇、給水タンク、室外機、アンテナ		○	○
		屋根面に設置された一辺 1m 以上の付属物	住宅等の場合：室外機・アンテナ、煙突、看板、給水タンク			○

○：取得対象とする地物

なお、付属物の区分は、OGC CityGML2.0 AnnexC.1 及び ISO6701-1 を参考としている。

LOD2 の定義に従い、取得した建築物のイメージを表 4-3 に示す。

表 4-3 各 LOD2 の取得例

LOD2 イメージ	LOD2.0	LOD2.1	LOD2.2
			
説明	屋根の主要な外形が再現される。LOD2.0 では付属物は取得しないため、バルコニーも屋根として取得する。 なお、LOD2 では屋根面は詳細化されるが壁面は詳細化されないため、バルコニーの下部も建築物の一部として表現される。	小屋根のうち規模が大きいものが再現される。LOD2.0 では切妻屋根として表現されたが、LOD2.1 の条件を満たしたため、入母屋屋根として表現された。 また、LOD2.1 の条件を満たすバルコニーが、付属物として区分される。	小屋根のうち規模の小さいものが再現される。LOD2.1 では無視された屋根窓の屋根が LOD2.2 の条件を満たしたため、この屋根形状が表現された。 また、LOD2.2 の条件を満たす屋根上の煙突が付属物として、さらに区分される。

■ 屋根面 ■ 壁面 ■ 付属物

- LOD3：建築物の形状を、屋根形状及び開口部（窓及び扉）を含む立体として表現し、立体の境界面を屋根面、壁面、接地面及び開口部（窓及び扉）に区分するとともに、必要に応じ建築物の外側の付属物を区分し、かつ、必要に応じ屋根面の代替として屋外床面を、壁面の代替として屋外天井面を境界面の区分に用いる建築物モデル。

LOD3 は、取得対象の異なる LOD3.0、LOD3.1、LOD3.2 及び LOD3.3 に分かれる。

標準製品仕様は、原則として LOD3.0 とする。ただし、ユースケースの必要に応じて、LOD3.1、LOD3.2 又は LOD3.3 を採用できる。建築物の LOD3 の定義を表 4-4 に示す。LOD3.0、LOD3.1、LOD3.2 及び LOD3.3 は、表 4-4 に示す地物の取得基準のうち「○」がつく地物を区分し、これを表現しなければならない。

表 4-4 LOD3 の定義

対象地物	取得基準	例	LOD3.0	LOD3.1	LOD3.2	LOD3.3	
屋根	屋根面 (屋外床面)	一辺 3m 以上	母屋 (家の主体を成す部分) の屋根面。	○	○	○	○
		「一辺 3m 以上」又は「一辺 1m 以上かつ面積 3m ² 以上」	小屋根 (母屋に差し掛けて造られた屋根) のうち、規模の大きいもの。		○	○	○
		「一辺 1m 以上」又は「面積 1m ² 以上」	比較的規模の小さい小屋根。			○	○
		一辺 1m 未満	小さい小屋根。				○*
	軒	3m 以上	寺社や城など、特殊な建築物の軒。	○	○	○	○
		1m 以上	住宅等にも受けられた、平均よりも大きく外形を特徴づけている軒。		○	○	○
1m 未満		平均的な住宅の軒。				○*	
壁面 (屋外天井面)	一辺 3m 以上	建築物の外形を構成する主要な壁面。	○	○	○	○	
	「一辺 3m 以上」又は「一辺 1m 以上かつ面積 3m ² 以上」	壁面のうち、規模の大きいもの。		○	○	○	
	「一辺 1m 以上」又は「面積 1m ² 以上」	壁面のうち、比較的規模の小さいもの。			○	○	
	一辺 1m 未満	微小な壁面。				○*	
付属物	屋根面及び壁面に設置された「一辺 3m 以上」又は「一辺 1m 以上かつ面積 3m ² 以上」の付属物を表現	住宅等の場合：バルコニー、ベランダ、サンルーム、屋外階段、テラス、回廊 ビルの場合：バルコニー、ベランダ、サンルーム、テラス、屋外階段、庇、給水タンク、室外機、アンテナ、ダクト	○	○	○	○	
	屋根面及び壁面に設置された「一辺 1m 以上」又は「面積 1m ² 以上」の付属物を表現	住宅等の場合：煙突、給水タンク、) 、庇 ビルの場合：看板			○	○	
	屋根面及び壁面に設置された一辺 1m 未満の付属物を表現	住宅等の場合：室外機・アンテナ、煙突、看板、給水タンク、ダクト				○*	
開口部	壁面に設けられた一辺 1m 以上の開口部を表現	大きな玄関、掃き出し窓 (床に接し、人が出入り可能な窓)、腰高窓 (人の腰の高さからの窓)。	○	○	○	○	
	壁面及び屋根面に設けられた面積 1m ² 以上の開口部を表現	玄関、勝手口、腰高窓。			○	○	
	壁面及び屋根面に設けられた一辺 1m 未満の開口部を表現	明り取りや通風等の目的で設けられた小さな窓。				○*	

※LOD3.3における取得の下限値は、ユースケースの必要に応じて定めることができる。

LOD3 の定義に従い、取得した建築物のイメージを表 4-5 に示す。

表 4-5 LOD3 の取得例

	取得イメージ	説明
<p>LOD3.0</p>		<p>屋根のうち一辺 3m 以上の屋根面が表現される。</p> <p>付属物のうち、一辺 3m 以上の規模の大きな付属物が再現される。</p> <p>LOD3 では壁面が詳細化されるため、LOD2 では表現されない付属物の下部の形状も表現される。</p> <p>また、壁面に設けられた一辺 1m 以上の開口部が再現される。</p> <p>なお、上図の場合、軒は 3m 以内であったため、再現されなかった。</p> <p>下図に 3m 以上の軒を表現した例を示す。LOD3.0 において軒を表現する建築物として、寺社や城といった特殊な建築物あるいは倉庫等の規模が大きな建築物が該当する。</p>
<p>LOD3.1</p>		<p>小屋根のうち規模が大きいものが再現される。LOD3.0 では切妻屋根として表現されたが、LOD3.1 の条件を満たしたため、入母屋屋根として表現された。</p> <p>壁面の開口部及び付属物は、LOD3.0 と同様の表現となる。</p> <p>また、LOD3.0 では無視された 3m 未満の軒が、LOD3.1 の条件 (1m 以上の軒) を満たしたため表現された。</p>

	取得イメージ	説明
LOD3.2		<p>屋根窓の屋根が LOD3.2 の条件を満たしたため、この屋根形状が表現された。また、屋根上の煙突が LOD3.2 の条件を満たしたため付属物として表現された。</p> <p>さらに、屋根のうち、1m 以上の軒が再現された。また、壁面に設置された庇が LOD3.2 の条件を満たしたため、付属物として区分された。</p> <p>開口部のうち、LOD3.2 の条件を満たす窓が追加された。</p>
LOD3.3		<p>小屋根のうち、LOD3.3 の条件を満たす細かな形状が表現された。</p> <p>また、屋根のうち、1m 未満の軒が再現された。</p> <p>さらに、LOD3.3 の条件を満たす 1m 未満の小さな開口部や付属物が追加された。</p>

■ 屋根面 ■ 壁面 ■ 付属物 ■ 開口部

補足

LOD2 は、航空写真等上空から取得したデータの利用を前提とした区分であり、屋根形状を含む建築物の上面を詳細化する。

LOD3 は、MMS による点群や画像等、側面から取得したデータの利用を前提とした区分であり、壁面や開口部を含む建築物の側面を詳細化する。

(2) 各 LOD における使用可能な地物型と空間属性

建築物の各 LOD において使用可能な地物型と空間属性を表 4-6 に示す。

表 4-6 建築物の記述に使用する地物型と空間属性

地物型	空間属性	LOD0	LOD1	LOD2	LOD3	適用
bldg:Building		●	●	●	●	
	lod0FootPrint	○				
	lod0RoofEdge	■				lod0FootPrint がある場合は不要とする。
	lod1Solid		●			
	lod2Solid			●		
	lod3Solid				●	
bldg:BuildingPart				○	○	一棟の建築物を複数に分け、それぞれに属性を与えたい場合に使用できる。
	lod1Solid					
	lod2Solid			■		bldg:BuildingPart の LOD2 を作る場合は必須とする。
	lod3Solid				■	bldg:BuildingPart の LOD3 を作る場合は必須とする。
bldg:RoofSurface				●	●	
	lod2MultiSurface			●		
	lod3MultiSurface				●	
bldg:WallSurface				●	●	
	lod2MultiSurface			●		
	lod3MultiSurface				●	
bldg:GroundSurface				●	●	
	lod2MultiSurface			●		
	lod3MultiSurface				●	
bldg:OuterCeilingSurface					○	壁面のうち、天井の機能をもつ面を明示するために使用できる。
	lod2MultiSurface					
	lod3MultiSurface				■	bldg:OuterCeilingSurface を作る場合は必須とする。
bldg:OuterFloorSurface				○	○	屋根面のうち、通行可能な面を明示するために使用できる。
	lod2MultiSurface			■		bldg:OuterFloorSurface の LOD2 を作る場合は必須とする。
	lod3MultiSurface				■	bldg:OuterFloorSurface の LOD3 を作る場合は必須とする。
bldg:ClosureSurface				○	○	仮想的な面を作成したい場合に使用できる。
	lod2MultiSurface			■		bldg:ClosureSurface の LOD2 を作る場合は必須とする。
	lod3MultiSurface				■	bldg:ClosureSurface の LOD3 を作る場合は必須とする。
bldg:Door					●	
	lod3MultiSurface				●	
bldg:Window					●	
	lod3MultiSurface				●	
bldg:BuildingInstallation				■	●	LOD2.0 では不要であるが、LOD2.1 及び LOD2.2 の場合は必須となる。
	lod2Geometry			■		MultiSurface を使用することを基本とする。
	lod3Geometry				●	MultiSurface を使用することを基本とする。

●：必須

■：条件付必須

○：任意（ユースケースに応じて要否を決定してよい）

4.1.3 道路の LOD

(1) LOD の定義

道路の LOD を以下のように定義する。

- LOD0：道路の形状を、高さをもたないネットワーク（線）として表現する道路モデル。
- LOD1：道路の形状を、高さをもたない面として表現する道路モデル。
- LOD2：道路の形状を、高さをもたない面として表現し、面を車道、車道交差部、歩道及び分離帯に区分する道路モデル。
- LOD3：道路の形状を、高さ（標高）をもつ面として表現し、面を車道、車道交差部、歩道及び分離帯等に区分する道路モデル。

LOD3は「高さの表現」及び「道路内の区分」の組み合わせが異なる LOD3.0、LOD3.1、LOD3.2、LOD3.3 及び LOD3.4 に分かれる。標準製品仕様は、原則として LOD3.0 とする。ただし、ユースケースの必要に応じて、LOD3.2、LOD3.3 又は LOD3.4 を採用できる。道路の LOD3 の定義を表 4-7 に示す。

表 4-7 LOD3 の定義

	取得基準	LOD3.0	LOD3.1	LOD3.2	LOD3.3	LOD3.4
高さの表現	道路の横断方向の高さは一律とし、車道の高さとする。	○	○			
	道路の横断方向に存在する 15 cm 以上の段差を表現する。			○		
	道路の横断方向に存在する 2 cm 以上の段差を表現する。				○	○※
道路内の表現	車道、車道交差部、島及び歩道の区分	○	○	○	○	○
	車道内の車線の区分		○	○	○	○
	歩道上の植栽の区分			○	○	○
	車道を車線、すりつけ区間、踏切道、軌道敷、待避所、副道、自動車駐車場、非常駐車帯、中央帯、側帯、路肩、停車帯、乗合自動車停車所に区分する。 島を、交通島、分離帯、植樹帯、路面電車停車所に区分する。 歩道を、歩道、自転車歩行者道、自転車道、植樹樹に区分する。					○※

※LOD3.4 における取得の下限値・区分は、ユースケースの必要に応じて定めることができる。

LOD3.0 から LOD3.4 に適用する「高さの表現」及び「道路内の区分」を

表 4-8 及び表 4-9 に示す。

表 4-8 LOD3 における「高さの表現」

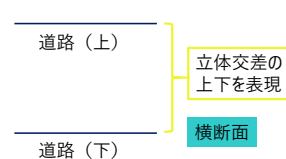
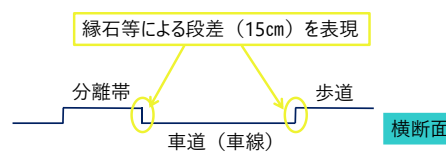

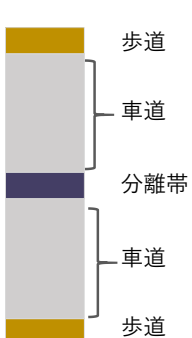
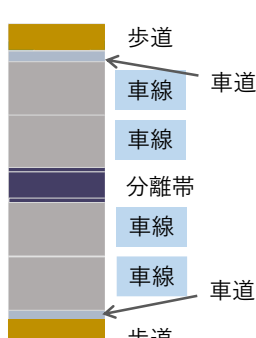
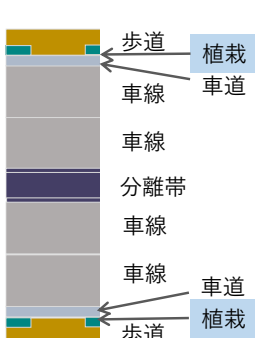
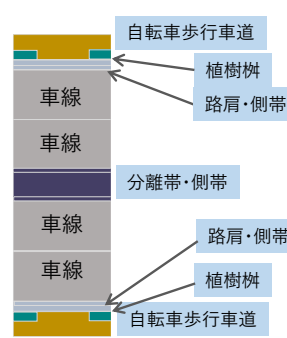
LOD3.0 及び LOD3.1	LOD3.2	LOD3.3 及び LOD3.4
<p>道路内（車道、歩道、分離帯）の高さは、横断方向に同一（全て車道の高さ）となる。</p> <p>立体交差が表現できる。</p> 	<p>道路の横断方向に存在する 15 cm以上の段差を表現する。</p> <p>車道と分離帯や車道と歩道など縁石により設けられた段差が表現できる。</p> 	<p>道路の横断方向に存在する 2 cm以上の段差を表現する。</p> <p>歩道に設けられた切り下げ部に存在する段差が表現できる。</p> 

表 4-9 LOD3 における「道路内の区分」

LOD3.0	LOD3.1	LOD3.2 及び LOD3.3	LOD3.4
<p>車道、車道交差部、島及び歩道を区分する。</p> 	<p>LOD3.0 の区分を細分する。車道のうち、車線を区分する。</p> 	<p>LOD3.1 の区分を細分する。歩道のうち、植栽を区分する。</p> 	<p>LOD3.1 の区分を細分する。細分はコースケースに応じて決定する。</p> 

青色着色している道路内の区分は、当該 LOD において新たに区別ができるようになる区分である。

補足

LOD3.0 及び LOD3.1 は、航空写真等上空から取得したデータの利用を前提とした区分である。この時、トンネル内や高架橋の下部等の遮蔽部は上空から取得したデータでは作成することができない。そのため、他の資料による補完又は、推定によるデータ作成をする必要がある。LOD3.2 以上は、MMS により取得した点群や画像等のデータの利用を前提とした区分である。

(2) 各 LOD における使用可能な地物型と空間属性

道路の各 LOD において使用可能な地物型と空間属性を表 4-10 に示す。

表 4-10 道路の記述に使用する地物型と空間属性

地物型	空間属性	LOD0	LOD1	LOD2	LOD3	適用
tran:Road		●	●	●	●	
	lod0Network	●				
	lod1MultiSurface		●			
	lod2MultiSurface			●		
	lod3MultiSurface				●	
tran:TrafficArea				●	●	
	lod2MultiSurface			●		
	lod3MultiSurface				●	
tran:AuxiliaryTrafficArea				●	●	
	lod2MultiSurface			●		
	lod3MultiSurface				●	

● : 必須

4.1.4 都市設備の LOD



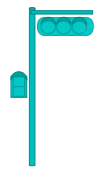
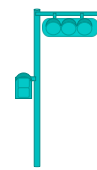
(1) LOD の定義

都市設備とは、都市の屋外（道路、住宅街、広場、造成地等）に設置されている、移動しない小規模な設備である（例：街路灯、道路標識、交通信号機、花壇、広告板、ベンチ、境界杭、バス停）。

都市設備の LOD を以下のように定義する。

- LOD1：都市設備の形状をそれが占有している範囲（面）に一律の高さを与えた立体として表現する都市設備モデル。ただし、路面標示やマンホールのように他の地物の面と一体として表現されるべきものは面として表現する。
- LOD2：都市設備の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まり又は立体として表現する都市設備モデル。
- LOD3：都市設備の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まり又は立体として詳細に表現する都市設備モデル。
LOD3 は、主要な部分同士の接続部の表現の有無により、LOD3.0 及び LOD3.1 に分かれる。LOD3.0 は、主要な部分同士の接続部は表現不要とし、LOD3.1 は主要な部分同士の接続部を表現する。標準製品仕様は、原則として LOD3.0 とする。

表 4-11 各 LOD の取得例

	LOD1	LOD2	LOD3.0	LOD3.1
取得例	最大となる外形に囲まれた面に都市設備の高さを与えて立ち上げた立体。	都市設備の主要な部分を簡略化した立体※を組み合わせた立体（境界面は平面に分割）。 ※簡略化した立体とは、楕円体、球体、円錐、角錐、角柱、円柱などの単純な立体図形とする。	都市設備の主要な部分について、それぞれの外形を構成する特徴点※により作成した立体。 主要な部分同士の接続部は表現不要とする。 ※一定高さごとに横断面を作成し、この頂点を結び外形を構成する。	都市設備の主要な部分について、それぞれの外形を構成する特徴点※により作成した立体。 主要な部分同士の接続部を表現する。 ※一定高さごとに横断面を作成し、この頂点を結び外形を構成する。
				

(2) 最大となる外形各 LOD における使用可能な地物型と空間属性

都市設備の各 LOD において使用可能な地物型と空間属性を表 4-12 に示す。

表 4-12 都市設備の記述に使用する地物型と空間属性

地物型	空間属性	LOD0	LOD1	LOD2	LOD3	適用
frn:CityFurniture			●	●	●	
	lod1Geometry		●			
	lod2 Geometry			●		
	lod3 Geometry				●	

●：必須


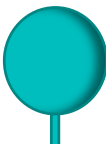




4.1.5 植生の LOD

(1) LOD の定義

植生の各 LOD を以下のように定義する。

- LOD1：植生の形状をそれが占有している範囲（面）に一律の高さを与えた立体として表現する植生モデル。
- LOD2：植生の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まり又は立体として表現する植生モデル。
- LOD3：植生の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まり又は立体として詳細に表現する植生モデル。

表 4-13 各 LOD での取得例

	LOD1	LOD2	LOD3
SolitaryVegetationObject (単独木) の場合	樹冠を水平投影した面を樹高で立ち上げた立体。 	樹冠と樹幹をそれぞれ簡略化した立体※を組み合わせた立体。(境界面は平面に分割) ※簡略化した立体とは、楕円体、球体、円錐、角錐、角柱、円柱などの単純な立体図形とする。 	樹冠及び樹幹の外形を構成する特徴点※により作成した立体。 ※一定高さごとに樹冠の横断面を作成し、この頂点を結び外形を構成する(樹冠内部の主枝等の表現は行わない。)が、ユースケースの必要に応じて詳細化してよい。 
PlantCover (植被) の場合	植被の範囲を水平投影した面を植被の高さの中央値で立ち上げた立体。 	植被の範囲内で比高 3m 以上の場合にこれを区分した面の集まりまたはその面を境界とする立体。 	植被の範囲内で比高 1m 以上の場合にこれを区分した面の集まりまたはその面を境界とする立体。 

(2) 各 LOD における使用可能な地物型と空間属性

植生の各 LOD において使用可能な地物型と空間属性を表 4-14 に示す。

表 4-14 植生の記述に使用する地物型と空間属性

地物型	空間属性	LOD0	LOD1	LOD2	LOD3	適用
veg:SolitaryVegetationObject			●	●	●	
	lod1Geometry		●			
	lod2 Geometry			●		
	lod3 Geometry				●	
veg:PlantCover			●	●	●	
	lod1MultiSurface					
	lod1MultiSolid		●			
	lod2MultiSurface			■		いずれかが必須となる。
	lod2MultiSolid			■		
	lod3MultiSurface				■	いずれかが必須となる。
lod3MultiSolid				■		

- ：必須
- ：条件付必須

4.1.6 地形の LOD

(1) LOD の定義

地形の LOD は、その作成に使用する原典資料の点密度又は標高点格子間隔により決定する（表 4-15）。

表 4-15 地形の LOD の定義

LOD	原典資料	
	レーザ点群の場合 点密度	数値標高モデル (DEM) の場合 作成に使用したレーザ点群の密度及び 標高点格子間隔
LOD1	0.04 点/m ² 以上	・ 点密度 0.04 点/m ² 以上のレーザ点群を使用して作成 ・ 標高点格子間隔 5m 以内
LOD2	0.25 点/m ² 以上	・ 点密度 0.25 点/m ² 以上のレーザ点群を使用して作成 ・ 標高点格子間隔 2m 以内
LOD3	1 点/m ² 以上	・ 点密度 1 点/m ² 以上のレーザ点群を使用して作成 ・ 標高点格子間隔 1m 以内

なお、地形の LOD は、作業規程の準則第 417 条に示される「地図情報レベルと格子間隔」（表 4-16）を参考に決定している。地形の LOD1 を格子間隔 5m 以内（地図情報レベル 5000）と設定し、LOD2 を格子間隔 2m 以内（地図情報レベル 2500）、LOD3 を格子間隔 1m 以内（地図情報レベル 1000）とした。

表 4-16 地図情報レベルと格子間隔の関係

地図情報レベル	格子間隔
500	0.5m 以内
1000	1m 以内
2500	2m 以内
5000	5m 以内

出典：作業規程の準則

(2) 各 LOD における使用可能な地物型と空間属性

地形の各 LOD において使用可能な地物型と空間属性を表 4-17 に示す。

表 4-17 地形の記述に使用する地物型と空間属性

地物型	空間属性	LOD0	LOD1	LOD2	LOD3	適用
dem:ReliefFeature			●	●	●	dem:ReliefFeature を作成する場合は、dem:TINRelief 又は dem:ReliefFeature のいずれかを必須とする。
dem:TINRelief			■	■	■	
	tin		■	■	■	
dem:MassPointRelief			■	■	■	
	reliefPoints		■	■	■	

●：必須

■：条件付必須

4.1.7 応用スキーマクラス図の記法

3D 都市モデルに必要な地物の概念構造を記述した応用スキーマ (以下、「3D 都市モデル応用スキーマ」と呼ぶ) は、同じく応用スキーマである i-UR 及び CityGML から、標準製品仕様に設定したユースケースに必要な地物、地物属性及び地物関連を抽出したプロファイルとして構成する。そのため、応用スキーマクラス図では、それぞれの出典を明らかにするため、以下の記法を用いる。

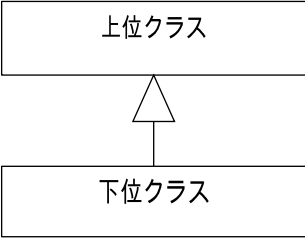
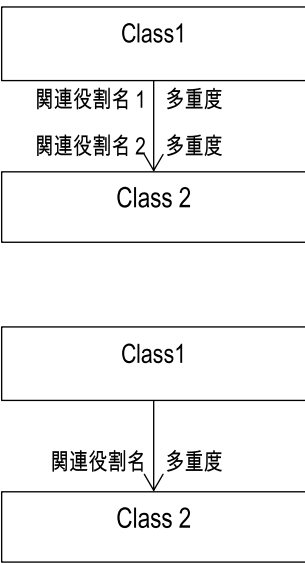
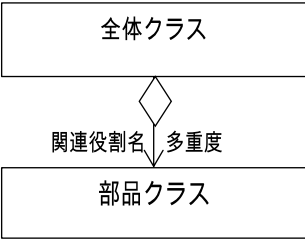
表 4-18 応用スキーマクラス図における出典の明示

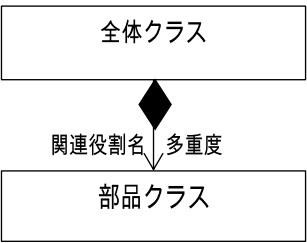
出典	地物
GML	接頭辞 : gml 色 : 緑 rgb(204, 255,204)
CityGML	接頭辞 : core, bldg, luse, tran, frn, veg, wtr, dem 色 : 黄 rgb(255, 255,204)
i-UR	接頭辞 : uro, urf 色 : 赤 rgb(255, 204, 255)

応用スキーマクラス図は、UML クラス図 (ISO/IEC 19505-2:2012, Information technology — Object Management Group Unified Modeling Language (OMG UML) — Part 2:Superstructure) に定められた記法に基づき、JPGIS において応用スキーマクラス図を記述するために抽出された記法により記述する。応用スキーマクラス図の記述に使用する記法を表 4-19 に示す。

表 4-19 応用スキーマクラス図の表記

表記	意味
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <pre><<stereotype>> 接頭辞::クラス名 +属性名 :xs::integer[0..1]</pre> </div>	<p>クラス。 クラスは 3 段の箱により記述する。 1 段目の箱には、ステレオタイプ (クラスの種類) とクラス名を記述する。クラス名には、表 4-18 に示す接頭辞を付ける。 2 段目の箱には、クラスの属性を記述する。 3 段目の箱は使用しない。</p> <p>クラスの属性は、属性名、属性の型、属性の多重度から構成する。 属性の型は、属性が取る値の種類を指定する。xs:string (文字列型) のような基本的な型や gml:Solid のような幾何オブジェクト、あるいは、応用スキーマで定義した別のクラスを指定できる。 基本的な型は、4.3.1 に定義を示す。</p> <p>応用スキーマクラス図では、属性名の前に「+」の記号が表示される。 これは UML クラス図において、他のクラスからその属性を表示し、使用できるかどうか (可視性) を示す。 ただし、応用スキーマクラス図では可視性を使用しないため、無視してよい。</p> <p>属性の多重度は、その属性が繰り返し出現可能な回数を指定する。 [a..b] のように指定し、a 及び b は、$a \leq j \leq b$ となる任意の整数 j を意味する。[a..a] は、[a] と同じとみなす。以下のような記載方法がある。 [0..1] : 0 または 1 [0..*] : 0 以上 [1..*] : 1 以上 [m] : m</p>

表記	意味
	<p>[m..n] : m 以上 n [m,n] : m 又は n</p> <p>なお、属性の多重度を省略することもできる。省略された場合は、1となる。</p>
	<p>継承。 元となるクラス (上位クラス) の特性を受け継ぐ新しいクラス (下位クラス) との関係の意味する。継承を実装する場合、下位クラスのインスタンス (データ) は、自分自身に定義された属性や関連役割だけではなく、上位クラスに定義された属性や関連役割もつ。</p> <p>△が付く側 (Class1) が元となるクラスである。</p> <p>なお、後述する関連とは異なり、上位のクラスと下位のクラスのインスタンスは、互いへの参照はもたない。あくまで、下位のクラスのインスタンスが、上位のクラスに定義された属性等を記述するデータ構造をもつことだけを意味する。</p>
	<p>関連。 二つのクラス間に関係性があることを意味する。 関連役割名は、この関連における役割を示す。また、関連には多重度を指定できる。多重度は、相手のクラス1に対して関連する自分の数を記載する。多重度の記法は、属性の多重度と同じである。また、多重度が省略された場合は1となる。 関連を実装する場合、関連役割名をつけた属性として、他方のクラスのインスタンスへの参照をもたせる。</p> <p>関連には向きをつけることができる。向きは矢印により記述する。関連に向きが付けられた場合、参照は片方向となる。すなわち、例図の場合にはClass1のインスタンスがClass2のインスタンスへの参照ともつが、Class2のインスタンスはClass1のインスタンスへの参照をもたない。</p> <p>CityGML では、都市オブジェクトと幾何オブジェクトとの間に関連が定義されている。これにより、都市オブジェクトは幾何オブジェクトへの参照をもつことができる。例えば、道路の幾何オブジェクトとして面を作成した場合に、その面を橋梁の幾何オブジェクトとして参照することができる。</p>
	<p>集成。 二つのクラス間に全体と部分という関係がある関連である。全体となるクラス側に白いひし形を記述する。</p> <p>関連役割名は、この関連における役割を示す。また、関連には多重度を指定できる。多重度は、相手のクラス1に対して関連する自分の数を記載する。多重度の記法は、属性の多重度と同じである。また、多重度が省略された場合は1となる。また、向きをつけることができる。</p> <p>集成を実装する場合、関連役割名をつけた属性として、他方のクラスのインスタンスへの参照をもたせる、または、部品となるクラスのインスタンスを、全体となるクラスのインスタンスの内部に記述する。</p> <p>なお、標準製品仕様では、集成の実装は、部品となるクラスのインスタンスを、全体となるクラスのインスタンスの内部に記述することを原則とする。部品となるクラスは、他のクラスのインスタンスから参照してもよい。</p>

表記	意味
	CityGML では、bldg::Building (建築物) と bldg::WallSurface (壁面) との間に集成 関連が定義されている。この時、建築物が全体となり壁面はその部品となる。
	<p>合成。 二つのクラス間に全体と部分という関係がさらに強固な関連である。全体となるクラス側に黒いひし形を記述する。合成は、全体となるクラスが無くなった場合に、部分となるクラスも無くなる関係に用いる。</p> <p>関連役割名や多重度の表記は、集成と同様である。</p> <p>合成を実装する場合、部品となるクラスのインスタンスを、全体となるクラスのインスタンスの内部に記述する。</p>

また、各クラスのステレオタイプは以下を意味する。

表 4-20 応用スキーマクラス図で使用するステレオタイプ

ステレオタイプ	説明
<<FeatureType>>	地物に適用するステレオタイプ。このステレオタイプをもつクラスは、応用スキーマのパッケージ内で定義される。[出典 JPGIS]
<<DataType>>	<p>個々のインスタンスを区別する必要がない、値の集合となるクラスに適用するステレオタイプ。個々に区別する必要がないため、識別子をもたない。<<DataType>>のステレオタイプをもつクラスは、データ型と呼ばれ、属性の型として使用される。データ型には、あらかじめ定義された型と使用者が定義できる型とがある。あらかじめ定義された型には、基本データ型がある。[参考 JPGIS]</p> <p>標準製品仕様書では、地物属性のまとまりとして定義したクラスに<<DataType>>を使用する。<<DataType>>で定義されたクラスは地物の属性の型もしくは地物の部品 (合成関連における部品) として使用される。</p>
<<Type>>	<p>識別子を持ち、他と区別することができるオブジェクトに適用するステレオタイプ。識別子をもつため、他から参照することができる。[参考 JPGIS]</p> <p>標準製品仕様書では、GML や CityGML で定義された地物以外の型のうち、識別子 (gml:id) をもつ型 (例 : 幾何オブジェクト) に<<Type>>を使用する。</p>
<<BasicType>>	<p>値を表現するための基本的なデータ型。[出典 JPGIS]</p> <p>データ型のうち、あらかじめ定義された、基本データ型のことである。</p> <p>標準製品仕様書では、GML や CityGML において定義された、文字列型や整数型等の基本的な型から使用可能な値の範囲を狭めたデータ型に<<BasicType>>を使用する。</p>

ステレオタイプ	説明
<<Enumeration>>	文字列型や整数型などの基本データ型を制限し、取りうる値のみを列挙したリストとなるクラスに適用するステレオタイプ。[参考 JPGIS] 標準製品仕様書では、地物属性の定義域が固定となる場合に、定義域に含まれる値を列挙した型に<<Enumeration>>を使用する。 なお、<<Enumeration>>は定義域が固定されるため、拡張製品仕様において定義域が拡張される可能性のある場合には<<Enumeration>>は使用せず、コードリスト (gml:CodeType) を使用する。

4.1.8 応用スキーマ文書の読み方

応用スキーマ文書 (4.3) では、応用スキーマクラス図に示す各クラスについて、クラスの定義及びクラスがもつ属性及び関連役割の定義を表形式で示す。表に記載する属性名、属性の型及び多重度、また、関連役割、関連役割の型 (関連の相手クラス) 及び多重度は、クラス図と一致する。

属性及び関連役割のうち、標準製品仕様書では対象外としている属性及び関連役割には、その属性名又は関連役割名を括弧書きとする。

なお、地物定義では、具象型 (オブジェクトを作成できる型) のみを示す。抽象型 (オブジェクトを作成できない型) の定義は省略するが、抽象型から継承する属性や関連役割は、継承する属性又は継承する関連役割として示す。

表 4-21 定義文書の構成

クラスの定義	クラスの定義を記載。	
上位の型	クラスが他のクラスを継承している場合、上位のクラスの名称を記載する。	
ステレオタイプ	クラスのステレオタイプを記載する。	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
継承によりもつ属性の名称	属性の型と多重度 多重度は以下のように記載する。 [1] 必ず 1 [0..1] 0 又は 1 [0..*] 0 以上 [1..*] 1 以上	継承する属性の定義
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
自身に定義された属性の名称	属性の型と多重度	自身に定義された属性の定義
(使用しない属性の名称)		CityGML や i-UR で定義済みの属性のうち、標準製品仕様で使用しない属性は、属性名称に括弧を付けている。 特段の注意書きがない限り、拡張製品仕様で必要に応じて使用できる。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
継承によりもつ関連役割の名称	関連の相手クラスと多重度	関連役割の定義
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
自分自身に定義された関連役割の名称	関連の相手クラスと多重度	関連役割の定義

また、クラス、属性及び関連役割には、それらが定義されたパッケージの接頭辞を付す。

4.2 応用スキーマクラス図

応用スキーマクラス図は、応用スキーマに含まれる地物の概念構造を記述したものである。

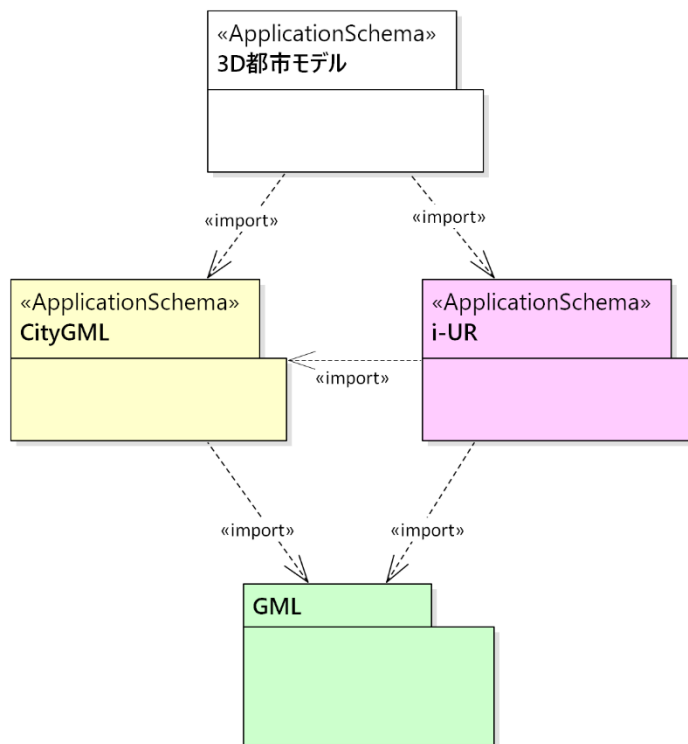
3D都市モデル応用スキーマは、CityGML及びi-URにおいて定義された地物を引用して構成している。CityGML及びi-URでは、その中で定義する地物の種類ごとにパッケージ化し定義している。そこで、3D都市モデルの応用スキーマに含まれる地物も、その種類に応じて8つのパッケージに分けて整理している。

そこで、4.2.1では、パッケージ図により、3D都市モデルの応用スキーマとCityGML及びi-URとの概念的な関係を示す。また、4.2.2から4.2.15までは、3D都市モデルが引用するCityGML及びi-URに定義された地物の概念構造を、CityGML及びi-URのパッケージごとにUMLクラス図を用いて示す。

4.2.1 3D都市モデル応用スキーマパッケージ図

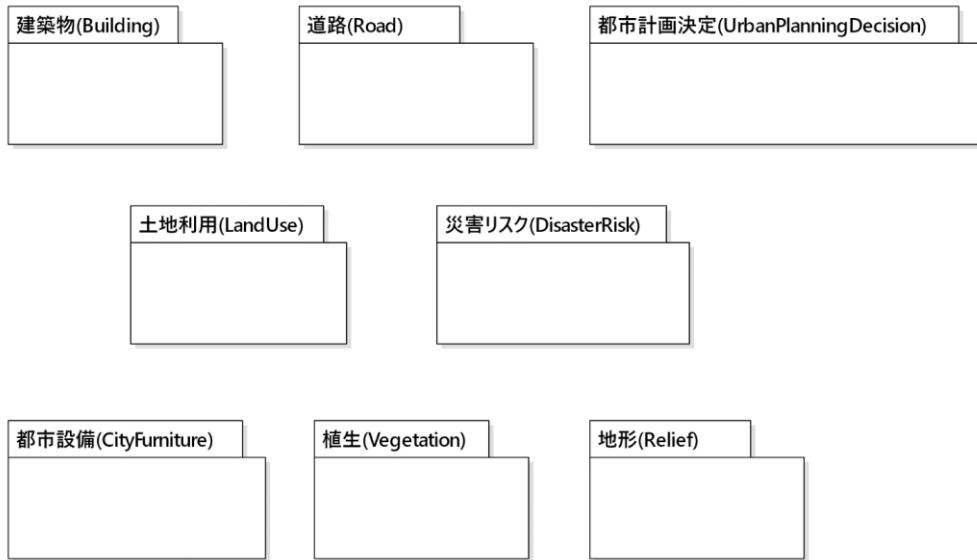
(1) 3D都市モデル応用スキーマとCityGML及びi-URとの関係

3D都市モデル応用スキーマは、CityGML及びi-URを引用する。さらに、CityGMLはGMLを引用し、i-URはCityGML及びGMLを引用している。



(2) 3D都市モデル応用スキーマ

3D都市モデル応用スキーマは、これに含まれる地物に応じて分けられた、8つのパッケージから構成する。



各パッケージは、CityGML 及び i-UR に定義されたパッケージを引用する (表 4-22)。

表 4-22 3D 都市モデルが引用する CityGML 及び i-UR のパッケージ

	GML	CityGML												i-UR		
		Core	Appearance	Bridge	Building	CityFurniture	CityObjectGroup	Generic	LandUse	Relief	Transportation	Tunnel	Vegetation	WaterBody	Urban Object	Urban Function
建築物 (Building)	✓	✓	*1		✓			*2							✓	
道路 (Road)	✓	✓	*1					*2		✓					✓	
都市計画決定情報 (UrbanPlanningDecision)	✓	✓					*3	*2								✓
土地利用 (LandUse)	✓	✓						*2	✓						✓	
災害リスク (DisasterRisk)	✓	✓						*2					✓	✓	✓	
都市設備 (CityFurniture)	✓	✓	*1			✓		*2							✓	
植生 (Vegetation)	✓	✓	*1					*2				✓			✓	
地形 (Relief)	✓	✓						*2		✓						

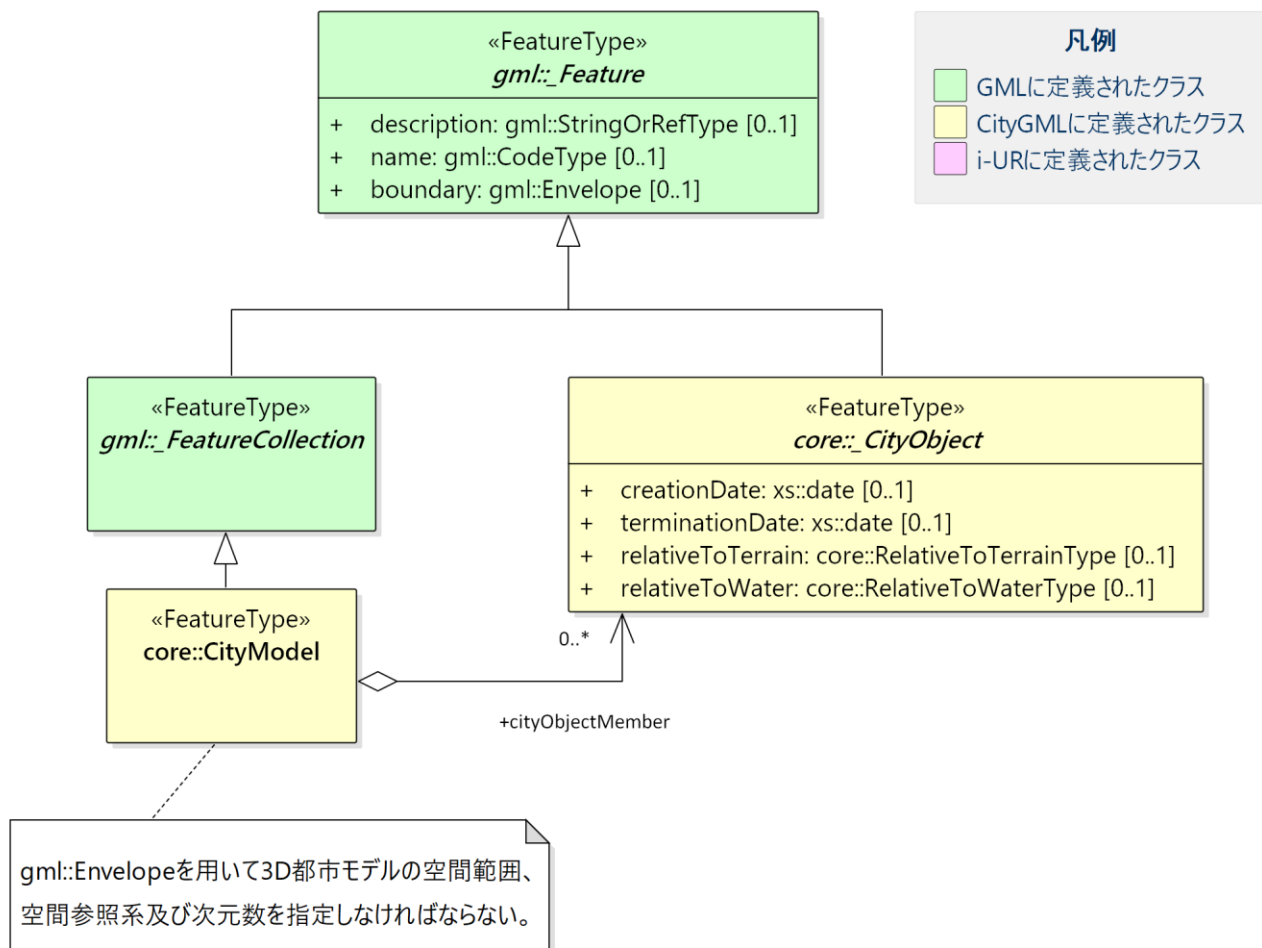
*1 : テクスチャ画像の貼付けや表示色の設定を行う場合に引用する。

*2 : CityGML や i-UR がない地物型や属性を追加する場合に引用する。

*3 : 複数の都市計画決定情報をグループ化したい場合に引用する。

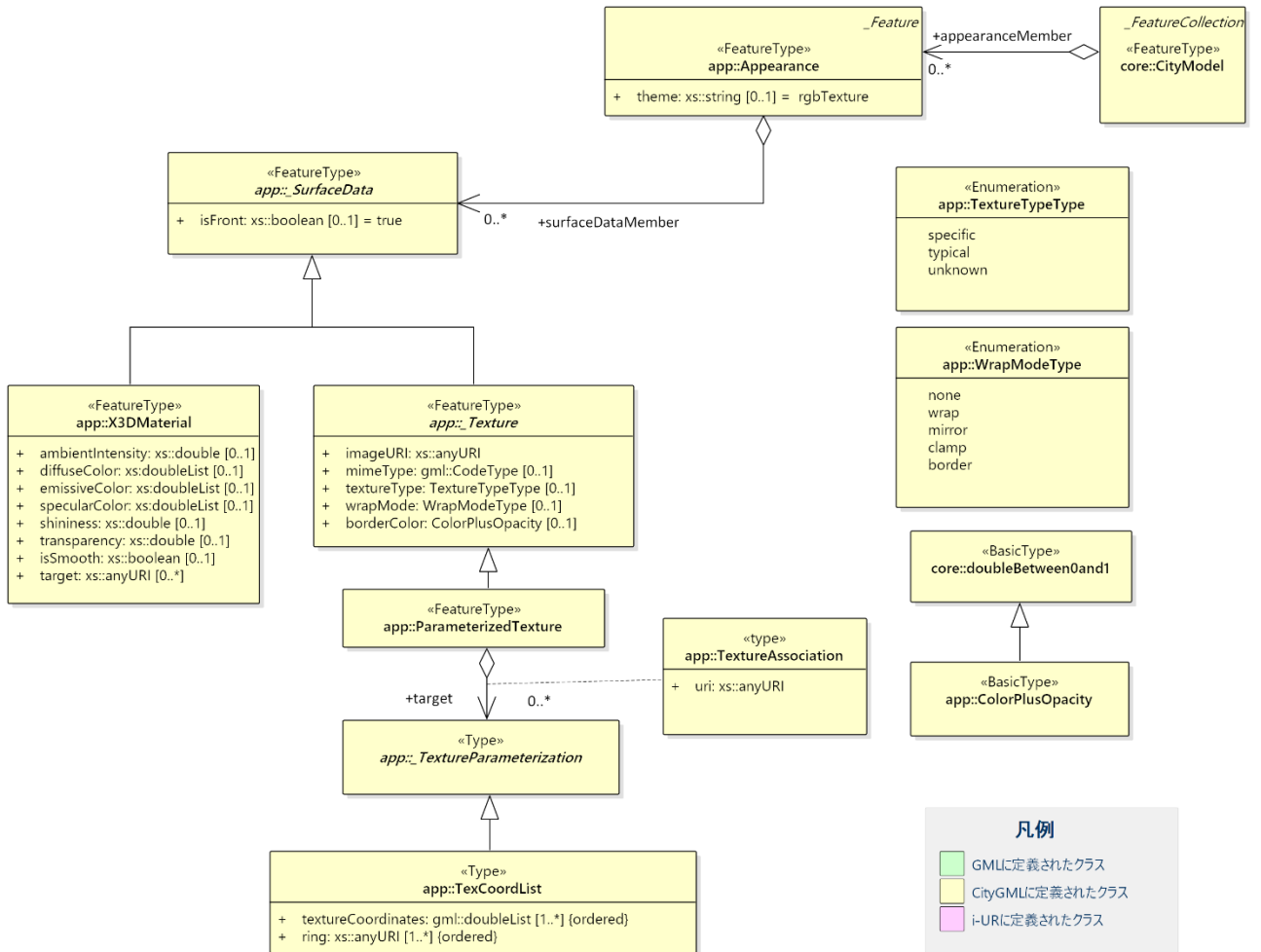
4.2.2 Core (CityGML)

Core パッケージには、CityGML が定義する地物型の最上位概念である *core::_CityObject* と、データ集合である *core::_CityModel* が定義されている。CityGML で定義される全ての地物型、また、CityGML を拡張する i-UR で定義される全ての地物型は、*core::_CityObject* を継承する。



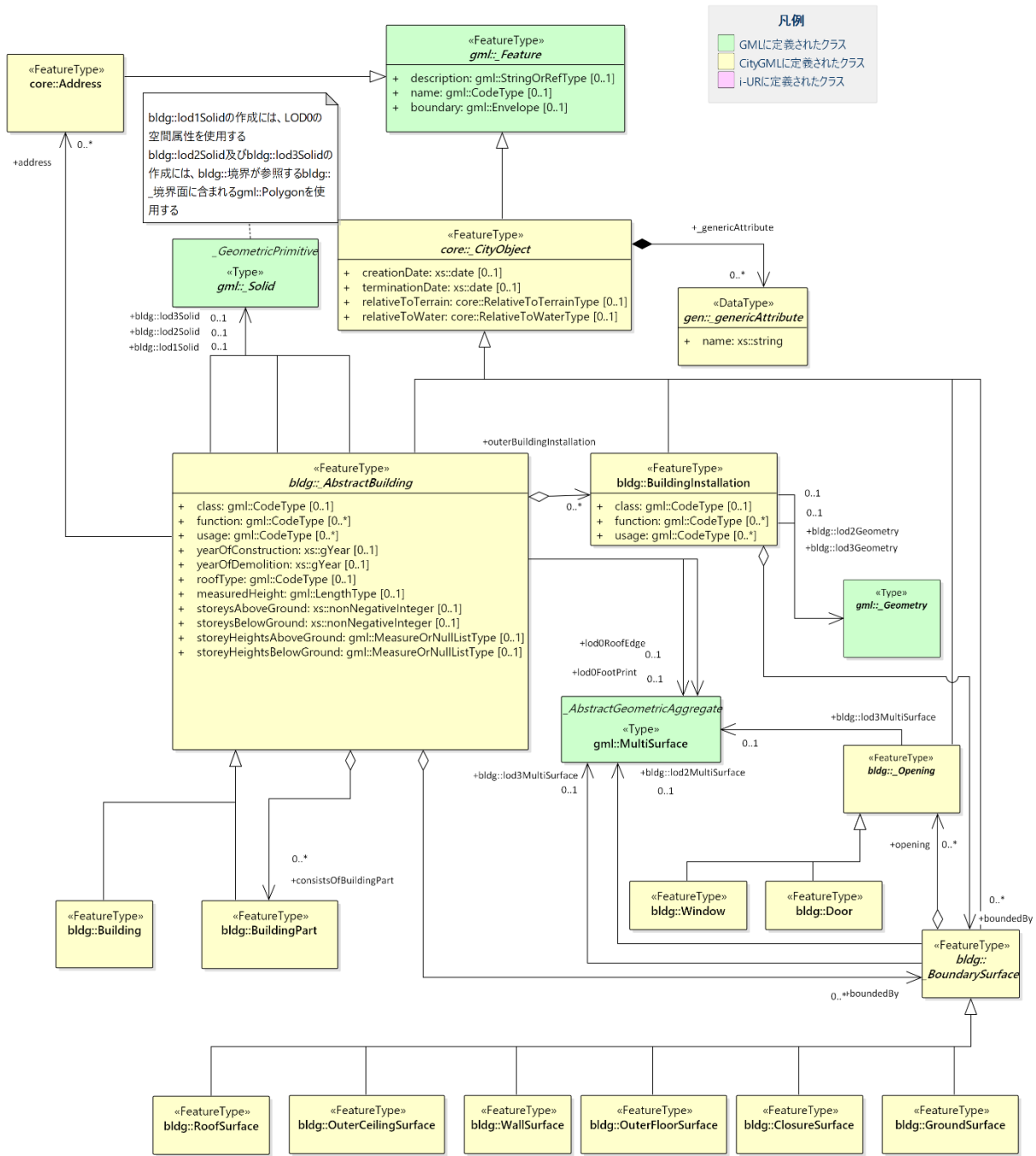
4.2.3 Appearance (CityGML)

Appearance パッケージは、地物の表面の情報を地物型として定義する。*app::X3DMaterial* は地物の表面の色を定義する地物型であり、*app::ParameterizedTexture* は、地物の表面に貼りつける画像を指定する地物型である。



4.2.4 Building (CityGML)

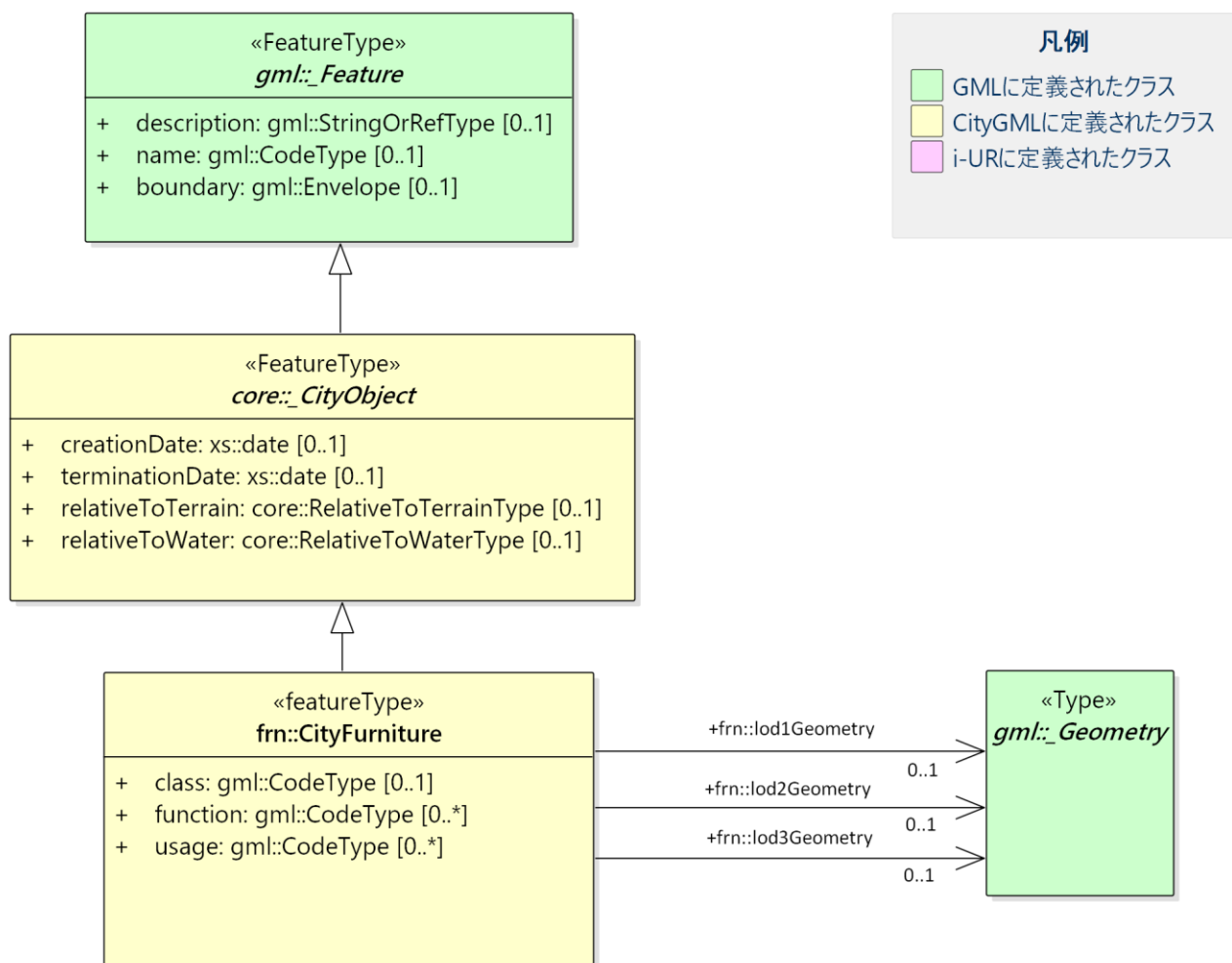
Building パッケージは、建築物 (*bldg::Building*) を構成する地物型を定義する。



標準製品仕様では、建築物を構成する地物型のうち、外側を記述するための地物型のみを抽出している (部屋や家具のように屋内空間を記述するための地物型は含めていない)。

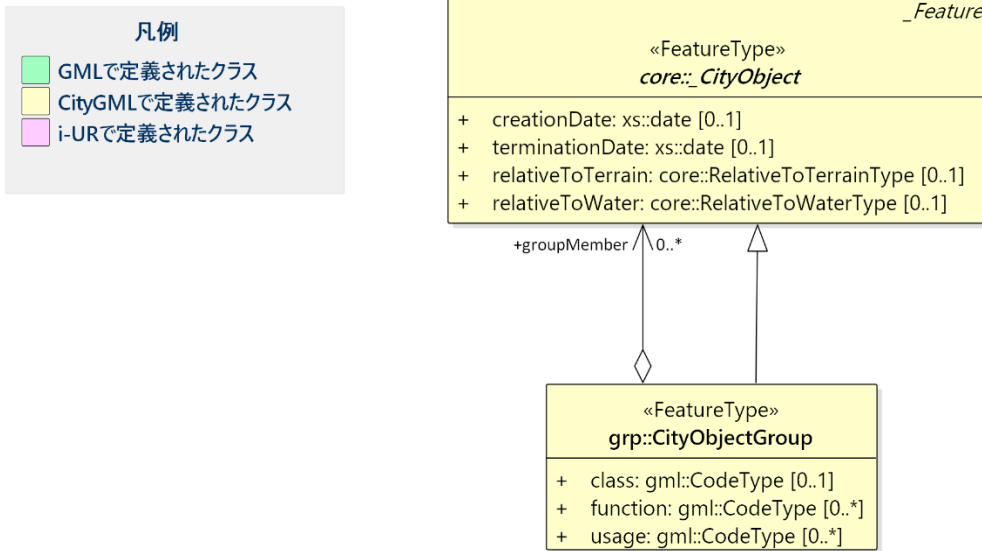
4.2.5 CityFurniture (CityGML)

CityFurniture パッケージは、街路灯、道路標識、交通信号機、花壇、広告板、ベンチ、境界杭又はバス停のように、都市の屋外（道路、住宅街、広場、造成地等）に設置されている、移動しない小規模な設備（都市設備）のための地物型（*frn::CityFurniture*）を定義する。



4.2.6 CityObjectGroup (CityGML)

CityObjectGroup パッケージは、都市オブジェクト (*core::_CityObject*) をグループ化する *grp::CityObjectGroup* を定義する。

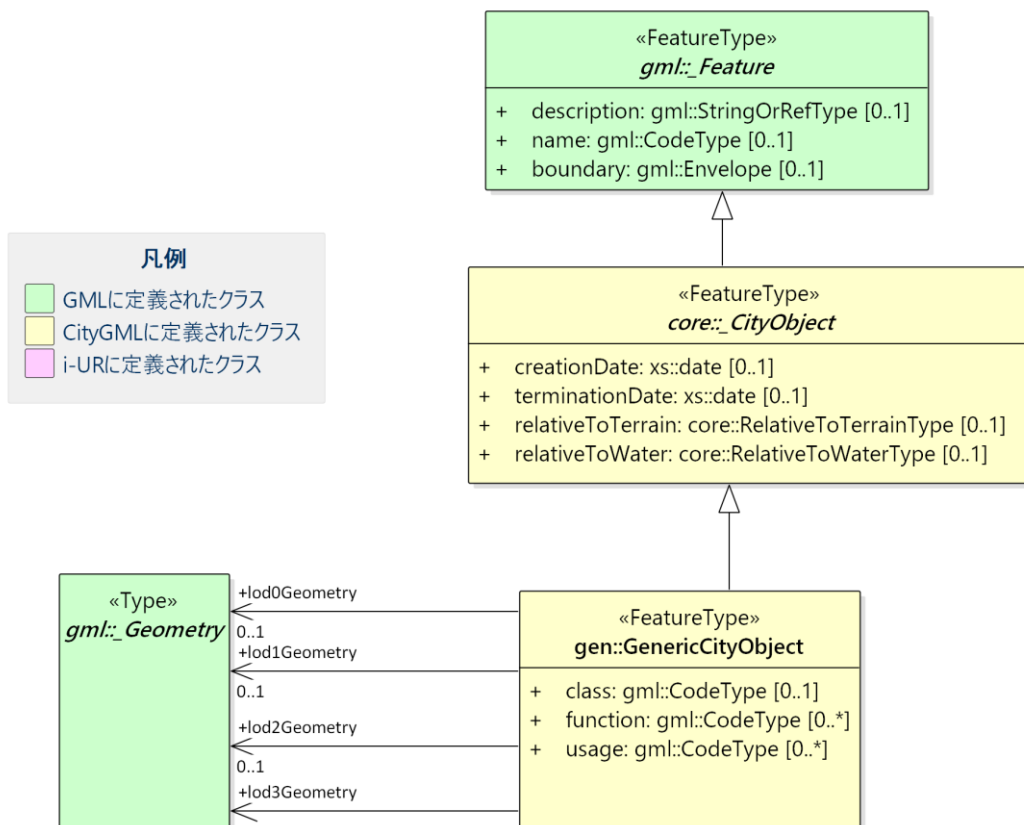


4.2.7 Generic (CityGML)

Generic パッケージは、CityGML に定義されていない地物型や属性を追加するための汎用的な地物型やデータ型を定義する。

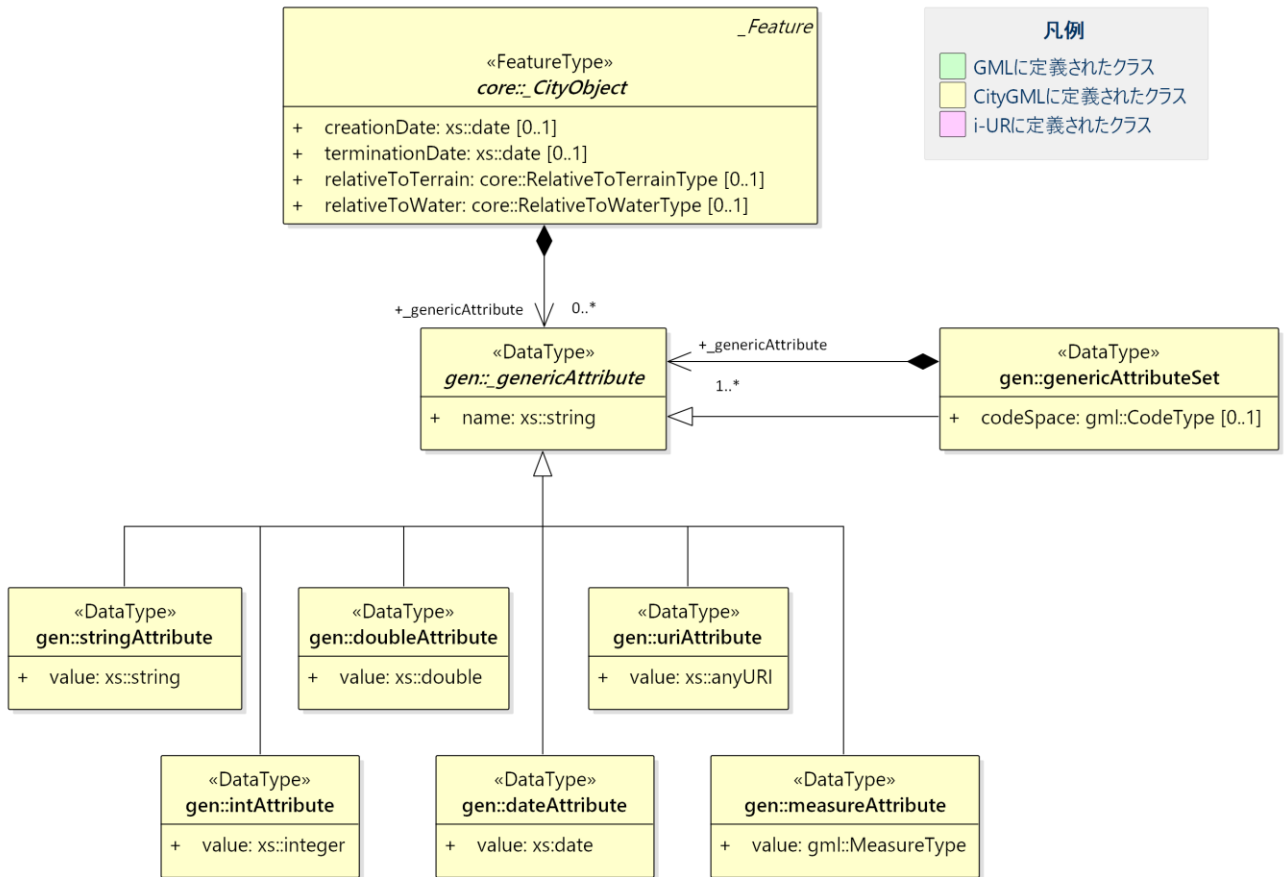
(1) 汎用都市オブジェクト

gen::GenericCityObject は、CityGML に定義されていない地物を作成したい場合に使用する汎用的な地物型である。



(2) 汎用属性

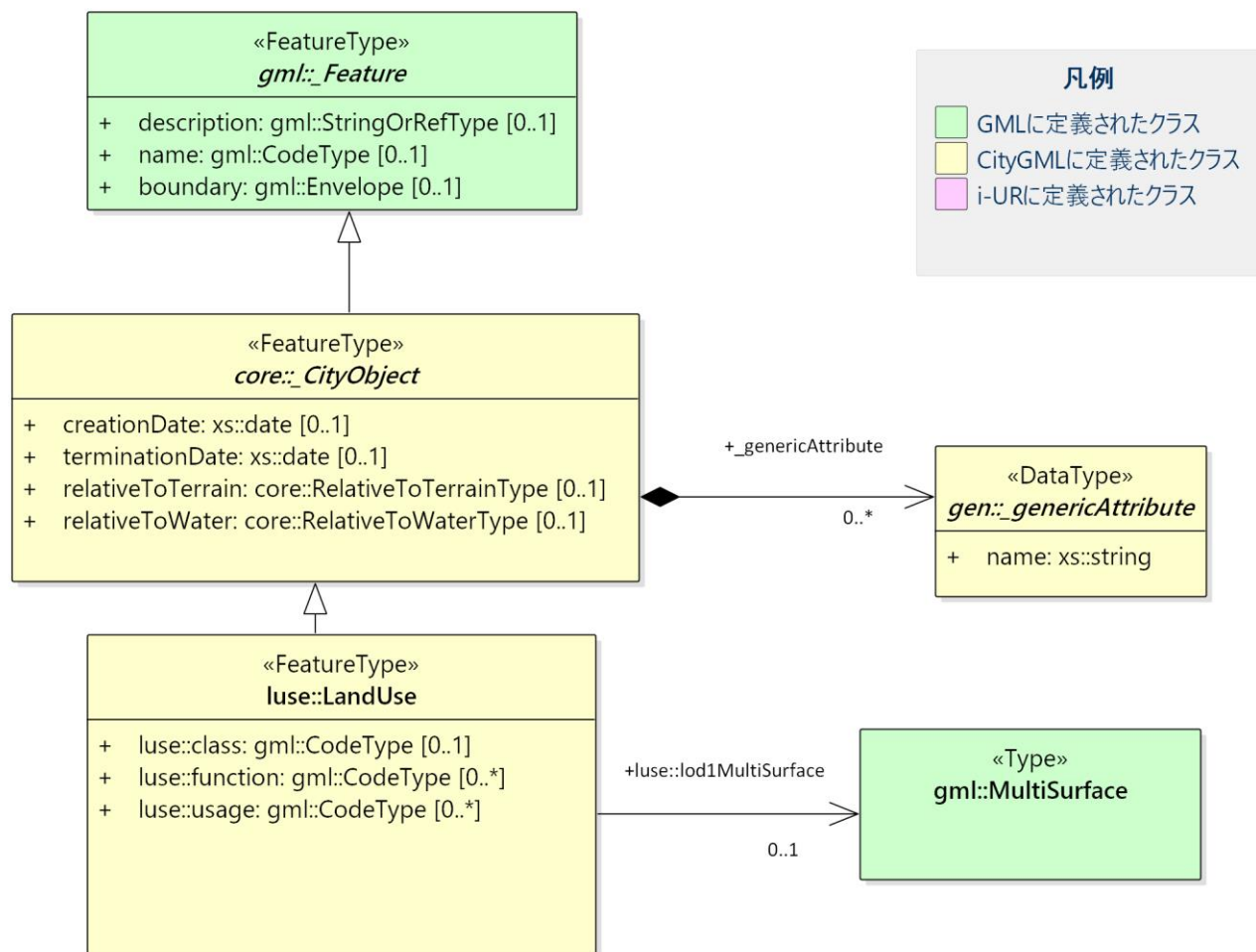
gen::_genericAttribute は、CityGML に定義されていない属性を追加したい場合に使用する汎用的なデータ型である。文字列や整数のように、追加したい属性型に応じて、*gen::_genericAttribute* を継承するデータ型が定義されている。



core::_CityObject は、0 以上の *gen::_genericAttribute* をもつことができる構造となっている。CityGML に定義された *bldg::Building* や *bldg::LandUse* などの全ての地物型は *core::_CityObject* を継承しているため、*bldg::Building* や *bldg::LandUse* などの全ての地物型も、0 以上の *gen::_genericAttribute* をもつことができる (全ての地物型に汎用属性を追加できる)。

4.2.8 LandUse (CityGML)

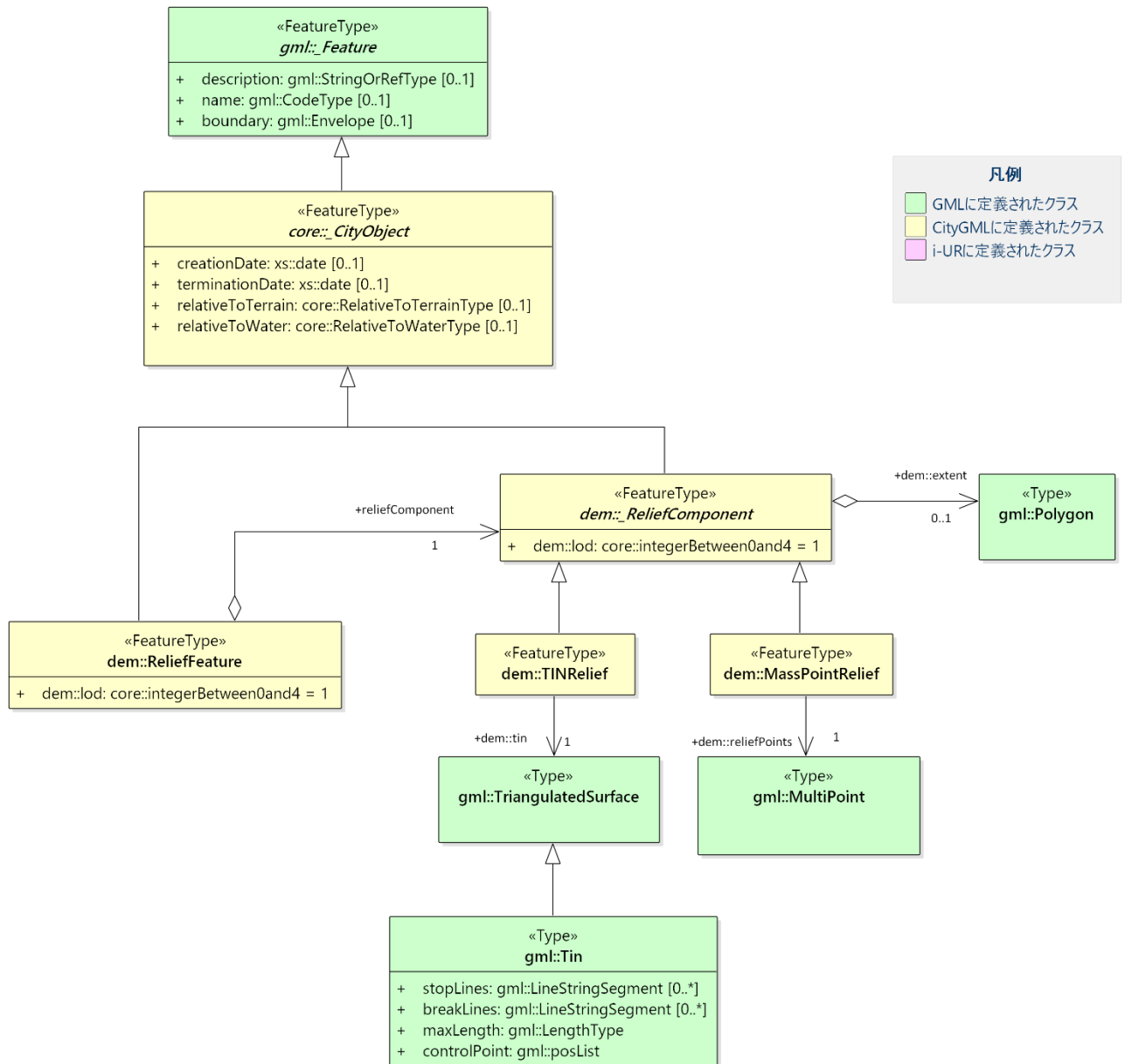
LandUse パッケージは、土地利用 (*luse::LandUse*) を地物型として定義する。



4.2.9 Relief (CityGML)

Relief パッケージは、地形 (*dem::ReliefFeature*) を地物型として定義する。

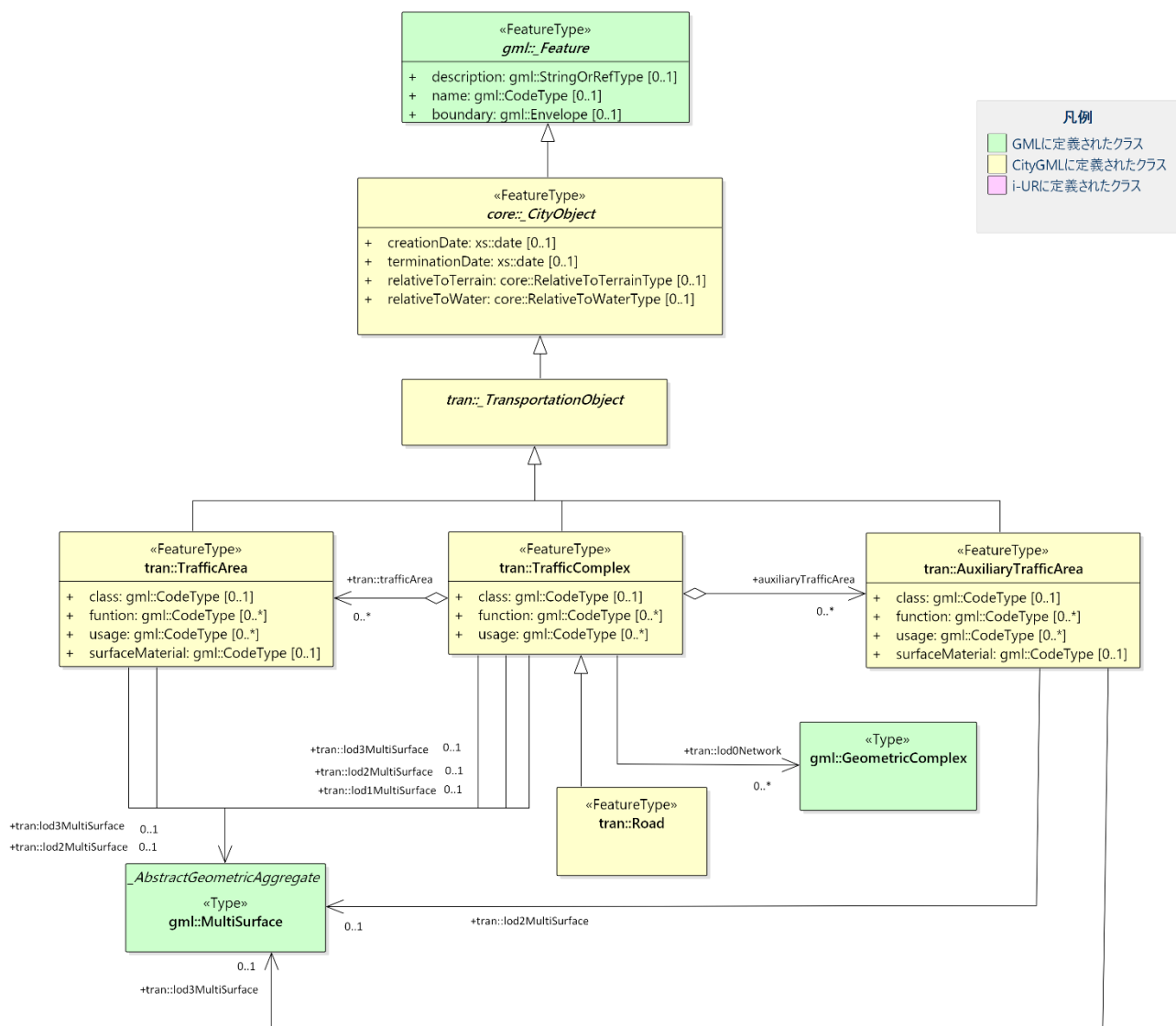
標準製品仕様では、GIS の分野で地形の表現に利用されている不規則三角網 (*dem::TINRelief*) と点群 (*dem::MassPointRelief*) に対応する地物型を抽出する。



4.2.10 Transportation (CityGML)

Transportation パッケージは、交通に関する地物型を定義する。

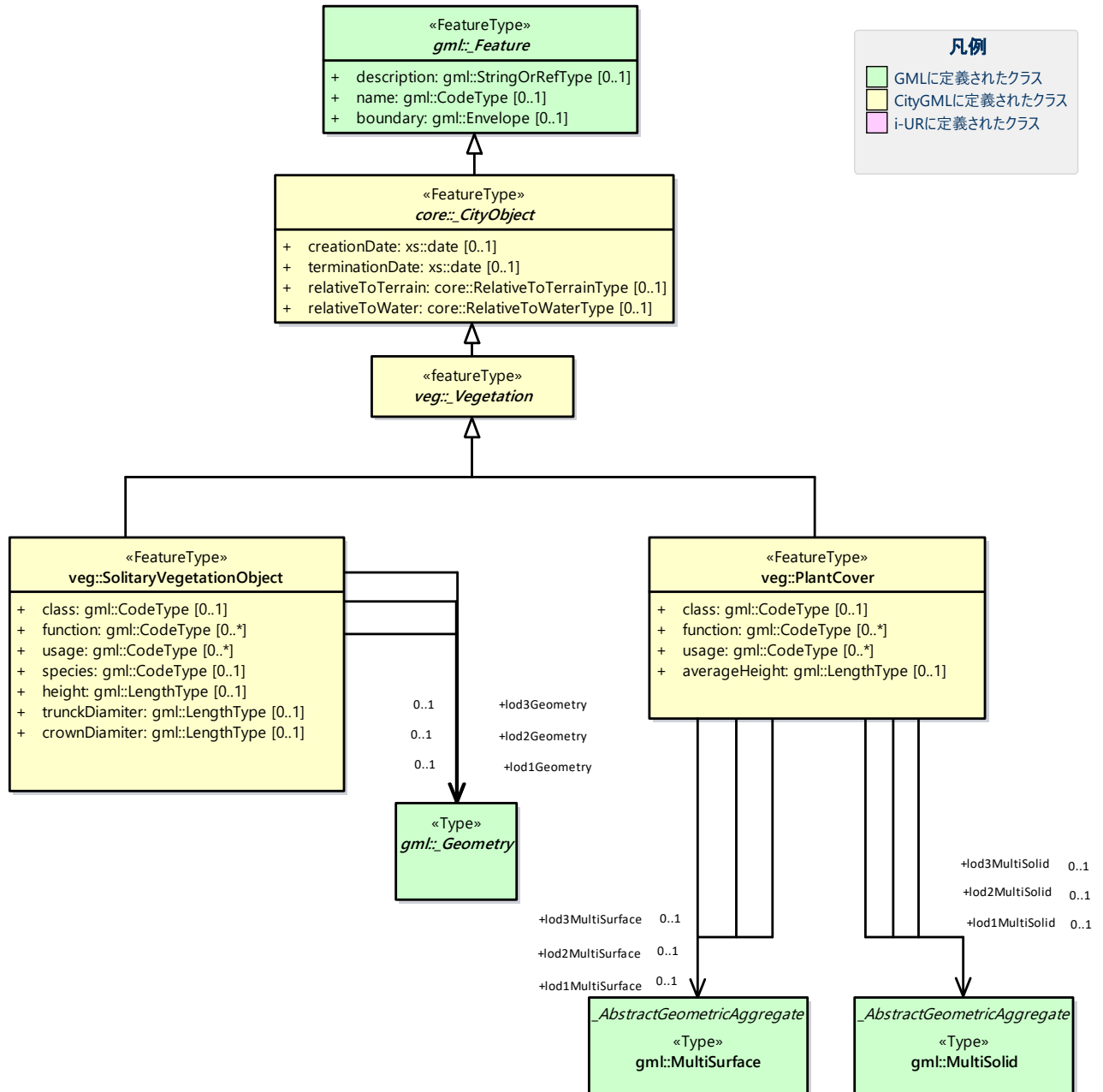
標準製品仕様では、道路面の表現に必要な地物型を抽出する。道路 (*tran::Road*) は、歩道や車道など、通行可能な領域 (*tran::TrafficArea*) と、これを補助する役割をもつ領域 (*tran::AuxiliaryTrafficArea*) の集まりとして構成できる。



4.2.11 Vegetation (CityGML)

Vegetation パッケージは、植生を表現する地物型を定義する。

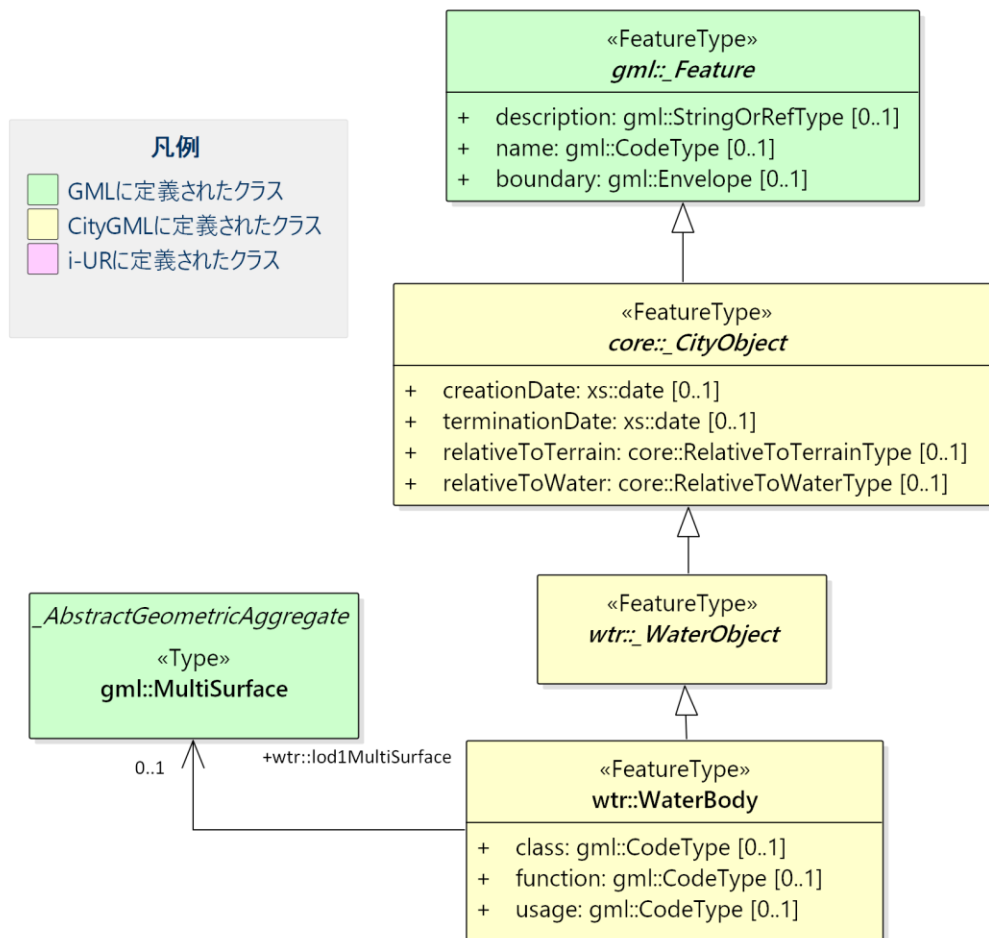
veg::SolitaryVegetationObject は、街路樹のように、単独の木として表現するための地物型である。*veg::PlantCover* は、森林や茂みのように、一本一本の木を表現せず、まとまりとして植生を表現するための地物型である。



4.2.12 WaterBody (CityGML)

WaterBody パッケージは水域を表現するための地物型を定義する。

*wtr::WaterBody*は、河川や海などを表現する地物型である。標準製品仕様では浸水想定区域図の浸水面を表現するために使用する。

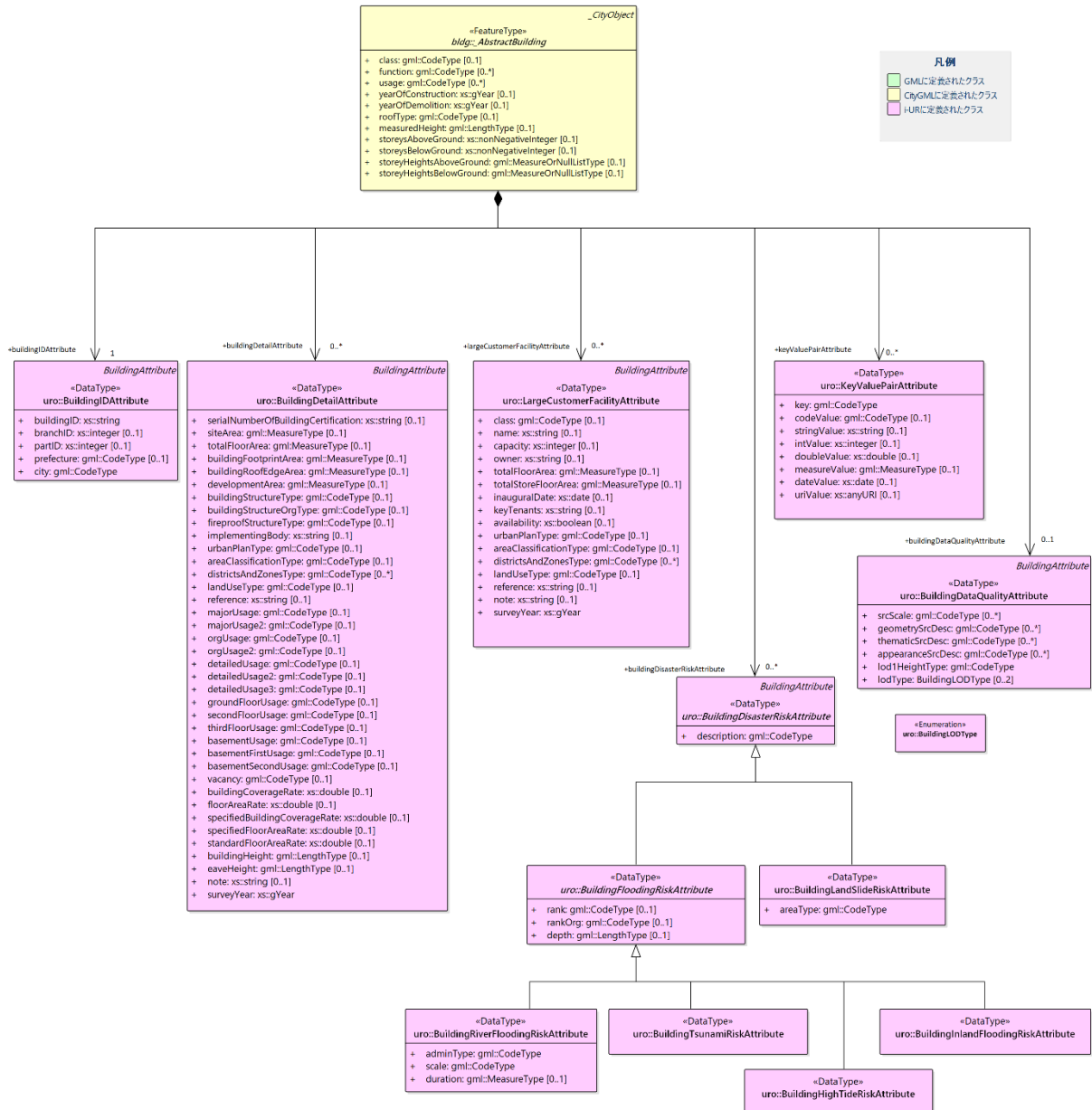


4.2.13 UrbanObject (i-UR)

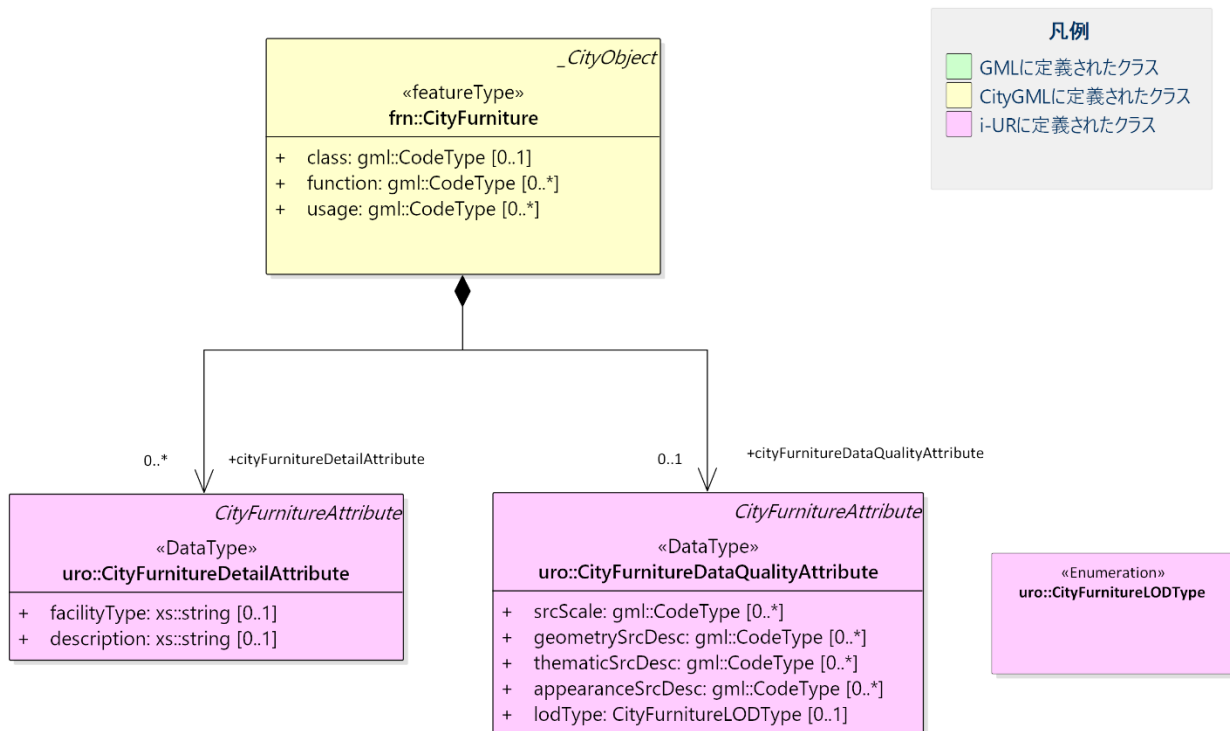
Urban Object パッケージは、CityGML に定義された地物型に 3D 都市モデルとして必要な属性を拡張したパッケージである。

標準製品仕様では、建築物 (*bldg::Building*)、都市設備 (*frn::CityFurniture*)、土地利用 (*luse::LandUse*)、道路 (*tran::Road*)、交通領域 (*tran::TrafficArea*)、植生 (*veg::SolitaryVegetationObject*、*veg::PlantCover*) 及び浸水想定区域 (*wtr::WaterBody*) に追加する属性を使用する。

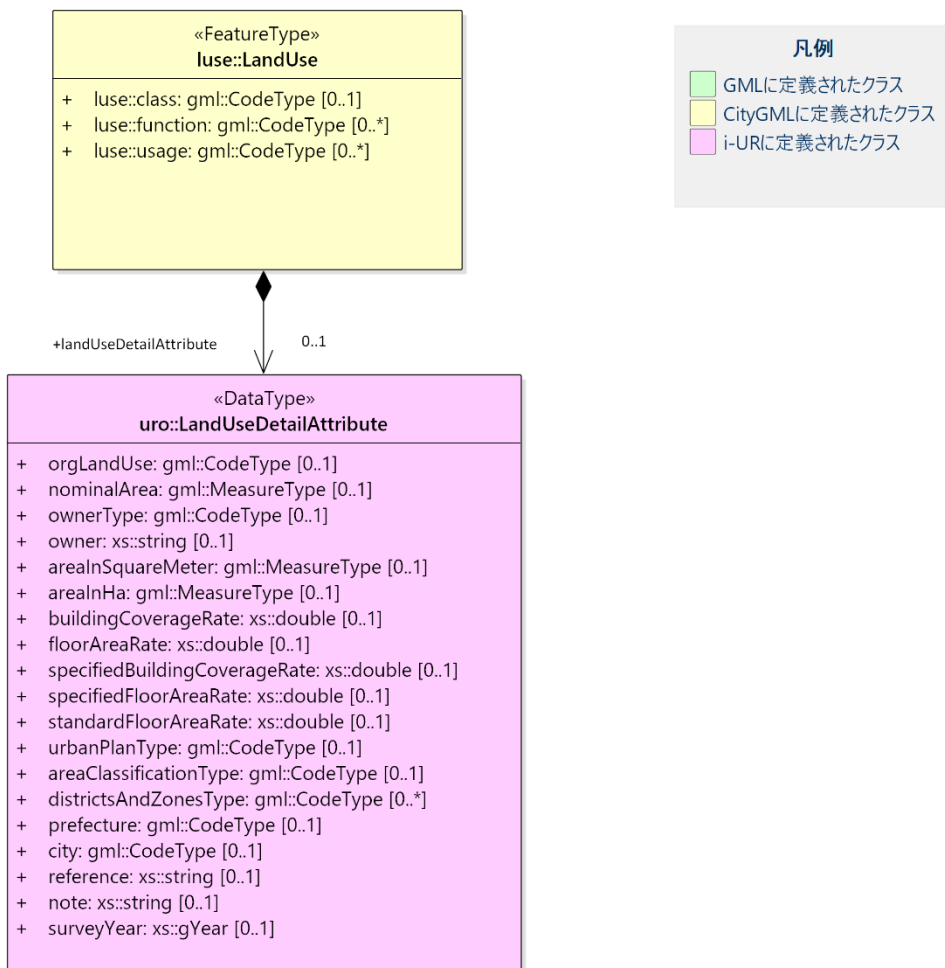
(1) 建築物のための拡張属性



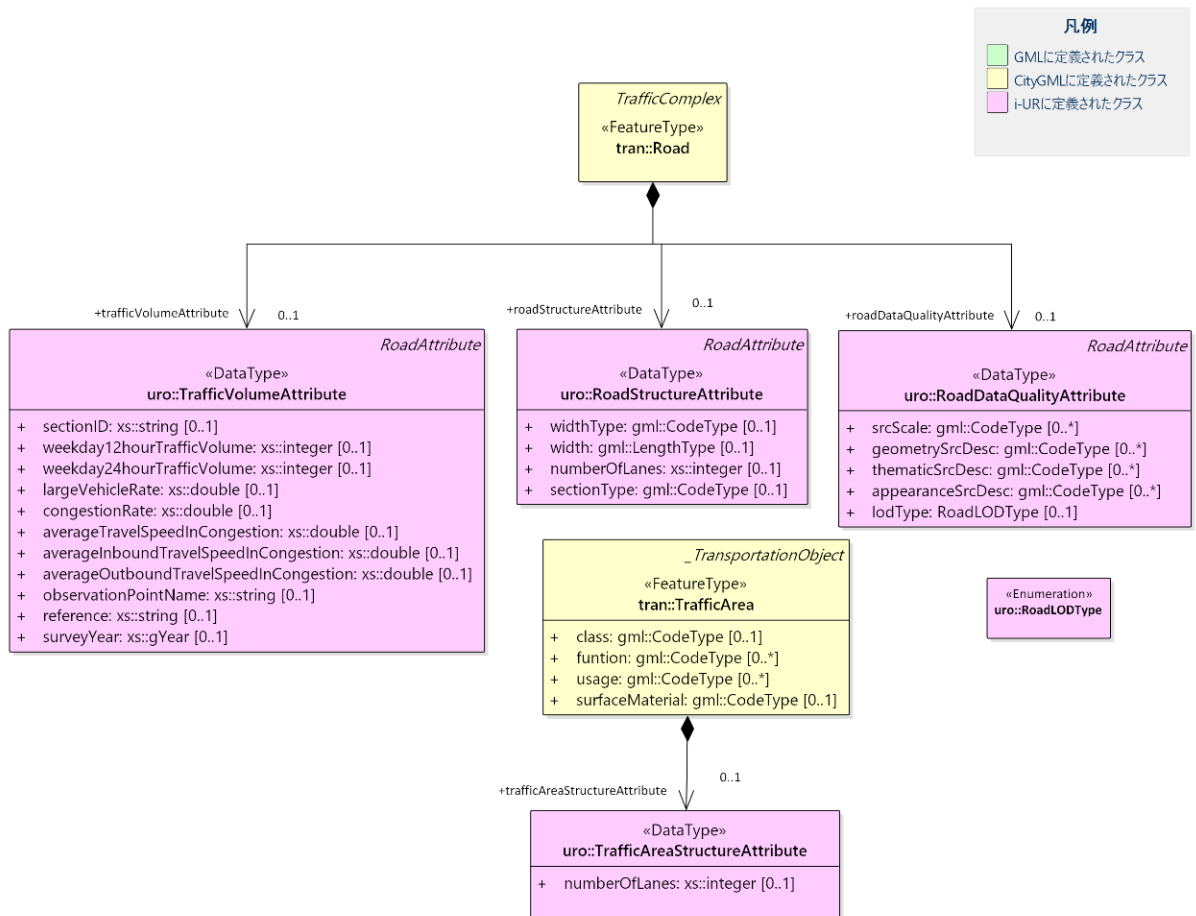
(2) 都市設備のための拡張属性



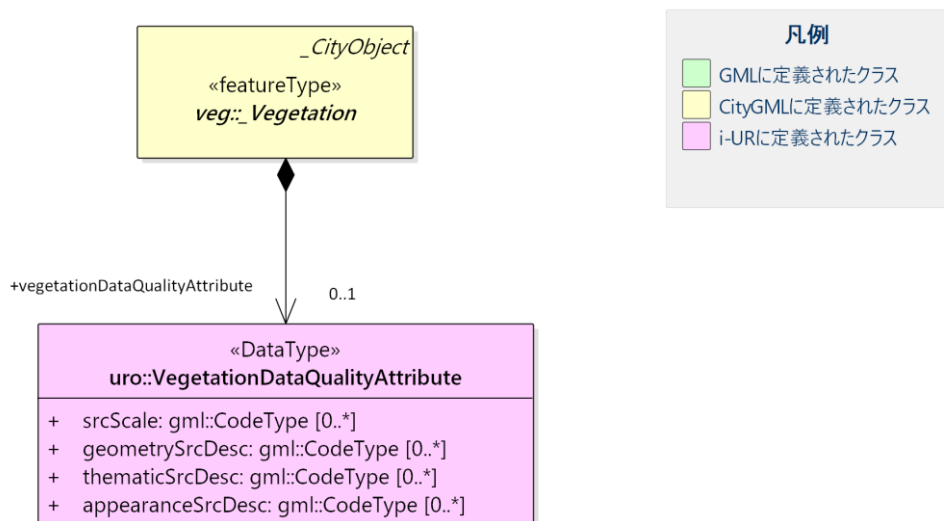
(3) 土地利用のための拡張属性



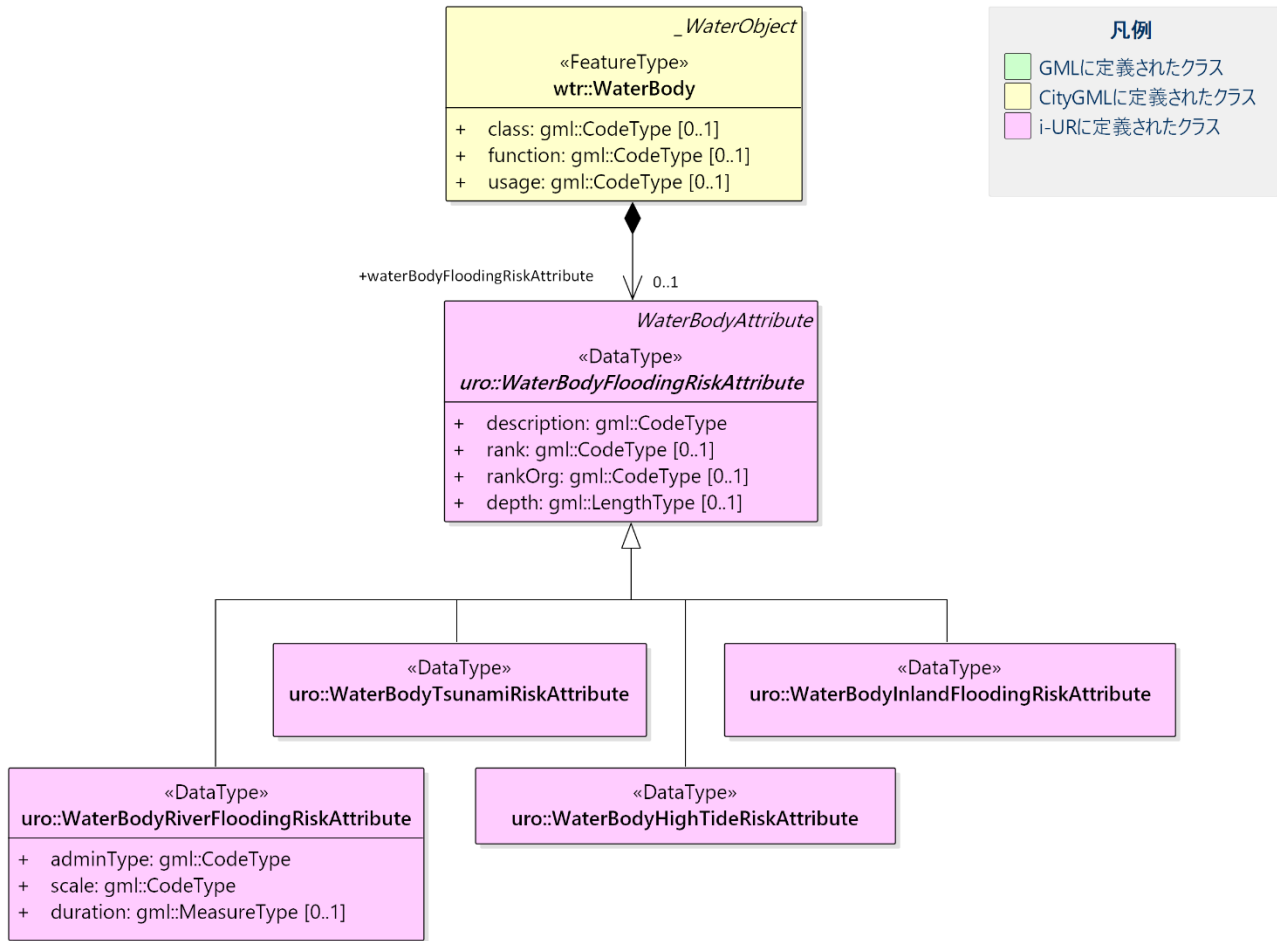
(4) 道路のための拡張属性



(5) 植生のための拡張属性



(6) 水部のための拡張属性



4.2.14 UrbanFunction (i-UR)

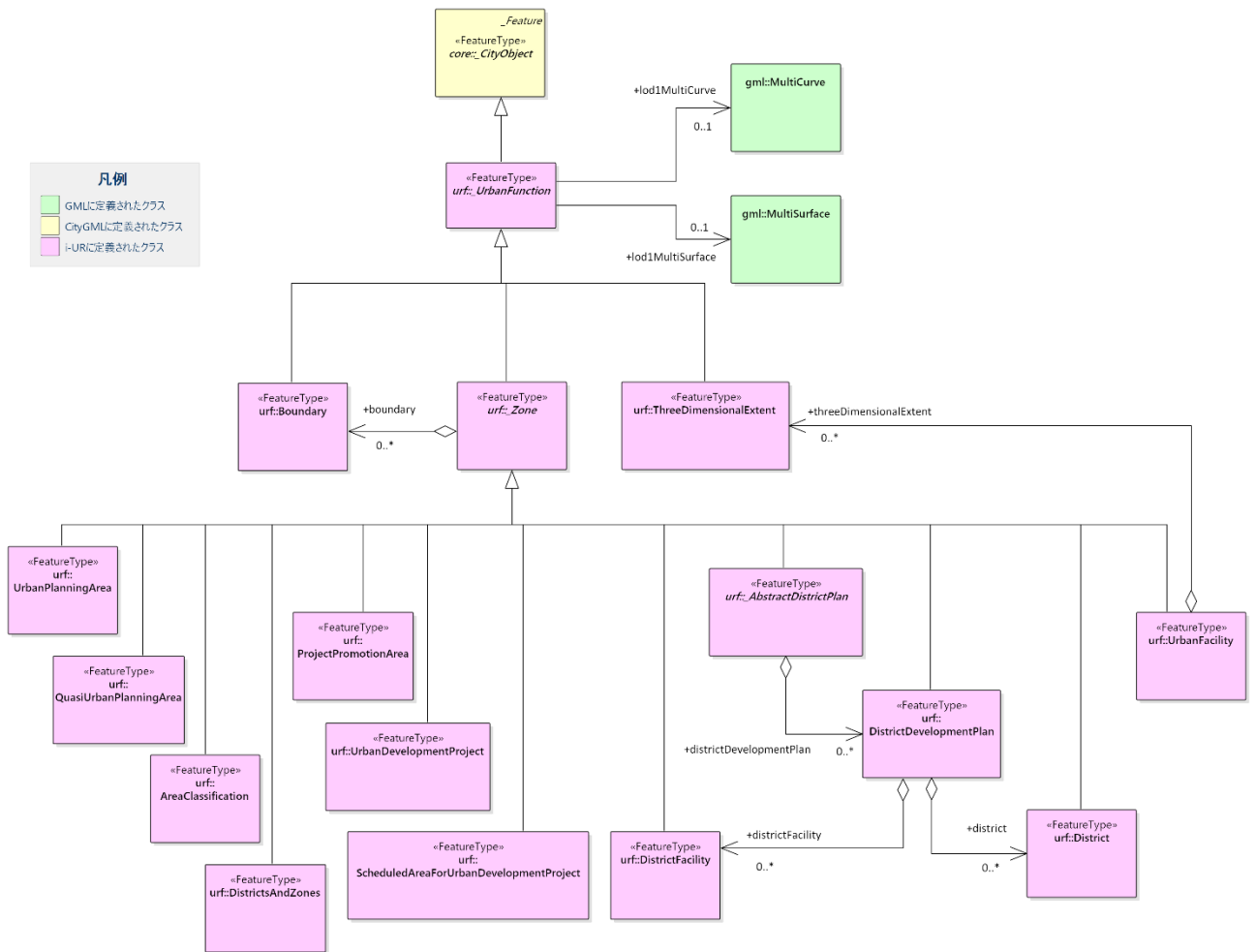
Urban Function パッケージは、CityGML には定義されていない概念的な地物型を定義するパッケージである。標準製品仕様書では、都市計画決定情報及び土砂災害警戒区域を記述するために使用する。

(1) 都市計画決定情報 概要

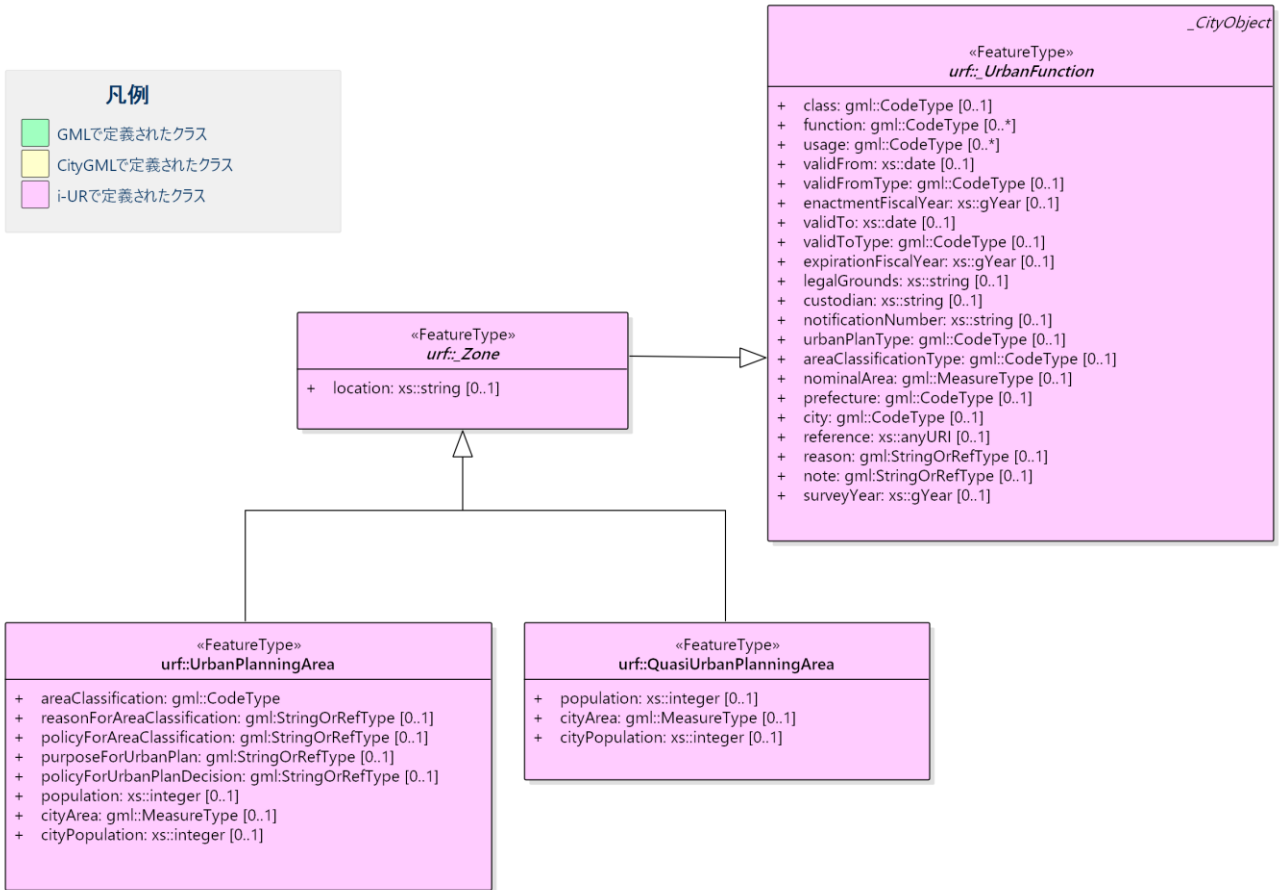
都市計画決定情報の全体を示す。

都市計画区域や地域地区のような、都市計画決定情報の各区域は、*urf::Zone* を継承し、定義される。

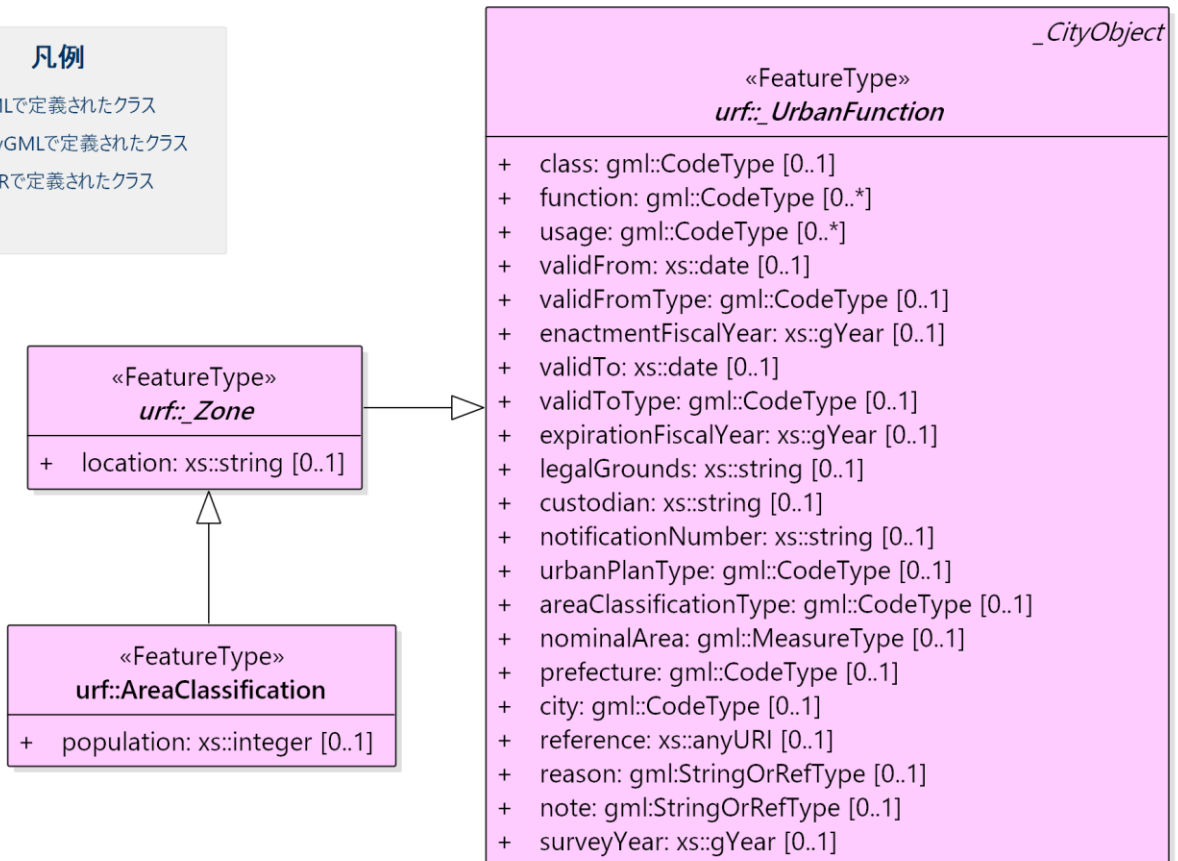
なお、下図は地物型の名称のみを示している。地物型に定義された属性等は、(2)から(19)0 に示す UML クラス図を参照すること。



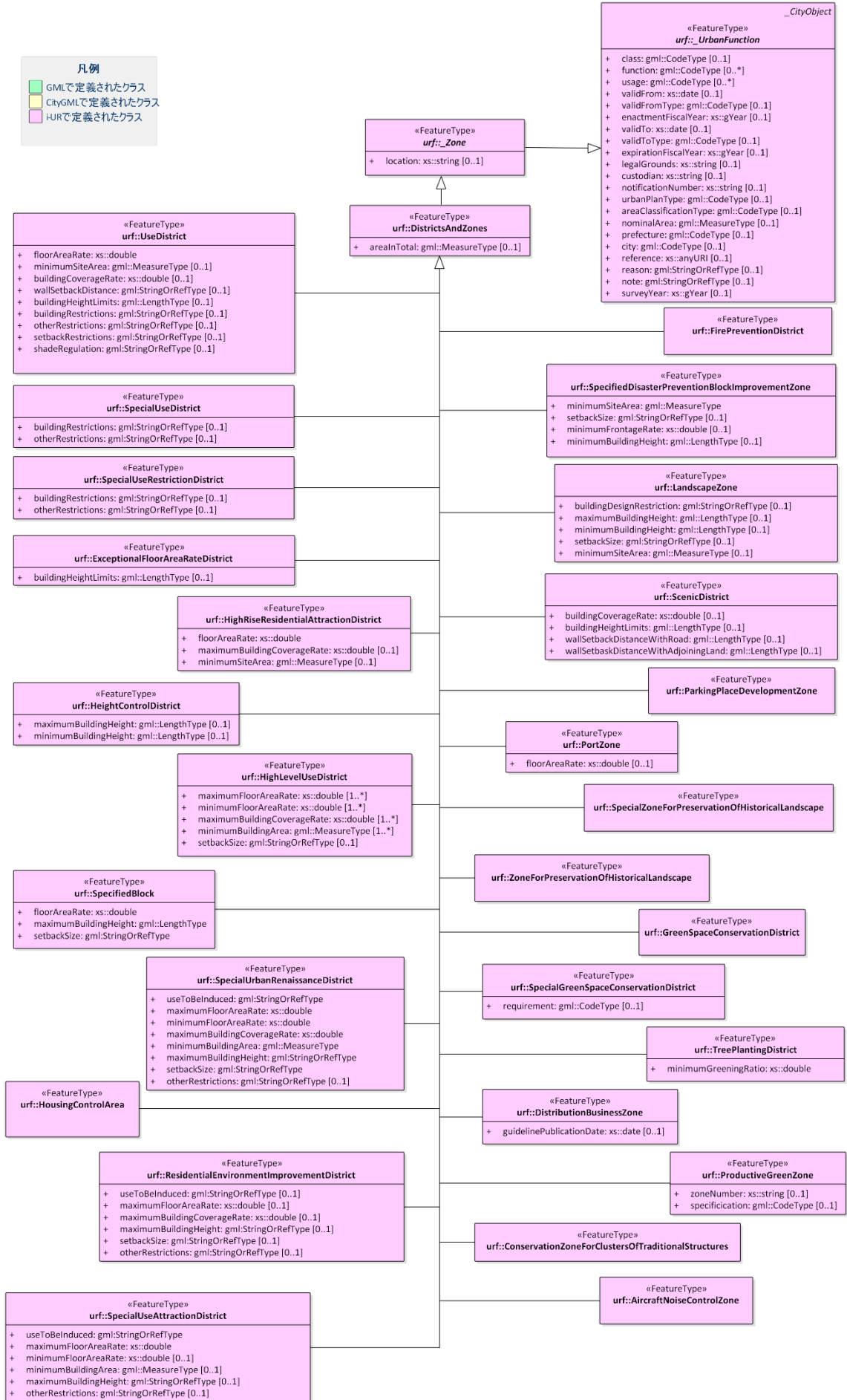
(2) 都市計画区域、準都市計画区域



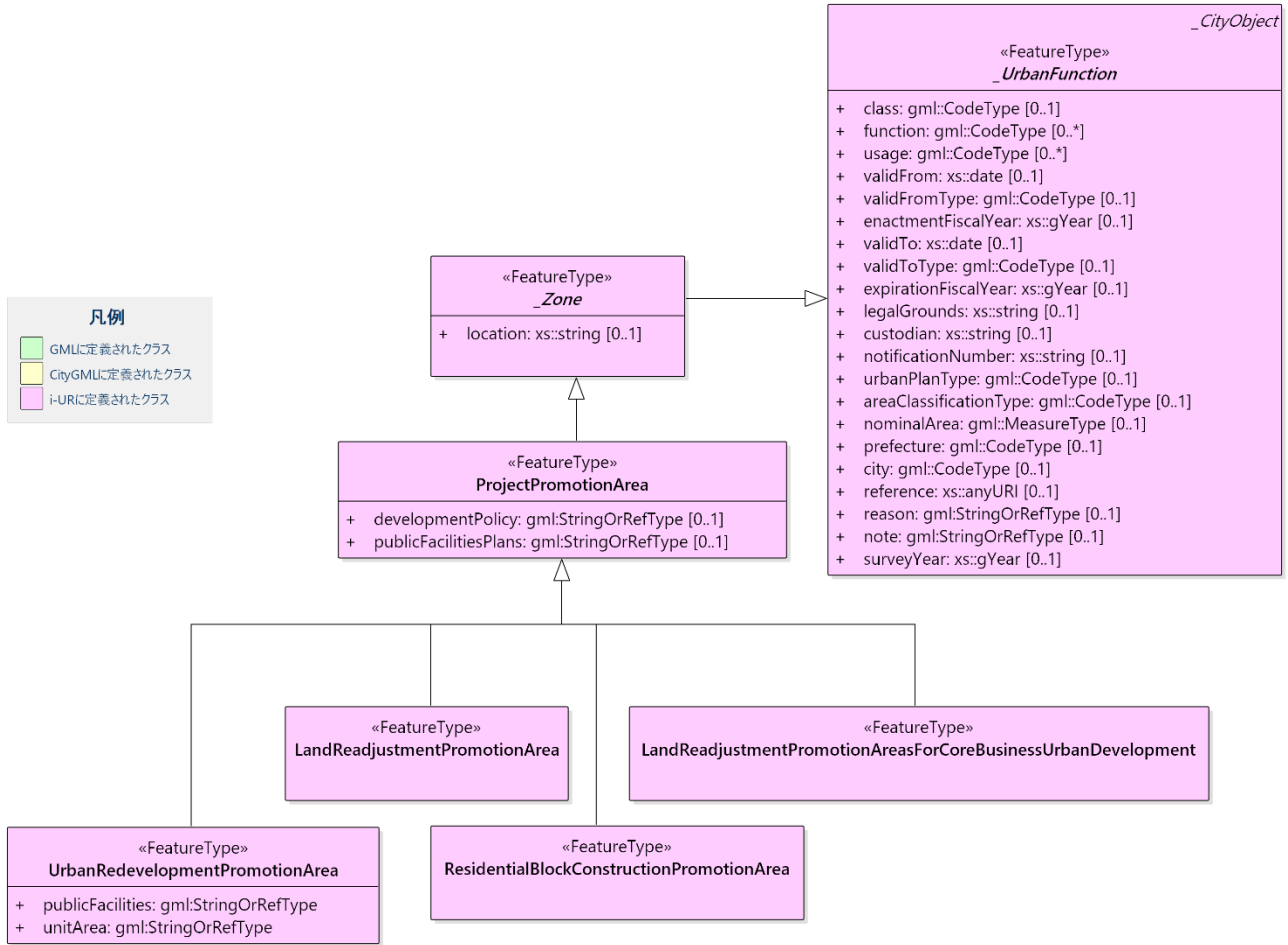
(3) 区域区分



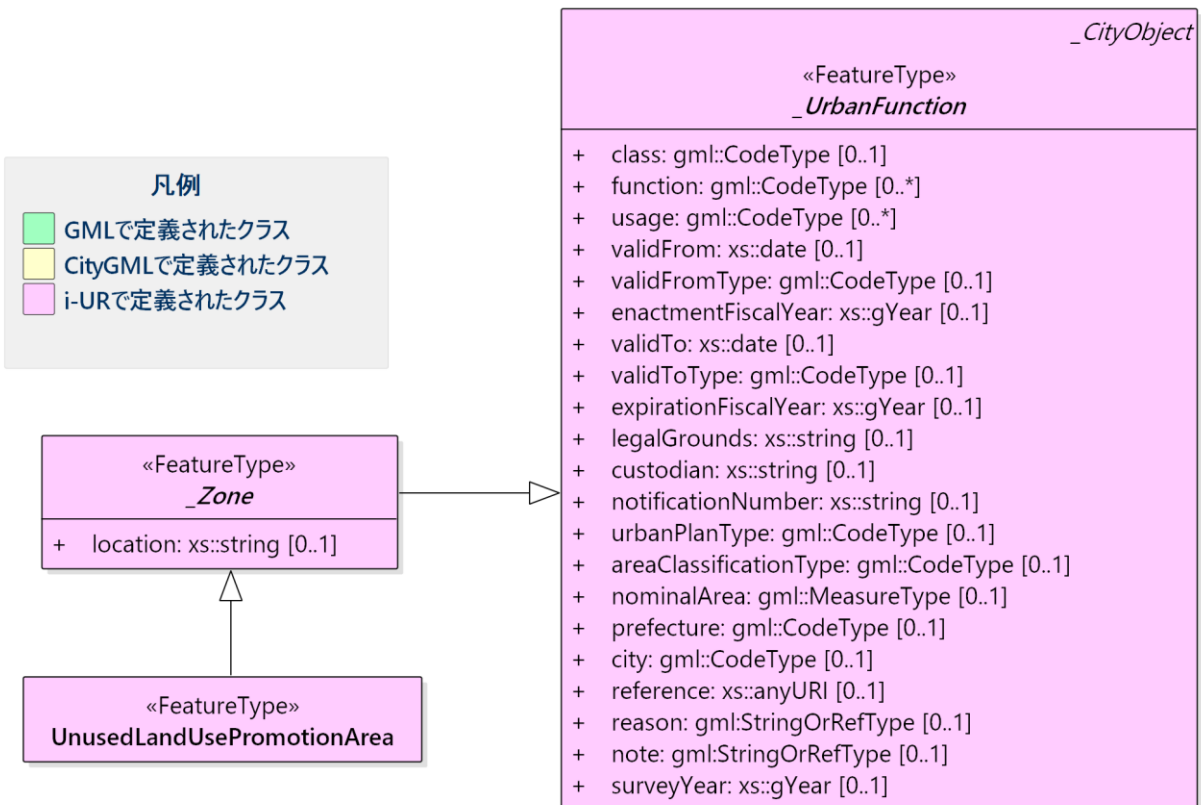
(4) 地域地区及び用途地区



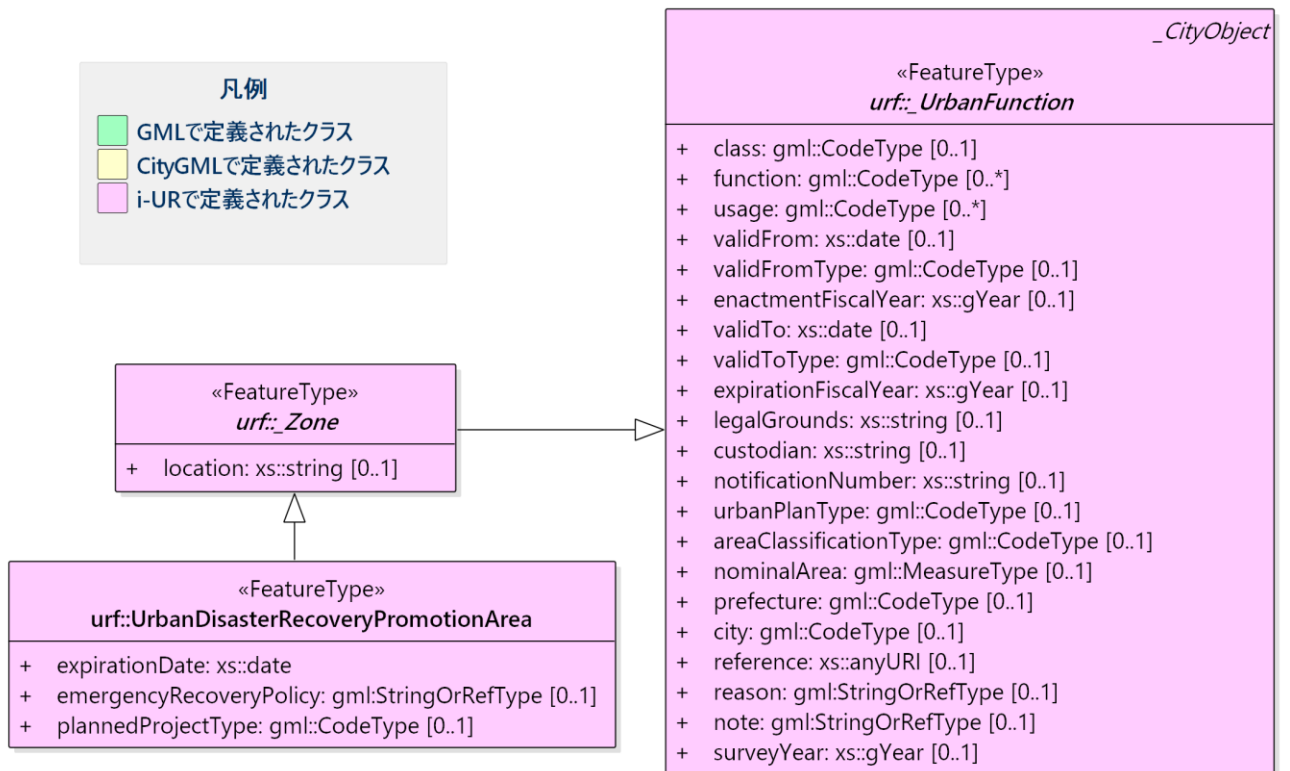
(5) 促進区域



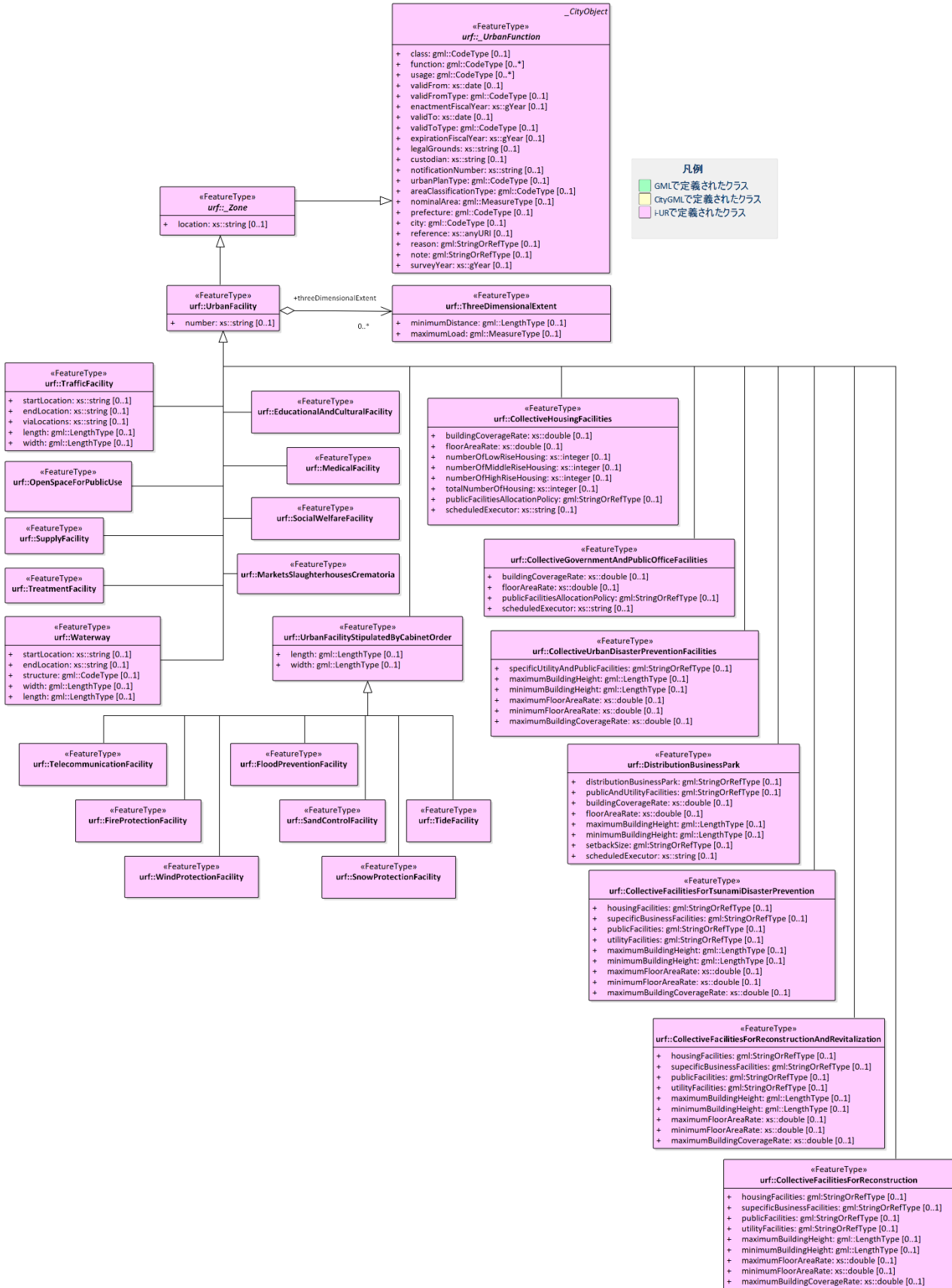
(6) 遊休土地転換利用促進地区



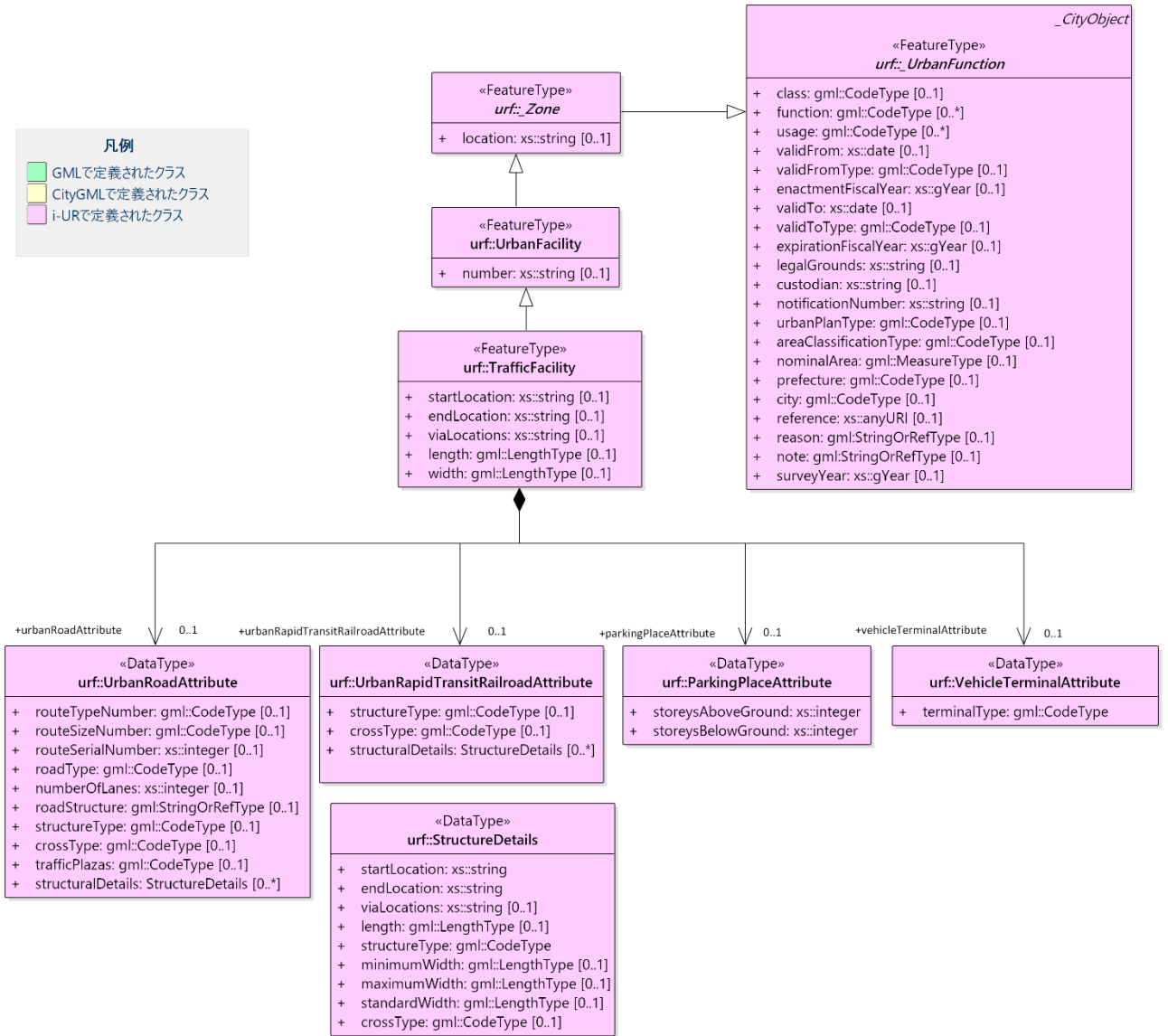
(7) 被災市街地復興推進地域



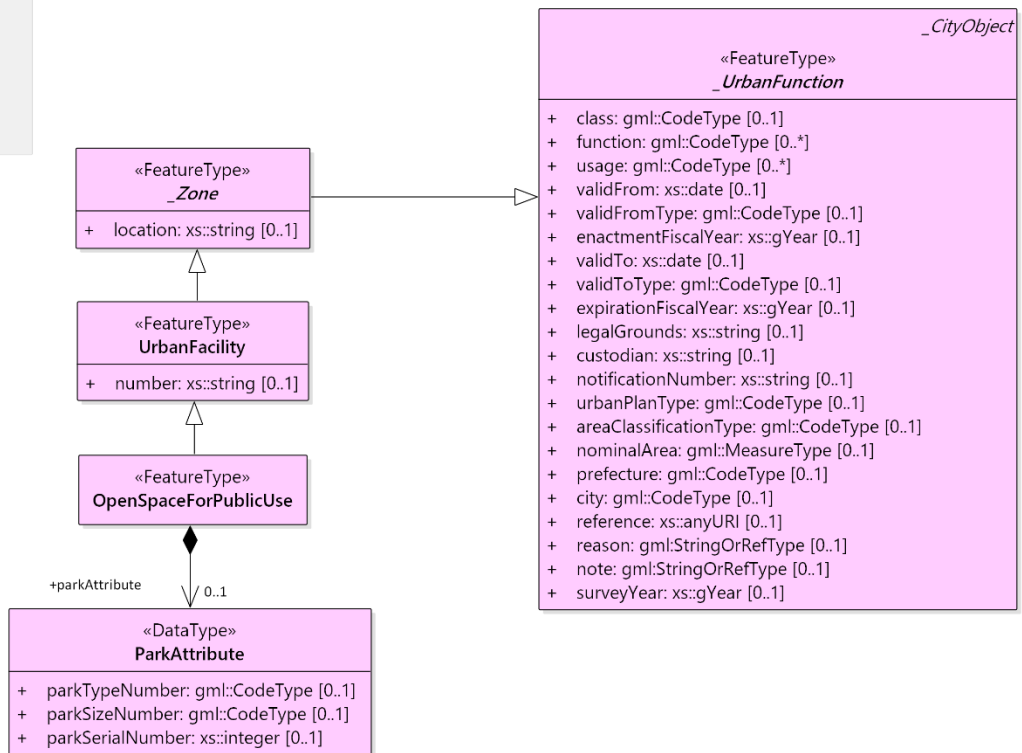
(8) 都市施設



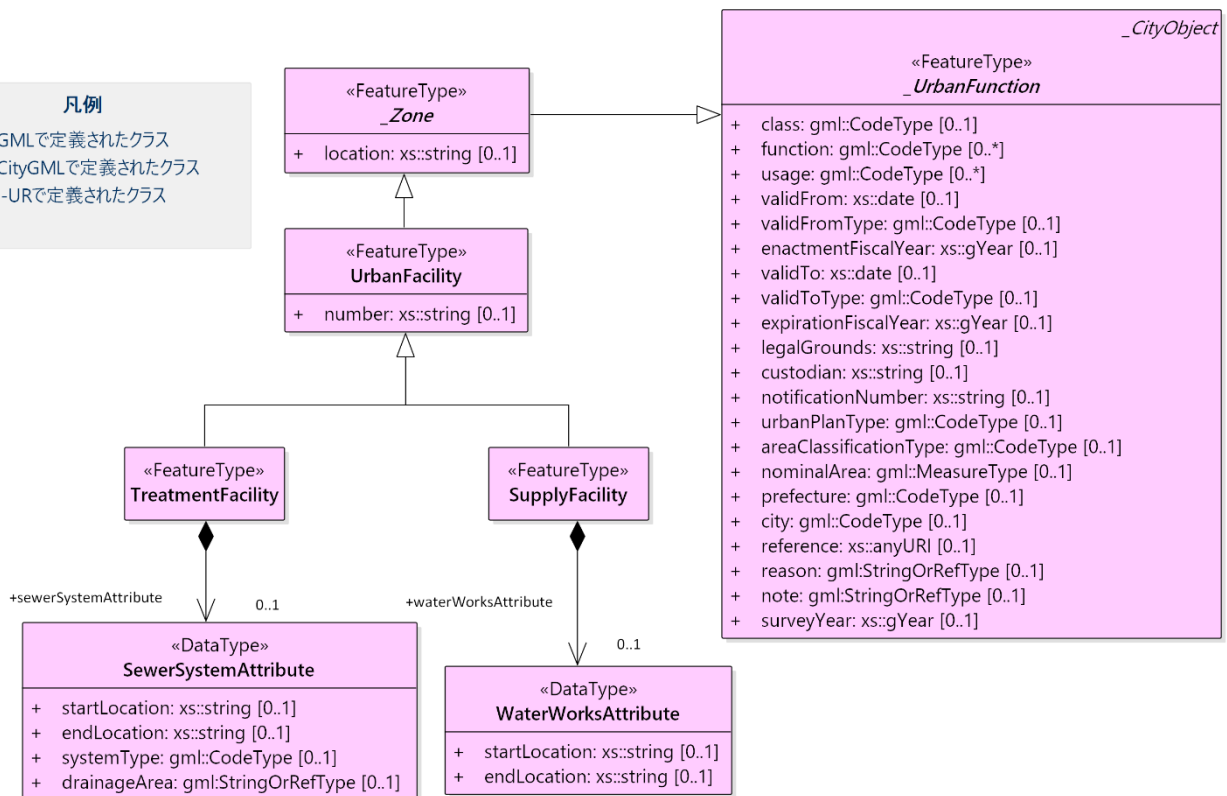
(9) 交通施設



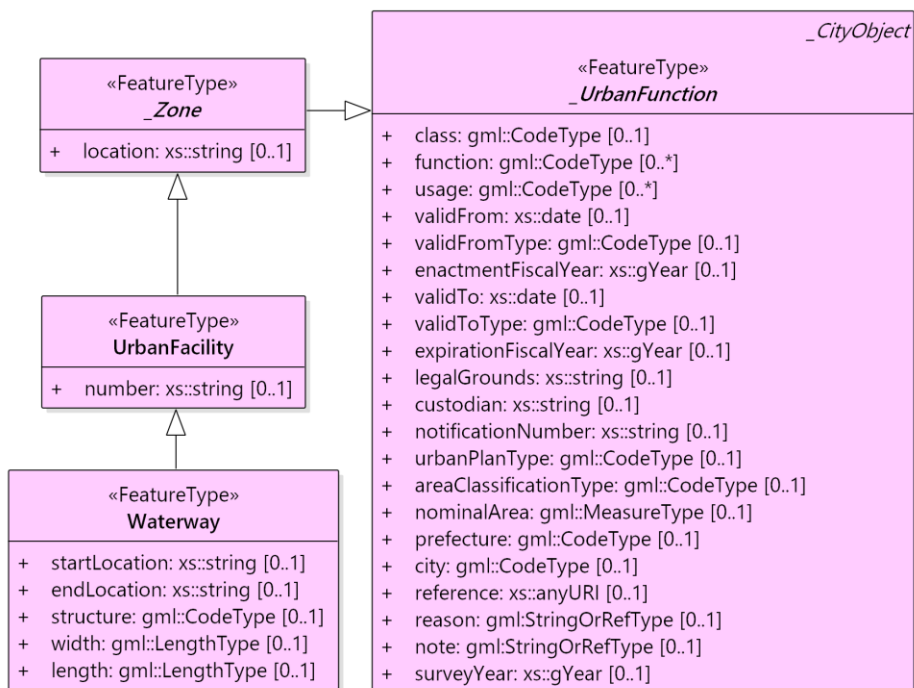
(10) 公共空地



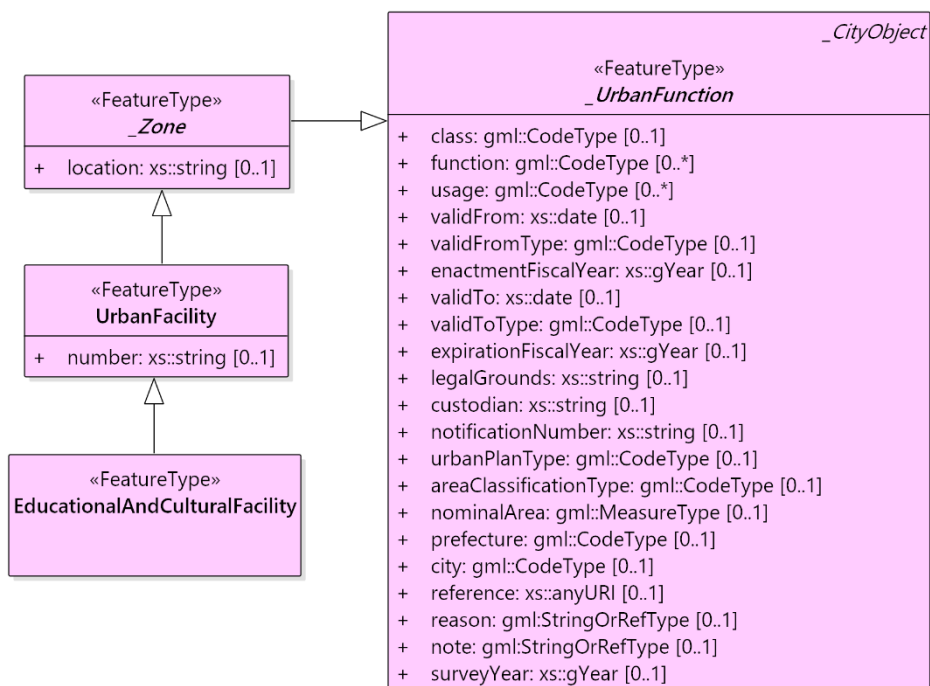
(11) 供給施設及び処理施設



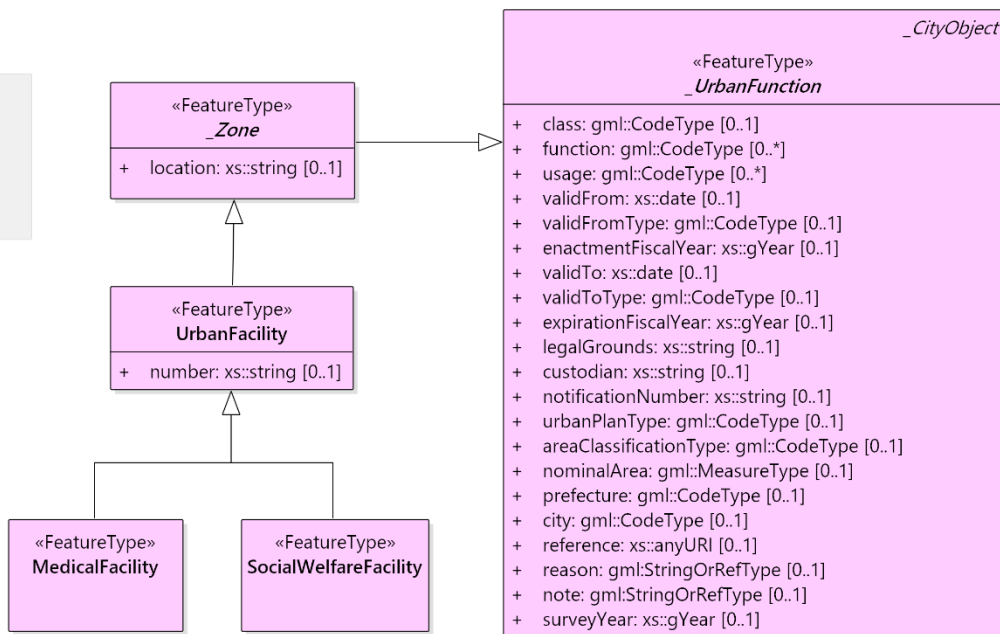
(12) 水路



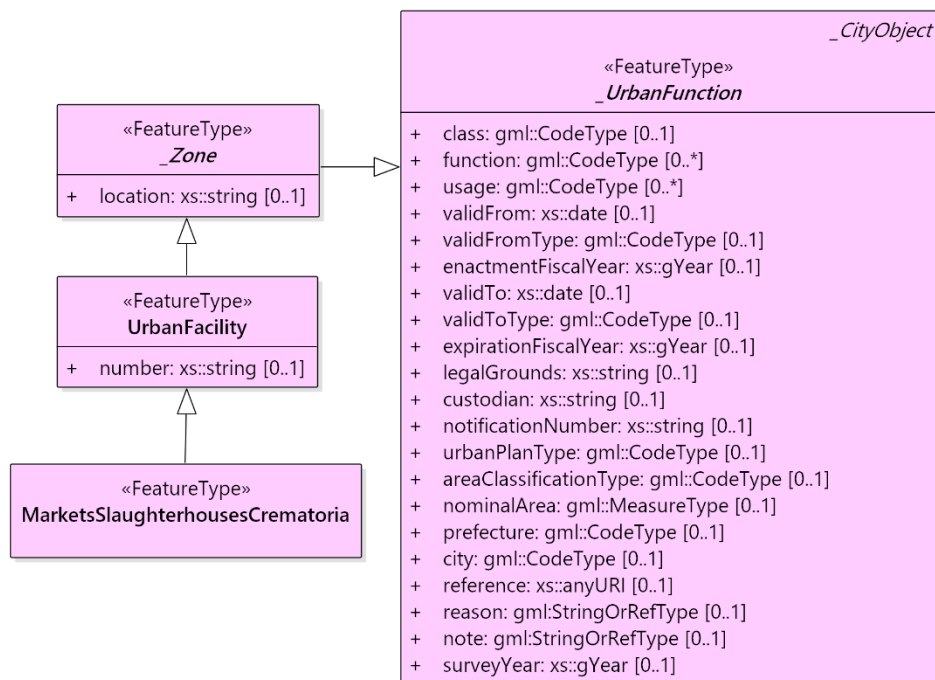
(13) 教育文化施設



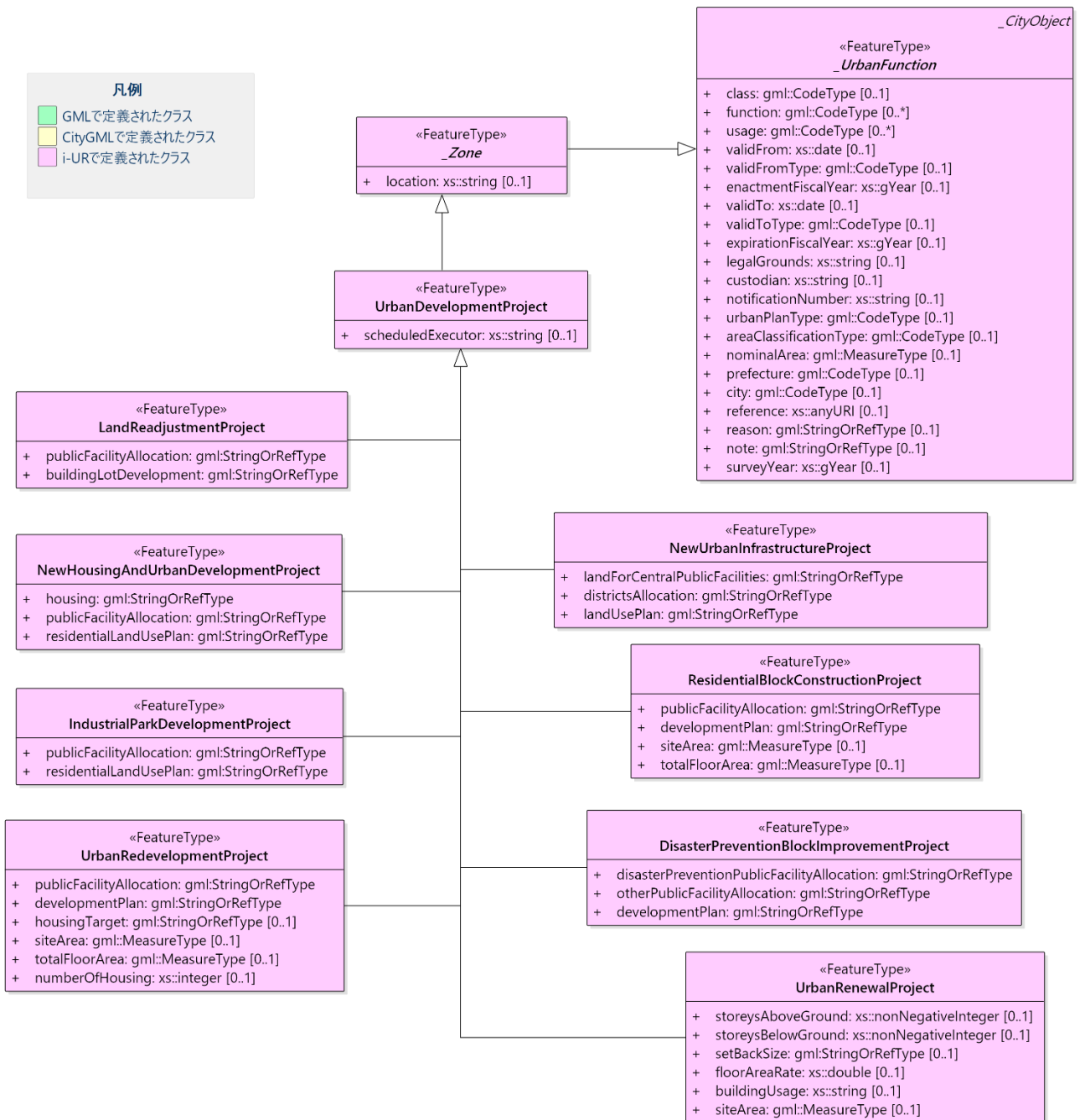
(14) 医療施設及び社会福祉施設



(15) 市場、と畜場、火葬場



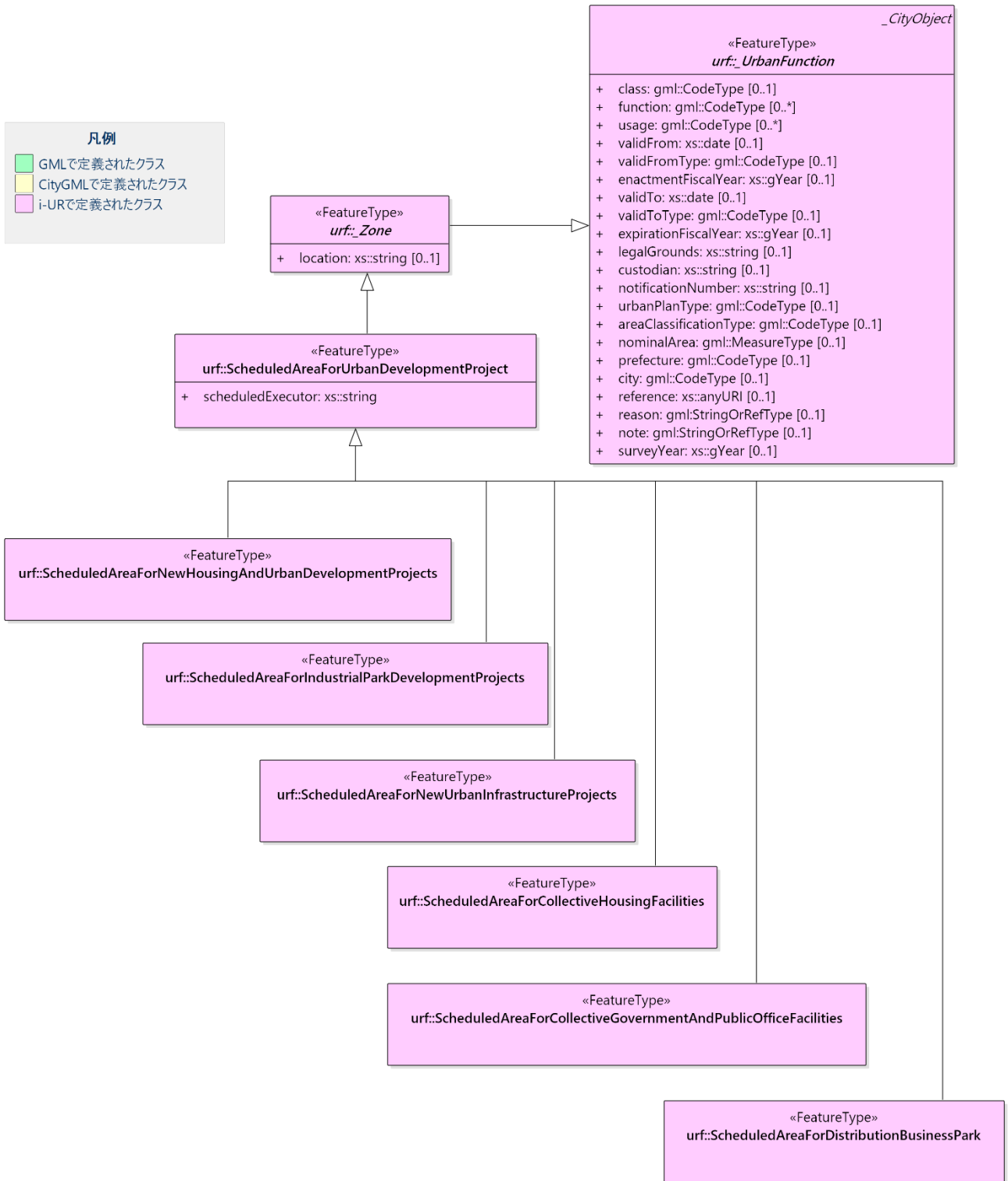
(16) 市街地開発事業



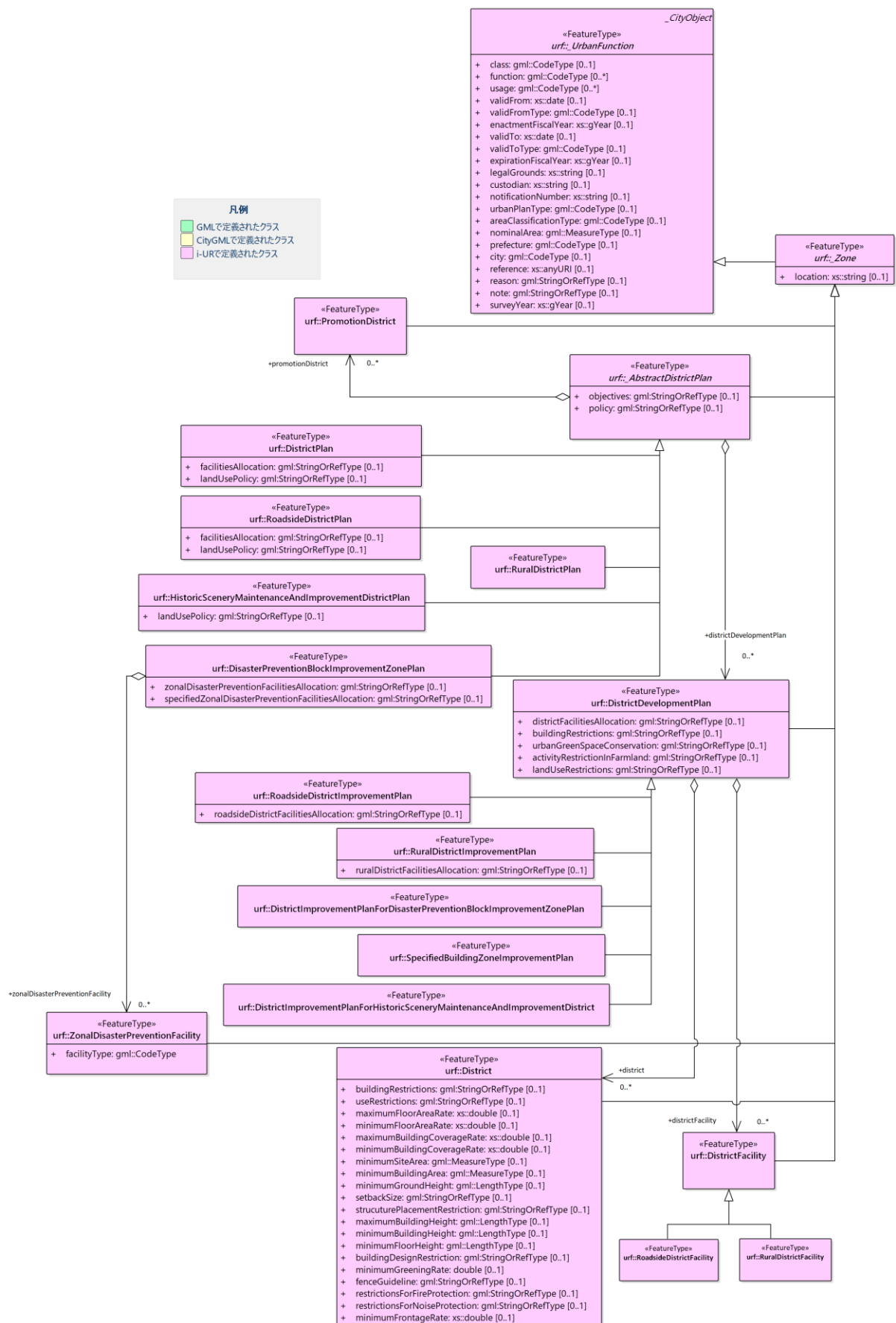
(17) 市街地開発事業等予定区域

凡例

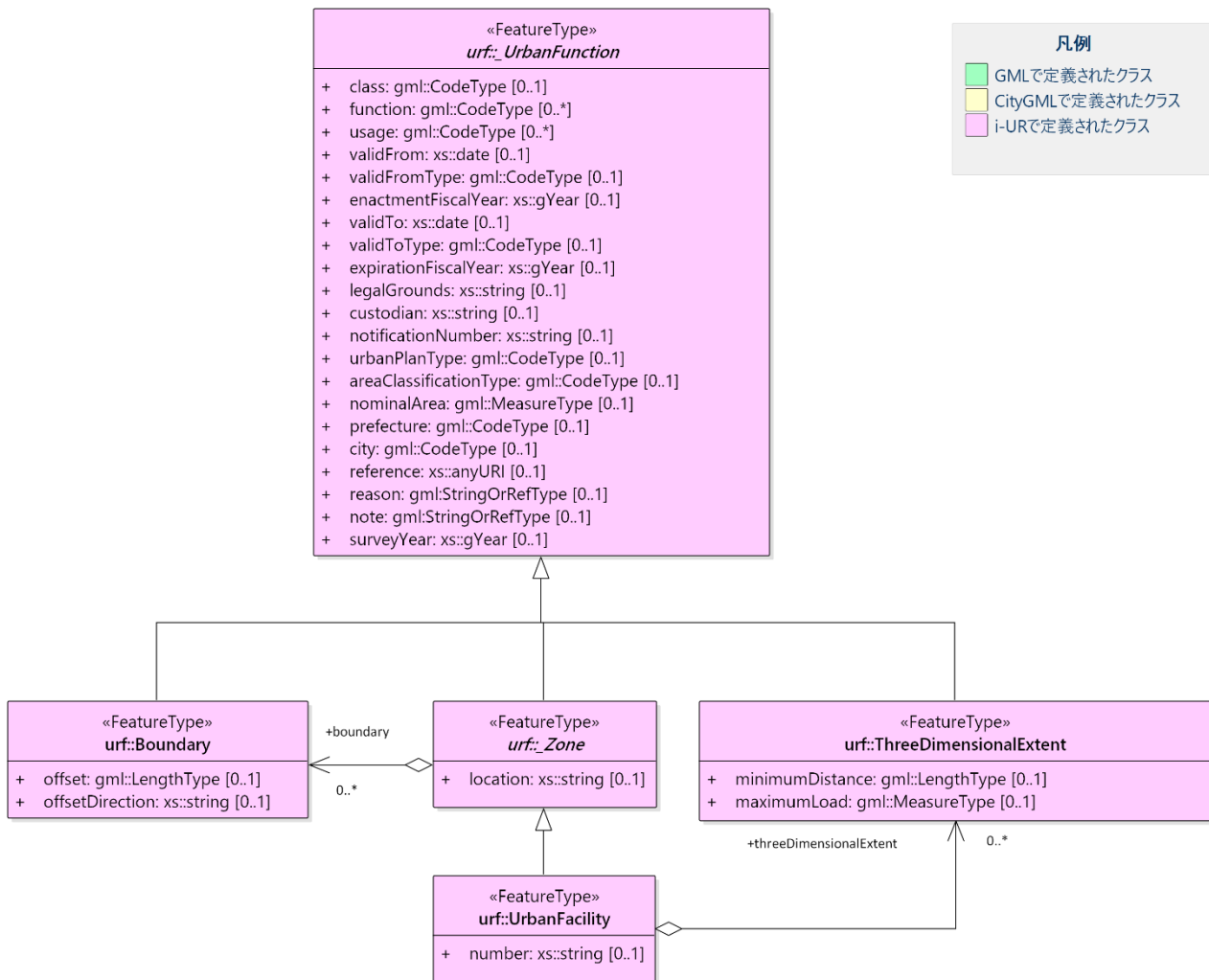
- GMLで定義されたクラス
- CityGMLで定義されたクラス
- i-URで定義されたクラス



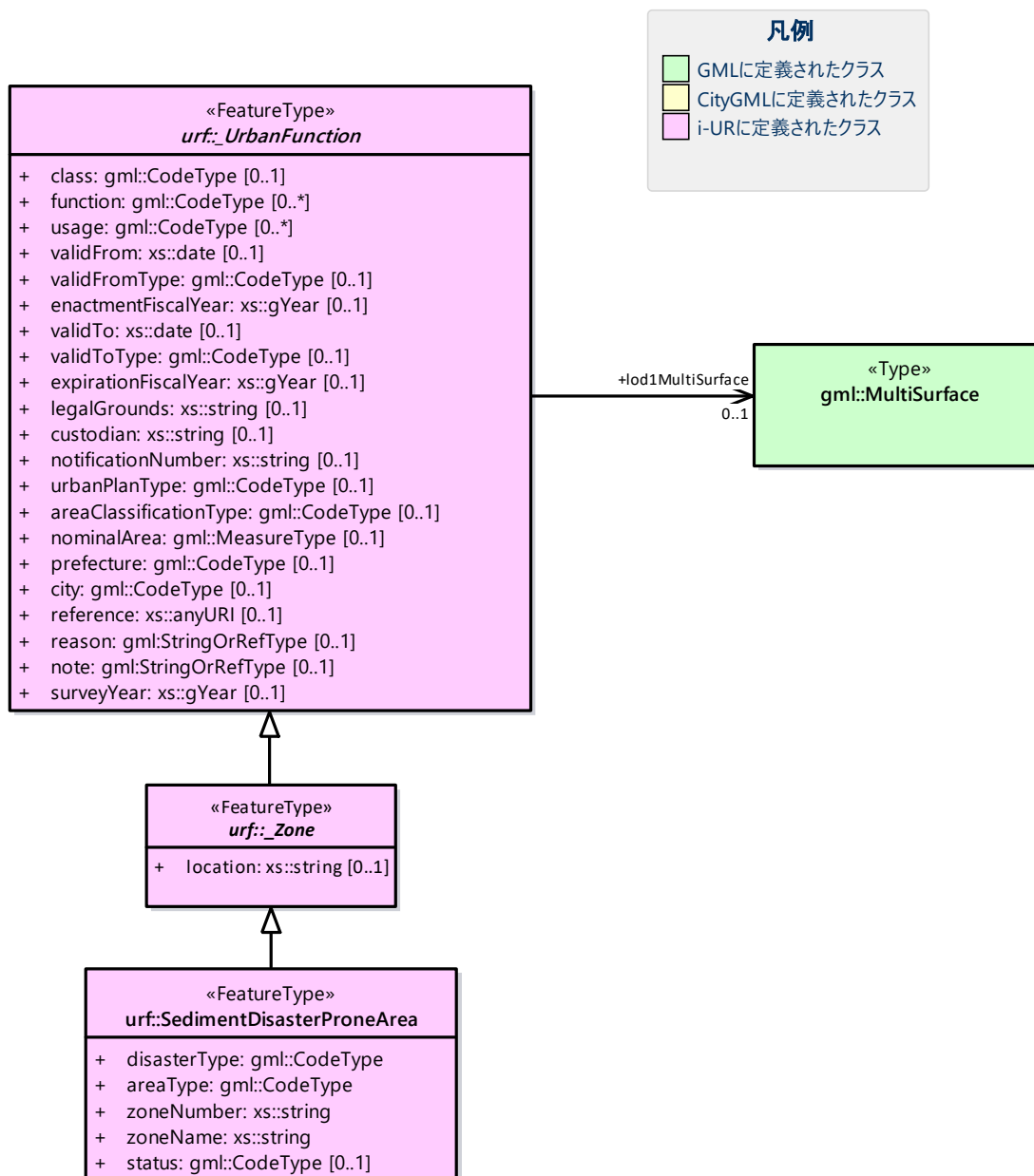
(18) 地区計画等



(19) 立体的な範囲、区域界



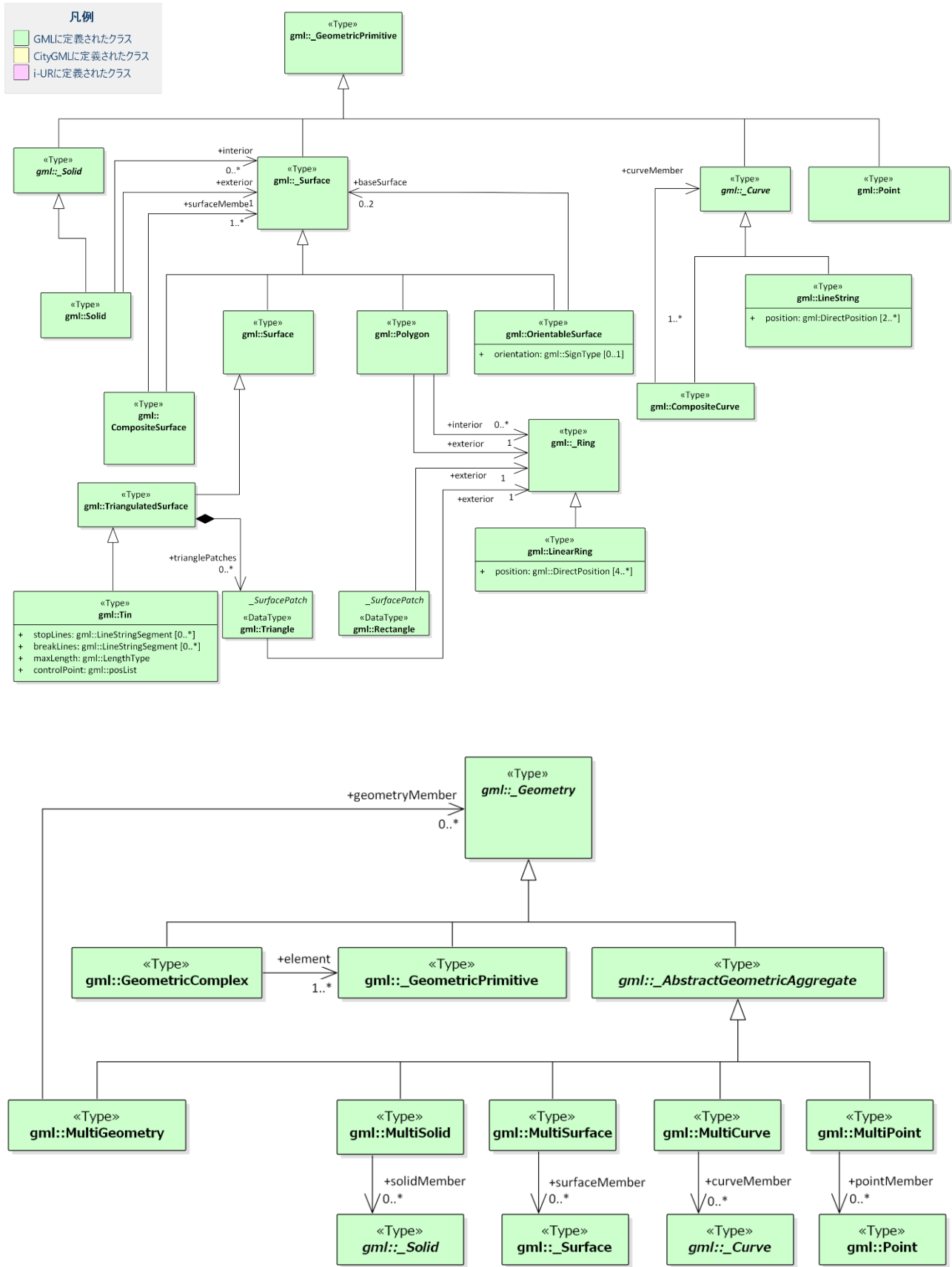
(20) 土砂災害警戒区域



4.2.15 空間スキーマプロファイル (GML)

空間スキーマプロファイルは、地物の空間属性 (位置や形状) の記述に使用する型 (幾何オブジェクト) を定義する。

応用スキーマに定義された各都市オブジェクトは、lod0 から lod3 までの幾何形状を記述するときに、幾何オブジェクトを使用する。これは、応用スキーマクラス図では、都市オブジェクトから幾何オブジェクトへの参照として記述される。



4.3 応用スキーマ文書

本節では、応用スキーマクラス図に示す各クラスの定義を示す。

まず 4.3.1 では、地物属性の型 (値の種類) として使用される基本的なデータ型の定義を示す。4.3.2 以降で示す、各地物定義において特段記載のない場合には、4.3.1 に示す定義及び定義域 (属性の値が取りうる範囲) を適用する。

4.3.2 から 4.3.15 では、標準製品仕様が引用する CityGML、i-UR 及び GML の各クラスの定義を示す。なお、地物定義では、具象型 (オブジェクトを作成できる型) のみを示す。抽象型 (オブジェクトを作成できない型) の定義は省略するが、抽象型から継承する属性や関連役割は、継承する属性又は継承する関連役割として示す。

また、4.3.16 では、標準製品仕様で使用するコードリスト及び列挙型の値を示す。

4.3.1 基本データ型

(1) 文字列型 (xs:string)

漢字、平仮名、カタカナ、数字、アルファベット、記号により構成される任意の文字列に使用する。

漢字、平仮名、カタカナは全角、数字、アルファベットは半角を基本とする。

ただし、原典資料において半角のカタカナ、全角の数字・アルファベットが使用されており、これとの一致が必要となる場合には、この限りではない。

(2) コード型 (gml:CodeType)

語句、キーワードまたは名前に使用する。

gml:CodeType は、*codeSpace* 属性をもつことができる。*codeSpace* 属性は、コードが定義されるコードリストを指定するための属性である。*codeSpace* 属性には、コードリストへの参照が記述される。

codeSpace 属性にコードリストへの参照が記述されている場合には、取りうる値は、参照するコードリストに定義されたコードのいずれかに一致しなければならない。*codeSpace* 属性が記述されていない場合、文字列型として扱われる。

(3) 真偽値 (xs:boolean)

true または false のいずれの値をとる。

(4) 日付型 (xs:date)

JIS X0301 により定義された暦日付により、拡張形式による完全表記 (YYYY-MM-DD) を用いて記述する。

ここで、YYYY は暦年、MM は暦月、DD は暦日を示す。暦年は 4 桁、暦月は 2 桁、暦日は 2 桁の半角数字で記述する (1 桁日や 1 桁月は、01、02 のように 0 を付ける。)

年が分かるが月日が分からない場合は、YYYY-01-01 とする。また、年月が分かるが日が分からない場合は、YYYY-MM-01 とする。

(5) グレゴリオ年型 (xs:gYear)

グレゴリオ暦による年を 4 桁の半角数字で記述する。不明な場合は 0001 とする。

(6) 整数型 (xs:integer)、非負整数型 (xs:nonNegativeInteger)

整数の値を記述する。非負整数型の場合は、正の整数のみを可とする。

(7) 実数型 (xs:double)

計測により新規に取得する場合には、小数点1桁とする(小数点2桁目を四捨五入)。原典資料から取得する場合には、原典資料の記載に一致させる。

(8) 単位付き計測値型 (gml:MeasureType, gml:LengthType)

*uom*属性を用いて、数値の単位を記載する。

原則として、長さの単位は m、面積の単位は m²、時間の単位は hour (時間) とする。

計測により新規に取得する場合には、小数点1桁とする(小数点2桁目を四捨五入)。ただし、原典資料において小数点2桁目以降の記載があり、これとの一致が必要となる場合には、この限りではない。

(9) 単位付き数値又は Null 値リスト型 (gml:MeasureOrNullListType)

単位付き数値、または Null 値のいずれかのリストにより値を構成する。

*uom*属性を用いて、数値の単位を記載すること。使用する単位は(8)と同じとする。

Null 値をとる場合は、以下の定義域より選択する。

Null 値の定義域	説明
inapplicable	データ無
missing	欠測
template	追って提供
unknown	不明
withheld	保留

(10) 識別子型 (xs:anyURI)

任意の URI (Universal Resource Identifier)。https による指定を原則とする。

(11) エンベロープ型 (gml:Envelope)

任意の次元で対向する角となる一対の位置 (最小となる座標値と最大となる座標値) を用いて、矩形により範囲を定義する型。

*srsName*属性と *srsDimension*属性をもつことができる。*srsName*属性は、座標に使用される空間参照系を指定する。また、*srsDimension*属性は、座標の次元数を指定する。

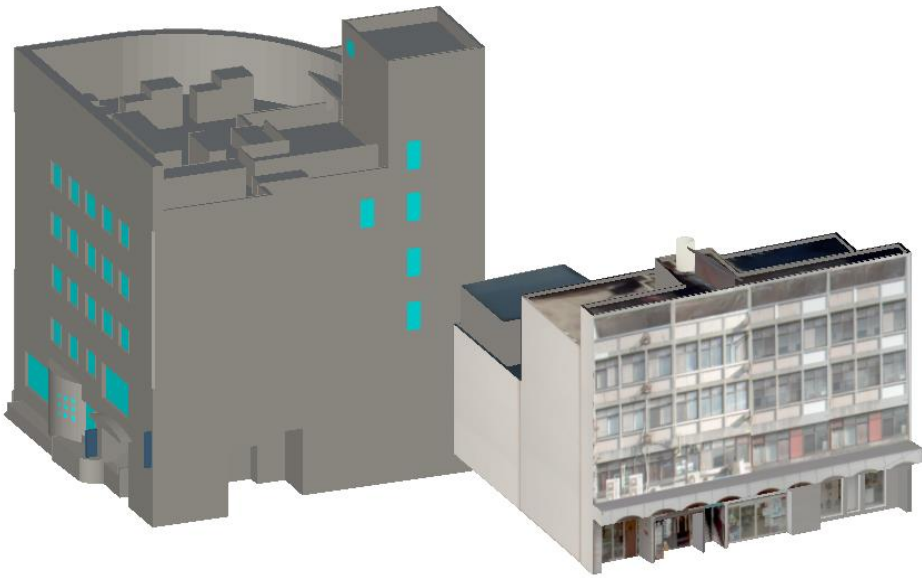
4.3.2 Core (CityGML)

(1) core:CityModel

クラスの定義	3次元都市モデルのための地物集合。全ての都市オブジェクト及びその幾何形状等はこの地物型の中に含める。	
上位の型	gml:_FeatureCollection	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	3D都市モデルの概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	3D都市モデルを識別する名前。
gml:boundedBy	gml:Envelope [0..1]	3D都市モデルが含まれる空間範囲、3D都市モデルに適用される空間参照系及び3D都市モデルの次元数を記述する。 必須とする。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
core:cityObjectMember	core:_CityObject [0..*]	都市モデルに含まれる都市オブジェクト。

4.3.3 Appearance (CityGML)

(1) app:Appearance

クラスの定義	<p>地物の外観。 地物の幾何オブジェクトとなる面に色又はテクスチャを指定する。</p>  <p style="text-align: center;">図 Appearance を使用して bldg:Building の外観を設定した例 (左：色の指定 右：テクスチャの指定)</p>	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	外観の説明。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	外観を識別する名前。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	外観の空間範囲。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
app:theme	xs:string [0..1]	主題。固定値とし、「rgbTexture」とする。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
app:surfaceDataMember	app:_SurfaceData [0..*]	使用するテクスチャとパラメータ、又は色とパラメータへの参照

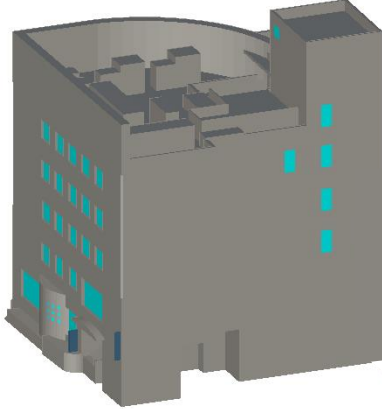
(2) app:ParameterizedTexture

クラスの定義	地物インスタンスに貼り付ける画像と貼り付け方をパラメータにより指定するための型。	
		
	図 bldg:Building の外観としてテクスチャを指定した例	
上位の型	app:_Texture	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	テクスチャの説明。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	テクスチャを識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	テクスチャの空間範囲。
app:isFront	xs:boolean [0..1]	テクスチャを貼る面の指定。
自身に定義された属性		
app:imageURI	xs:anyURI [0..1]	テクスチャの画像への参照 URI。
app:mimeType	gml:CodeType [0..1]	テクスチャの画像フォーマット。コードリスト (Appearance_mimeType.xml) より選択する。 画像フォーマットは、PNG 又は JPEG とする。
app:textureType	app:TextureTypeType [0..1]	テクスチャの種類。
app:wrapMode	app:WrapModeType [0..1]	テクスチャの貼り付け方。 border を選択した場合は、borderColor も指定すること。
app:borderColor	app:ColorPlusOpacity [0..1]	テクスチャの端の色表現の指定。RGB に加え、不透過率を 0 から 1 までの実数値で指定する。不透過率が 0 の時に透明となる。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
app:target	app:_TextureParameterization [0..*]	テクスチャの貼り付けに使用する幾何への参照。 app:TexCoordList を使用する。

(3) app:TexCoordList

クラスの定義	テクスチャの座標とテクスチャを貼り付ける幾何オブジェクトへの参照の対。	
上位の型	app:_TextureParameterization	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
app:textureCoordinates	gml:doubleList [1..*]	テクスチャの座標。
app:ring	xs:anyURI [1..*]	幾何オブジェクトへの参照。参照する幾何オブジェクトは、gml:LinearRing とする。

(4) app:X3DMaterial

クラスの定義	地物インスタンスの表面色を指定するための型。	
		
	図 bldg:Building の外観として色を指定した例	
上位の型	app:_SurfaceData	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	マテリアルの説明。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	マテリアルを識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	マテリアルの空間範囲。
app:isFront	xs:boolean [0..1]	マテリアルを設定する面の指定。
自身に定義された属性		
app:ambientIntensity	xs:double [0..1]	環境光 (光源からの光の当たっていない部分の明るさ) に対する反射率を指定。これが 0 だと陰の部分が真っ暗になる。
app:diffuseColor	xs:doubleList [0..1]	拡散反射率を指定 (rgb、いずれも 0~1)。これが物体の色になる。
app:emissiveColor	xs:doubleList [0..1]	鏡面反射率を指定 (rgb、いずれも 0~1) で指定。これは光源の光が物体表面でそのまま反射して見える部分 (ハイライト) の色になる。
app:specularColor	xs:doubleList [0..1]	発光 (rgb、いずれも 0~1) を指定。0 0 0 より大きくすると、この物体自体がその色で発光する。
app:shininess	xs:double [0..1]	ハイライトの「強さ」を、0~1 の間で指定。この値が大きくなるにつれてハイライトが鋭くなり、輝き感が増す。

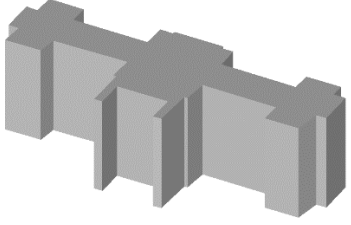
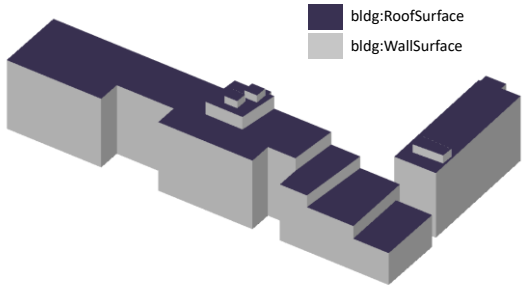
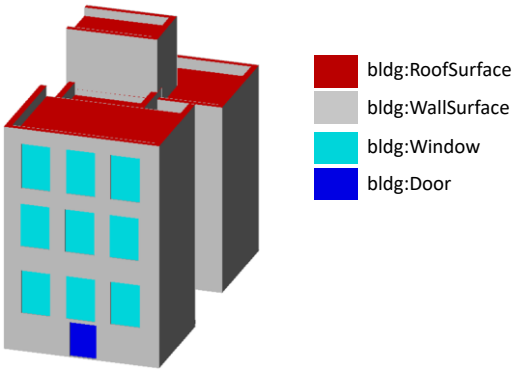
app:transparency	xs:double [0..1]	透明度を指定。0 で不透明になり、1 で透明になる。デフォルトは 0。
app:isSmooth	xs:double [0..1]	陰影付のための補間方法を指定。true の場合、グーロー法(による陰影付け)となる。
app:target	xs:anyURI [0..*]	色を設定する幾何への参照。

4.3.4 Building (CityGML)

(1) bldg:Building

型の定義	<p>土地に定着する工作物のうち、屋根及び柱若しくは壁を有するもの (これに類する構造のものを含む。)、これに附属する門若しくは塀、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物内に設ける事務所、店舗、興行場、倉庫その他これらに類する施設をいい、建築設備を含むものとする。 [参考 建築基準法]</p> <div style="text-align: center;"> <p>図 bldg:Building の例</p> </div> <p>建築物を建築物部分 (bldg:BuildingPart) の集まりとして記述する場合、本地物型には建築物部品に共通となる地物属性・関連のみ格納する。ただし、bldg:usage のように複数の値を列挙できる属性に関して一つでも異なる値がある場合には、当該属性の全ての値を bldg:BuildingPart に記述する。</p>	
上位の型	bldg:_AbstractBuilding	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	建築物を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	建築物の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	建築物と地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	建築物と水面との相対的な位置関係。

bldg:class	gml:CodeType [0..1]	建築物の形態による区分。コードリスト (Building_class.xml) より選択する。
(bldg:function)	gml:CodeType [0..*]	建築物の主たる働き。
bldg:usage	gml:CodeType [0..*]	建築物の主な使い道。コードリスト (Building_usage.xml) より選択する。用途の区分は、都市計画基礎調査実施要領 (国土交通省都市局) による区分とする。複数の建築物で一体の施設を構成しているものについては、一体としての用途とする。店舗等併用住宅、同共同住宅、作業所併用住宅は、1/3 以上が住宅のものとする。複合用途の建築物 (商業系複合施設及び併用住宅を除く) については、主たる用途により分類する。複数の用途を記述する場合は、主たる用途を最初に記載する。
bldg:yearOfConstruction	xs:gYear [0..1]	建築物が建築された年。
bldg:yearOfDemolition	xs:gYear [0..1]	建築物が解体された年。
bldg:roofType	gml:CodeType [0..1]	建築物の屋根形状の種類。コ - ドリスト (Building_roofType.xml) より選択する。
bldg:measuredHeight	gml:LengthType [0..1]	計測により取得した建築物の地上の最低点から最高点までの高さ。単位は m (uom="m") とする。
bldg:storeysAboveGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	地上階の階数。
bldg:storeysBelowGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	地下階の階数。
bldg:storeyHeightsAboveGround	gml:MeasureOrNullListType [0..1]	地上の各階の高さを、地表に最も近い階から列挙する。
bldg:storeyHeightsBelowGround	gml:MeasureOrNullListType [0..1]	地下の各階の高さを、地表に最も近い階から列挙する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute[0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合) 。属性を追加したい場合に使用する。
bldg:lod0FootPrint	gml:MultiSurface [0..1]	建築物の接地面での外形線により囲まれた面。 bldg:lod0FootPrint 又は bldg:lod0RoofEdge のいずれか一方が出現する。
bldg:lod0RoofEdge	gml:MultiSurface [0..1]	建築物の屋根の外形線により囲まれた面。 bldg:lod0FootPrint 又は bldg:lod0RoofEdge のいずれか一方が出現する。
bldg:lod1Solid	gml:_Solid [0..1]	建築物の形状を示す立体。bldg:lod1Solid により作成される立体は、建築物の水平的な位置を示す面に、一律の高さを与えた立体とする。

		 <p>図 LOD1 立体イメージ</p> <p>建築物を bldg:BuildingPart の集まりとして記述する場合、この空間属性は空となる。</p>
bldg:lod2Solid	gml:_Solid [0..1]	<p>建築物の主要構造の外形を示す立体。この時の立体は、外壁、屋根等を区分する境界面により構成される。建築物を bldg:BuildingPart の集まりとして記述する場合、この空間属性は空となる。</p>  <p>図 LOD2 立体イメージ</p>
(bldg:lod2MultiSurface)	gml:MultiSurface [0..1]	<p>建築物の主要構造を保護またはこれに付随する設備の外形を示す面。Solid により記述するため、MultiSurface は使用しない。</p>
bldg:outerBuildingInstallation	bldg:BuildingInstallation [0..*]	<p>建築物に付属する屋根、外階段、バルコニ - 等の設備。作成する LOD (表 4-2、表 4-4 参照) に応じて取得基準を満たす付属物を取得する。</p>
bldg:boundedBy	bldg:_BoundarySurface [0..*]	<p>建築物を構成する外壁、屋根等の境界面。</p>
bldg:lod3Solid	gml:Solid [0..1]	<p>建築物の主要構造の外形を示す立体。</p> <p>この時の立体は、外壁、屋根等を区分する境界面及び開口部の面 (境界面の内空として作成されている場合) により構成される。</p>  <p>図 LOD3 立体イメージ</p>
(bldg:lod3MultiSurface)	gml:MultiSurface [0..1]	<p>建築物の主要構造を保護またはこれに付随する設備の詳細な外形を示す面。Solid により記述するため、MultiSurface は使用しない。</p>

bldg:consistsOfBuildingPart	bldg:BuildingPart [0..*]	階数や屋根の種別が異なる複合的な一つの建築物を、複数の建築物の集まりとして記述する場合の、部品となる建築物。 LOD2 又は LOD3 において使用する。
bldg:address	core:Address [0..*]	建築物に付与された住所。最大 1 個作成する。
uro:buildingIDAttribute	uro:BuildingIDAttribute [1]	建築物の識別情報。必ず 1 個作成する。
uro:buildingDetailAttribute	uro:BuildingDetailAttribute [0..*]	建築物に関する基礎的な情報。 bldg:BuildingPart に uro:buildingDetailAttribute が記述されている場合は[0]となる（作成しない）。
uro:largeCustomerFacilityAttribute	uro:LargeCustomerFacilityAttribute [0..*]	当該建築物が大規模集客施設である場合の立地状況への参照。大規模集客施設の場合にのみ付与する。都市計画基礎調査結果を入力する場合に作成する。
uro:buildingDisasterRiskAttribute	uro:BuildingDisasterRiskAttribute [0..*]	当該建築物に対する災害リスクに関する情報。 uro:BuildingLandSlideRiskAttribute の出現回数は[0..3]。
uro:keyValuePairAttribute	uro:KeyValuePair [0..*]	建築物の属性を拡張するための仕組み。コード値を値とする属性を拡張する場合にのみ使用する。コード値以外の属性を拡張する場合、あるいは属性の集合を拡張する場合には、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
uro:buildingDataQualityAttribute	uro:BuildingDataQualityAttribute [0..1]	作成されたデータに関する情報。個々のデータのメタデータを記述する場合にのみ作成する。

(2) bldg:BuildingPart

型の定義	<p>建築物の一部。一棟の建築物が、複数の屋根の形状や階数が異なる部分、あるいは用途が異なる部分から構成されており、それぞれを属性として保持したい場合に、建築物を複数の部分として分けて記述するために用いる。</p> <p>この地物型を使用する場合、一つの建築物には、複数の建築物部分が存在しなければならない。また、一棟の建築物を構成する建築物部分は同じ建築物を構成する他の建築物部分と接していなければならない。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>この地物型は、LOD2 及び LOD3 の建築物を記述する際に使用可能であるが、ユースケースにより、建築物と建築物部分を区分する必要がない場合には、建築物部分として分けず、一体的な建築物としてよい。</p>	
上位の型	bldg:_AbstractBuilding	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	建築物を識別する名称。建築物部分を識別する必要がある場合のみ使用する。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	建築物の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	建築物と地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	建築物と水面との相対的な位置関係。
bldg:class	gml:CodeType [0..1]	建築物の形態による区分。コードリスト (Building_class.xml) より選択する。
(bldg:function)	gml:CodeType [0..*]	建築物の主たる働き。
bldg:usage	gml:CodeType [0..*]	建築物の主な使い道。コードリスト (Building_usage.xml) より選択する。用途の区分は、都市計画基礎調査実施要領 (国土交通省都市局) による区分とする。複数の建築物で一体の施設を構成しているものについては、一体としての用途とする。店舗等併用住宅、同共同住宅、作業所併用住宅は、1/3 以上が住宅のものとする。複合用途の建築物 (商業系複合施設及び併用住宅を除く) については、主たる用途により分類する。複数の用途を記述する場合は、主たる用途を最初に記載する。
bldg:yearOfConstruction	xs:gYear [0..1]	建築物が建築された年。
bldg:yearOfDemolition	xs:gYear [0..1]	建築物が解体された年。
bldg:roofType	gml:CodeType [0..1]	建築物の屋根形状の種類。コ - ドリスト (Building_roofType.xml) より選択する。
bldg:measuredHeight	gml:LengthType [0..1]	計測により取得した建築物の地上の最低点から最高点までの高さ。単位は m (uom="m") とする。
bldg:storeysAboveGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	地上階の階数。
bldg:storeysBelowGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	地下階の階数。
bldg:storeyHeightsAboveGround	gml:MeasureOrNullListType [0..1]	地上の各階の高さを、地上に最も近い階から列挙する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
bldg:lod0FootPrint	gml:MultiSurface [0..1]	建築物の接地面での外形線により囲まれた面。
bldg:lod0RoofEdge	gml:MultiSurface [0..1]	建築物の屋根の外形線により囲まれた面。
bldg:lod1Solid	gml:_Solid [0..1]	建築物の形状を示す立体。bldg:lod1Solid により作成される立体は、建築物の水平的な位置を示す面に、一律の高さを与えた立体とする。bldg:BuildingPart を作成する場合は必須とする。
bldg:lod2Solid	gml:_Solid [0..1]	建築物の主要構造の外形を示す立体。この時の立体は、外壁、屋根等を区分する境界面により構成される。

(bldg:lod2MultiSurface)	gml:MultiSurface [0..1]	建築物の主要構造を保護またはこれに付随する設備の外形を示す面。Solidにより記述するため、MultiSurfaceは使用しない。
bldg:lod3Solid	gml:Solid [0..1]	建築物の主要構造の外形を示す立体。 この時の立体は、外壁、屋根等を区分する境界面及び開口部の面（境界面の内空として作成されている場合）により構成される。
(bldg:lod3MultiSurface)	gml:MultiSurface [0..1]	建築物の主要構造を保護またはこれに付随する設備の詳細な外形を示す面。Solidにより記述するため、MultiSurfaceは使用しない。
bldg:outerBuildingInstallation	bldg:BuildingInstallation [0..*]	建築物に付属する屋根、外階段、バルコニー等の設備。ユースケースにより必要な場合には、区分して取得する。
bldg:boundedBy	bldg:_BoundarySurface [0..*]	建築物を構成する外壁、屋根等の境界面。
(bldg:consistsOfBuildingPart)	bldg:BuildingPart [0..*]	階数や屋根の種別が異なる複合的な一つの建築物を、複数の建築物の集まりとして記述する場合の、部品となる建築物。
bldg:address	core:Address [0..*]	建築物に付与された住所。最大1個作成する。
uro:buildingIDAttribute	uro:BuildingIDAttribute [1]	建築物の識別情報。必ず1個作成する。
uro:buildingDetailAttribute	uro:BuildingDetailAttribute [0..*]	建築物に関する基礎的な情報。都市計画基礎調査結果を入力する場合に作成する。一棟の建築物に含まれる部分毎に都市計画基礎調査の情報を付与したい場合にのみ用いる。 この属性が作成された場合、bldg:BuildingPartを含むbldg:Buildingには、uro:buildingDetailAttributeを記述しない。
(uro:largeCustomerFacilityAttribute)	uro:LargeCustomerFacilityAttribute [0..*]	bldg:BuildingPartには作成しない。(bldg:Buildingにのみ作成する。)
(uro:buildingDisasterRiskAttribute)	uro:BuildingDisasterRiskAttribute [0..*]	bldg:BuildingPartには作成しない。(bldg:Buildingにのみ作成する。)
(uro:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	bldg:BuildingPartには作成しない。(bldg:Buildingにのみ作成する。)
(uro:buildingDataQualityAttribute)	uro:BuildingDataQualityAttribute [0..1]	bldg:BuildingPartには作成しない。(bldg:Buildingにのみ作成する。)

(3) bldg:BuildingInstallation

型の定義	<p>建築物の外側に設置され、建築物の外観を特徴づける設備。</p> <p>建築物の付帯的な設備であり、主要な部分であってはならない。また、建築物付属物は、建築物 (bldg:Building または bldg:BuildingPart) と接していなければならない。</p> <p>建築物付属物には以下を含む。ただし、全て屋外に設置され、建築物と接するもののみを対象とする。</p> <p>バルコニー、ポーチ、アーケード、テラス、サンテラス、回廊、エントランスホール、ダクト、装飾的な柱、デッキ、屋根飾り、出窓、ドーマー、(建築物の一部としての)煙突、看板、換気口、(建築物の一部としての)塔、外階段、カーポート、物置、アンテナ、外階段や歩道に設けられた屋根、手すりなど。</p> <p>取得対象とする建築物付属物は、設備の長さ及び高さが建築物に要求される位置正確度の標準偏差よりも大きいものを目安とする。</p>
------	--

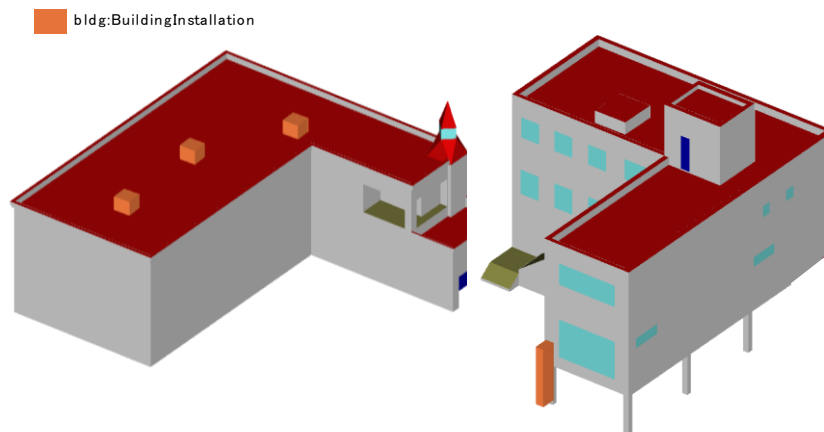


図 bldg:BuildingInstallation の例

(左 : 屋根面に設置された建築物付属物 右 : 壁面に設置された建築物付属物)

ただし、ユースケースの要求に応じて、取得対象とする建築物付属物を限定してもよく、また、建築物付属物として取得せず建築物の一部として取得してもよい。

上位の型	bldg:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物付属物の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	建築物付属物を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	建築物付属物の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
bldg:class	gml:CodeType [0..1]	建築物付属物の形態による区分。コードリスト (BuildingInstallation_class.xml) より選択する。建築物の外側に取り付けられた付属物の場合は、1000 となる。
bldg:function	gml:CodeType [0..1]	建築物付属物の主たる働き。コードリスト (BuildingInstallation_function.xml) より選択する。
(bldg:usage)	gml:CodeType [0..*]	建築物付属物の主な使い道。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。

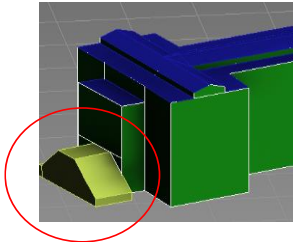
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
bldg:lod2Geometry	gml:_Geometry [0..1]	建築物付属物の LOD2 の形状。gml:MultiSurface を使用することを基本とする。容積の算出等ユースケースが必要な場合は、gml:Solid を使用する。 
bldg:lod3Geometry	gml:_Geometry [0..1]	建築物付属物の LOD3 の形状。容積の算出等ユースケースが必要な場合は、gml:Solid を使用する。
bldg:boundedBy	bldg:_BoundarySurface [0..*]	建築物付属物を構成する外壁、屋根等の境界面への参照。建築物付属物の境界面が建築物 (bldg:Building 又は bldg:Building) の境界面となる場合にのみ作成する。 建築物付属物が参照する bldg:_BoundarySurface は、bldg:lod2Geometry 及び bldg:lod3Geometry により参照する立体 (gml:Solid) を構成する面 (gml:Polygon) を含まなければならない。

図 bldg:BuildingInstallation の取得例 (屋外階段)

(4) bldg:RoofSurface

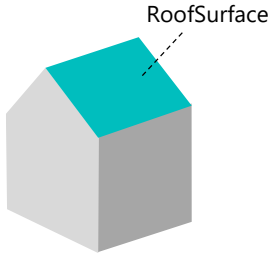
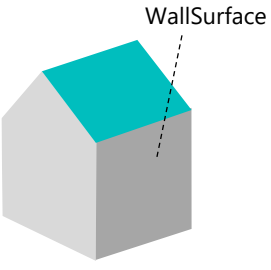
型の定義	主に建築物の上部を覆う構造物。 	
上位の型	bldg:_BoundarySurface	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	境界面の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	境界面を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	境界面の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
継承する関連役割		

図 bldg:RoofSurface の例

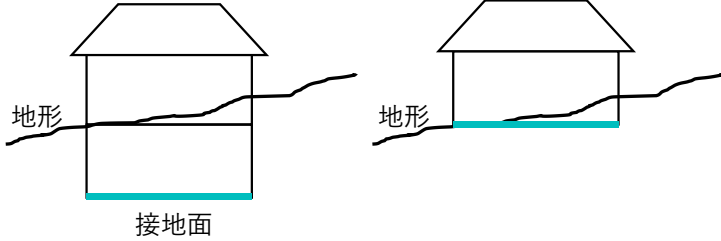
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
bldg:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	屋根の形状・起伏を再現した面。 取得の対象は、表 4-2 の各 LOD の細分に示す。
bldg:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	屋根の形状・起伏を再現した面。 取得の対象は、表 4-4 の各 LOD の細分に示す。
bldg:opening	bldg:_Opening [0..*]	屋根面に設置される、窓や扉への参照。LOD3 の空間属性をもつ場合のみ開口部への参照を作成できる。

(5) bldg:WallSurface

型の定義	建築物の外周を構成する壁面 (外壁) 。	
	 <p>図 bldg:WallSurface の例</p>	
上位の型	bldg:_BoundarySurface	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	境界面の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	境界面を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	境界面の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。

gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
bldg:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	壁面の形状・起伏を再現した面。
bldg:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	壁面の形状・起伏を再現した面。取得の対象は、表 4-4 の各 LOD の細分に示す。
bldg:opening	bldg:_Opening [0..*]	壁に設置される、窓や扉への参照。LOD3 の空間属性をもつ場合のみ開口部への参照を作成できる。

(6) bldg:GroundSurface

型の定義	<p>建築物の立体形状の底面。 建築物の接地面又は建築物の壁面と地形との交線を外形線とする面とする。</p>  <p style="text-align: center;">図 bldg:GroundSurface</p>	
上位の型	bldg:_BoundarySurface	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	境界面の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	境界面を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	境界面の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。

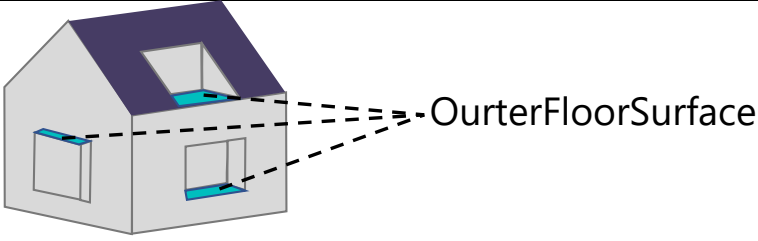
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
bldg:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	接地面の形状・起伏を再現した面。
bldg:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	接地面の形状・起伏を再現した面。
bldg:opening	bldg:_Opening [0..*]	接地面に設置される、窓や扉への参照。LOD3 の空間属性をもつ場合のみ開口部への参照を作成できる。

(7) bldg:OuterCeilingSurface

型の定義	建築物の外側を覆う部分であり、天井としての機能を有する部分。  図 bldg:OuterCeilingSurface の例 ユースケースで屋外の天井と壁面との区分が不要な場合には、この型は使用せず、bldg:WallSurfaceを使用する。	
上位の型	bldg:_BoundarySurface	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	境界面の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	境界面を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	境界面の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
bldg:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	屋外にある天井の形状・起伏を再現した面。
bldg:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	屋外にある天井の形状・起伏を再現した面。
bldg:opening	bldg:_Opening [0..*]	屋外にある天井に設置される、窓や扉への参照。LOD3 の空間属性をもつ場合のみ開口部への参照を作成できる。

(8) bldg:OuterFloorSurface

型の定義	建築物の外側を覆う部分であり、通行可能な床面としての機能を有する部分。例えば、屋上や通路として利用されている面が該当する。
------	---

		
	<p>図 OuterFloorSurface の例</p> <p>ユースケースで通行可能な床面と屋根面との区別が不要な場合には、この型は使用せず、bldg:RoofSurface を使用する。</p>	
上位の型	bldg_BoundarySurface	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	境界面の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	境界面を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	境界面の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
bldg:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	屋外にある床面の形状・起伏を再現した面。
bldg:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	屋外にある床面の形状・起伏を再現した面。
bldg:opening	bldg:_Opening [0..*]	屋外にある床面に設置される、窓や扉への参照。LOD3 の空間属性をもつ場合のみ開口部への参照を作成できる。

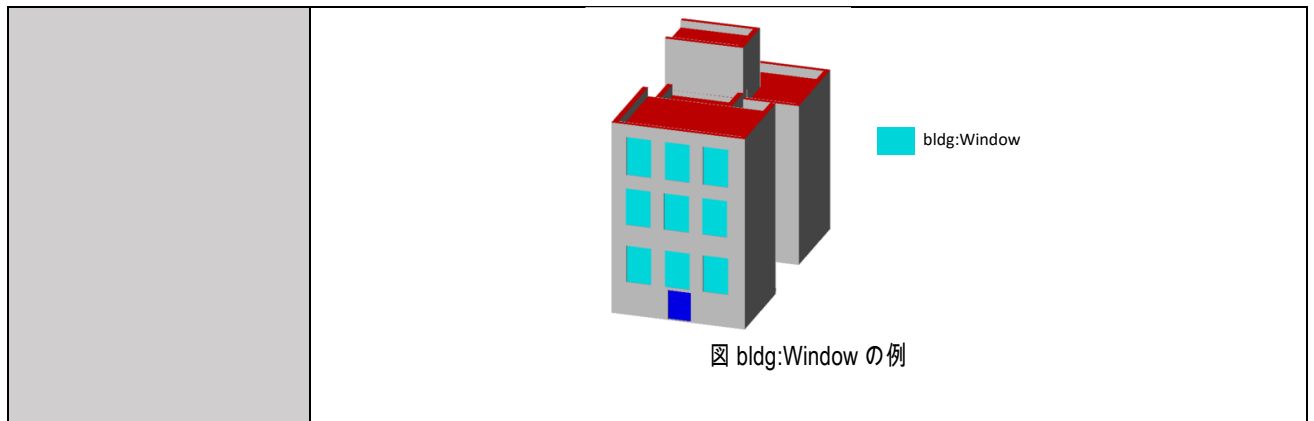
(9) bldg:ClosureSurface

型の定義	建築物の屋根、外壁、外部天井、外部床面に開口部が存在するが、開口部内の詳細なデータ作成が不要である場合に、開口部を閉じるために便宜上設けられた面。
------	---

	 <p style="text-align: center;">図 bldg:ClosureSurface の例</p> <p>L0D2 において、ユースケースで外壁と開口部、あるいは屋根面と開口部との区分が不要な場合には、この型は使用せず、bldg:WallSurface 又 bldg:RoofSurface を使用する。</p>	
上位の型	bldg:_BoundarySurface	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	境界面の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	境界面を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	境界面の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
bldg:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	閉鎖面の外形線に囲まれた面。
bldg:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	閉鎖面の外形線に囲まれた面。
(bldg:opening)	bldg:_Opening [0..*]	境界面に設置される、窓や扉への参照。

(10) bldg:Window

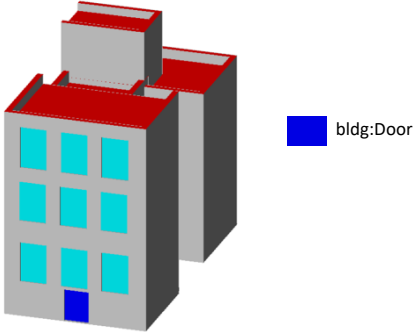
型の定義	採光、通風、換気、眺望などの目的のため、建築物の屋根、天井、壁、床などに設けられた開口部のうち、人や物の出入りを目的としないもの。
------	---



上位の型	bldg:_Opening	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	開口部の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	開口部を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	開口部の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
bldg:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	開口部の外形線に囲まれた面。必須とする。

(11) bldg:Door

型の定義	採光、通風、換気、眺望、通行などの目的のため、建築物の屋根、天井、壁、床などに設けられた開口部のうち、人や物の出入りを目的とするもの。
------	---

		
図 bldg:Door の例		
上位の型	bldg:_Opening	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	開口部の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	開口部を識別する名称。名称で識別する必要がある場合にのみ作成する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	開口部の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
bldg:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	開口部の外形線に囲まれた面。必須とする。

4.3.5 CityFurniture (CityGML)

(1) frn:CityFurniture

型の定義	都市の屋外（道路、住宅街、広場、造成地等）に設置されている、移動しない小規模な設備（例：街路灯、道路標識、交通信号機、花壇、広告板、ベンチ、境界杭、バス停）。	
	なお、建築物に付属する設備は、bldg:BuildingInstallation として取得する。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市設備の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市設備を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	都市設備の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
継承する関連役割		

関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
frn:class	gml:CodeType [0..1]	都市設備の区分。コードリスト (CityFurniture_class.xml) より選択する。 道路付属物は、1000 とする。 通信設備 (例 : 電話ボックス、電柱) は 1010 とする。 保安設備 (例 : 門、フェンス) は 1020 とする。 その他の施設は 1030 とする。
frn:function	gml:CodeType [0..*]	都市設備の種類。コードリスト (CityFurniture_function.xml) より選択する。 なお、区画線と道路標示について、形状・寸法・色が同一、かつ、設置される場所が同一のものは、区画線とする。
frn:usage	gml:CodeType [0..*]	都市設備の主な使い道。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
frn:lod1Geometry	gml:_Geometry [0..1]	都市設備の形状をそれが占有している範囲 (面) に一律の高さを与えた立体 (gml:Solid) として表現する。ただし、路面標示やマンホールのように他の地物の面と一体化して表現されるべきものは面 (gml:MultiSurface) として表現する。 接地している地物は、道路面から一律の高さで立ち上げる。 架空物の場合は、最も低い場所から一律の高さで立ち上げる。
frn:lod2Geomerty	gml:_Geometry [0..1]	都市設備の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まり又は立体として区分して表現する。他の地物の面と一体化した都市設備 (道路標示、マンホール、点字ブロック) は、gml:MultiSurface により記述し、それ以外の都市設備は gml:Solid または gml:MultiSurface により記述する。
frn:lod3Geometry	gml:_Geometry [0..1]	都市設備の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まり又は立体として詳細に区分して表現する。他の地物の面と一体化した都市設備 (道路標示、マンホール、点字ブロック) は、gml:MultiSurface により記述し、それ以外の都市設備は gml:Solid または gml:MultiSurface により記述する。
uro:cityFurnitureDetailAttribute	uro:CityFurnitureDetailAttribute [0..*]	都市設備の詳細な内容。 一つの道路標識柱に複数の道路標識が存在する場合のように、複合的な設備の場合は、設備ごとに記述する。

uro:cityFurnitureDataQualityAttribute	uro:CityFurnitureDataQualityAttribute [0..1]	都市設備のデータ品質に関する情報。
---------------------------------------	--	-------------------

4.3.6 CityObjectGroup (CityGML)

(1) grp:CityObjectGroup

型の定義	都市オブジェクトの集まり。標準製品仕様書では、都市計画決定情報を、地域地区、市街地開発事業、地区計画等のような単位でグループ化する場合に使用する。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	グループの概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	グループを識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	グループの範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(grp:class)	gml:CodeType [0..1]	グループの区分。
grp:function	gml:CodeType [0..*]	グループの機能。コードリスト (Common_featureType.xml) から選択する。
(grp:usage)	gml:CodeType [0..*]	グループの主な使い道。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
grp:groupMember	core:_CityObject [0..*]	グループに含まれる都市オブジェクト。

4.3.7 Generic (CityGML)

(1) gen:stringAttribute

クラスの定義	文字列型の汎用属性。CityGML または i-UR に定義されていない文字列型の属性を追加したい場合に使用する。
--------	---

上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:string [1]	汎用属性の値。

(2) gen:intAttribute

クラスの定義	整数型の汎用属性。CityGML または i-UR に定義されていない整数型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:integer [1]	汎用属性の値。

(3) gen:doubleAttribute

クラスの定義	実数型の汎用属性。CityGML または i-UR に定義されていない実数型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:double [1]	汎用属性の値。

(4) gen:dateAttribute

クラスの定義	日付型の汎用属性。CityGML または i-UR に定義されていない日付型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

gen:value	xs:date [1]	汎用属性の値。
-----------	-------------	---------

(5) gen:uriAttribute

クラスの定義	URI 型の汎用属性。CityGML または i-UR に定義されていない URI 型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:anuURI[1]	汎用属性の値。

(6) gen:measureAttribute

クラスの定義	単位付き計測値型の汎用属性。CityGML または i-UR に定義されていない単位付き計測値型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	gml:MeasureType [1]	汎用属性の値。必ず計測の単位 (uom) を付ける。

(7) gen:genericAttributeSet

クラスの定義	汎用属性のグループ。CityGML または i-UR に定義されていない属性をグループ化して追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:integer [1]	汎用属性の値。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:_genericAttribute	gen:_genericAttribute [1..*]	グループに含みたい汎用属性。

(8) gen:GenericCityObject

クラスの定義	CityGML に定義されていない地物を定義するための汎用的な地物型。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	汎用的な地物型の説明。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	汎用都市オブジェクトを識別する名称。コードリスト (GenericCityObject_name.xml) より選択する。 汎用都市オブジェクトを使用する場合は、これを識別する名称のコードリスト (GenericCityObject_name.xml) を作成すること。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:class	gml:CodeType [0..1]	汎用都市オブジェクトの区分。
gen:function	gml:CodeType [0..*]	汎用都市オブジェクトの機能。
gen:usage	gml:CodeType [0..*]	汎用都市オブジェクトの用途。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合) 。属性を追加したい場合に使用する。
lod0Geometry	gml:_Geometry [0..1]	LOD0 の形状。平面により記述する。
lod1Geometry	gml:_Geometry [0..1]	LOD1 の形状。一律の高さを与えた立体を基本とする。
lod2Geometry	gml:_Geometry [0..1]	LOD2 の形状。主要な構造を単純な立体図形 (球、円柱、円柱、角柱等) の組み合わせにより記述する。
lod3Geometry	gml:_Geometry [0..1]	LOD3 の形状。主構造及び詳細構造の外形により構成する。

4.3.8 LandUse (CityGML)

(1) luse:LandUse

型の定義	土地の利用の状態および仕方。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		

属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	土地利用の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	土地利用を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
luse:class	gml:CodeType [0..1]	土地利用用途の大まかな区分。 土地利用用途の区分は、都市計画基礎調査実施要領（国土交通省都市局）による区分とする。コードリスト（Common_landUseType.xml）より選択する。
(luse:function)	gml:CodeType [0..*]	土地利用の機能。
luse:usage	gml:CodeType [0..*]	土地利用の用途。コードリスト（LandUse_usage.xml）より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
luse:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface[0..1]	土地利用が変化する境界により囲われた同一の土地利用の範囲。
uro:landUseDetailAttribute	uro:LandUseDetailAttribute [0..1]	土地利用現況調査により得られた土地の詳細情報。

4.3.9 Relief (CityGML)

(1) dem:ReliefFeature

型の定義	地形の凹凸を表現した地物。 基準地域メッシュ（第三次地域区画、一辺の長さ約 1km）を地物の単位とする。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	地形の概要。

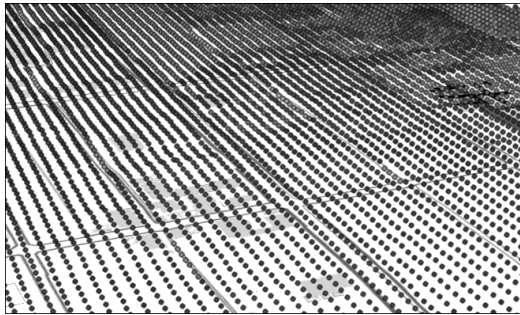
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該エリアの標準地域メッシュコード (基準地域メッシュ)。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
dem:lod	core:integerBetween0and4 [1]	この地形に適用される LOD。0~4 までの半角数字のいずれかとする。LOD1 の場合は 1 となる。 dem:ReliefFeature がもつ dem:TINRelief 又は dem:MassPointRelief の lod と一致させる。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
dem:reliefComponent	dem:_ReliefComponent [1]	dem:TINRelief 又は dem:MassPointRelief のいずれか 1 つのみをもつ。

(2) dem:TINRelief

型の定義	<p>三角形の集まりにより地形の起伏を表現した地物。基準地域メッシュ (第三次地域区画、一辺の長さ約 1km) を地物の単位とすることを基本とする。</p>  <p style="text-align: center;">図 dem:TINRelief の例</p>	
上位の型	dem:_ReliefComponent	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地形の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該エリアの標準地域メッシュコード (基準地域メッシュ)。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
dem:lod	core:integerBetween0and4[1]	この地形に適用される LOD。0~4 までの半角数字のいずれかとする。LOD1 の場合は 1 となる。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
dem:extent	gml:Polygon [0..1]	空間範囲。基準地域メッシュの四隅座標により構成する。
自身に定義された属性		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
dem:tin	gml:TriangulatedSurface [1]	起伏を表現する三角網。

(3) dem:MassPointRelief

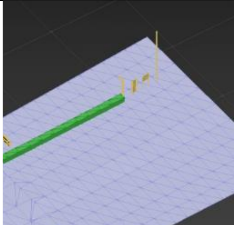
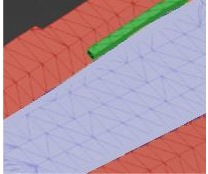
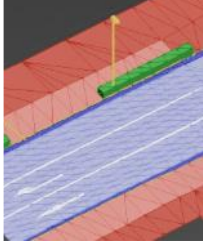
型の定義	<p>点の集まりにより地形の起伏を表現した地物。基準地域メッシュ (第三次地域区画、一辺の長さ約 1k m) を地物の単位とする。</p>  <p style="text-align: center;">図 dem:MassPointRelief の例</p>	
上位の型	dem:_ReliefComponent	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	<p>原典資料が航空機レーザ測量等で取得したランダム点群の場合は、irregular とする。</p> <p>原典資料が DEM (デジタル標高モデル) から作成した点群の場合は、grid_[緯度 size]_[経度 size] とする。</p>

		このとき、[緯度 size]及び[経度 size]には、それぞれの軸に対する格子点の間隔と単位を記述する。単位は、地物に適用する空間参照系の軸の単位と一致させる。 例えば、基盤地図情報数値標高モデル 5m メッシュを使用した場合は、grid_0.2sec_0.2sec となる。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該エリアの標準地域メッシュコード (基準地域メッシュ)。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
dem:lod	core:integerBetween0and4 [1]	この地形に適用される LOD。0~4 までの半角数字のいずれかとする。LOD1 の場合は 1 となる。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
dem:extent	gml:Polygon [0..1]	空間範囲。基準地域メッシュの四隅座標により構成する。
自身に定義された属性		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
dem:reliefPoints	gml:MultiPoint [1]	起伏を表現する点の集まり。

4.3.10 Transportation (CityGML)


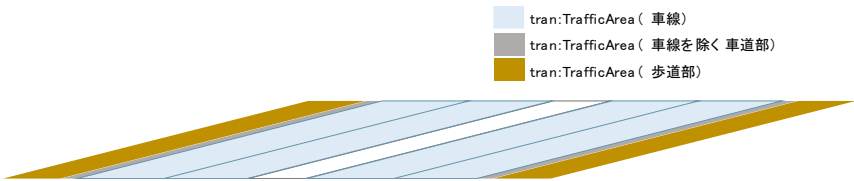
(1) tran:Road

型の定義	<p>一般交通の用に供する場所。道路法第 3 条に示された道路の種類及び建築基準法第 42 条の定義を含む。</p> <p>道路の延長方向は、以下の場所で区切る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車道交差点 (十字路、丁字路、その他二つ以上の道路が交わる部分) ・ 道路構造の変化点 (トンネル、橋梁) ・ 位置正確度 (地図情報レベル) や取得方法 <p>tran:Road に含まれる tran:TrafficArea 及び tran:AuxiliaryTrafficArea は、同一路線に含まなければならない。</p> <p>同一の LOD において、連続する道路の境界は一致しなければならない。</p>
------	--

	<div style="text-align: center;">  <p>tran:Road</p> <p>図 LOD1 における道路の取得例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>tran:TrafficArea (車道部) tran:TrafficArea (歩道部)</p> <p>図 LOD2 における道路の取得例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>tran:TrafficArea (車線) tran:TrafficArea (自転車道) tran:TrafficArea (歩道) tran:AuxiliaryTrafficArea (路肩)</p> <p>図 LOD3 における道路の取得例</p> </div>	
上位の型	tran:TrafficComplex	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	道路の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	道路を識別する名称。道路法に基づき路線が指定又は認定された路線名。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
tran:class	gml:CodeType [0..1]	交通の分類。
tran:function	gml:CodeType [0..*]	道路法における道路の区分及び建築基準法における道路の区分。コードリスト (Road_function.xml) より選択する。
tran:usage	gml:CodeType [0..*]	道路の利用方法。コードリスト (Road_usage.xml) より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。

gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
tran:trafficArea	tran:TrafficArea [0..*]	道路を構成する要素のうち、車両や人が通行可能な領域への参照。
tran:auxiliaryTrafficArea	tran:AuxiliaryTrafficArea [0..*]	道路を構成する要素のうち、交通領域の機能を補助するために設けられた領域への参照。
tran:lod0Network	gml:GeometricComplex [0..1]	道路の連続性を表現する線。 lod0Network の端点の座標は、この道路に接続する別の道路の lod0Network の端点の座標と一致する。
tran:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	道路縁により囲まれた道路の範囲。 車道交差点部では、隅切りを結ぶ線により区切ることを基本とする。道路両側の隅切り位置が道路延長方向に大きく異なる場合は、より交差点より遠い隅切り位置より横断方向に区切る。
tran:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	道路縁により囲まれた道路の範囲。 tran:Road が参照する tran:TrafficArea 及び tran:AuxiliaryTrafficArea の tran:lod2MultiSurface に含まれる、すべての gml:Polygon により構成する。
tran:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	道路縁により囲まれた道路の範囲。 tran:Road が参照する tran:TrafficArea 及び tran:AuxiliaryTrafficArea の tran:lod3MultiSurface に含まれる、すべての gml:Polygon により構成する。
uro:roadStructureAttribute	uro:RoadStructureAttribute [0..1]	当該道路の道路構造に関する情報。
uro:trafficVolumeAttribute	uro:TrafficVolumeAttribute [0..1]	当該道路を通行する車両の量に関する情報。
uro:roadDataQualityAttribute	uro:RoadDataQualityAttribute [0..1]	当該道路データの品質に関する情報。

(2) tran:TrafficArea

型の定義	<p>車両や人が通行可能な領域 (車道部及び歩道部)。</p> <p>以下に示す道路の部分を対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● LOD2 及び LOD3.0 の場合は、車道部として、車両の利用が想定された車線や路肩その他一体的な舗装がされたすべての道路の部分を対象とする。また、歩道部として、歩道及び歩道上に設置された植栽の範囲を対象とする。 <div style="text-align: right;">  <p>■ tran:TrafficArea (車道部) ■ tran:TrafficArea (歩道部)</p> </div> <p style="text-align: center;">図 LOD2 及び LOD3.0 における tran:TrafficArea の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● LOD3.1 の場合は、LOD3.0 の車道部のうち、車線を細分する。 <div style="text-align: right;">  <p>■ tran:TrafficArea (車線) ■ tran:TrafficArea (車線を除く 車道部) ■ tran:TrafficArea (歩道部)</p> </div> <p style="text-align: center;">図 LOD3.1 における tran:TrafficArea の例</p>
------	--

- LOD3.2 及び LOD3.3 の場合は、LOD3.1 の歩道部から歩道上の植栽を除いた範囲を歩道部とする。



図 LOD3.2 及び LOD3.3 における tran:TrafficArea の例

- LOD3.4 の場合は、コードリストの区分に従う。

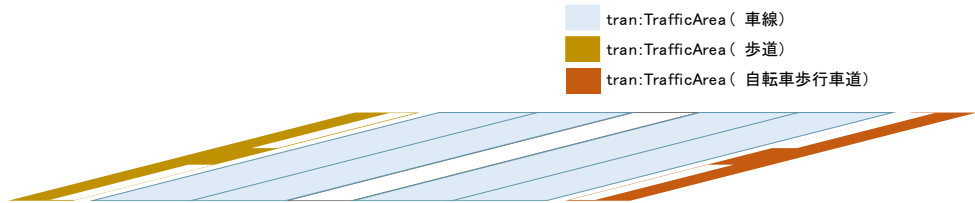


図 LOD3.4 における tran:TrafficArea の例

1 つの道路オブジェクトに含まれる交通領域は、属性の変化が無い限り、延長方向では区分しない (車道部と歩道部は別のオブジェクトに分けるが、延長方向に連続する車道部を細分しない。)

上位の型	tran:_TransportationObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
(tran:class)	gml:CodeType [0..1]	交通の分類。
tran:function	gml:CodeType [0..*]	区画線や路面標示、道路標識等により示された交通領域の機能。コードリスト (TrafficArea_function.xml) より選択する。
(tran:usage)	gml:CodeType [0..*]	交通領域の利用方法。
tran:surfaceMaterial	gml:CodeType [0..1]	表層舗装の有無及び材質。複数の表層舗装が混在している場合は、最も面積を占める舗装とする。コードリスト (TrafficArea_surfaceMaterial.xml) より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。

gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
tran:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	<p>区画線や縁石等により示される境界線に囲まれた領域のうち、通行可能な道路の部分 (歩道部、車道部、車道交差部)。高さは 0 とする。</p> <p>隣接する tran:TrafficArea 又は tran:AuxiliaryTrafficArea との境界線の座標を一致させる。</p> <p>tran:TrafficArea の tran:lod2MultiSurface は、同一の tran:Road のオブジェクトに含まれる他の tran:TrafficArea や tran:AuxiliaryTrafficArea の tran:lod2MultiSurface と重なることはない。(ただし、立体的な構造をもつ道路を除く)</p> <p>車道交差部での区切りは、LOD1 と同様とする。分離帯がある場合には、車道交差部の範囲を分離帯までとする。</p> <p>境界線として区画線を使用する場合は、区画線の中心を境界線とする。</p>
tran:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	<p>区画線や縁石等により示される境界線に囲まれた領域のうち、通行可能な道路の部分。</p> <p>LOD3.0 の場合、横断方向に連続する交通領域の高さは一律とし、車道の標高とする。</p> <p>LOD3.1~LOD3.4 では、各水平位置における標高とする。</p> <p>隣接する tran:TrafficArea 又は tran:AuxiliaryTrafficArea との境界線の座標を一致させる。</p> <p>tran:TrafficArea の tran:lod3MultiSurface は、同一の tran:Road のオブジェクトに含まれる他の tran:TrafficArea や tran:AuxiliaryTrafficArea の tran:lod3MultiSurface と重なることはない。</p> <p>LOD3.0 の場合、車道交差部での区切りは LOD2 と同様とする。</p> <p>LOD3.1~LOD3.4 では、停止線がある場合にはこれの延長とし、停止線がない場合には、LOD2 と同様とするが、ユースケースに応じて決定できる。</p> <p>境界線として区画線を使用する場合は、区画線の中心を境界線とする。</p>
uro:trafficAreaStructureAttribute	uro:TrafficAreaStructureAttribute [0..1]	交通領域の構造。交通領域内の代表車線数を記述する。交通領域において車線を区分しない場合にのみ用いる。

(3) tran:AuxiliaryTrafficArea

型の定義	<p>道路を構成する領域のうち、交通領域の機能を補助するために設けられた領域。</p> <p>以下に示す道路の部分を対象とする。</p>
------	--

- LOD2、LOD3.0 及び LOD3.1 の場合は、道路内の島状の施設（交通島及び分離帯、路面電車停車所）を対象とする。

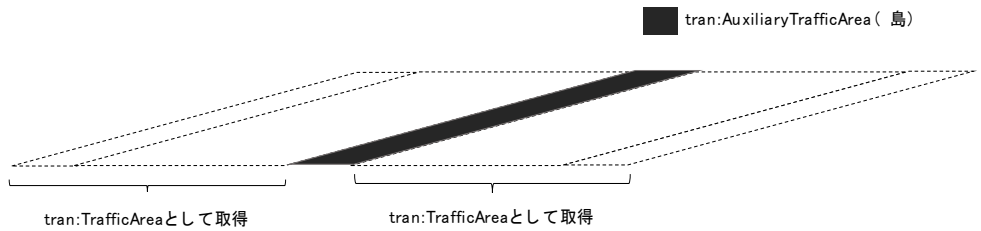


図 LOD2、LOD3.0 及び LOD3.1 での tran:AuxiliaryTrafficArea の取得例

- LOD3.2 及び LOD3.3 の場合は、上記に加え、歩道部に設置された植栽及び歩道部が縁石等によりマウントアップされている場合の段差を対象とする。

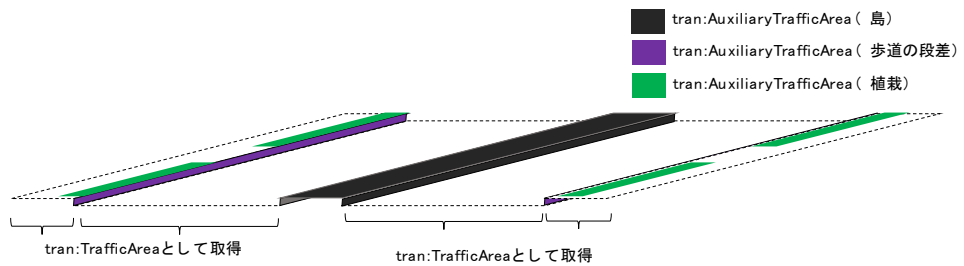


図 LOD3.2 及び LOD3.3 での tran:AuxiliaryTrafficArea の取得例

- LOD3.4 には、*tran:function* により指定されるコードリストの区分に従う。

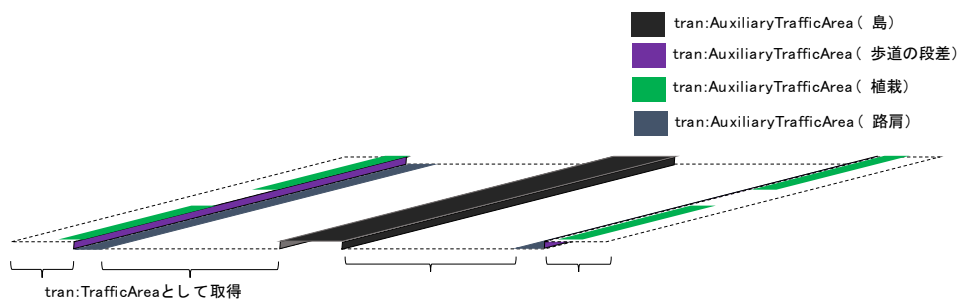


図 LOD3.4 での tran:AuxiliaryTrafficArea の取得例

1 つの道路オブジェクトに含まれる交通領域は、属性の変化が無い限り、延長方向では区分しない（例：延長方向に連続する分離帯を細分しない）。

上位の型	tran:_TransportationObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	道路の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	道路を識別する名称。道路法に基づき路線が指定又は認定された路線名。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。

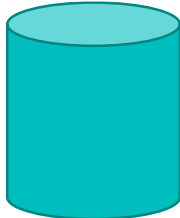
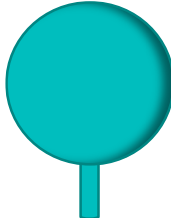
自身に定義された属性		
(tran:class)	gml:CodeType [0..1]	交通の分類。
tran:function	gml:CodeType [0..*]	区画線や路面標示、道路標識等により示された交通補助領域の機能。コードリスト (AuxiliaryTrafficArea_function.xml) より選択する。
(tran:usage)	gml:CodeType [0..*]	交通補助領域の利用方法。
tran:surfaceMaterial	gml:CodeType [0..1]	表層舗装の有無及び材質。複数の表層舗装が混在している場合は、最も面積を占める舗装とする。コードリスト (AuxiliaryTrafficArea_surfaceMaterial.xml) より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
tran:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	縁石等により示される境界線に囲まれた領域のうち、通行の用に供しない道路の部分 (分離帯、交通島、路面電車停車所)。高さは 0 とする。隣接する tran:TrafficArea 又は tran:AuxiliaryTrafficArea との境界線の座標を一致させる。tran:AuxiliaryTrafficArea の tran:lod2MultiSurface は、同一の tran:Road のオブジェクトに含まれる他の tran:TrafficArea や tran:AuxiliaryTrafficArea の tran:lod2MultiSurface と重なることはない。(ただし、立体的な構造をもつ道路を除く) 車道交差点での区切りは、LOD1 と同様とする。分離帯がある場合には、車道交差点の範囲を分離帯までとする。境界線として区画線を使用する場合は、区画線の中心を境界線とする。
tran:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	縁石等により示される境界線に囲まれた領域のうち、通行の用に供しない道路の部分。LOD3.0 の場合、横断方向に連続する交通領域の高さは一律とし、車道の標高とする。LOD3.1~LOD3.4 では、各水平位置における標高とする。隣接する tran:TrafficArea 又は tran:AuxiliaryTrafficArea との境界線の座標を一致させる。tran:AuxiliaryTrafficArea の tran:lod3MultiSurface は、同一の tran:Road のオブジェクトに含まれる他の tran:TrafficArea や

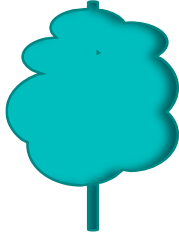
		<p>tran:AuxiliaryTrafficArea の tran:lod3MultiSurface と重なることはない。</p> <p>LOD3.0 の場合、車道交差点での区切りは、LOD2 と同様とする。</p> <p>LOD3.1~LOD3.4 では、停止線がある場合にはこれの延長とし、停止線がない場合には、LOD2 と同様とするが、ユースケースに応じて決定できる。</p> <p>境界線として区画線を使用する場合は、区画線の中心を境界線とする。</p>
--	--	---

4.3.11 Vegetation (CityGML)


(1) veg:SolitaryVegetationObject

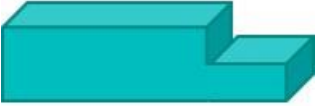



型の定義	独立した樹木。	
		
	図 SolitaryVegetationObject の例	
上位の型	veg:_VegetationObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	樹木の説明。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	樹木を識別する管理番号や名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
veg:class	gml:CodeType [0..1]	高木、中木、低木の別。コードリスト (SolitaryVegetationObject_class.xml) より選択する。
veg:function	gml:CodeType [0..*]	常緑、落葉の別、及び針葉、広葉の別。コードリスト (SolitaryVegetationObject_function.xml) より選択する。
(veg:usage)	gml:CodeType [0..*]	樹木の用途。
(veg:species)	gml:CodeType [0..1]	樹木の樹種。
veg:height	gml:LengthType [0..1]	樹高。樹木の樹冠の頂端から根鉢の上端までの垂直高をいい、一部の突出した枝は含まない。 単位は m (uom="m") とする。


veg:trunkDiameter	gml:LengthType [0..1]	樹径。幹周を 3.14 で乗算した数値。 なお、幹周とは樹木の幹の周長をいい、根鉢の上端より 1.2m 上りの位置を測定する。この部分に枝が分岐しているときは、その上部を測定する。幹が二本以上の樹木の場合においては、おのおのの周長の総和の 70% をもって幹周とする。 単位は m (uom="m") とする。
veg:crownDiameter	gml:LengthType [0..1]	樹木の四方面に伸ばした枝(葉)の幅をいう。測定方向により幅に長短がある場合は、最長と最短の平均値とする。なお一部の突出した枝は含まない。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合) 。属性を追加したい場合に使用する。
uro:vegetationDataQualityAttribute	uro:VegetationDataQualityAttribute [0..1]	当該樹木データの品質に関する情報。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
veg:lod1Geometry	gml:_Geometry [0..1]	単独木の形状をそれが占有している範囲 (面) に一律の高さを与えた立体として表現する。 樹冠を水平投影した面を樹高で立ち上げた立体となる。 
veg:lod2Geometry	gml:_Geometry [0..1]	単独木の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まり又は立体として区分して表現する。 樹冠と樹幹をそれぞれ簡略化した立体 (楕円体、球体、円錐、角錐、角柱、円柱などの単純な立体図形) を組み合わせた立体 
		図 LOD2 の SolitaryVegetationObject の例 樹木量の算定等、容積が必要ではない場合には、gml:MultiSurfaceにより外殻を構成する。

veg:lod3Geometry	gml:_Geometry [0..1]	<p>単独木の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まり又は立体として詳細に区分して表現する。</p> <p>一定高さごとに樹冠の横断面を作成し、この頂点を結び外形を構成する（樹冠内部の主枝等の表現は行わない。）。</p>  <p>図 LOD3 の SolitaryVegetationObject の例</p> <p>樹木量の算定等、容積が必要ではない場合には、gml:MultiSurfaceにより外殻を構成する。</p>
------------------	----------------------	--

(2) veg:PlantCover

型の定義	<p>植被。芝生や茂みのように、植生に覆われた範囲を指し、個々の樹木を識別しない。</p>  <p>図 veg:PlantCover の例</p>	
上位の型	veg:_VegetationObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	植被の説明。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	植被を識別する管理番号や名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
veg:class	gml:CodeType [0..1]	植被を構成する主な樹種による分類。コードリスト (PlantCover_class.xml) より選択する。
(veg:function)	gml:CodeType [0..*]	植被の機能。
(veg:usage)	gml:CodeType [0..*]	植被の用途。
veg:averageHeight	gml:LengthType [0..1]	平均高さ。 単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。

gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
uro:vegetationDataQualityAttribute	uro:VegetationDataQualityAttribute [0..1]	当該植被データの品質に関する情報。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(veg:lod1MultiSurface)	gml:MultiSurface [0..1]	LOD1 は Solid により表現するため、使用しない。
veg:lod2MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	<p>植被の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まり又は立体として区分して表現する。</p> <p>植被の範囲内で比高 3m 以上の場合にこれを区分した面の集まりとなる。</p>
		
		図 LOD2 の PlantCover の例
veg:lod3MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	<p>植被の形状を立体とし、その主要な部分の外形を面の集まりとして詳細に区分して表現する。植被の範囲内で比高 1m 以上の場合にこれを区分した面の集まりとなる。</p>
		
		図 LOD3 の PlantCover の例
veg:lod1MultiSolid	gml:MultiSolid [0..1]	<p>植被の形状をそれが占有している範囲 (面) に一律の高さを与えた立体として表現する。植被の占有している範囲 (面) に、その範囲内で最も高い植被の高さで立ち上げた立体となる。</p>
		
		図 LOD1 の PlantCover の例
veg:lod2MultiSolid	gml:MultiSolid [0..1]	<p>植被の形状を立体とし、その主要な部分の外形を立体として詳細に区分して表現する。植被の範囲内で比高 3m 以上の場合にこれを区分した面の境界とする立体となる。</p>
		
		図 LOD2 の PlantCover の例

veg:lod3MultiSolid	gml:MultiSolid [0..1]	<p>植被の形状を立体とし、その主要な部分の外形を立体として詳細に区分して表現する。植被の範囲内で比高 1m 以上の場合にこれを区分した面を境界とする立体となる。</p>  <p>図 LOD3 の PlantCover の例</p>
--------------------	-----------------------	--

4.3.12 WaterBody (CityGML)

(1) wtr:WaterBody

型の定義	<p>河川、湖沼、等のように陸地内に存在する水の存在する部分及び海。水路や貯水槽、プールのような人工的に存在する水を含む。</p> <p>標準製品仕様では、「wtr:WaterBody」を用いて、洪水浸水想定区域、津波浸水想定、高潮浸水想定区域、及び内水浸水想定区域（以下、浸水想定区域等と呼ぶ）の浸水面を記述する。</p> <p>浸水面を構成する図形の頂点の高さは、標高に浸水深を加えた高さとする。</p>  <p>図 wtr:WaterBody の例</p> <p>(PlateauView 上で bldg:Building の LOD1 モデルと重畳表示)</p>	
上位の型	wtr:_WaterObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	水部の説明。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	水部を識別する名称。浸水想定区域等の図面に示される、図面の名称を記述する。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
wtr:class	gml:CodeType [0..1]	水部の分類。コードリスト (WaterBody_class.xml) から選択する。浸水想定区域等の場合は、1140 とする。

wtr:function	gml:CodeType [0..*]	浸水想定区域等の種類。コードリスト (WaterBody_function.xml) より選択する。必須とする。
(wtr:usage)	gml:CodeType [0..*]	水部の利用方法。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
gen:stringAttribute	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:intAttribute	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:doubleAttribute	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:dateAttribute	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:uriAttribute	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:measureAttribute	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
gen:genericAttributeSet	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット (集合)。属性を追加したい場合に使用する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
wtr:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	水面の範囲。水平面に投影した場合に隣り合う水部のインスタンスは、連続でなければならない。 各頂点の高さは、浸水深 + 標高となる。
uro:floodingRiskAttribute	uro:FloodingRiskAttribute [0..1]	浸水リスクに関する情報。最大 1 個作成する。

4.3.13 UrbanObject (i-UR)

(1) uro:BuildingIDAttribute

型の定義	建築物を識別するための情報。	
上位の型	uro:BuildingAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:buildingID	xs:string [1]	主たる建築物を識別するための番号。必須とする。 [市区町村コード]-[接頭辞]-[オブジェクト連番]とする。 [市区町村コード] は、当該地物が存在する市区町村に該当するコード。複数の市区町村に跨る場合には、代表的な市区町村のコードとする。先頭の 0 は省略せず、5 桁で記述する。 [接頭辞]は地物型の区分を示す 3 桁又は 4 桁のコードとする。 建築物の場合は、bldg とする。 [オブジェクト連番]は半角数字の連番とする。
uro:branchID	xs:integer [0..1]	主たる建築物に対して付帯する建築物を識別するための番号。
uro:partID	xs:integer [0..1]	主たる建築物を複数の bldg:BuildingPart に分けて記述する場合の、建築物部分を識別するための番号。bldg:BuildingPart には必須とする。
uro:prefecture	gml:CodeType [0..1]	建築物が所在する都道府県の都道府県コード。JIS X0401 に定義される 2 桁の半角数字。コードリスト (Common_localPublicAuthorities.xml) より選択する。

uro:city	gml:CodeType [1]	建築物が所在する市区町村の市区町村コード。JIS X0401 に定義される 2 桁の半角数字と JIS X0402 に定義される 3 桁の半角数字とを組み合わせた 5 桁の半角数字。政令市の場合は、区の市区町村コードとする。コードリスト (Common_localPublicAuthorities.xml) より選択する。 i-UR では多重度が[0..1]となっているが、建築物の位置の把握に使用するため、標準製品仕様書では必須とする。
----------	------------------	---

(2) uro:BuildingDetailAttribute

型の定義	都市計画法に基づき実施される都市計画基礎調査において収集された、建築物に関する基礎的な情報。	
上位の型	uro:BuildingAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:serialNumberOfBuilding Certification	xs:string [0..1]	建築確認申請番号。
uro:siteArea	gml:MeasureType [0..1]	当該建築物が立地する敷地の面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
uro:totalFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	当該建築物の各階の床面積の合計。単位は m2 (uom="m2") とする。
uro:buildingFootprintArea	gml:MeasureType [0..1]	建築物の壁や柱の中心線で囲まれた部分の水平投影面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
uro:buildingRoofEdgeArea	gml:MeasureType [0..1]	屋根を含む建築物の水平投影面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
uro:developmentArea	gml:MeasureType [0..1]	開発された面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
uro:buildingStructureType	gml:CodeType [0..1]	構造種別。コードリスト (BuildingDetailAttribute_buildingStructureType.xml) より選択する。
uro:buildingStructureOrgType	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の構造種別。コードリスト (BuildingDetailAttribute_buildingStructureOrgType.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:fireproofStructureType	gml:CodeType [0..1]	耐火構造区分。コードリスト (BuildingDetailAttribute_fireproofStructureType.xml) より選択する。
uro:implementingBody	xs:string [0..1]	建築物建築の実施主体の名称。
uro:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	建築物が立地する土地が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
uro:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	建築物が立地する土地が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
uro:districtsAndZonesType	gml:CodeType [0..*]	建築物が立地する土地が属する地域地区の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。建築物が複数の地域地区に含まれる場合は、複数を列挙する。
uro:landUseType	gml:CodeType [0..1]	建築物が立地する土地の土地利用区分。コードリスト (Common_landUseType.xml) より選択する。

uro:reference	xs:string [0..1]	建築物の位置を示す図面上の番号。
uro:majorUsage	gml:CodeType [0..1]	urf:orgUsage よりも粗い区分による都市独自の分類。コードリスト (BuildingDetailAttribute_majorUsage.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:majorUsage2	gml:CodeType [0..1]	uro:orgUsage よりも粗く、uro:majorUsage よりも細かい区分による都市独自の分類。コードリスト (BuildingDetailAttribute_majorUsage2.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:orgUsage	gml:CodeType [0..1]	都市計画基礎調査実施要領 (国土交通省都市局) に示された建築物の「用途分類」に相当する都市独自の分類。コードリスト (BuildingDetailAttribute_orgUsage.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:orgUsage2	gml:CodeType [0..1]	都市計画基礎調査実施要領 (国土交通省都市局) に示された建築物の「用途分類」のうち、商業施設、文教厚生施設、運輸倉庫施設、工場が詳細化された区分に相当する都市独自の分類。コードリスト (BuildingDetailAttribute_orgUsage2.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:detailedUsage	gml:CodeType [0..1]	uro:orgUsage2 よりも細かい区分による都市独自の分類。コードリスト (BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、本製品仕様書に示すコードリストを必要に応じて加工すること。
uro:detailedUsage2	gml:CodeType [0..1]	uro:detailedUsage よりも細かい区分による都市独自の分類。コードリスト (BuildingDetailAttribute_detailedUsage2.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:detailedUsage3	gml:CodeType [0..1]	uro:detailedUsage2 よりも細かい区分による都市独自の分類。コードリスト (BuildingDetailAttribute_detailedUsage3.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:groundFloorUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物 1 階の用途。コードリスト (BuildingDetailAttribute_groundFloorUsage.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:secondFloorUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の 2 階または 2 階以上の用途。コードリスト (BuildingDetailAttribute_secondFloorUsage.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:thirdFloorUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の 3 階または 3 階以上の用途。コードリスト (BuildingDetailAttribute_thirdFloorUsage.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:basementUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の地下の用途。コードリスト (BuildingDetailAttribute_basementFloorUsage.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:basementFirstUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の地下 1 階の用途。コードリスト (BuildingDetailAttribute_basementFirstUsage.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。

uro:basementSecondUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の地下 2 階の用途。コードリスト (BuildingDetailAttribute_basementSecondUsage.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:vacancy	gml:CodeType [0..1]	空き家か否かの別。コードリスト (BuildingDetailAttribute_vacancy.xml) より選択する。
uro:buildingCoverageRate	xs:double [0..1]	建蔽率 (敷地面積に対する建築面積の割合)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:floorAreaRate	xs:double [0..1]	容積率 (敷地面積に対する延床面積の割合)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:specifiedBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	指定建蔽率 (用途地域別に定められている建蔽率)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:specifiedFloorAreaRate	xs:double [0..1]	指定容積率 (都市計画で定められる容積率の最高限度)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:standardFloorAreaRate	xs:double [0..1]	基準容積率 (前面道路の幅員が 12m 未満の場合に、前面道路の幅員による限度により算出される容積率)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:buildingHeight	gml:LengthType [0..1]	建築基準法施行令第 2 条に定義される地盤面からの建築物の高さ。単位は m (uom="m") とする。
uro:eaveHeight	gml:LengthType [0..1]	建築基準法施行令第 2 条に定義される建築物の地盤面から軒桁までの高さ。単位は m (uom="m") とする。
uro:note	xs:string [0..1]	その他建築物に関して特筆すべき事項。
uro:surveyYear	xs:gYear [1]	建物利用現況調査の実施年 (西暦)。

(3) uro:LargeCustomerFacilityAttribute

型の定義	都市計画法に基づき実施される都市計画基礎調査において収集された、大規模小売店舗や大規模集客施設に関する基礎的な情報。	
上位の型	uro:BuildingAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:class	gml:CodeType [0..1]	集客施設の種類。コードリスト (LargeCustomerFacilityAttribute_class.xml) より選択する。
uro:name	xs:string [0..1]	集客施設の名称。
uro:capacity	xs:integer [0..1]	集客施設の収容人数。(病院の場合は、病床数、大学等の場合は学生数とする。)
uro:owner	xs:string [0..1]	施設の所有者の名称。
uro:totalFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	集客施設各階における店舗の床面積を合計した面積。単位は m (uom="m2") とする。
uro:totalStoreFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	集客施設各階における店舗の床面積を合計した面積。単位は m (uom="m2") とする。
uro:inauguralDate	xs:date [0..1]	集客施設が運営を開始した年月日。
uro:keyTenants	xs:string [0..1]	集客施設が商業施設の場合の、主要なテナントの名称。
uro:availability	xs:boolean [0..1]	集客施設が医療施設の場合の、3次医療圏規模の有無。

uro:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	集客施設が立地する土地が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
uro:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	集客施設が立地する土地が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
uro:districtsAndZonesType	gml:CodeType [0..*]	集客施設が立地する土地が属する地域地区の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。建築物が複数の地域地区に含まれる場合は、複数を列挙する。
uro:landUseType	gml:CodeType [0..1]	集客施設が立地する土地の土地利用区分。コードリスト (Common_landUseType.xml) より選択する。
uro:reference	xs:string [0..1]	図面対照番号。集客施設の位置を示す図面上の番号。
uro:note	xs:string [0..1]	その他集客施設に関して特筆すべき事項。
uro:surveyYear	xs:gYear [1]	集客施設の立地状況調査の実施年 (西暦) 。

(4) uro:BuildingRiverFloodingRiskAttribute

型の定義	<p>洪水浸水想定区域内に存在する建築物に、浸水想定区域がもつ属性を与えるための属性型。</p> <p>同一の浸水想定区域図において、複数の区域に建築物が跨って存在する場合は、面積割合が最も大きい区域の値を採用する。面積割合が等しい場合は、より危険な区域 (浸水ランクが異なる場合は浸水ランクの大きい区域、浸水ランクが等しい場合は浸水深の値が大きい区域、浸水ランクと浸水深が等しい場合は継続時間の大きな区域) の値を採用する。</p>	
上位の型	uro:BuildingFloodingRiskAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:description	gml:CodeType [1]	<p>指定河川の名称。コードリスト (BuildingRiverFloodingRiskAttribute_description.xml) より選択する。都市ごとにコードリストを作成する。</p> <p>指定河川の名称には、水防法に基づき指定された洪水浸水想定区域図の対象となる洪水予報河川又は水位周知河川として示された、「水系名」及び「指定河川名」を用いることを基本とする。</p> <p>一つの浸水想定区域図に複数の洪水予報河川又は水位周知河川が含まれている場合は、「指定河川名」を列挙する。指定河川名を列挙する場合の区切り文字は「・」 (全角中点) を使用する。また、都道府県が独自に作成している浸水の区域図は、当該浸水想定区域の名称から、対象となる区域を指す名称を用いる。</p>
uro:rank	gml:CodeType [0..1]	<p>浸水深に応じた区分。コードリスト (BuildingRiverFloodingRiskAttribute_rank.xml) より選択する。</p> <p>uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。</p>

uro:rankOrg	gml:CodeType [0..1]	都道府県独自に設定した浸水深の区分。コードリスト (BuildingRiverFloodingRiskAttribute_rankOrg.xml) より選択する。この属性を使用する場合は、コードリストを作成する。 uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:depth	gml:LengthType [0..1]	浸水の深さ。単位は m (uom="m") とする。
自身に定義された属性		
uro:adminType	gml:CodeType [1]	洪水予報河川又は水位周知河川を指定した機関の別。コードリスト (BuildingRiverFloodingRiskAttribute_adminType.xml) より選択する。
uro:scale	gml:CodeType [1]	想定最大規模降雨あるいは計画規模降雨のいずれにより作成されたかの区分。コードリスト (BuildingRiverFloodingRiskAttribute_scale.xml) より選択する。
uro:duration	gml:MeasureType [0..1]	浸水が継続する時間。単位は時間 (uom="hour") とする。

(5) uro:BuildingTsunamiRiskAttribute

型の定義	津波洪水浸水想定区域内に存在する建築物に、津波浸水想定区域の属性を建築物に与えるための属性型。 1 回の津波浸水シミュレーションに関して、複数の区域が一棟の建築物に跨って存在する場合は、面積割合が最も大きい区域の値を採用する。面積割合が等しい場合は、より危険な区域 (浸水ランクが異なる場合は浸水ランクの大きい区域、また、浸水ランクが等しい場合は浸水深の値が大きい区域) の値を採用する。	
上位の型	uro:BuildingFloodingRiskAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:description	gml:CodeType [1]	津波浸水想定属性を付与する元となる図またはデータの名称。コードリスト (BuildingTsunamiRiskAttribute_description.xml) より選択する。都市ごとにコードリストを作成する。
uro:rank	gml:CodeType [0..1]	浸水深に応じた区分。コードリスト (BuildingTsunamiRiskAttribute_rank.xml) より選択する。 uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:rankOrg	gml:CodeType [0..1]	都道府県独自に設定した浸水深の区分。コードリスト (BuildingTsunamiRiskAttribute_rankOrg.xml) より選択する。この属性を使用する場合は、コードリストを作成する。uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:depth	gml:LengthType [0..1]	陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。単位は m (uom="m") とする。

(6) uro:BuildingHighTideRiskAttribute

型の定義	高潮浸水想定区域に存在する建築物に、高潮浸水想定区域の属性を建築物に与えるための属性型。 1 回の高潮浸水シミュレーションに関して、複数の区域が一棟の建築物が跨って存在する場合は、面積割合が最も大きい区域の値を採用する。面積割合が等しい場合は、より危険な区域 (浸水ランクが	
------	---	--

	異なる場合は浸水ランクの大きい区域、また、浸水ランクが等しい場合は浸水深の値が大きい区域)の値を採用する。	
上位の型	uro:BuildingFloodingRiskAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:description	gml:CodeType [1]	高潮浸水想定区域の属性を付与する元となる図またはデータ集合の名称。コードリスト (BuildingHighTideRiskAttribute_description.xml) より選択する。都市ごとにコードリストを作成する。
uro:rank	gml:CodeType [0..1]	浸水深に応じた区分。コードリスト (BuildingHighTideRiskAttribute_rank.xml) より選択する。uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:rankOrg	gml:CodeType [0..1]	都道府県独自に設定した浸水深の区分。コードリスト (BuildingHighTideRiskAttribute_rankOrg.xml) より選択する。この属性を使用する場合は、コードリストを作成する。uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:depth	gml:LengthType [0..1]	陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。単位は m (uom="m") とする。

(7) uro:BuildingInlandFloodingRiskAttribute

型の定義	内水浸水想定区域に存在する建築物に、内水浸水想定区域の属性を建築物に与えるための属性型。 1 回の内水浸水シミュレーションに関して、複数の区域が一棟の建築物が跨って存在する場合は、面積割合が最も大きい区域の値を採用する。面積割合が等しい場合は、より危険な区域 (浸水ランクが異なる場合は浸水ランクの大きい区域、また、浸水ランクが等しい場合は浸水深の値が大きい区域) の値を採用する。	
上位の型	uro:BuildingFloodingRiskAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:description	gml:CodeType [1]	内水浸水想定区域の属性を付与する元となる図またはデータの名称。コードリスト (BuildingInlandFloodingRiskAttribute_description.xml) より選択する。都市ごとにコードリストを作成する。
uro:rank	gml:CodeType [0..1]	浸水深に応じた区分。コードリスト (BuildingInlandFloodingRiskAttribute_rank.xml) より選択する。 uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:rankOrg	gml:CodeType [0..1]	都道府県独自に設定した浸水深の区分。コードリスト (BuildingInlandFloodingRiskAttribute_rankOrg.xml) より選択する。この属性を使用する場合は、コードリストを作成する。uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。

uro:depth	gml:LengthType [0..1]	陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。単位は m (uom="m") とする。
-----------	-----------------------	--

(8) uro:BuildingLandSlideRiskAttribute

型の定義	土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に存在する建築物に、いずれの区域に含まれているかを属性として付与する。 一つの建築物に、複数の「区域区分」が重なっている場合は、以下の優先順位に基づき、最も優先順位の高い区域区分のみを付与する。 区域区分の優先順位は優先順位の高いほうから、 土砂災害特別警戒区域 (指定済) > 土砂災害警戒区域 (指定済) > 土砂災害特別警戒区域 (指定前) > 土砂災害警戒区域 (指定前) とする。 なお、一つの建築物に、複数の「現象区分」が重なっている場合は、それぞれを土砂災害リスク属性として記述する。	
上位の型	uro:BuildingDisasterRiskAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:description	gml:CodeType [1]	発生が想定されている災害の種類。コードリスト (BuildingLandSlideRiskAttribute_description.xml) より選択する。
自身に定義された属性		
uro:areaType	gml:CodeType [1]	土砂災害警戒区域に含まれているのが、 (BuildingLandSlideRiskAttribute_areaType.xml) より選択する。

(9) uro:BuildingDataQualityAttribute

型の定義	地物インスタンスごとのデータの作成情報を記述するためのデータ型。	
上位の型	uro:BuildingAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:srcScale	gml:CodeType [0..*]	元となるデータの地図情報レベル。コードリスト (BuildingDataQualityAttribute_srcScale.xml) より選択する。 LOD1とLOD2のように、異なるLODの幾何オブジェクトをもち、それぞれの地図情報レベルが異なる場合は、最も高い地図情報レベルを記載する。 例えば、LOD1は地図情報レベル2500、LOD2は地図情報レベル1000で作成されている場合には、地図情報レベル1000とする。
uro:geometrySrcDesc	gml:CodeType [0..*]	幾何オブジェクトを作成する元となるデータの説明。コードリスト (BuildingDataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml) より選択する。
uro:thematicSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	主題属性を作成する元となるデータの説明。コードリスト (BuildingDataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml) より選択する。

uro:appearanceSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	テクスチャ画像を作成する元となるデータの説明。コードリスト (BuildingDataQualityAttribute_appearanceSrcDesc.xml) より選択する。
uro:lod1HeightType	gml:CodeType [1]	LOD1 の立体図形を作成する際に使用した、建築物の高さの算出方法。コードリスト (BuildingDataQualityAttribute_lod1HeightType.xml) より選択する。
uro:lodType	uro:BuildingLODType [0..2]	当該建築物に適用された LOD2 及び LOD3 の詳細な区分 (表 4-2 及び表 4-4 参照。) LOD2 又は LOD3 の幾何オブジェクトの中に異なる LOD2 又は LOD3 の細分が含まれている場合は、最も低い LOD とする。 例えば、LOD2.0 と LOD2.1 が混在している場合は、LOD2.0 とする。

(10) uro:KeyValuePairAttribute

型の定義	建築物に付与する追加情報。建築物が継承する属性及び建築物に定義された属性以外に情報を追加したい場合に使用する。 属性名称と属性の値の対で構成される。拡張属性は、コード値をとる属性にのみ適用する。 コード値以外の属性を追加する場合は、gen:_GenericAttribute を使用すること。	
上位の型	-	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:key	gml:CodeType [1]	拡張する属性の名称。名称は、コードリスト (KeyValuePairAttribute_key.xml) より選択する。コード値をとる属性を追加する場合は、コードリストを作成する。
uro:codeValue	gml:CodeType [0..1]	拡張された属性の値。値はコード型となる。 uro:KeyValuePairAttribute を使用する場合は、必ず uro:codeValue を作成する。
(uro:stringValue)	xs:string [0..1]	拡張された属性の値。値は文字列型となる。
(uro:intValue)	xs:integer [0..1]	拡張された属性の値。値は整数型となる。
(uro:doubleValue)	xs:double [0..1]	拡張された属性の値。値は実数型となる。
(uro:measureValue)	gml:MeasureType [0..1]	拡張された属性の値。値は単位付き計測値型となる。
(uro:dateValue)	xs:date [0..1]	拡張された属性の値。値は日付型となる。
(uro:uriValue)	xs:anyURI [0..1]	拡張された属性の値。値は URI 型となる。

(11) uro:BuildingLODType

型の定義	建築物の LOD2 及び LOD3 の詳細な区分を示す列挙型。
上位の型	なし
ステレオタイプ	<<Enumeration>>
値	説明
2.0	LOD2.0 (「一辺 3m 以上」の屋根面を表現する。軒の表現は行わない。また、付属物も作成しない。)

2.1	LOD2.1 (「一辺 3m 以上」または「一辺 1m 以上かつ面積 3m ² 以上」の屋根面を表現する。軒の表現は行わない。屋根に設置された「一辺 3m 以上」または「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の付属物を表現する。)
2.2	LOD2.2 (「一辺 1m 以上」の屋根面を表現する。軒の表現は行わない。屋根に設置された「一辺 1m 以上」の付属物を表現する。)
3.0	LOD3.0 (「一辺 3m 以上」の屋根面を表現する。3m 以上の軒の表現を行う。屋根及び壁面に設置された「一辺 3m 以上」または「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の付属物を表現する。壁面に設置された「一辺 1m 以上」の開口部を表現する。)
3.1	LOD3.1 (「一辺 3m 以上」または「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の屋根面を表現する。1m 以上の軒の表現を行う。屋根及び壁面に設置された「一辺 3m 以上」または「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の付属物を表現する。壁面に設置された「一辺 1m 以上」の開口部を表現する)
3.2	LOD3.2 (「一辺 1m 以上」の屋根面を表現する。1m 以上の軒の表現を行う。屋根及び壁面に設置された一辺「1m 以上」の付属物を表現する。屋根面及び壁面に設置された「面積 1m ² 以上」の開口部を表現する。)
3.3	LOD3.3 (「一辺 1m 未満」の屋根面を表現する。1m 未満の軒の表現を行う。屋根及び壁面に設置された一辺「1m 未満」の付属物を表現する。屋根面及び壁面に設置された「一辺 1m 未満」の開口部を表現する。)

(12) uro:CityFurnitureDetailAttribute

型の定義	都市設備の詳細な区分を行うための属性型。	
上位の型	uro:CityFurnitureAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性	属性の型及び多重度	定義
uro:facilityType	xs:string [0..1]	<p>都市設備の、より詳細な区分。frn:function よりもさらに詳細に区分したい場合に使用する。</p> <p>定義域を別表に示す。frn:function の値により uro:facilityType の定義域は異なる。また、定義域に該当しない区分が存在する場合は、定義域を拡張してよい。</p> <p>なお、「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」別表第 4 及び第 6 に示された区画線及び道路標示の形状・寸法・色が同一、かつ設置される場所が同一の場合は、以下の場合を除き、「区画線」の区分を採用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全地帯又は路上障害物に接近」のうち、安全地帯に接近する場合は「道路標示」として取得する。 ・「路側帯」のうち、歩道の設けられていない道路、又は道路の歩道の設けられていない側の路端よりに設けられ、かつ、実線で示されているものは「道路標示」として取得する。
uro:description	xs:string [0..1]	<p>都市施設の詳細な内容。</p> <p>都市設備が道路標識または路面標示の場合は、文字や数字で記載されている内容。</p> <p>以下に示す道路標識または路面標示の記載内容を対象とする。</p>

		最大幅、重量制限、高さ制限、最高速度、最低速度、車両通行区分、専用通行帯
--	--	--------------------------------------

別表：uro:facilityType の定義域

urf:function の値	uro:facilityType の定義域
区画線	歩行者横断指導線、車道幅員の変更、路上障害物の接近、導流帯、路上駐車場
横断歩道	横断歩道、斜め横断可、自転車横断帯
停止線	停止線、二段停止線
指示標示	右側通行、進行方向、中央線、車線境界線、安全地帯、安全地帯又は路上障害物に接近、導流帯、路面電車停留場、横断歩道又は自転車横断帯あり、前方優先道路
規制標示	転回禁止、追越しのための右側部分はみ出し通行禁止、進路変更禁止、駐停車禁止、駐車禁止、最高速度、立ち入り禁止部分、停止禁止部分、路側帯、駐停車禁止路側帯、歩行者用路側帯、車両通行帯、優先本線車道、車両通行区分、特定の種類の車両の通行区分、牽引自動車の高速自動車国道通行区分、専用通行帯、路線バス優先通行帯、牽引自動車の自動車専用第一通行帯通行指定区間、進行方向別通行区分、右左折の方法、平行駐車、直角駐車、斜め駐車、普通自動車の歩道通行部分、普通自動車の交差点進入禁止、終わり
柵・壁	ビーム型防護柵、ガードレール、ガードパイプ、ボックスビーム、オードガード、ガードケーブル、コンクリート製壁型防護柵、転落（横断）防止柵、フェンス、立ち入り防止柵、落石防護柵、防雪柵、雪崩発生予防柵、車止めポスト、車止めポール、遮光フェンス、防砂柵、遮音壁、駒止
案内標識	市町村、都府県、入口の方向、入口の予告、方面・方向及び距離、方面及び距離、方面及び車線、方面及び方向の予告、方面及び方向、方面、方向及び道路の通称名の予告、方面、方向及び道路の通称名、出口の予告、方面及び出口の予告、方面、車線及び出口の予告、方面及び出口、出口、著名地点、主要地点、料金徴収所、サービス・エリアの予告、サービス・エリア、非常電話、待避所、非常駐車帯、駐車場、登坂車線、国道番号、都道府県番号、総重量限定緩和指定道路、道路の通称名、まわり道
警戒標識	従事道路交差点あり、T形道路交差点あり、T形道路交差点あり、Y形道路交差点あり、ロータリーあり、右（又は左）方屈曲あり、右（又は左）方屈折あり、右（又は左）背向屈曲あり、右（又は左）背向屈折あり、右（又は左）つづら折あり、踏切あり、学校、幼稚園、保育所等あり、信号機あり、すべりやすい、落石のおそれあり、路面凹凸あり、合流交通あり、車線数減少、幅員減少、二方向交通、上り急勾配あり、下り急勾配あり、道路工事中、横風注意、動物が飛び出すおそれあり、その他の危険
規制標識	通行止め、車両通行止め、車両進入禁止、二輪の自動車以外の自動車通行止め、大型貨物自動車等通行止め、特定の最大積載量以上の貨物自動車等通行止め、二輪の自動車原動機付自転車通行止め、自転車以外の軽車両通行止め、自転車通行止め、車両（組合せ）通行止め、指定方向外進行禁止、車両横断禁止、転回禁止、追越しのための右側部分はみ出し通行禁止、追越し禁止、駐停車禁止、駐車禁止、駐車予知、時間制限駐車区間、危険物積載車両通行止め、重量制限、高さ制限、最大幅、最高速度、特定の種類の車両の最高速度、最低速度、自動車専用、自転車専用、自転車及び歩行者専用、歩行者専用、一方通行、車両通行区分、特定の種類の車両の通行区分、牽引自動車の高速自動車国道通行区分、専用通行帯、路線バス等優先応対、牽引自動車の自動車専用道路第一通行帯通行指定区間、進行方向別通行区分、原動機付自転車の右折方法（二段階）、原動機付自転車の右折方法（小回り）、警笛鳴らせ、警笛区間、徐行、前方優先道路、一時停止、前方優先道路・一時停止、歩行者通行止め、歩行者横断禁止
指示標識	並進可、軌道敷内通行可、駐車可、停車可、優先道路、中央線、停止線、横断歩道、自転車横断帯、横断歩道・自転車横断帯、安全地帯、規制予告
補助標識	距離・区域、日・時間、車両の種類、駐車余地、始まり、区間内、区域内、終わり、通学路、追越し禁止、前方優先道路、踏切注意、横風注意、動物注意、注意、注意事項、規制理由、方向、地名、始点、終点
視線誘導標	反射式視線誘導標、自光式視線誘導標

urf:function の値	uro:facilityType の定義域
照明施設	照明灯、防犯灯
道路情報管理施設	CCTV、車両感知機、車両諸元計測装置、振動計、騒音計、大気汚染自動計測装置、非常電話、情報ターミナル、路側放送装置、非常警報装置、道路交通遮断施設、情報コンセント、ビーコン、テレメータ、路側無線装置、火災報知器
災害検知器	雪崩検知器、地滑り検知器、地震計測装置、落石検知器
気象観測装置	降水を検知する施設、雨量を計測する施設、降雨強度を計測する施設、降雪を検知する施設、降雪強度を計測する施設、降雪深を計測する施設、気温を計測する施設、路温を計測する施設、路上水分を計測する施設、湿度を計測する施設、路面凍結を検知する施設、路面冠水を検知する施設、透過率計、風向・風速計、吹流し、波浪計、越波計、検潮器（潮位計）
道路情報板	A型、B型、C型、HL型
電柱	有線柱、電話柱、電力柱
管理用地上施設	トランス、換気口
マンホール	マンホール（未分類）、マンホール（共同溝）、マンホール（ガス）、マンホール（電話）、マンホール（電気）、マンホール（上水）、マンホール（下水）
融雪施設	消雪パイプ、電熱融雪施設、温水融雪
側溝	L型側溝、U型側溝蓋有、U型側溝蓋無、街渠、アスファルトコンクリートカーブ、流雪溝
消火柱	消火柱、消火柱（立型）
輸送管	輸送管（地上）、輸送管（地下）

出典：道路基盤地図情報製品仕様書（案）、作業規程の準則 付録7 公共測量標準図式

(13) uro:CityFurnitureDataQualityAttribute

型の定義	都市設備オブジェクトごとの作成情報を記述するためのデータ型。	
上位の型	uro:CityFurnitureAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:srcScale	gml:CodeType [0..*]	元となるデータの地図情報レベル。コードリスト（CityFurnitureDataQualityAttribute_srcScale.xml）より選択する。 LOD1とLOD2のように、異なるLODの幾何オブジェクトをもち、それぞれの地図情報レベルが異なる場合は、最も高い地図情報レベルを記載する。 例えば、LOD1は地図情報レベル2500、LOD2は地図情報レベル1000で作成されている場合には、地図情報レベル1000とする。
uro:geometrySrcDesc	gml:CodeType [0..*]	幾何オブジェクトを作成する元となるデータの説明。コードリスト（CityFurnitureDataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択する。 都市設備オブジェクトに複数のLODが含まれる場合は、最も高度なLODについて記述する。
uro:thematicSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	主題属性を作成する元となるデータの説明。コードリスト（CityFurnitureDataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml）より選択する。

uro:appearanceSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	テクスチャ画像を作成する元となるデータの説明。コードリスト (CityFurnitureDataQualityAttribute_appearanceSrcDesc.xml) より選択する。
uro:lodType	uro:CityFurnitureLODType[0..1]	当該都市設備に適用された LOD3 の詳細な区分 (4.1.4 参照。)

(14) uro:CityFurnitureLODType

型の定義	都市設備の LOD3 の詳細な区分を示す列挙型。
上位の型	なし
ステレオタイプ	<<Enumeration>>
値	説明
3.0	都市設備の主要な部分同士の接続部を表現しない。
3.1	都市設備の主要な部分同士の接続部を表現する。

(15) uro:LandUseDetailAttribute

型の定義	都市計画に関する基礎調査の一つとして、土地利用の現況と変化の動向を把握することを目的とし都市計画法第 6 条の規定に基づき実施される調査の結果。	
上位の型	uro:LandUseAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:orgLandUse	gml:CodeType [0..1]	都市独自の分類による土地利用用途。コードリスト (LandUseDetailAttribute_orgLandUse.xml) より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	図上計測面積を調整した値。単位は m2 (uom="m2") とする。
uro:ownerType	gml:CodeType [0..1]	土地所有者の区分。コードリスト (LandUseDetailAttribute_ownerType.xml) より選択する。
uro:owner	xs:string [0..1]	土地所有者の名称。
uro:arealInSquareMeter	gml:MeasureType [0..1]	図上計測面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
uro:arealInHa	gml:MeasureType [0..1]	図上計測面積 (ha 換算数)。単位は ha (uom="ha") とする。
uro:buildingCoverageRate	xs:double [0..1]	建蔽率 (敷地面積に対する建築面積の割合)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:floorAreaRate	xs:double [0..1]	容積率 (敷地面積に対する延床面積の割合)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:specifiedBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	指定建蔽率 (用途地域別に定められている建蔽率)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:specifiedFloorAreaRate	xs:double [0..1]	指定容積率 (都市計画で定められる容積率の最高限度)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:standardFloorAreaRate	xs:double [0..1]	基準容積率 (前面道路の幅員が 12m 未満の場合に、前面道路の幅員による限度により算出される容積率)。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	土地が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。

uro:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	土地が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
uro:districtsAndZonesType	gml:CodeType [0..*]	土地が属する地域地区の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。建築物が複数の地域地区に含まれる場合は、複数を列挙する。
uro:prefecture	gml:CodeType [0..1]	土地が所在する都道府県の都道府県コード。JIS X0401 に定義される2桁の半角数字。コードリスト (Common_localPublicAuthorities.xml) より選択する。
uro:city	gml:CodeType [0..1]	土地が所在する市区町村の市区町村コード。JIS X0401 に定義される2桁の半角数字と JIS X0402 に定義される3桁の半角数字とを組み合わせた5桁の半角数字。政令市の場合は、区の市区町村コードとする。コードリスト (Common_localPublicAuthorities.xml) より選択する。
uro:reference	xs:string [0..1]	土地の位置を示す図面上の番号。
uro:note	xs:string [0..1]	その他土地に関して特筆すべき事項。
uro:surveyYear	xs:gYear [0..1]	土地利用現況調査の実施年 (西暦)。必須とする。

(16) uro:RoadStructureAttribute

型の定義	道路を、路線、同等以上の道路との交差点、道路構造の変化点 (トンネル、橋梁) で変化する場所で区切った区間における、道路の構造。	
上位の型	uro:RoadAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:width	gml:LengthType [0..1]	中央帯、車道、路肩、植樹帯、歩道等及び環境施設帯 (環境施設帯の中の路肩、植樹帯、歩道等の部分を除いた部分) の幅員を合計した幅員。単位は m (uom="m") とする。
uro:widthType	gml:CodeType [0..1]	幅員の区分。コードリスト (RoadStructureAttribute_widthType.xml) より選択する。都市計画基礎調査で収集されている場合にのみ作成する。
uro:numberOfLanes	xs:integer [0..1]	上下線の合計 (一方通行区間の場合を除く) の車線数。 道路構造令第2条第7号の登坂車線、同第2条第6号にいう付加追越車線、同第2条8号の屈折車線、同第2条第9号の変速車線及び同第2条第14号の停車帯、及びゆずり車線は車線数には含めない。交差点付近において、右左折のための車線が設けられている場合はこの数を含まない。 「1車線道路」は道路構造令第5条1項ただし書きによって、車線により構成されない車道を持つ道路であるが、ここでは車線数=1とする。「1車線道路」は車道幅員が5.5m未満の場合とする。 道路構造が「交差部」の場合、この属性は作成しない。
uro:sectionType	gml:CodeType [0..1]	道路構造の種別。コードリスト (RoadStructureAttribute_sectionType.xml) より選択する。

(17) uro:TrafficVolumeAttribute

型の定義	道路の交通量に関する情報。全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査の対象となる高速自動車国道、都市高速道路、一般国道、主要地方道である都道府県道及び指定市の市道、一般都道府県道、指定市の一部の一般市道を対象とする。	
上位の型	uro:RoadAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:sectionID	xs:string [0..1]	交通量調査において、調査の単位となる交通調査基本区間に付与される番号。原則として「都道府県(2桁)」+「道路種別(1桁)」+「路線番号(4桁)」+「順番番号(4桁)」からなる11桁の番号。
uro:weekday12hourTrafficVolume	xs:integer [0..1]	平日7時~19時までに通過する車両台数。単位は台とする。
uro:weekday24hourTrafficVolume	xs:integer [0..1]	平日7時~翌朝7時または0時~翌日0時までに通過する車両台数。単位は台とする。
uro:largeVehicleRate	xs:double [0..1]	自動車類交通量に対する大型車交通量の割合。単位は%とする。
uro:congestionRate	xs:double [0..1]	交通調査基本区間の交通容量に対する交通量の比。単位は%とする。
uro:averageTravelSpeedInCongestion	xs:double [0..1]	朝のラッシュ時間帯(7時~9時)又は夕方のラッシュ時間帯(17時~19時)において平均旅行速度を集計し、その遅い方の時間帯の旅行速度。都市計画基礎調査で収集されている場合のみ作成する。単位はkm/hとする。
uro:averageInboundTravelSpeedInCongestion	xs:double [0..1]	朝のラッシュ時間帯(7時~9時)又は夕方のラッシュ時間帯(17時~19時)において上り線における平均旅行速度を集計し、その遅い方の時間帯の旅行速度。単位はkm/hとする。
uro:averageOutboundTravelSpeedInCongestion	xs:double [0..1]	朝のラッシュ時間帯(7時~9時)又は夕方のラッシュ時間帯(17時~19時)において下り線における平均旅行速度を集計し、その遅い方の時間帯の旅行速度。単位はkm/hとする。
uro:observationPointName	xs:string [0..1]	交通量等を観測した地点の名称。
uro:reference	xs:string [0..1]	対象となる道路の区間を図上で識別する番号。
uro:surveyYear	xs:gYear [0..1]	調査が実施された年。必須とする。

(18) uro:RoadDataQualityAttribute

型の定義	道路オブジェクトごとの作成情報を記述するためのデータ型。	
上位の型	uro:RoadAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:srcScale	gml:CodeType [0..*]	元となるデータの地図情報レベル。コードリスト(RoadDataQualityAttribute_srcScale.xml)より選択する。

		<p>LOD1 と LOD2 のように、異なる LOD の幾何オブジェクトをもち、それぞれの地図情報レベルが異なる場合は、最も高い地図情報レベルを記載する。</p> <p>例えば、LOD1 は地図情報レベル 2500、LOD2 は地図情報レベル 1000 で作成されている場合には、地図情報レベル 1000 とする。</p>
uro:geometrySrcDesc	gml:CodeType [0..*]	<p>幾何オブジェクトを作成する元となるデータの説明。コードリスト (RoadDataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml) より選択する。</p> <p>道路オブジェクトに複数の LOD が含まれる場合は、最も高度な LOD について記述する。</p>
uro:thematicSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	<p>主題属性を作成する元となるデータの説明。コードリスト (RoadDataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml) より選択する。</p>
uro:appearanceSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	<p>テクスチャ画像を作成する元となるデータの説明。コードリスト (RoadDataQualityAttribute_appearanceSrcDesc.xml) より選択する。</p>
uro:lodType	uro:RoadLODType[0..1]	<p>道路オブジェクトに適用された LOD3 の詳細な区分 (表 4-7 参照)。LOD3 の幾何オブジェクトに、複数の LOD3 の細分が混在している場合は、最も低い LOD とする。</p> <p>例えば、LOD3.0 と LOD3.1 が混在している場合は、LOD3.0 とする。</p>

(19) uro:RoadLODType

型の定義	道路の LOD3 の詳細な区分を示す列挙型。
上位の型	なし
ステレオタイプ	<<Enumeration>>
値	説明
3.0	<p>道路の横断方向の高さは一律とし、車道の高さとする。</p> <p>車道、車道交差点、分離帯及び歩道を区分する。</p>
3.1	<p>道路の横断方向の高さは一律とし、車道の高さとする。</p> <p>車道、車道交差点、分離帯及び歩道の区分に加え、車道を車線に区分する。</p>
3.2	<p>道路の横断方向に存在する 15 cm 以上の段差を表現する。</p> <p>車道、車道交差点、分離帯及び歩道の区分に加え、車道を車線に区分し、歩道上の植栽を区分する。</p>
3.3	<p>道路の横断方向に存在する 2 cm 以上の段差を表現する。</p> <p>車道、車道交差点、分離帯及び歩道の区分に加え、車道を車線に区分し、歩道上の植栽を区分する。</p>
3.4	<p>道路の横断方向に存在する 2 cm 以上の段差を表現する。</p> <p>車道、車道交差点、分離帯及び歩道の区分に加え、車道、分離帯、歩道を以下の区分に細分する。</p> <p>車道は、車線、すりつけ区間、踏切道、軌道敷、待避所、副道、自動車駐車場、非常駐車帯、中央帯、側帯、路肩、停車帯、乗合自動車停車所に区分する。</p> <p>分離帯は、交通島、分離帯、植樹帯、路面電車停車所に区分する。</p> <p>歩道は、歩道、自転車歩行者道、自転車道、植樹帯に区分する。</p>

(20) uro:TafficAreaStructureAttribute

型の定義	交通領域の構造。
------	----------

上位の型	uro:TrafficAreaAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:numberOfLanes	xs:integer [0..1]	交通領域内の合計（一方通行区間の場合を除く）の車線数。 道路構造令第2条第7号の登坂車線、同第2条第6号にいう付加追越車線、同第2条第8号の屈折車線、同第2条第9号の変速車線及び同第2条第14号の停車帯、及びゆずり車線は車線数には含まない。交差点付近において、右左折のための車線が設けられている場合はこの数を含まない。 LOD2及びLOD3.0の車道部だけにこの属性を付与する。

(21) uro:VegetationDataQualityAttribute

型の定義	地物インスタンスごとのデータの作成情報を記述するためのデータ型。	
上位の型	uro:VegetationAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:srcScale	gml:CodeType [0..*]	元となるデータの地図情報レベル。コードリスト（VegetationDataQualityAttribute_srcScale.xml）より選択する。 LOD1とLOD2のように、異なるLODの幾何オブジェクトをもち、それぞれの地図情報レベルが異なる場合は、最も高い地図情報レベルを記載する。 例えば、LOD1は地図情報レベル2500、LOD2は地図情報レベル1000で作成されている場合には、地図情報レベル1000とする。
uro:geometrySrcDesc	gml:CodeType [0..*]	幾何オブジェクトを作成する元となるデータの説明。コードリスト（VegetationDataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択する。
uro:thematicSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	主題属性を作成する元となるデータの説明。コードリスト（VegetationDataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml）より選択する。
uro:appearanceSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	テクスチャ画像を作成する元となるデータの説明。コードリスト（VegetationDataQualityAttribute_appearanceSrcDesc.xml）より選択する。

(22) uro:WaterBodyRiverFloodingRiskAttribute

型の定義	洪水浸水想定区域の記述に使用する属性型。	
上位の型	uro:WaterBodyFloodingRiskAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:description	gml:CodeType [1]	指定河川の名称。コードリスト（WaterBodyRiverFloodingRiskAttribute_description.xml）より選択する。都市ごとにコードリストを作成する。

		指定河川の名称には、水防法に基づき指定された洪水浸水想定区域図の対象となる洪水予報河川又は水位周知河川として示された、「水系名」及び「指定河川名」を用いることを基本とする。 一つの浸水想定区域図に複数の洪水予報河川又は水位周知河川が含まれている場合は、「指定河川名」を列挙する。指定河川名を列挙する場合の区切り文字は「・」（全角中点）を使用する。また、都道府県が独自に作成している浸水の区域図は、当該浸水想定区域の名称から、対象となる区域を指す名称を用いる。
uro:rank	gml:CodeType [0..1]	浸水深に応じた区分。コードリスト (WaterBodyRiverFloodingRiskAttribute_rank.xml) より選択する uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:rankOrg	gml:CodeType [0..1]	都道府県独自に設定した浸水深の区分。コードリスト (WaterBodyRiverFloodingRiskAttribute_rankOrg.xml) より選択する。この属性を使用する場合は、コードリストを作成する。 uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
(uro:depth)	gml:LengthType [0..1]	浸水の深さ。単位は m (uom="m") とする。
自身に定義された属性		
uro:adminType	gml:CodeType [1]	洪水予報河川又は水位周知河川を指定した機関の別。コードリスト (WaterBodyRiverFloodingRiskAttribute_adminType.xml) より選択する。
uro:scale	gml:CodeType [1]	想定最大規模降雨あるいは計画規模降雨のいずれにより作成されたかの区分。コードリスト (WaterBodyRiverFloodingRiskAttribute_scale.xml) より選択する。
(uro:duration)	gml:MeasureType [0..1]	浸水が継続する時間。単位は時間 (uom="hour") とする。

(23) uro:WaterBodyTsunamiRiskAttribute

型の定義	津波浸水想定の記事に使用する属性型。	
上位の型	uro:WaterBodyFloodingRiskAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:description	gml:CodeType [1]	津波浸水想定属性を付与する元となる図またはデータの名称。コードリスト (WaterBodyTsunamiRiskAttribute_description.xml) より選択する。都市ごとにコードリストを作成する。
uro:rank	gml:CodeType [0..1]	浸水深に応じた区分。コードリスト (WaterBodyTsunamiRiskAttribute_rank.xml) より選択する。 uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:rankOrg	gml:CodeType [0..1]	都道府県独自に設定した浸水深の区分。コードリスト (WaterBodyTsunamiRiskAttribute_rankOrg.xml) より選択する。この属性を使用する場合は、コードリストを作成する。uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
(uro:depth)	gml:LengthType [0..1]	陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。単位は m (uom="m") とする。

(24) uro:WaterBodyHighTideRiskAttribute

型の定義	高潮浸水想定区域の記述に使用する属性型。	
上位の型	uro:WaterBodyFloodingRiskAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:description	gml:CodeType [1]	高潮浸水想定区域の属性を付与する元となる図またはデータの名称。コードリスト (WaterBodyHighTideRiskAttribute_description.xml) より選択する。都市ごとにコードリストを作成する。
uro:rank	gml:CodeType [0..1]	浸水深に応じた区分。コードリスト (WaterBodyHighTideRiskAttribute_rank.xml) より選択する。 uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:rankOrg	gml:CodeType [0..1]	都道府県独自に設定した浸水深の区分。コードリスト (WaterBodyHighTideRiskAttribute_rankOrg.xml) より選択する。この属性を使用する場合は、コードリストを作成する。uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
(uro:depth)	gml:LengthType [0..1]	陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。単位は m (uom="m") とする。

(25) uro:WaterBodyInlandFloodingRiskAttribute

型の定義	内水浸水想定区域の記述に使用する属性型。	
上位の型	uro:WaterBodyFloodingRiskAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:description	gml:CodeType [1]	内水浸水想定区域の属性を付与する元となる図またはデータの名称。コードリスト (WaterBodyInlandFloodingRiskAttribute_description.xml) より選択する。都市ごとにコードリストを作成する。
uro:rank	gml:CodeType [0..1]	浸水深に応じた区分。コードリスト (WaterBodyInlandFloodingRiskAttribute_rank.xml) より選択する。 uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
uro:rankOrg	gml:CodeType [0..1]	都道府県独自に設定した浸水深の区分。コードリスト (WaterBodyInlandFloodingRiskAttribute_rankOrg.xml) より選択する。この属性を使用する場合は、コードリストを作成する。uro:rank 又は uro:rankOrg のいずれか一つをもつ。
(uro:depth)	gml:LengthType [0..1]	陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。単位は m (uom="m") とする。

4.3.14 UrbanFunction (i-UR)

(1) urf:UrbanPlanningArea

型の定義	都市計画区域。都市の実態や将来の計画を勘案して、一体の都市地域となるべき区域として指定された区域。(都市計画法第5条第1項)	
		
	<p>図 都市計画区域の例</p> <p>複数の市区町村にまたがる都市計画区域の場合は、市区町村の境界で区切る。</p>	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画区域の名称。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画区域の種類。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第15条第1項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。

(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。 都市計画区域の総面積とし、複数の市区町村に跨っている場合は合計とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都市計画区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	都市計画区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	都市計画区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他都市計画区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
(urf:location)	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:areaClassification	gml:CodeType [1]	都市計画法第 6 条の 2 第 2 項第 1 号に定める区域区分の決定の有無。コードリスト (Common_availabilityType.xml) より選択する。必須とする。
urf:reasonForAreaClassification	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画区域内に区域区分を設定する又はしない理由。必須とする。
urf:policyForAreaClassification	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 6 条の 2 第 2 項第 1 号に定める区域区分を定める場合のその方針。
urf:purposeForUrbanPlan	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 6 条の 2 第 2 項第 2 号に定める目標。
urf:policyForUrbanPlanDecision	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 6 条の 2 第 2 項第 3 号に定める土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針。
urf:population	xs:integer [0..1]	都市計画区域内の総人口。単位は人とする。
urf:cityArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画区域が複数市区町村に跨っている場合の、当該市区町村の面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:cityPopulation	xs:integer [0..1]	都市計画区域が複数市区町村に跨っている場合の、当該市区町村内の人口。単位は人とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。都市計画区域の外周及び内周となる境界線。

(2) urf:QuasiUrbanPlanningArea

型の定義	準都市計画区域。そのまま土地利用を整理し、又は環境を保全するための措置を講ずることなく放置すれば、将来における一体の都市としての整備、開発及び保全に支障が生じるおそれがあると認められる一定の区域。(都市計画法第 5 条の 2 第 1 項)
------	---

上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	区域の名称。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_vali alidType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_v alidType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。 準都市計画区域の総面積とし、複数の市区町村に跨っている場合は合計とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	準都市計画区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	準都市計画区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	準都市計画区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他準都市計画区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。

(urf:location)	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:population	xs:integer [0..1]	準都市計画区域内の総人口。単位は人とする。
urf:cityArea	gml:MeasureType [0..1]	準都市計画区域が複数市区町村に跨っている場合の、当該市区町村内の面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:cityPopulation	xs:integer [0..1]	準都市計画区域が複数市区町村に跨っている場合の、当該市区町村内の人口。単位は人とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	準都市計画区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。準都市計画区域の外周及び内周となる境界線。

(3) urf:AreaClassification

型の定義	都市計画法第 7 条に基づき、無秩序な市街地の拡大による環境悪化の防止、計画的な公共施設整備などによる良好な市街地の形成などを行うため、都市計画区域について区分された、計画的な市街化を図るべき区域「市街化区域」と、市街化を抑制すべき「市街化調整区域」。(都市計画法第 7 条)	
		
	図 区域区分 (市街化調整地域) の例	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	区域の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。

urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
(urf:location)	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:population	xs:integer [0..1]	都市計画法第 13 条第 1 項第 2 号で定められる整備、開発、保全の方針に記載される人口。単位は人とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	準都市計画区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。準都市計画区域の外周及び内周となる境界線。

(4) urf:DistrictsAndZones

型の定義	<p>都市計画法第 8 条に基づき、都市計画区域内の土地をその利用目的によって区分し、建築物などに対するルールを決め、土地の合理的な利用を図るために指定された区域。</p> <p>下位の地物型として定義されていない地域地区を記述したい場合にのみ、この地物型を使用し、属性「urf:function」でその内容を識別する。下位の地物型として定義されている場合は、必ず下位の地物型を使用すること。</p>
------	--

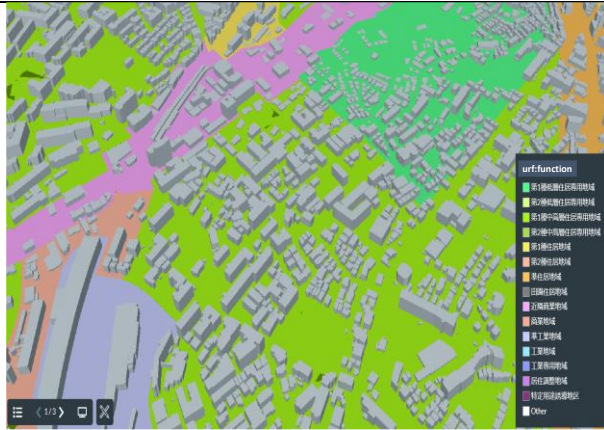


図 urf:DistrictsAndZones 及び下位型の例
(3D 地形の上で LOD1 の bldg:Building と重量表示している)

上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) に定義されていない地域地区を記述する場合のみ、文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。

urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(5) urf:UseDistrict

型の定義	都市計画法第八条第 1 項第一号で定められる用途地域。 第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、田園住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域又は工業専用地域。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:floorAreaRate	xs:double [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号イに定める容積率 (延べ面積の敷地面積に対する割合) 。全体を「1」とする割合で記述する。

urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号イに定める建築物の敷地面積の最低限度。
urf:buildingCoverageRate	xs:double [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ロ及びハに定める建ぺい率 (建築面積の敷地面積に対する割合)。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:wallSetbackDistance	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ロに定める外壁の後退距離。一律に距離が指定されている場合は、半角数字と単位(m)を記述する。複数の上限が設定されている場合はその条件を列挙する。
urf:buildingHeightLimits	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ロに定める建築物の高さの限度。
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、用途地域内の建築物の制限。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
urf:setbackRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築物の各部分の高さの制限。
urf:shadeRegulation	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、日影による中高層の建築物の制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(6) urf:SpecialUseDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号で定められる特別用途地区。 用途地域内の一定の地区における当該地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護等の特別の目的の実現を図るため当該用途地域の指定を補完して定める地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。

(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。コードリスト (SpecialUseDistrict_usage.xml) より選択する。必須とする。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築基準法第 49 条で定められるその地区の指定の目的のためにする建築物の建築の制限又は禁止に関して必要な規定。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築基準法第 50 条で定められる特別用途地区における建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(7) urf:SpecialUseRestrictionDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号で定められる特定用途制限地域。 用途地域が定められていない土地の区域 (市街化調整区域を除く。) 内において、その良好な環境の形成又は保持のため当該地域の特性に応じて合理的な土地利用が行われるよう、制限すべき特定の建築物等の用途の概要を定める地域。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	制限すべき特定の建築物等の用途の概要。必須とする。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。

urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築基準法第 49 条の 2 で定められる建築物の用途の制限。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築基準法第 50 条で定められる特定用途制限地域における建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(8) urf:ExceptionalFloorAreaRateDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号の 3 で定められる特例容積率適用地区。 第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域又は工業地域内の適正な配置及び規模の公共施設を備え
------	--

	た土地の区域において、建築基準法第五十二条第一項から第九項までの規定による建築物の容積率の限度からみて未利用となっている建築物の容積の活用を促進して土地の高度利用を図るため定める地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。必須とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。

urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingHeightLimits	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号に定める当該地区における市街地の環境を確保するために必要な場合に定められた建築物の高さの最高限度。 単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(9) urf:HighRiseResidentialAttractionDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号の 4 で定められる高層住居誘導地区。 住居と住居以外の用途とを適正に配分し、利便性の高い高層住宅の建設を誘導するため、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域又は準工業地域でこれらの地域に関する都市計画において建築基準法第五十二条第一項第二号に規定する建築物の容積率が十分の四十又は十分の五十と定められたもの内において、建築物の容積率の最高限度、建築物の建蔽率の最高限度及び建築物の敷地面積の最低限度を定める地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。必須とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:floorAreaRate	xs:double [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号イに定める容積率 (延べ面積の敷地面積に対する割合) 。全体を「1」とする割合で記述する。

urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	都市計画法第8条第3項第2号ロ及びハに定める(建ぺい率建築面積の敷地面積に対する割合)。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第8条第3項第2号イに定める建築物の敷地面積の最低限度。単位はm2 (uom="m2")とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを0とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(10) urf:HeightControlDistrict

型の定義	都市計画法第8条第1項第3号で定められる高度地区。 用途地域内において市街地の環境を維持し、又は土地利用の増進を図るため、建築物の高さの最高限度又は最低限度を定める地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第8条第3項第1号に定める地域地区(及び用途地域)の区分。コードリスト(Common_districtsAndZonesType.xml)より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	高度地区の区分。コードリスト(HeightControlDistrict_usage.xml)より選択する。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦(YYYY-MM-DD)で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト(Common_validType.xml)より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度(西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦(YYYY-MM-DD)で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト(Common_validType.xml)より選択する。

urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号トに定める建築物の高さの最高限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号トに定める建築物の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(11) urf:HighLevelUseDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 3 号で定められる高度利用地区。 用途地域内の市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るため、建築物の容積率の最高限度及び最低限度、建築物の建蔽率の最高限度、建築物の建築面積の最低限度並びに壁面の位置の制限を定める地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:arealTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:maximumFloorAreaRate	xs:double [1..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号に定める容積率の最高限度 (延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度)。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumFloorAreaRate	xs:double [1..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号に定める容積率の最低限度 (延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度)。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:double [1..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号に定めるに定める建ぺい率の最高限度 (建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度)。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumBuildingArea	gml:MeasureType [1..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号に定める建築物の建築面積の最低限度。単位は m2 (uom="m2") とする。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号に定めるに定める外壁の後退距離。文字列または計画図への参照とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(12) urf:SpecifiedBlock

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号で定められる特定街区。 市街地の整備改善を図るため街区の整備又は造成が行われる地区について、その街区内における建築物の容積率並びに建築物の高さの最高限度及び壁面の位置の制限を定める街区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称 (当該地区又は地域を識別する名前)。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:floorAreaRate	xs:double [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号りに定める容積率 (延べ面積の敷地面積に対する割合) 。全体を「1」とする割合で記述する。

urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号りに定める建築物の高さの最高限度。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号りに定める外壁の後退距離。文字列または計画図への参照とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(13) urf:SpecialUrbanRenaissanceDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる都市再生特別地区。都市再生特別措置法 (平成十四年法律第二十二号) 第三十六条第一項の規定による都市再生特別地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf.notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。

urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:useToBeInduced	gml:StringOrRefType [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める当該地区において建築物その他の構造物の誘導すべき用途。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:double [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める容積率の最高限度 (延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度) 。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumFloorAreaRate	xs:double [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める容積率の最低限度 (延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度) 。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:double [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める建ぺい率の最高限度 (建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度) 。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumBuildingArea	gml:MeasureType [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める建築物の建築面積の最低限度。
urf:maximumBuildingHeight	gml:StringOrRefType [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める建築物の高さの最高限度。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める外壁の後退距離。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	建築基準法第 50 条で定める建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(14) urf:HousingControlArea

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる地区。 都市再生特別措置法 (平成十四年法律第二十二号) 第八十九条の規定による居住調整地域。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が存在する市区町村の市区町村コード。

urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(15) urf:ResidentialEnvironmentImprovementDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる地区。都市再生特別措置法 (平成十四年法律第二十二号) 第九十四条の二第一項の規定による居住環境向上用途誘導地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。

urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:useToBeInduced	gml:StringOrRefType [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める当該地区において建築物その他の構造物の誘導すべき用途。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める容積率の最高限度 (延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度)。全体を「 1 」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める建ぺい率の最高限度 (建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度)。全体を「 1 」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingHeight	gml:StringOrRefType [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める建築物の高さの最高限度。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める外壁の後退距離。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType[0..1]	建築基準法第 50 条で定める建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。

urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。
--------------	---------------------	------------------------------

(16) urf:SpecialUseAttractionDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる地区。 都市再生特別措置法 (平成十四年法律第二十二号) 第百九条第一項の規定による特定用途誘導地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。

urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:useToBeInduced	gml:StringOrRefType [1]	都市再生特別措置法第 109 条第 2 項第 1 号に定める当該地区において建築物その他の構造物の誘導すべき用途。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:double [1]	都市再生特別措置法第 109 条第 2 項第 1 号に定める容積率の最高限度（延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度）。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	都市再生特別措置法第 109 条第 1 項第 2 号に定める容積率の最低限度（延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度）。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumBuildingArea	gml:MeasureType[0..1]	都市再生特別措置法第 109 条第 1 項第 2 号に定める建築物の建築面積の最低限度。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:maximumBuildingHeight	gml:StringOrRefType[0..1]	都市再生特別措置法第 109 条第 2 項第 3 号に定める建築物の高さの最高限度。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType[0..1]	建築基準法第 50 条で定める建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(17) urf:FirePreventionDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 5 号で定められる防火地域又は準防火地域。 市街地における火災の危険を防除するため定める地域。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。

core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	防火地域又は準防火地域の種類。コードリスト (FirePreventionDistrict_usage.xml) より選択する。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。種

		類が「防火地域」の場合は、防火地域の合計面積とし、種類が「準防火地域」の場合は、準防火地域の合計面積。 単位は ha (uom="ha") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(18) urf:SpecifiedDisasterPreventionBlockImprovementZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 5 号の 2 で定められる地区。 密集市街地整備法第三十一条第一項の規定による特定防災街区整備地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf.notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。

urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [1]	密集市街地整備法第 31 条第 3 項第 1 号に定める建築物の敷地面積の最低限度。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [1]	密集市街地整備法第 31 条第 3 項第 2 号に定める外壁の後退距離。制限を設けない場合は「無」とする。
urf:minimumFrontageRate	xs:double [0..1]	密集市街地整備法第 31 条第 3 項第 2 号に定める間口率の最低限度 (建築物の防災都市計画施設に面する部分の長さの敷地の防災都市計画施設に接する部分の長さに対する割合の最低限度) 。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	密集市街地整備法第 31 条第 3 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(19) urf:LandscapeZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 6 号で定められる景観地区。 景観法 (平成十六年法律第百十号) 第六十一条第一項の規定による景観地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	景観地区を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:arealTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingDesignRestriction	gml:StringOrRefType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 1 号に定める建築物の形態にかかる制限。必須とする。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 3 号に定める外壁の後退距離。
urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 4 号に定める建築物の敷地面積の最低限度。単位は m2 (uom="m2") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(20) urf:ScenicDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 7 号で定められる風致地区。都市の風致を維持するため定める地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	風致地区を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	風致地区の種類。コードリスト (ScenicDistrict_usage.xml) より選択する。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。

urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingCoverageRate	xs:double [0..1]	風致地区内における建築等の規制に関する条例附則第 4 条第 1 項で定める建ぺい率の規制。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:buildingHeightLimits	gml:LengthType [0..1]	風致地区内における建築等の規制に関する条例附則第 4 条第 1 項で定める建築物等の高さの規制。単位は m (uom="m") とする。
urf:wallSetbackDistanceWithRoad	gml:LengthType [0..1]	風致地区内における建築等の規制に関する条例附則第 4 条第 1 項で定める建築物の壁面から敷地境界までの距離(道路に接する部分)。単位は m (uom="m") とする。
urf:wallSetbackDistanceWithAdjoiningLand	gml:LengthType [0..1]	風致地区内における建築等の規制に関する条例附則第 4 条第 1 項で定める建築物の壁面から敷地境界までの距離(道路に接しない部分)。単位は m (uom="m") とする。

継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(21) urf:ParkingPlaceDevelopmentZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 8 号で定められる地区。 駐車場法 (昭和三十二年法律第百六号) 第三条第一項の規定による駐車場整備地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。

urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(22) urf:PortZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 9 号で定められる臨港地区。港湾を管理運営するため定める地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	分区の種類。コードリスト (PortZone_usage.xml) より選択する。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。

urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:floorAreaRate	xs:double [0..1]	延べ面積の敷地面積に対する割合。全体を「1」とする割合で記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(23) urf:SpecialZoneForPreservationOfHistoricalLandscape

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 10 号で定められる地区。古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法 (昭和四十一年法律第一号) 第六条第一項の規定による歴史的風土特別保存地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称 (当該地区又は地域を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(24) urf:ZoneForPreservationOfHistoricalLandscape

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 11 号で定められる地区。 明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法 (昭和五十五年法律第六十号) 第三条第一項の規定による第一種歴史的風土保存地区又は第二種歴史的風土保存地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称 (当該地区又は地域を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。

urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(25) urf:GreenSpaceConservationDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 12 号で定められる地区。 都市緑地法 (昭和四十八年法律第七十二号) 第五条の規定による緑地保全地域。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称 (当該地区又は地域を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。

(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(26) urf:SpecialGreenSpaceConservationDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 12 号で定められる地区。 都市緑地法 (昭和四十八年法律第七十二号) 第十二条の規定による特別緑地保全地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones

ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称 (当該地区又は地域を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。

urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:requirement	gml:CodeType [0..1]	都市緑地法第 3 条で定める指定の要件。コードリスト (SpecialGreenSpaceConservationDistrict_requirement.xml) から選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(27) urf:TreePlantingDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 12 号で定められる地区。 都市緑地法 (昭和四十八年法律第七十二号) 第三十四条第一項の規定による緑化地域。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称 (当該地区又は地域を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。

urf.validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_v alidType.xml) より選択する。
urf.expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf.legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf.custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf.notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf.urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf.areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Co mmon_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf.nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf.prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf.city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf.reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf.reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf.note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf.surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf.location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf.areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf.minimumGreeningRate	xs:double [1]	都市緑地法第 34 条第 3 項で定める最低限度の緑化率。全体を「1」とする割合で記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf.lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf.boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(28) urf:DistributionBusinessZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 13 号で定められる地区。流通業務市街地の整備に関する法律 (昭和四十一年法律第百十号) 第四条第一項の規定による流通業務地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称 (当該地区又は地域を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:arealTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:guidelinePublicationDate	xs:date [0..1]	流通業務市街地の整備に関する法律第 5 条の 2 で定める流通業務施設の整備に関する基本方針が定められた日。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(29) urf:ProductiveGreenZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 14 号で定められる地区。 生産緑地法 (昭和四十九年法律第六十八号) 第三条第一項の規定による生産緑地地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。

urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:zoneNumber	xs:string [0..1]	生産緑地地区番号。
urf:specification	gml:CodeType [0..1]	特定生産緑地指定の有無。コードリスト (Common_availabilityType.xml) より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(30) urf:ConservationZoneForClustersOfTraditionalStructures

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 15 号で定められる地区。文化財保護法 (昭和二十五年法律第二百四十四号) 第百四十三条第一項の規定による伝統的建造物群保存地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称 (当該地区又は地域を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。

core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義

urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(31) urf:AircraftNoiseControlZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 16 号で定められる地区。 特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法 (昭和三十二年法律第二十六号) 第四条第一項の規定による航空機騒音障害防止地区及び航空機騒音障害防止特別地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区 (及び用途地域) の区分。コードリスト (Common_districtsAndZonesType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。

		単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。特定空港の名称。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:arealInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha (uom="ha") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(32) urf:ProjectPromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 2 に基づき、都市計画区域に定められた促進区域。 下位の地物型として定義されていない促進区域を記述したい場合には、この地物型を使用し、属性「urf:function」でその内容を識別する。	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	促進区域の名称。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める促進区域の区分。コードリスト (ProjectPromotionArea_function.xml) に定義されていない促進区域を記述する場合のみ、文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。

urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。 単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:developmentPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の開発の方針。
urf:publicFacilitiesPlans	gml:StringOrRefType [0..1]	当該区域の開発に必要な公共施設に関する都市計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(33) urf:UrbanRedevelopmentPromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 2 第 1 項第 1 号で定められる区域。 都市再開発法第七条第一項の規定による市街地再開発促進区域。	
上位の型	urf:ProjectPromotionArea	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める名称 (促進区域を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める促進区域の区分。コードリスト (ProjectPromotionArea_function.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。 単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。必須とする。町丁目又は字まで記載する。 必須とする。

(urf:developmentPolicy)	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の開発の方針。
(urf:publicFacilitiesPlans)	gml:StringOrRefType [0..1]	当該区域の開発に必要な公共施設に関する都市計画。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilities	gml:StringOrRefType [1]	都市再開発法第7条第2項に定める道路、公園、広場その他政令で定める公共の用に供する施設の配置及び規模。
urf:unitArea	gml:StringOrRefType [1]	都市再開発法第7条第2項に定める市街地再開発促進区域内における建築敷地の造成及び公共施設の用に供する敷地の造成を一体として行うべき土地の区域としてふさわしいものとなるように定められた整備区の単位。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを0とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(34) urf:LandReadjustmentPromotionArea

型の定義	都市計画法第10条の2第1項第2号で定められる区域。大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法第五条第一項の規定による土地区画整理促進区域。	
上位の型	urf:ProjectPromotionArea	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第10条の2第2項に定める名称(促進区域を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第10条第2項に定める促進区域の区分。コードリスト(ProjectPromotionArea_function.xml)より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦(YYYY-MM-DD)で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト(Common_validType.xml)より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度(西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦(YYYY-MM-DD)で記述する。

urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。 単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
urf:developmentPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法第 5 条第 2 項に示される住宅市街地としての開発の方針。
urf:publicFacilitiesPlans	gml:StringOrRefType [0..1]	当該区域が良好な住宅市街地として開発されるために必要な公共施設に関する都市計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(35) urf:ResidentialBlockConstructionPromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 2 第 1 項第 3 号で定められる区域。大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法第二十四条第一項の規定による住宅街区整備促進区域。	
上位の型	urf:ProjectPromotionArea	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める名称 (促進区域を識別する名前) 。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。

core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める促進区域の区分。コードリスト (ProjectPromotionArea_function.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。 単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
urf:developmentPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法第 5 条第 2 項に示される住宅市街地としての開発の方針。

urf:publicFacilitiesPlans	gml:StringOrRefType [0..1]	当該区域が良好な住宅市街地として開発されるために必要な公共施設に関する都市計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを0とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(36) urf:LandReadjustmentPromotionAreasForCoreBusinessUrbanDevelopment

型の定義	都市計画法第10条の2第1項第4号で定められる区域。 地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律第十九条第一項の規定による拠点業務市街地整備土地区画整理促進区域。	
上位の型	urf:ProjectPromotionArea	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第10条の2第2項に定める名称(促進区域を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第10条第2項に定める促進区域の区分。コードリスト(ProjectPromotionArea_function.xml)より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦(YYYY-MM-DD)で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト(Common_validType.xml)より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度(西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦(YYYY-MM-DD)で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト(Common_validType.xml)より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度(西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第15条第1項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。

urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。 単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
urf:developmentPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再開発の促進に関する法律第 19 条第 2 項に示される開発の方針。
urf:publicFacilitiesPlans	gml:StringOrRefType [0..1]	地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再開発の促進に関する法律第 19 条第 4 項に示される、当該区域が良好な拠点業務市街地として整備され、又は開発されるために必要な公共施設に関する都市計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(37) urf:UnusedLandUsePromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 3 第 1 項で定められる遊休土地転換利用促進地区。	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める名称 (遊休土地転換利用促進地区を識別する名前) 。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める面積。 単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める区域が設定された位置。 町丁目又は字まで記載する。必須とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める区域 (区域の範囲) 。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(38) urf:UrbanDisasterRecoveryPromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 4 第 1 項で定められる被災市街地復興推進地域。	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 4 第 2 項に定める名称 (被災市街地復興推進地域を識別する名前) 。必須とする。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める面積。 単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める区域が設定された位置。 町丁目又は字まで記載する。必須とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:expirationDate	xs:date [1]	都市計画法第 10 条の 4 第 2 項で定める別に法律で定める事項のうち、被災市街地復興特別措置法第 5 条の 2 で定められる期間満了の日。

urf:emergencyRecoveryPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条の 4 第 2 項で定める別に法律で定める事項のうち、緊急かつ健全な復興を図るための市街地の整備改善の方針。
urf:plannedProjectType	gml:CodeType [0..1]	当該区域で実施される事業の種類。コードリスト (コードリスト : Common_plannedProjectType.xml) より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める区域 (区域の範囲)。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(39) urf:UrbanFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項各号に掲げる施設。 下位の地物型として定義されていない都市施設を記述したい場合には、この地物型を使用し、属性「urf:function」で地物型の内容を識別する。	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前)。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない都市施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。

urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:number	xs:string [0..1]	都市計画施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:threeDimensionalExtent	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(40) urf:TrafficFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項各号に掲げる施設。 都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 1 号に定める道路、都市高速鉄道、駐車場、自動車ターミナルその他の交通施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。

core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない交通施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置 [起点の地名] 。
urf:endLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置 [終点の地名] 。

urf:vialocations	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置 [起点から終点までに存在する主な地名]。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定められる区域 [起点から終点までの延長距離]。単位は m (uom="m") とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定められる区域 [幅員]。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:urbanRoadAttribute	urf:UrbanRoadAttribute [0..1]	交通施設が道路の場合の追加情報。
urf:urbanRapidTransitRailroadAttribute	urf:UrbanRapidTransitRailroadAttribute [0..1]	交通施設が都市高速鉄道の場合の追加情報。
urf:parkingPlaceAttribute	urf:ParkingPlaceAttribute [0..1]	交通施設が駐車場の場合の追加情報。
urf:vehicleTerminalAttribute	urf:VehicleTerminalAttribute [0..1]	交通施設が自動車ターミナルの場合の追加情報。

(41) urf:UrbanRoadAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 1 号に定める道路について定めるべき事項。	
上位の型	urf:TrafficFacilityAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:routeTypeNumber	gml:CodeType [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年 建設省都計発第 102 号)IV(2)③で定められる区分。コードリスト (UrbanRoadAttribute_routeTypeNumber.xml) より選択する。
urf:routeSizeNumber	gml:CodeType [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年 建設省都計発第 102 号)IV(2)③で定められる規模。コードリスト (UrbanRoadAttribute_routeSizeNumber.xml) より選択する。
urf:routeSerialNumber	xs:integer [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年 建設省都計発第 102 号)IV(2)③で定められる一連番号。
urf:roadType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 1 号で定める道路の種類。コードリスト (UrbanRoadAttribute_roadType.xml) より選択する。
urf:numberOfLanes	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 1 号で定める車線の数。
urf:roadStructure	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 1 号で定める道路の構造。
urf:structureType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 1 号及び都市計画法施行規則第 7 条第 1 項第 2 号で定める構造種別。コードリスト (Common_trafficFacilityStructureType.xml) より選択する。

urf:crossType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第6条第1項第1号及び都市計画法施行規則第7条第1項第2号で定める交差種別（道路構造が地表式のみ）。コードリスト（Common_trafficFacilityCrossingType.xml）より選択する。
urf:trafficPlazas	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第11条第1項で定める施設における交通広場の有無。コードリスト（Common_availabilityType.xml）より選択する。
urf:structuralDetails	urf:StructureDetails [0..*]	道路の構造の内訳。

(42) urf:UrbanRapidTransitRailroadAttribute

型の定義	都市計画法第11条第1項第1号に定める都市高速鉄道について定めるべき事項。	
上位の型	urf:TrafficFacilityAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:structureType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第6条第1項第4号及び都市計画法施行規則第7条第1項第6号で定められる構造（鉄道構造）。コードリスト（Common_trafficFacilityStructureType.xml）より選択する。
urf:crossType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第6条第1項第4号及び都市計画法施行規則第7条第1項第6号で定められる構造（鉄道構造が地表式のみ）。コードリスト（Common_trafficFacilityCrossingType.xml）より選択する。
urf:structuralDetails	urf:StructureDetails [0..*]	道路の構造の内訳。

(43) urf:StructureDetails

型の定義	道路及び都市高速鉄道の構造を区間ごとに記述するために使用する型。	
上位の型	-	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [1]	起点の位置。
urf:endLocation	xs:string [1]	終点の位置。
urf:viaLocations	xs:string [0..1]	起点から終点までに存在する主な地名。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	区間の長さ。単位は m (uom="m") とする。
urf:structureType	gml:CodeType [0..1]	道路又は鉄道の構造の形式。コードリスト（Common_trafficFacilityStructureType.xml）より選択する。
urf:minimumWidth	gml:LengthType [0..1]	最小の幅員。単位は m (uom="m") とする。
urf:maximumWidth	gml:LengthType [0..1]	最大の幅員。単位は m (uom="m") とする。
urf:standardWidth	gml:LengthType [0..1]	標準的な幅員。単位は m (uom="m") とする。
urf:crossType	gml:CodeType [0..1]	交差の種別。コードリスト（Common_trafficFacilityCrossingType.xml）より選択する。

(44) urf:ParkingPlaceAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 1 号に定める駐車場について定めるべき事項。	
上位の型	urf:TrafficFacilityAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:storeysAboveGround	xs: integer [1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 2 号及び都市計画法施行規則第 7 条第 1 項第 3 号に定める駐車場の地上階数。
urf:storeysBelowGround	xs:integer [1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 2 号及び都市計画法施行規則第 7 条第 1 項第 3 号に定める駐車場の地下階数。

(45) urf:VehicleTerminalAttribute

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 1 号に定める自動車ターミナルについて定めるべき事項。	
上位の型	urf:TrafficFacilityAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:terminalType	gml:CodeType [1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類のコードリスト (VehicleTerminalAttribute_terminalType.xml) から選択する。

(46) urf:OpenSpaceForPublicUse

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 2 号に定める公園、緑地、広場、墓園その他の公共空地。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類のコードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない公共

		空地を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:parkAttribute	urf:ParkAttribute [0..1]	公共空地が公園の場合の追加情報。

(47) urf:ParkAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 2 号に定める公園について定めるべき事項。	
上位の型	urf:OpenSpaceForPublicUseAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:parkTypeNumber	gml:CodeType [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年 建設省都計発第 102 号)IV(4)②にて定められる区分。コードリスト (ParkAttribute_parkTypeNumber.xml) より選択する。
urf:parkSizeNumber	gml:CodeType [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年 建設省都計発第 102 号)IV(4)②にて定められる規模。コードリスト (ParkAttribute_parkSizeNumber.xml) より選択する。
urf:parkSerialNumber	xs:integer [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年 建設省都計発第 102 号)IV(4)②にて定められる一連番号。

(48) urf:SupplyFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 3 号に定める水道、電気供給施設、ガス供給施設その他の供給施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない供給施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。

urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_vali dType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名 称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_ar eaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2 (uom="m 2") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。 町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 と する。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:waterWorksAttribute	urf:WaterWorksAttribute [0..1]	供給施設が水道の場合の追加情報。

(49) urf:WaterWorksAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 3 号に定める水道について定めるべき事項。	
上位の型	urf:SupplyFacilityAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置 [起点の町丁目又は 字] 。
urf:endLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置 [終点の町丁目又は 字] 。

(50) urf:TreatmentFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 3 号に定める下水道、汚物処理場、ごみ焼却場その他の処理施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない処理施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。

urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年(西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:sewerSystemAttribute	urf:SewerSystemAttribute [0..1]	処理施設が下水道の場合の追加情報。

(51) urf:SewerSystemAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 3 号に定める下水道について定めるべき事項。	
上位の型	urf:TreatmentFacilityAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置 [起点の町丁目又は字]。
urf:endLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置 [終点の町丁目又は字]。
urf:systemType	gml:CodeType [0..1]	下水道法施行規則第 19 条第 1 項第 3 号で定められる種別。コードリスト (SewerSystemAttribute_systemType.xml) より選択する。
urf:drainageArea	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 6 号に定められた排水区域。

(52) urf:Waterway

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 4 号に定める河川、運河、その他の水路。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前)。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない水路を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める「位置」を表す水路の起点位置。
urf:endLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める「位置」を表す水路の終点位置。
urf:structure	gml:CodeType[0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 4 号に定める「構造」。コードリスト (Waterway_structure.xml) より選択する。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m (uom="m") とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(53) urf:EducationalAndCulturalFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 5 号に定める学校、図書館、研究施設その他の教育文化施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない教育施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。

urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_vali dType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述す る。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_vali dType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名 称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_ar eaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m 2") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。 町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 と する。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(54) urf:MedicalFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 6 号に定める病院その他の医療施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名 前) 。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない医療施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。必須とする。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義

urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(55) urf:SocialWelfareFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 6 号に定める保育所その他の社会福祉施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない社会福祉施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。

urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(56) urf:MarketsSlaughterhousesCrematoria

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 7 号に定める市場、と畜場又は火葬場。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。

urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(57) urf:CollectiveHousingFacilities

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 8 号に定める、一団地における 50 戸以上の集団住宅及びこれらに附帯する通路その他の施設 (一団地の住宅施設)。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前)。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。

core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingCoverageRate	xs:double[0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める建ぺい率の限度。全体を「1」とする割合で記述する。

urf:floorAreaRate	xs: double [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める容積率の限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:numberOfLowRiseHousing	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める低層住宅の予定戸数。
urf:numberOfMiddleRiseHousing	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める中層住宅の予定戸数。
urf:numberOfHighRiseHousing	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める高層住宅の予定戸数。
urf:totalNumberOfHousing	xs:integer [0..1]	住宅予定戸数の合計。
urf:publicFacilitiesAllocationPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める公益的施設、住宅及び公共施設の配置方針。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 5 項に定める都市施設に関する都市計画事業の施行予定者。区域の面積が二十ヘクタール以上の一団地の住宅施設の場合に適用する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(58) urf:CollectiveGovernmentAndPublicOfficeFacilities

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 9 号に定める、一団地の国家機関又は地方公共団体の建築物及びこれらの付帯に関する通路その他の施設（一団地の官公庁施設）。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（Common_urbanFacilityType.xml）より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingCoverageRate	xs:double[0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 8 号に定める建ぺい率の限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:floorAreaRate	xs:double [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 8 号に定める容積率の限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:publicFacilitiesAllocationPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 8 号に定める公益的施設、住宅及び公共施設の配置方針。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 5 項に定める都市施設に関する都市計画事業の施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。

urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(59) urf:DistributionBusinessPark

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 11 号に定める施設 (流通業務団地) 。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。

urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年(西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:distributionBusinessPark	gml:StringOrRefType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 2 項に定める流通業務施設の敷地の位置及び規模。
urf:publicAndUtilityFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 2 項に定める公共施設及び公益的施設の位置及び規模。
urf:buildingCoverageRate	xs:double [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める建ぺい率の限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:floorAreaRate	xs:double [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める容積率の限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める建築物の高さの最高限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める建築物の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める外壁の後退距離。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 5 項に定める都市施設に関する都市計画事業の施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(60) urf:CollectiveFacilitiesForTsunamiDisasterPrevention

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 12 号に定める施設。 津波防災地域づくりに関する法律(平成二十三年法律第百二十三号)第二条第十五項に規定する一団地の津波防災拠点市街地形成施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前)。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

urf:housingFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	津波津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 1 号に定める住宅施設の位置及び規模。
urf:supecificBusinessFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	津波津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 1 号に定める特定業務施設の位置及び規模。
urf:publicFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	津波津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 1 号に定める公共施設の位置及び規模。
urf:utilityFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	津波津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 1 号に定める公益的施設の位置及び規模。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	津波津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	津波津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	津波津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	津波津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	津波津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(61) urf:CollectiveFacilitiesForReconstructionAndRevitalization

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 13 号に定める施設。 福島復興再生特別措置法 (平成二十四年法律第二十五号) 第三十二条第一項に規定する一団地の復興再生拠点市街地形成施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。

(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:housingFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 1 号に定める住宅施設の位置及び規模。
urf:supecificBusinessFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 1 号に定める特定業務施設の位置及び規模。

urf:publicFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 1 号に定める公共施設の位置及び規模。
urf:utilityFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 1 号に定める公益的施設の位置及び規模。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(62) urf:CollectiveFacilitiesForReconstruction

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 14 号に定める施設。 大規模災害からの復興に関する法律 (平成二十五年法律第五十五号) 第二条第八号に規定する一団地の復興拠点市街地形成施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:housingFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 1 号に定める住宅施設の位置及び規模。
urf:supecificBusinessFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 1 号に定める特定業務施設の位置及び規模。
urf:publicFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 1 号に定める公共施設の位置及び規模。
urf:utilityFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 1 号に定める公益的施設の位置及び規模。

urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(63) urf:CollectiveUrbanDisasterPreventionFacilities

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 10 号に定める施設 (一団地の都市安全確保拠点施設) 。 溢水、湛水、津波、高潮その他の自然現象による災害が発生した場合における居住者等 (居住者、来訪者又は滞在者をいう。以下同じ。) の安全を確保するための拠点となる一団地の特定公益的施設 (避難場所の提供、生活関連物資の配布、保健医療サービスの提供その他の当該災害が発生した場合における居住者等の安全を確保するために必要な機能を有する集会施設、購買施設、医療施設その他の施設をいう。) 及び公共施設をいう。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:specificUtilityAndPublicFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 1 号に定める特定公益施設及び公共施設の位置及び規模。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。

urf:maximumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(64) urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) に定義されていない政令で定める施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。必須とする。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。

urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_vali dType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名 称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_ar eaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m 2") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。 町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m (uo m="m") とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m (uo m="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 と する。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(65) urf:TelecommunicationFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める電気通信事業の用 に供する施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前)。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m (uom="m") とする。

urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(66) urf:WindProtectionFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防風の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。

urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m (uom="m") とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(67) urf:FireProtectionFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防火の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m (uom="m") とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(68) urf:TideFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防潮の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。

urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m (uom="m") とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(69) urf:FloodPreventionFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防水の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（Common_urbanFacilityType.xml）より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。

urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_vali dType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名 称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_ar eaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m 2") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。 町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m (uo m="m") とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m (uo m="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 と する。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(70) urf:SnowProtectionFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防雪の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名 前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。

core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m (uom="m") とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義

urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(71) urf:SandControlFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防砂の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称 (都市施設を識別する名前) 。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。

urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m (uom="m") とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m (uom="m") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	gml:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(72) urf:UrbanDevelopmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条に定める市街地開発事業	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称 (市街地開発事業を識別する名前) 。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト (Common_urbanDevelopmentProjectType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 5 項に定める事業の実施予定機関の名称。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(73) urf:LandReadjustmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 1 号に定める事業。 土地区画整理法 (昭和二十九年法律第百十九号) による土地区画整理事業。
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	

属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称 (市街地開発事業を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト (Common_urbanDevelopmentProjectType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
(urf:scheduledExecutor)	xs:string [0..1]	事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	都市計画法第 12 条第 3 項に定める公共施設の配置。
urf:buildingLotDevelopment	gml:StringOrRefType [1]	都市計画法第 12 条第 3 項に定める宅地の整備に関する事項。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(74) urf:NewHousingAndUrbanDevelopmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 2 号に定める事業。 新住宅市街地開発法 (昭和三十八年法律第百三十四号) による新住宅市街地開発事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称 (市街地開発事業を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト (Common_urbanDevelopmentProjectType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。

urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:housing	gml:StringOrRefType [1]	新住宅市街地開発法第 4 条に定める住区。
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	新住宅市街地開発法第 4 条に定める公共施設の配置及び規模。
urf:residentialLandUsePlan	gml:StringOrRefType [1]	新住宅市街地開発法第 4 条に定める宅地の利用計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(75) urf:IndustrialParkDevelopmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 3 号に定める事業。 首都圏の近郊整備地帯及び都市開発区域の整備に関する法律 (昭和三十二年法律第九十八号) による工業団地造成事業又は近畿圏の近郊整備区域及び都市開発区域の整備及び開発に関する法律 (昭和三十九年法律第四百四十五号) による工業団地造成事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称 (市街地開発事業を識別する名前) 。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。

(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト (Common_urbanDevelopmentProjectType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	首都圏の近郊整備地帯及び都市開発区域の整備に関する法律第 5 条第 1 項又は近畿圏の近郊整備区域及び都市開発区域の整備及び開発に関する法律第 7 条第 1 項に定める公共施設の配置及び規模。

urf:residentialLandUsePlan	gml:StringOrRefType [1]	首都圏の近郊整備地帯及び都市開発区域の整備に関する法律第5条第1項又は近畿圏の近郊整備区域及び都市開発区域の整備及び開発に関する法律第7条第1項に定める宅地の利用計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第12条第2項に定める市街地開発事業の区域。高さを0とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(76) urf:UrbanRedevelopmentProject

型の定義	都市計画法第12条第1項第4号に定める事業。都市再開発法による市街地再開発事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第12条第2項で定める名称(市街地開発事業を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第12条第2項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト(Common_urbanDevelopmentProjectType.xml)より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	市街地再開発事業の種類。コードリスト(UrbanRedevelopmentProject_usage.xml)より選択する。必須とする。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦(YYYY-MM-DD)で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト(Common_validType.xml)より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度(西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦(YYYY-MM-DD)で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト(Common_validType.xml)より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度(西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第15条第1項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。

urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
(urf:scheduledExecutor)	xs:string [0..1]	事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	都市再開発法第 4 条第 1 項に定める公共施設の配置及び規模。
urf:developmentPlan	gml:StringOrRefType [1]	都市再開発法第 4 条第 1 項に定める建築物及び建築敷地の整備計画。
urf:housingTarget	gml:StringOrRefType [0..1]	都市再開発法第 5 条に定める当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の戸数その他住宅建設の目標。
urf:siteArea	gml:MeasureType [0..1]	都市再開発法第 5 条に定める当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の敷地面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
urf:totalFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	都市再開発法第 5 条に定める当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の延床面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
urf:numberOfHousing	xs:integer [0..1]	都市再開発法第 5 条に定める当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の戸数。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(77) urf:NewUrbanInfrastructureProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 5 号に定める事業。 新都市基盤整備法 (昭和四十七年法律第八十六号) による新都市基盤整備事業。
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject
ステレオタイプ	<<FeatureType>>

継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称 (市街地開発事業を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト (Common_urbanDevelopmentProjectType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:landForCentralPublicFacilities	gml:StringOrRefType [1]	新都市基盤整備法第 4 条第 1 項に定める根幹公共施設の用に供すべき土地の区域。
urf:districtsAllocation	gml:StringOrRefType [1]	新都市基盤整備法第 4 条第 1 項に定める開発誘導地区の配置及び規模。
urf:landUsePlan	gml:StringOrRefType [1]	新都市基盤整備法第 4 条第 1 項に定める開発誘導地区内の土地の利用計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(78) urf:ResidentialBlockConstructionProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 6 号に定める事業。 大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法による住宅街区整備事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称 (市街地開発事業を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト (Common_urbanDevelopmentProjectType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。

urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	大都市における住宅及び住宅地の供給促進に関する特別措置法第 31 条第 2 項に定める公共施設の配置及び規模。
urf:developmentPlan	gml:StringOrRefType [0..1]	大都市における住宅及び住宅地の供給促進に関する特別措置法第 31 条第 2 項に定める施設住宅の建設に関する計画。
urf:siteArea	gml:MeasureType [0..1]	当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の敷地面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
urf:totalFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の延床面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(79) urf:DisasterPreventionBlockImprovementProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 7 号に定める事業。密集市街地整備法による防災街区整備事業。
------	--

上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称 (市街地開発事業を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト (Common_urbanDevelopmentProjectType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。

urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
(urf:scheduledExecutor)	xs:string [0..1]	事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:disasterPreventionPublicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	密集市街地整備法第 120 条第 1 項に定める防災公共施設の配置及び規模。
urf:otherPublicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	密集市街地整備法第 120 条第 1 項に定めるその他の公共施設の配置及び規模。
urf:developmentPlan	gml:StringOrRefType [1]	密集市街地整備法第 120 条第 1 項に定める防災施設建築物の整備に関する計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(80) urf:UrbanRenewalProject

型の定義	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律(昭和 36 年法律第 109 号)第 3 条で定められる、旧都市計画法(大正 8 年法律第 36 号)第 3 条の定める手続きによって都市計画として決定された市街地改造事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称 (市街地開発事業を識別する名前)。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト (Common_urbanDevelopmentProjectType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。

urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:storeysAboveGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される建築物の地上階数。
urf:storeysBelowGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される建築物の地下階数。
urf:setbackSize	gml:StringOrRef [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される壁面の位置の限度。
urf:floorAreaRate	xs:double [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される容積の限度。
urf:buildingUsage	xs:string [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される主な用途。

urf:siteArea	gml:MeasureType [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される建築敷地の面積。単位は m2 (uom="m2") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(81) urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 に定める予定区域。	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称 (市街地開発事業等予定区域を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト (Common_scheduledAreaType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。

urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(82) urf:ScheduledAreaForNewHousingAndUrbanDevelopmentProjects

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 1 号に定める新住宅市街地開発事業の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称 (市街地開発事業等予定区域を識別する名前) 。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト (Common_scheduledAreaType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。

urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(83) urf:ScheduledAreaForIndustrialParkDevelopmentProjects

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 2 号に定める工業団地造成事業の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称 (市街地開発事業等予定区域を識別する名前) 。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。

(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト (Common_scheduledAreaType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf.notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(84) urf:ScheduledAreaForNewUrbanInfrastructureProjects

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 3 号に定める新都市基盤整備事業の予定区域。
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	

属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称 (市街地開発事業等 予定区域を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域 の種類。コードリスト (Common_scheduledAreaType.xml) より 選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述す る。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_vali dType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述す る。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_vali dType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名 称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_ar eaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="h a") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		

関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(85) urf:ScheduledAreaForCollectiveHousingFacilities

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 4 号に定める区域の面積が 20ha 以上の一団地の住宅施設の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称 (市街地開発事業等予定区域を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト (Common_scheduledAreaType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。

urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(86) urf:ScheduledAreaForCollectiveGovernmentAndPublicOfficeFacilities

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 5 号に定める一団地の官公庁施設の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称 (市街地開発事業等予定区域を識別する名前) 。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト (Common_scheduledAreaType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。

urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦)。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(87) urf:ScheduledAreaForDistributionBusinessPark

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 6 号に定める流通業務団地の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称 (市街地開発事業等予定区域を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト (Common_scheduledAreaType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(88) urf:DistrictPlan

型の定義	建築物の建築形態、公共施設その他の施設の配置等からみて、一体としてそれぞれの区域の特性にふさわしい態様を備えた良好な環境の各街区を整備し、開発し、及び保全するための計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項で定める名称 (地区計画を識別する名前) 。必須とする。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。 促進区を定める場合、当該地区計画は、再開発等促進区又は開発整備促進区を定める地区計画となる。コードリスト (Common_districtPlanType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第 7 条の 3 に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 2 項第 2 号に定める当該地区計画の目標。
urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 2 項第 3 号に定める当該区域の整備、開発及び保全に関する方針。

自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:facilityAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	道路、公園その他の政令で定める施設（都市計画施設及び沿道地区施設を除く。）の配置及び規模。 地区計画に促進区を定める場合に作成する。（都市計画法第12条の5第5項第1号）
urf:landUsePolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	土地利用に関する基本方針。 地区計画に促進区を定める場合に作成する。（都市計画法第12条の5第5項第2号）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第12条の4第2項に定める区域。高さを0とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..1]	都市計画法第12条の5第2項第1号に定める当該地区計画等に定められた地区整備計画。
urf:promotionDistrict	urf:PromotionDistrict [0..*]	当該地区計画等に再開発等促進区や開発整備促進区を定める場合の促進区。促進区を定める場合、「再開発促進区を定める地区計画」又は「開発整備促進区を定める地区計画」となる。

(89) urf:RoadsideDistrictPlan

型の定義	幹線道路の沿道の整備に関する法律（昭和五十五年法律第三十四号）第九条第一項の規定による沿道地区計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第12条の4第2項で定める名称（地区計画を識別する名前）。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第12条の4第2項に定める地区計画の種類。 沿道再開発等促進区を定める場合は、沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画となる。コードリスト（Common_districtPlanType.xml）より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第 7 条の 3 に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 2 項第 2 号に定める当該地区計画の目標。
urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 2 項第 3 号に定める当該区域の整備、開発及び保全に関する方針。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:facilityAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	道路、公園その他の政令で定める施設 (都市計画施設及び沿道地区施設を除く。) の配置及び規模。 沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画の場合に作成する (幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 4 項) 。
urf:landUsePolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	土地利用に関する基本方針。 沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画の場合に作成する (幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 4 項) 。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義

urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 2 項第 1 号に定める当該沿道地区計画に定められた沿道地区整備計画。
urf:promotionDistrict	urf:PromotionDistrict [0..*]	沿道再開発等促進区。沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画の場合にのみ作成する。

(90) urf:RuralDistrictPlan

型の定義	集落地域整備法 (昭和六十二年法律第六十三号) 第五条第一項の規定による集落地区計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項で定める名称 (地区計画を識別する名前) 。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。コードリスト (Common_districtPlanType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。

urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第7条の3に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第12条の4第2項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	集落整備法第5条第4項に定める集落地区計画の目標。
urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	集落整備法第5条第4項に定める区域の整備、開発及び保全に関する方針。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第12条の4第2項に定める区域。高さを0とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第9条第2項第1号に定める当該沿道地区計画に定められた沿道地区整備計画。
urf:promotionDistrict	urf:PromotionDistrict [0..*]	沿道再開発等促進区。 沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画の場合にのみ作成する。

(91) urf:HistoricSceneryMaintenanceAndImprovementDistrictPlan

型の定義	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律 (平成二十年法律第四十号) 第三十一条第一項の規定による歴史的風致維持向上地区計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第12条の4第2項で定める名称 (地区計画を識別する名前) 。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。コードリスト (Common_districtPlanType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第 7 条の 3 に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 2 項第 2 号に定める当該地区計画の目標。
urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 2 項第 4 号に定める当該地区計画の方針。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:landUsePolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 2 項第 3 号に定める土地利用に関する基本方針。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。

urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 2 項第 1 号に示される「歴史的風致維持向上地区整備計画」。
(urf:promotionDistrict)	urf:PromotionDistrict [0..*]	

(92) urf:DisasterPreventionBlockImprovementZonePlan

型の定義	密集市街地整備法第 32 条第 1 項の規定による防災街区整備地区計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項で定める名称 (地区計画を識別する名前)。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。コードリスト (Common_districtPlanType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。必須とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦)。
urf:validTo	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦)。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。必須とする。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号。必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。

urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第7条の3に定める面積。単位は ha (uom="ha") とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第12条の4第2項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第32条第2項第3号に定める当該地区計画の目標。
urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第32条第2項第3号に定める当該地区計画の方針。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:zonalDisasterPreventionFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	地区防災施設の区域。
urf:specifiedZonalDisasterPreventionFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	特定地区防災施設の区域。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第12条の4第2項に定める区域。高さを0とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..1]	防災街区整備地区計画に定められた特定建築物地区整備計画及び防災街区整備地区整備計画。
(urf:promotionDistrict)	urf:PromotionDistrict [0..*]	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:zonalDisasterPreventionFacilities	urf:ZonalDisasterPreventionFacility [0..*]	防災街区整備地区計画に計画された地区防災施設及び特定地区防災施設。

(93) urf:DistrictDevelopmentPlan

型の定義	主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設 (地区施設) 及び建築物等の整備並びに土地の利用に関する計画。	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト (Common_districtDevelopmentPlanType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:districtFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 1 号に定める地区施設の配置及び規模。関連役割「urf:districtFacility」により地区施設の区域を示さない場合は、この属性により地区施設を記述する。

urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:urbanGreenSpaceConservation	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
urf:activityRestrictionsInFarmland	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 4 号に定める現に存する農地（耕作の目的に供される土地）で農業の利便の増進と調和した良好な居住環境を確保するため必要なものにおける土地の形質の変更その他の行為の制限に関する事項
urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 5 号に定める土地の利用に関する事項。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:districtFacility	urf:DistrictFacility [0..*]	当該地区整備計画に設定された都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 1 号に定める地区施設。
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた地区。

(94) urf:SpecifiedBuildingZonImprovementPlan

型の定義	当該区域における特定防災機能を確保するための防災公共施設（都市計画施設を除く。以下「地区防災施設」という。）の区域（地区防災施設のうち建築物等と一体となって当該特定防災機能を確保するために整備されるべきもの（特定地区防災施設）にあつては、当該特定地区防災施設の区域及び当該建築物等の整備に関する計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（Common_districtDevelopmentPlanType.xml）より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
(urf:districtFacilitiesAllocation)	gml:StringOrRefType [0..1]	
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 2 号に定める建築物等の制限。
(urf:urbanGreenSpaceConservation)	gml:StringOrRefType [0..1]	
(urf:activityRestrictionsInFarmland)	gml:StringOrRefType [0..1]	
(urf:landuseRestrictions)	gml:StringOrRefType [0..1]	
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:districtFacility)	urf:DistrictFacility [0..*]	
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた防災地区。

(95) urf:DistrictImprovementPlanForDisasterPreventionBlockImprovementZonePlan

型の定義	防災街区整備地区整備計画。主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設（地区施設）及び建築物等（特定建築物地区整備計画の区域内の建築物等を除く。）の整備並びに土地の利用に関して、地区防災施設の区域以外の防災街区整備地区計画の区域について定める計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（Common_districtDevelopmentPlanType.xml）より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。

(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:districtFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 1 号に定める地区施設の配置及び規模。
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:urbanGreenSpaceConservation	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
urf:activityRestrictionInFarmland	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 4 号に定める現に存する農地（耕作の目的に供される土地）で農業の利便の増進と調和した良好な居住環境を確保するため必要なものにおける土地の形質の変更その他の行為の制限に関する事項
urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 4 号に定める土地の利用に関する事項。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:districtFacility)	urf:DistrictFacility [0..*]	
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた防災地区。

(96) urf:RoadsideDistrictImprovementPlan

型の定義	沿道地区整備計画。 緑地その他の緩衝空地及び主として当該区域内の居住者等の利用に供される道路その他政令で定める施設（都市計画法施設を除く。「沿道地区施設」）並びに建築物その他の工作物の整備並びに土地の利用その他の沿道の整備に関する計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。

(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト (Common_districtDevelopmentPlanType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
(urf:districtFacilitiesAllocation)	gml:StringOrRefType [0..1]	
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 6 号第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:urbanGreenSpaceConservation	gml:StringOrRefType [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 6 号第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
(urf:activityRestrictionInFarmland)	gml:StringOrRefType [0..1]	

urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第9条第6号第4号に定める土地の利用に関する事項その他沿道の整備に関する事項。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:rodsidedistrictFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第9条第6項第1号に定める沿道地区施設の配置及び規模。関連役割「urf:districtFacilities」により沿道地区施設の区域を示さない場合は、この属性により沿道地区施設を記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第12条の4第2項に定める区域。高さを0とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtFacility	urf:DistrictFacility [0..*]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第9条第6号第1号に定められた当該地区整備計画に定められた沿道地区施設。
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた地区。

(97) urf:RuralDistrictImprovementPlan

型の定義	集落地区整備計画。主として当該区域内の居住者等の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設（集落地区施設）及び建築物その他の工作物（建築物等）の整備並びに土地の利用に関する計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第12条の4第2項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（Common_districtDevelopmentPlanType.xml）より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。

(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:districtFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
(urf:urbanGreenSpaceConservation)	gml:StringOrRefType [0..1]	
urf:activityRestrictionInFarmland	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 4 号に定める土地の利用に関する事項。
urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 1 号に定める集落地区施設の配置及び規模。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:ruralDistrictFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 1 号に定める集落地区施設の配置及び規模。 関連役割「urf:districtFacilities」により集落地区施設の区域を示さない場合は、この属性により集落地区施設を記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義

urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtFacility	urf:DistrictFacility [0..*]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 1 号に定められた当該地区整備計画に定められた集落地域施設。
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた地区。

(98) urf:DistrictImprovementPlanForHistoricSceneryMaintenanceAndImprovementDistrict

型の定義	歴史的風致維持向上地区整備計画。 主として街区内の居住者、滞在者その他の者の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設（都市計画施設を除く。地区施設）及び建築物等の整備並びに土地の利用に関する計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（Common_districtDevelopmentPlanType.xml）より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。

(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:districtFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 4 項第 1 号に定める地区施設の配置及び規模。
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 4 項第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:urbanGreenSpaceConservation	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 4 項第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
(urf:activityRestrictionInFarmland)	gml:StringOrRefType [0..1]	
urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 4 項第 4 号に定める土地の利用に関する事項。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:districtFacility)	urf:DistrictFacility [0..*]	
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた地区。

(99) urf:PromotionDistrict

型の定義	地区計画に定められる促進区。	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	促進区を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。

(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	促進区の種類。コードリスト (PromotionArea_function.xml) より選択する。必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf.notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	促進区が指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	促進区の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	促進区の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	促進の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(100)urf:District

型の定義	地区整備計画に定められる地区。
上位の型	urf:_Zone
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	

属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区を識別する名前。必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	地区の種類。コードリスト (District_function.xml) より選択する。必須とする。沿道地区整備計画の場合は沿道地区、防災街区整備地区整備計画の場合は防災地区となる。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	xs:string [0..1]	地区が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	地区の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物に関する制限事項。
urf:useRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物等の用途の制限。

urf:maximumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumFloorAreaRate	xs:double [0..1]	延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	建築基準法第 53 条で定められる建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	建築基準法第 53 条で定められる建築面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [0..1]	建築物の敷地面積の最低限度。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
urf:minimumBuildingArea	gml:MeasureType [0..1]	建築物の建築面積の最低限度。単位は m ² (uom="m ² ") とする。
minimumGroundHeight	gml:LengthType[0..1]	建築物の敷地の地盤面の高さの最低限度。高さは m (uom="m") とする。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	外壁の後退距離。
urf:structurePlacementRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	壁面後退区域における工作物の設置の制限。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	建築物の高さの最高限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	建築物の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:minimumFloorHeight	gml:LengthType [0..1]	床面の高さの最低限度。単位は m (uom="m") とする。
urf:buildingDesignRestriction	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物の形態及び意匠にかかる制限。
urf:minimumGreeningRate	xs:double [0..1]	都市緑地法第 34 条第 3 項で定められる最低限度の緑化率。全体を「1」とする割合で記述する。
urf:fenceGuideline	gml:StringOrRefType [0..1]	垣及びさくの構造にかかる制限。
urf:restrictionsForFireProtection	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物の構造に関する防火上必要な制限。
urf:restrictionsForNoiseProtection	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物の構造に関する防音上または遮音上必要な制限。
urf:minimumFrontageRate	xs:double [0..1]	建築物の特定地区防災施設に係る間口率の最低限度。全体を「1」とする割合で記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(101)urf:DistrictFacility

型の定義	地区計画において定められる、主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園その他政令で定める施設。
------	---

	道路、公園、避難路、避難施設、雨水貯留浸透施設、緑地及び広場その他公共空地。	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設の内容
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区施設を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	地区施設の種類のコードリスト (Common_districtFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	地区施設の用途のコードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。

urf:location	xs:string [0..1]	地区施設の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区施設の範囲。高さを0とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区施設の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(102)urf:RuralDistrictFacility

型の定義	集落地区計画において定められる、主として当該区域内の居住者等の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設。	
上位の型	urf:DistrictFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設の内容
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区施設を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	地区施設の種類の。コードリスト (Common_districtFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	地区施設の用途。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第15条第1項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。

(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	地区施設の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区施設の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区施設の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(103)urf:RoadsideDistrictFacility

型の定義	沿道地区計画において定められる、緑地その他の緩衝空地及び主として当該区域内の居住者等の利用に供される道路その他政令で定める施設。(都市計画施設は除く)	
上位の型	urf:DistrictFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設の内容
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区施設を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	地区施設の種類。コードリスト (Common_districtFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	地区施設の用途。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。

(urf.validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_vali dType.xml) より選択する。
(urf.expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf.legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf.custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名 称。
(urf.notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf.urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf.areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_ar eaClassificationType.xml) より選択する。
(urf.nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf.prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf.city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf.reason)	xs:string [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf.note)	xs:string [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf.surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	地区施設の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区施設の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区施設の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境 界線。

(104)urf:ZonalDisasterPreventionFacility

型の定義	防災街区整備地区計画において定められる、当該区域における特定防災機能を確認するための防 災公共施設。(都市計画施設は除く)	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区防災施設の内容
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区防災施設を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0.. 1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	地区防災施設の種類。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	地区防災施設の用途。コードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。必須とする。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
urf:location	xs:string [0..1]	地区防災施設の位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:facilityType	gml:CodeType [1]	地区防災施設の区分。コードリスト (ZonalDisasterPreventionFacility_facilityType.xml) より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区防災施設の範囲。高さを 0 とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区防災施設の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(105)urf:ThreeDimensionalExtent

型の定義	都市計画法第 11 条第 3 項に定められる、都市施設について、適正かつ合理的な土地利用を図るため必要があるときに当該都市施設の区域の地下又は空間設けられる当該都市施設を整備する立体的な範囲。
------	--

上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	区域を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf.class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
(urf.function)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	対象となる都市施設の種類のコードリスト (Common_urbanFacilityType.xml) より選択する。
(urf.validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf.validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf.enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf.validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf.validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf.expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf.legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf.custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf.notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf.urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf.areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf.nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式な面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf.prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する都道府県の都道府県コード。
(urf.city)	gml:CodeType [0..1]	区域が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf.reason)	xs:string [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf.note)	xs:string [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf.surveyYear)	xs:gYear [0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

urf:minimumDistance	gml:LengthType [0..1]	立体的な範囲からの離隔距離の最小限度。単位は、m (uom="m") とする。
urf:maximumLoad	gml:MeasureType [0..1]	立体的な範囲からの 1m ² 当たりの載荷重の最大限度。単位は、kN (uom=" kN") とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。

(106)urf:Boundary

型の定義	区域と他の区域とを区分する境界線。 区域の境界に確定根拠等の情報を付与したい場合に作成する。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	区域界の確定根拠。コードリスト (Boundary_function.xml) より選択する。必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	区域界が区切る区域の種類。コードリスト (Common_featureType.xml) より選択する。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度 (西暦) 。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	無効となる期間の終了日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	廃止された年度 (西暦) 。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。

(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	境界線が属する都市計画区域の区分。コードリスト (Common_urbanPlanType.xml) より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	境界線が属する区域区分。コードリスト (Common_areaClassificationType.xml) より選択する。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	面積。単位は ha (uom="ha") とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	境界線が存在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	境界線が存在する市区町村の市区町村コード。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	境界線が指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear [0..1]	調査が実施された年 (西暦) 。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:offset	gml:LengthType [0..1]	オフセットされている場合の量。単位は m (uom="m") とする。
urf:offsetDirection	xs:string [0..1]	基準となる線に対するオフセットの方向。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiCurve	gml:MultiCurve [0..1]	境界線の位置。高さを 0 とする。

(107)urf:SedimentDisasterProneArea

型の定義	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律 (土砂災害防止法) により指定された、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域。	
上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	オブジェクトの概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	オブジェクトを識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	区域の機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	土砂災害警戒区域が公示された年月日。有効となる期間の開始年月日を西暦 (YYYY-MM-DD) で記述する。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	有効となる期間の開始日の種類。コードリスト (Common_validType.xml) より選択する。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定年度。

(urf.validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日。
(urf.validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日_廃止又は変更の別。
(urf.expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	失効年度。
(urf.legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的根拠。
(urf.custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf.notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf.urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	都市計画区域。
(urf.areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	区域区分。
(urf.nominalArea)	gml:MeasureType[0..1]	公称面積。
urf.prefecture	gml:CodeType [0..1]	土砂災害警戒区域を指定した都道府県の都道府県コード。JIS X0401 に定義される 2 桁の半角数字。必須とする。
(urf.city)	gml:CodeType [0..1]	市区町村。
(urf.reference)	xs:anyURI [0..1]	参照情報。
(urf.reason)	xs:string [0..1]	指定の事由。
(urf.note)	xs:string [0..1]	備考。
(urf.surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査年。
urf.location	xs:string [0..1]	土砂災害警戒区域が位置する地名。
当該型に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf.disasterType	gml:CodeType [1]	土砂災害警戒区域で起こりうる災害の内容。コードリスト (SedimentDisasterProneArea_disasterType.xml) より選択する。
urf.areaType	gml:CodeType [1]	土砂災害警戒区域に含まれているのか、土砂災害特別警戒区域に含まれているのかの区分。コードリスト (SedimentDisasterProneArea_areaType.xml) より選択する。
urf.zoneNumber	xs:string [1]	土砂災害警戒区域を識別する番号。
urf.zoneName	xs:string [1]	土砂災害警戒区域の名称。
urf.status	gml:CodeType [0..1]	土砂災害警戒区域 (イエローゾーン) のみ公示を行っているが、土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) の調査・公示を行っていないことを示すフラグ。コードリスト (SedimentDisasterProneArea_status.xml) より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf.lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	土砂災害警戒区域の範囲。高さを 0 とする。

4.3.15 空間スキーマプロファイル (GML)

(1) gml:Point

クラスの定義	点。
上位の型	gml:_GeometricPrimitive
ステレオタイプ	<<Type>>

自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
position	gml:DirectPosition [1]	座標値

(2) gml:LineString

クラスの定義	線。2 点以上の点から構成され、それらの点の順序は始点から終点までの順列になっていなければならない。始点と終点以外の点の座標が、他の点の座標と一致してはならず、また、一つの折れ線に自己交差や重なりがあってはならない。	
上位の型	gml:_GeometricPrimitive	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
position	gml:DirectPosition [2..*]	線を構成する座標値の列。

(3) gml:Polygon

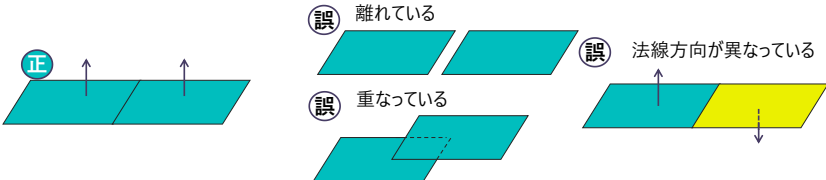
クラスの定義	<p>多角形。以下を満たさなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 内周が、外周に完全に含まれている。 2) 内周が他の内周と重なっておらず、他の内周に包含されてもいない。 3) 内周が外周に接していてもよいが、gml:Polygon の内部を分断しない。 4) 内周と外周が線分で重ならない。 5) 外周及び内周に自己交差がなく、始終点以外の点で一致する点がない。 	
	<p>正 誤 正 誤</p> <p>外周 内周 外周 内周 外周 内周 外周 内周</p> <p>内周が外周に含まれていない 内周がポリゴンを分断</p> <p>正 誤</p> <p>外周 内周 外周 内周</p> <p>他の内周に包含 自己交差 始終点以外で一致</p>	
上位の型	gml:_GeometricPrimitive	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
exterior	gml:_Ring [1]	多角形の外周。
interior	gml:Ring [0..*]	多角形の内周。

(4) gml:LinearRing

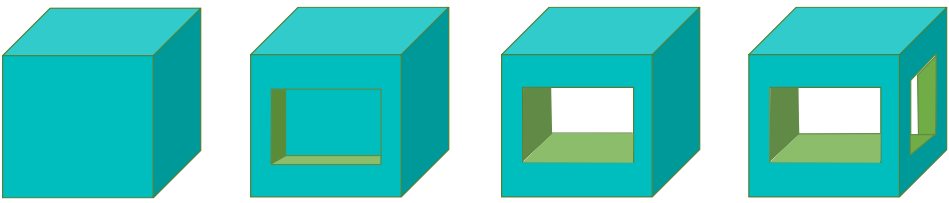
クラスの定義	線形から構成する輪。多角形の境界として使用される。3 点以上の順列から構成され、始点と終点が一一致する。gml:LinearRing を構成する全ての点は、始点と終点を除き、一致しない。自己交差しない。	
上位の型	gml:_Ring	
ステレオタイプ	<<Type>>	

自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
position	gml:DirectPosition [2..*]	輪を構成する座標値の列。

(5) gml:CompositeSurface

クラスの定義	<p>面の集まり。ただし、構成要素となる全ての面は連続していなければならない。 立体の外殻や内殻として使用される。</p> 	
上位の型	gml:_Surface	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
surfaceMember	gml:_Surface [1..*]	集まりを構成する面。

(6) gml:Solid

クラスの定義	<p>立体。以下を満たさなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) gml:Solid の境界を構成する曲面が、自己交差していない。 2) gml:Solid は閉じている (水密である)。 3) gml:Solid の内部が連続している。 4) gml:Solid の境界を構成する曲面が、適切な方向を向いている。 5) gml:Solid の境界を構成する曲面が、重なっていない。 	
上位の型	gml:_GeometricPrimitive	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
exterior	gml:_Surface[1]	立体の外殻。gml:CompositeSurface を使用する。
interior	gml:_Surface [0..*]	立体の内殻。gml:CompositeSurface を使用する。

(7) gml:Triangle

クラスの定義	三角形。	
上位の型	gml:_SurfacePatch	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
exterior	gml:_Ring [1]	三角形の外周となる輪。

(8) gml:TriangulatedSurface

クラスの定義	三角形網。	
上位の型	gml:_Surface	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
trianglePatches	gml:Triangle [1..*]	三角網を構成する三角形。

(9) gml:TIN

クラスの定義	不規則三角形網。	
上位の型	gml:TriangulatedSurface	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
stopLines	gml:LineStringSegment [0..*]	TIN の生成を止める境界線。
breakLines	gml:LineStringSegment [0..*]	地形の変化点をつなぐ線分。
maxLength	gml:LengthType [1]	TIN を構成する三角形の最大辺長。
controlPoint	gml:posList [1]	TIN 生成の制御点リスト。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
trianglePatches	gml:Triangle [1..*]	三角網を構成する三角形。

(10) gml:MultiPoint

クラスの定義	点の集まり。	
上位の型	gml:_AbstractGeometricAggregate	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
pointMember	gml:Point [1..*]	構成要素となる点。

(11) gml:MultiSurface

クラスの定義	面の集まり。	
上位の型	gml:_AbstractGeometricAggregate	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
surfaceMember	gml:_Surface [1..*]	構成要素となる面。

4.3.16 コードリスト及び列挙型 (Enumeration)

(1) コードリスト及び列挙型とは

コードリスト及び列挙型は、属性の型として使用されるクラスである。ここで指定されたコード又は値から選択し、属性の値とする。

本項で示すコードリスト及び列挙型は標準製品仕様書で使用するもののみである。拡張製品仕様書においてコードリストを追加又は変更した場合には、それぞれの拡張製品仕様書においてそのリストを示さなければならない。また、列挙型は変更することができない。

(2) CityGML Core で使用するコードリスト及び列挙型

なし

(3) CityGML Appearance で使用するコードリスト及び列挙型

ファイル名	Appearance_mimeType.xml
コード	説明
image/jpeg	*.jpeg, *.jpg images
image/png	*.png images

参考 : CityGML 2.0 Annex C.6

列挙型	TextureType
値	説明
specific	特定のオブジェクトのための画像
typical	典型的な画像
unknown	不明

出典 : CityGML 2.0

列挙型	WrapModeType
値	説明
none	画像は繰り返されない
wrap	画像が繰り返される
mirror	画像は鏡面对称で繰り返される
clamp	フレームが引き延ばされる
border	指定された境界線色で塗りつぶされる

出典 : CityGML 2.0

(4) CityGML Building で使用するコードリスト及び列挙型

ファイル名	Building_class.xml
コード	説明
3001	普通建物
3002	堅ろう建物
3003	普通無壁舎
3004	堅ろう無壁舎
3000	分類しない建物

ファイル名	Building_usage.xml
コード	説明
401	業務施設
402	商業施設
403	宿泊施設
404	商業系複合施設
411	住宅
412	共同住宅
413	店舗等併用住宅
414	店舗等併用共同住宅
415	作業所併用住宅
421	官公庁施設
422	文教厚生施設
431	運輸倉庫施設
441	工場
451	農林漁業用施設
452	供給処理施設
453	防衛施設
454	その他
461	不明

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	Building_roofType.xml
コード	説明
1	切妻屋根
2	寄棟屋根
3	方形屋根
4	陸屋根
5	片流れ屋根
6	袴腰屋根/半切妻屋根
7	入母屋屋根
8	鍔（しころ）屋根
9	マンサード屋根
10	越屋根
11	招き屋根
12	差し掛け屋根
13	バタフライ屋根
14	鋸屋根
15	六柱屋根
16	八柱屋根
17	M型屋根

18	下屋付招き屋根
19	棟違い屋根
20	乗り越し屋根
21	腰折れ屋根
22	隅切屋根
23	アーチ屋根
24	ドーム屋根
25	シエル屋根
26	カテナリー屋根
27	膜構造
28	その他
9020	不明

参考：OGC CityGML2.0 AnnexC.1 及び ISO6701-1

ファイル名	BuildingInstallation_class.xml
コード	説明
1000	外観の特徴
1020	廃棄物管理
1030	維持管理
1040	通信設備
1050	保安施設
1060	その他

出典 OGC CityGML2.0 AnnexC.1

ファイル名	BuildingInstallation_function.xml
コード	説明
1000	バルコニー
1001	ポーチ
1002	テラス
1003	エントランスホール
1010	温室
1011	カーポート
1012	物置
1020	アーケード
1021	回廊
1030	煙突 (建築物の一部としての)
1031	ダクト
1032	換気口
1033	アンテナ
1040	塔 (建築物の一部としての)
1041	塔屋
1050	柱・円柱
1051	看板

1052	屋根飾り
1053	ドーマー
1054	出窓
1060	階段
1061	手すり
1062	外階段・歩道の庇
1070	その他

参考 OGC CityGML2.0 AnnexC.1 及び ISO6701-1

(5)CityGML CityFurniture で使用するコードリスト及び列挙型

ファイル名	CityFurniture_class.xml
コード	説明
1000	交通施設
1010	通信施設
1020	保安施設
1030	その他

出典 : CityGML 2.0 Annex C.4

ファイル名	CityFurniture_function.xml
コード	説明
1000	道路標示
1010	区画線
1020	車道中央線
1030	車線境界線
1040	車道外側線
1100	指示標示
1110	横断歩道
1120	停止線
1200	規制標示
2000	柵・壁
3000	道路標識
3110	案内標識
3120	警戒標識
3130	規制標識
3140	指示標識
3150	補助標識
4000	建造物
4010	上屋
4020	地下出入口
4100	視線誘導標
4120	道路反射鏡
4200	照明施設
4300	道路情報管理施設
4400	災害検知器

ファイル名	CityFurniture_function.xml
コード	説明
4500	気象観測装置
4600	道路情報板
4700	光ファイバー
4800	柱
4810	路側
4820	片持
4830	門型
4840	電柱
4900	交通信号機
5000	階段
5010	通路
5020	エレベータ
5030	エスカレータ
5100	管理用地上施設
5200	電線共同溝
5300	CAB
5400	情報 BOX
5500	管路
5600	管理用開口部
5610	マンホール
5620	ハンドホール
5630	入孔
6000	距離標
6010	境界標識
6020	道路元標・里程標
6100	料金徴収施設
6200	融雪施設
7000	排水施設
7100	集水桝
7200	排水溝
7300	側溝
7400	排水管
7500	排水ポンプ
8010	停留所
8020	消火栓
8030	郵便ポスト
8040	電話ボックス
8050	輸送管
8060	軌道
8070	架空線
8080	自動販売機

ファイル名	CityFurniture_function.xml
コード	説明
8090	墓碑
8100	記念碑
8110	立像
8120	噴水
8130	井戸
8140	掲示板
8150	点字ブロック
8160	ベンチ
8170	テーブル
9000	その他
9001	看板 (自立式)
9002	水飲み

参考：道路基盤地図情報製品仕様書 (案)、作業規程の準則 (付録 7 公共測量標準図式)

(6) CityGML Generic で使用するコードリスト及び列挙型

なし

(7) CityGML Relief で使用するコードリスト及び列挙型

なし

(8) CityGML LandUse で使用するコードリスト及び列挙型

ファイル名	Common_landUseType.xml
コード	説明
201	田 (水田)
202	畑 (畑、樹園地、採草地、養鶏 (牛・豚) 場)
203	山林 (樹林地)
204	水面 (河川水面、湖沼、ため池、用水路、濠、運河水面)
205	その他自然地 (原野・牧野、荒れ地、低湿地、河川敷・河原、海浜、湖岸)
211	住宅用地 (住宅、共同住宅、店舗等併用住宅、店舗等併用共同住宅、作業所併用住宅)
212	商業用地
213	工業用地
219	農林漁業施設用地
214	公益施設用地
215	道路用地 (道路、駅前広場)
216	交通施設用地
217	公共空地 (公園・緑地、広場、運動場、墓園)
218	その他公的施設用地 (防衛施設用地)
220	その他の空地① (ゴルフ場)
221	その他の空地② (太陽光発電のシステムを直接整備している土地)
222	その他の空地③ (平面駐車場)

223	その他の空地④（その他の空地①～③以外の都市的土地利用：建物跡地、資材置場、改変工事中の土地、法面（道路、造成地等の主利用に含まれない法面））
231	不明
251	可住地
252	非可住地
260	農地（田、畑の区分がない）
261	宅地（住宅用地、商業用地等の区分が無い）
262	道路・鉄軌道敷（道路と交通施設用地が混在）
263	空地（その他の空地①～④の区分が無い）

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	LandUse_usage.xml
コード	説明
1	低未利用地
0	低未利用地以外

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

(9) CityGML Transportation で使用するコードリスト及び列举型

ファイル名	Road_class.xml
コード	説明
1040	road traffic（道路交通）

参考：CityGML2.0 Annex C.8

ファイル名	Road_function.xml
コード	説明
1	高速自動車国道
2	一般国道
3	都道府県道
4	市町村道
10	建築基準法第42条1項2号道路
11	建築基準法第42条1項3号道路
12	建築基準法第42条1項4号道路
13	建築基準法第42条1項5号道路
14	建築基準法第42条2項道路
15	建築基準法第43条2項ただし書きの適用を受けたことがある道
9000	未調査
9010	対象外
9020	不明

参考：道路法及び建築基準法

ファイル名	Road_usage.xml
コード	説明

1	緊急輸送道路 (第一次緊急輸送道路)
2	緊急輸送道路 (第二次緊急輸送道路)
3	緊急輸送道路 (第三次緊急輸送道路)
4	緊急輸送道路 (未指定)
5	避難路 / 避難道路

参考：国土交通省ウェブサイト

(<https://www.mlit.go.jp/road/bosai/measures/index3.html>) 及び地域防災計画の作成の基準 (<https://www.mlit.go.jp/common/001036322.pdf>)

コードリスト TrafficArea_function.xml 及び AuxiliaryTrafficArea_function.xml は、適用する LOD により使用可能なコードが異なるため、LOD 別に示す。

● LOD2 及び LOD3.0 で使用する場合

ファイル名	TrafficArea_function.xml			
大分類		小分類		定義
コード	説明	コード	説明	
1000	車道部			主として自動車が利用する道路の部分。
		1020	車道交差点	十字路、丁字路、その他二つ以上の車道が交わる部分。
2000	歩道部			自転車や歩行者のために供される道路の部分。歩道上の植栽を含む。

出典：道路基盤地図情報製品仕様書 (案)

ファイル名	AuxiliaryTrafficArea_function.xml			
大分類				定義
コード	説明			
3000	島			車両の走行を制御し、安全な交通を確保するために設置される分離帯及び交通島。路面電車停車所が設けられた島を含む。

出典：道路基盤地図情報製品仕様書 (案)

● LOD3.1 で使用する場合

ファイル名	TrafficArea_function.xml			
大分類		小分類		定義
コード	説明	コード	説明	
1000	車道部			主として自動車が利用する道路の部分のうち、自動車の通行の用に供される部分。
		1010	車線	一縦列の自動車を安全かつ円滑に通行させるために設けられる帯状の車道の部分。
		1020	車道交差点	十字路、丁字路、その他二つ以上の車道が交わる部分。
2000	歩道部			自転車や歩行者のために供される道路の部分。歩道上の植栽を含む。

出典：道路基盤地図情報製品仕様書 (案)

ファイル名	AuxiliaryTrafficArea_function.xml		
大分類			定義
コード	説明		
3000	島	車両の走行を制御し、安全な交通を確保するために設置される分離帯及び交通島。路面電車停車所が設けられた島を含む。	

参考：道路基盤地図情報製品仕様書（案）

● LOD3.2 及び LOD3.3 で使用する場合

ファイル名	TrafficArea_function.xml			
大分類		小分類		定義
コード	説明	コード	説明	
1000	車道部			主として自動車を利用する道路の部分のうち、自動車の通行の用に供される部分。
		1010	車線	一縦列の自動車を安全かつ円滑に通行させるために設けられる帯状の車道の部分。
		1020	車道交差点	十字路、丁字路、その他二つ以上の車道が交わる部分。
2000	歩道部			自転車や歩行者のために供される道路の部分。植栽を含まない。

出典：道路基盤地図情報製品仕様書（案）

ファイル名	AuxiliaryTrafficArea_function.xml		
大分類			定義
コード	説明		
3000	島	車両の走行を制御し、安全な交通を確保するために設置される分離帯及び交通島。路面電車停車所が設けられた島を含む。	
2000	歩道の段差	自転車や歩行者のために供される道路の部分が、縁石等によりマウントアップされた場合の段差。	
5000	植栽	植樹帯及び植樹ます。	

参考：道路基盤地図情報製品仕様書（案）

● LOD3.4 で使用する場合

ファイル名	TrafficArea_function.xml			
大分類		小分類		定義
コード	説明	コード	説明	
1000	車道部			主として自動車を利用する道路の部分のうち、自動車の通行の用に供される部分。 車線やすりつけ区間等区分されている以外の場所を全て車道部として取得する。

		1010	車線	一縦列の自動車を安全かつ円滑に通行させるために設けられる帯状の車道の部分。
		1020	車道交差部	十字路、丁字路、その他二つ以上の車道が交わる部分。
		1030	すりつけ区間	車線の数が増加もしくは減少する場合、又は、道路が接続する場合に設けられる車道の部分。
		1040	踏切道	鉄道と交差する道路の部分。
		1050	軌道敷	路面電車が走行する道路の部分。
		1070	待避所	一車線の道路において、車両のすれ違いのために車道の幅員を拡げる部分。
		1130	副道	道路の構造により沿道との出入りが妨げられる場合に、沿道への出入りを確保するために本線車道に並行して設置される道路。
2000	歩道部			自転車や歩行者のために供される道路の部分。
		2010	自転車歩行者道	自転車及び歩行者の通行の用に供される道路の部分。
		2020	歩道	歩行者の通行の用に供される道路の部分。
		2030	自転車道	自転車の通行の用に供される道路の部分。
6000	自転車駐車場			自転車駐車場のうち、走路部分。
7000	自動車駐車場			自動車駐車場のうち、走路部分。

出典：道路基盤地図情報製品仕様書（案）

ファイル名		AuxiliaryTrafficArea_function.xml		
大分類		小分類		定義
コード	説明	コード	説明	
1000	車道部			主として自動車が利用する道路の部分のうち、自動車の通行の用に供されない（物理的に通行が可能であっても、道路設計上、車両が通行することが想定されていない）を部分。 非常駐車帯や中央帯の区分が不要な場合には、通行が想定されていない範囲を全て車道部として取得する。
		1060	非常駐車帯	左側路肩に設けられる、故障車等が本線車線から退避し一時的に駐車するための道路の部分。
		1080	中央帯	車線を往復の方向別に区分するための道路の部分。
		1090	側帯	運転者の視線を誘導し、側方余裕をもたせるため、路肩及び中央帯にも受けられる道路の部分。
		1100	路肩	道路の主要構造を保護し、車道の機能を確保するため、車道部や歩道部に連続して設置される道路の部分。
		1110	停車帯	車両が停車するために設けられる道路の部分。

		1120	乗合自動車停車所	バス乗客の乗降のため、本線車線から分離しても受けられる道路の部分。
2000	歩道の段差			自転車や歩行者のために供される道路の部分が、縁石等によりマウントアップされた場合の段差。
3000	島			交通島、分離帯の区分が不要な場合は、島として取得する。
		3010	交通島	車両の走行を制御し歩行者を保護するために設置される島状の道路の部分。
		3020	分離帯	同方向または対方向の交通流を分離するために設置される島状の道路の部分。
4000	路面電車停車所			路面電車の乗降、待合のための停留場として利用される島状の部分。
5000	植栽			植樹帯、植樹ますの区分をしない場合には全て植栽として取得する。
		5010	植樹帯	植栽のために工作物により区切られる道路の帯状の部分。
		5020	植樹ます	歩道上に設置される植栽のためのます。
6000	自転車駐車場			自転車駐車場のうち、駐車区画の部分。
7000	自動車駐車場			自動車駐車場のうち、駐車区画の部分。

参考：道路基盤地図情報製品仕様書（案）

ファイル名	TrafficArea_surfaceMaterial.xml AuxiliaryTrafficArea_surfaceMaterial.xml		
大分類		小分類	
コード	説明	コード	説明
1000	アスファルト舗装	1010	排水性アスファルト舗装
		1020	透水性アスファルト舗装
		1030	保水性アスファルト舗装
2000	コンクリート舗装		
3000	樹脂系混合舗装		
4000	ブロック系舗装		
5000	土系舗装		
6000	木質系舗装		
9000	その他		

参考：国土交通省道路局ウェブサイト（https://www.mlit.go.jp/road/soudan/soudan_08b_01.html）

(10) CityGML Vegetation で使用するコードリスト及び列举型

ファイル名	SolitaryVegetationObject_class.xml
コード	説明
1	高木（樹高 3m 以上）
2	中木（樹高 1m 以上 3m 未満）
3	低木（樹高 1m 未満）

0	不明
---	----

参考：道路緑化技術基準、わが国の街路樹 VIII

ファイル名	SolitaryVegetationObject_function.xml
コード	説明
11	常緑/針葉
12	常緑/広葉
21	落葉/針葉
22	落葉/広葉
0	不明

参考：わが国の街路樹 VIII

ファイル名	PlantCover_class.xml
コード	説明
1	高木 (樹高 3m 以上)
2	中木 (樹高 1m 以上 3m 未満)
3	低木 (樹高 1m 未満)
4	地被植物
5	草花
0	不明

参考：道路緑化技術基準、わが国の街路樹 VIII

(11) CityGML WaterBody で使用するコードリスト及び列挙型

ファイル名	Waterbody_class.xml
コード	説明
1140	Flooded land (浸水域)

参考：CityGML2.0 Annex C.9

ファイル名	WaterBody_function.xml
コード	説明
1	洪水浸水想定区域
2	津波浸水想定
3	高潮浸水想定区域
4	内水浸水想定区域

(12) i-UR Urban Object で使用するコードリスト

ファイル名	BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml
コード	説明
401	業務施設
401101	事務所
401102	銀行
401103	会議場・展示場
401104	郵便局

ファイル名	BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml
コード	説明
401105	電話局
401106	民間研究所
401107	研修所
402	商業施設
4021	商業施設 1 (百貨店、小売店、卸売店、ガソリンスタンド等)
402101	百貨店
402102	小売店
402103	卸売店
402104	ガソリンスタンド
4022	商業施設 2 (食堂、喫茶店、弁当屋・宅配等)
402201	食堂
402202	喫茶店
402203	弁当屋・宅配
4023	商業施設 3 (理容店、美容院、レンタル業、宴会場、結婚式場、習い事教室、予備校、自動車教習所、住宅展示場、その他のサービス施設)
402301	理容店
402302	美容院
402303	レンタル業
402304	宴会場
402305	結婚式場
402306	習い事教室
402307	予備校
402308	自動車教習所
402309	住宅展示場
402310	その他サービス施設
4024	商業施設 4 (料理店、キャバレー、クラブ、バー、飲み屋等)
402401	料理店
402402	キャバレー
402403	クラブ
402404	バー
402405	飲み屋
4025	商業施設 5 (劇場、映画館等)
402501	劇場
402502	映画館
4026	商業施設 6 (ボーリング場、バッティングセンター、ゴルフ練習場、フィットネス、カラオケボックス、インターネットカフェ等)
402601	ボーリング場
402602	バッティングセンター
402603	ゴルフ練習場
402604	フィットネス
402605	カラオケボックス

ファイル名	BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml
コード	説明
402606	インターネットカフェ
4027	商業施設 7 (マージャン屋、パチンコ屋、馬券・車券発売所 等)
402701	マージャン屋
402702	パチンコ店
402703	馬券・車券発売所
403	宿泊施設
403101	ホテル
403102	旅館
403103	民宿
403104	ラブホテル
404	商業系複合施設
4041	商業系複合施設
411	住宅
4111	専用住宅 (住宅に付随する物置、車庫を含む)
412	共同住宅
412101	アパート
412102	マンション
412103	長屋
412104	寮
413	店舗等併用住宅
4131	店舗等併用住宅
414	店舗等併用共同住宅
4141	店舗等併用共同住宅
415	作業所併用住宅
4151	作業所併用住宅
421	官公庁施設
421101	国県市町村庁舎
421102	裁判所
421103	税務署
421104	警察署
421105	消防署
421106	駐在所
422	文教厚生施設
4221	文教厚生施設 1 (大学、高等専門学校、各種学校、公的研究所 等)
422101	大学
422102	高等専門学校
422103	各種学校
422104	公的研究所
4222	文教厚生施設 2 (小・中・高等学校、保育所 等)
422201	小・中・高等学校
422202	保育所

ファイル名	BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml
コード	説明
4223	文教厚生施設 3 (図書館、博物館、文化ホール、集会所、動物園 等)
422301	図書館
422302	博物館
422303	文化ホール
422304	集会所
422305	動物園
4224	文教厚生施設 4 (体育館、水泳場、野球場、陸上競技場その他のスポーツ施設 (主に公共施設))
422401	体育館
422402	水泳場
422403	野球場
422404	陸上競技場その他のスポーツ施設 (主に公共施設)
4225	文教厚生施設 5 (病院)
4226	文教厚生施設 6 (診療所、老人ホーム、介護福祉施設、公衆浴場、公衆便所 等)
422601	診療所
422602	老人ホーム
422603	介護福祉施設
422604	公衆浴場
422605	公衆便所
4227	文教厚生施設 7 (神社、寺院、教会 等)
422701	神社
422702	寺院
422703	教会
431	運輸倉庫施設
4311	運輸倉庫施設 1 (駅舎、電車車庫、バスターミナル、港湾・空港施設 等)
431101	駅舎
431102	電車車庫
431103	バスターミナル
431104	港湾・空港施設
4312	運輸倉庫施設 2 (卸売市場、倉庫、トラックターミナル 等)
431201	卸売市場
431202	倉庫
431203	トラックターミナル
4313	運輸倉庫施設 3 (立体駐車場、駐輪施設 等)
431301	立体駐車場
431302	駐輪施設
441	工場
4411	工場 1 (危険物の製造、液化ガスの製造、塩素・臭素等の製造、肥料の製造、製紙、製革、アスファルトの精製、セメントの製造、金属の溶融 等 (準工業地域において立地不可))
441101	危険物の製造
441102	液化ガスの製造
441103	塩素・臭素等の製造

ファイル名	BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml
コード	説明
441104	肥料の製造
441105	製紙
441106	製革
441107	アスファルトの精製
441108	セメントの製造
441109	金属の溶解
4412	工場 2 (原動機を使用する 150 m ² を超える工場、引火性溶剤を用いるドライクリーニング、原動機を使用する岩石の粉砕、レディミクストコンクリートの製造、陶磁器・ガラスの製造等 (商業地域において立地不可))
441201	原動機を使用する 150 m ² を超える工場
441202	引火性溶剤を用いるドライクリーニング
441203	原動機を使用する岩石の粉砕
441204	レディミクストコンクリートの製造
441205	陶磁器・ガラスの製造
4413	工場 3 (原動機を使用する 50 m ² を超える工場、原動機を使用する魚肉の練製品の製造・セメント製品の製造・金属の加工・印刷、木工所、めっき等 (住居地域において立地不可))
441301	原動機を使用する 50 m ² を超える工場
441302	原動機を使用する魚肉の練製品の製造・セメント製品の製造・金属の加工・印刷
441303	木工所
441304	めっき
4414	工場 4 (50 m ² 以内のパン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋その他これらに類する食品製造業を営む工場等)
441401	50 m ² 以内のパン屋
441402	米屋
441403	豆腐屋
441404	菓子屋その他これらに類する食品製造業を営む工場
4415	工場 5 (自動車修理工場)
451	農林漁業用施設
451101	農業用納屋
451102	畜舎
451103	温室
451104	船小屋
451105	農林漁業用作業場
452	供給処理施設
452101	処理場
452102	浄水場
452103	ポンプ場
452104	火葬場
452105	発電所
452106	変電所
452107	ガス・熱供給施設

ファイル名	BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml
コード	説明
453	防衛施設
454	その他
461	不明

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	BuildingDetailAttribute_buildingStructureType.xml
コード	説明
601	木造・土蔵造
602	鉄骨鉄筋コンクリート造
603	鉄筋コンクリート造
604	鉄骨造
605	軽量鉄骨造
606	レンガ造・コンクリートブロック造・石造
610	非木造
611	不明

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	BuildingDetailAttribute_fireproofStructureType.xml
コード	説明
1001	耐火
1002	準耐火造
1003	その他
1011	不明

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	BuildingDetailAttribute_vacancy.xml
コード	説明
1	空き家
0	空き家以外

ファイル名	Common_urbanPlanType.xml
コード	説明
21	都市計画区域
26	準都市計画区域
27	都市計画区域外

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	Common_areaClassificationType.xml
コード	説明
22	市街化区域
23	市街化調整区域
24	非線引き用途地域

25	非線引き用途白地
31	居住誘導区域
32	都市機能誘導区域

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
0	用途地域の指定をしない区域
1	第1種低層住居専用地域
2	第2種低層住居専用地域
3	第1種中高層住居専用地域
4	第2種中高層住居専用地域
5	第1種住居地域
6	第2種住居地域
7	準住居地域
8	田園住居地域
9	近隣商業地域
10	商業地域
11	準工業地域
12	工業地域
13	工業専用地域
14	特別用途地区
15	特定用途制限地域
16	特例容積率適用地区
17	高層住居誘導地区
18	高度地区
19	高度利用地区
20	特定街区
21	都市再生特別地区
22	居住調整地域
23	特定用途誘導地区
24	防火地域
25	準防火地域
26	特定防災街区整備地区
27	景観地区
28	風致地区
29	駐車場整備地区
30	臨港地区
31	歴史的風土特別保存地区
32	第1種歴史的風土保存地区
33	第2種歴史的風土保存地区
34	緑地保全地域
35	特別緑地保存地区

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
36	緑化地域
37	流通業務地区
38	生産緑地地区
39	伝統的建造物群保存地区
40	航空機騒音障害防止地区
41	航空機騒音障害防止特別地区
42	居住環境向上用途誘導地区

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	LargeCustomerFacilityAttribute_class.xml
コード	説明
1	大規模小売店舗（食品スーパー）
2	大規模小売店舗（百貨店・スーパー・ショッピングセンター・寄合百貨店・小売市場）
3	大規模小売店舗（ホームセンター・専門店（家具・家電・書籍等））
4	大規模小売店舗（その他）
5	大規模集客施設（床面積1万㎡超の店舗、映画館、アミューズメント施設、展示場等）

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	Common_landUseType.xml
コード	説明
201	田（水田）
202	畑（畑、樹園地、採草地、養鶏（牛・豚）場）
203	山林（樹林地）
204	水面（河川水面、湖沼、ため池、用水路、濠、運河水面）
205	その他自然地（原野・牧野、荒地、低湿地、河川敷・河原、海浜、湖岸）
211	住宅用地（住宅、共同住宅、店舗等併用住宅、店舗等併用共同住宅、作業所併用住宅）
212	商業用地
213	工業用地
219	農林漁業施設用地
214	公益施設用地
215	道路用地（道路、駅前広場）
216	交通施設用地
217	公共空地（公園・緑地、広場、運動場、墓園）
218	その他公的施設用地（防衛施設用地）
220	その他の空地①（ゴルフ場）
221	その他の空地②（太陽光発電のシステムを直接整備している土地）
222	その他の空地③（平面駐車場）
223	その他の空地④（その他の空地①～③以外の都市的土地利用：建物跡地、資材置場、改変工事 中の土地、法面（道路、造成地等の主利用に含まれない法面））
231	不明
251	可住地

ファイル名	Common_landUseType.xml
コード	説明
252	非可住地
260	農地 (田、畑の区分がない)
261	宅地 (住宅用地、商業用地等の区分が無い)
262	道路・鉄軌道敷 (道路と交通施設用地が混在)
263	空地 (その他の空地①～④の区分が無い)

出典：都市計画基礎調査実施要領 (第 4 版)

ファイル名	BuildingRiverFloodingRiskAttribute_adminType.xml
コード	説明
1	国
2	都道府県

出典：洪水浸水想定区域図作成マニュアル (第 4 版)

ファイル名	BuildingRiverFloodingRiskAttribute_scale.xml
コード	説明
1	L1 (計画規模)
2	L2 (想定最大規模)

出典：洪水浸水想定区域図作成マニュアル (第 4 版)

ファイル名	BuildingRiverFloodingRiskAttribute_rank.xml
コード	説明
1	0.5m 未満
2	0.5m 以上 3m 未満
3	3m 以上 5m 未満
4	5m 以上 10m 未満
5	10m 以上 20m 未満
6	20m 以上

出典：洪水浸水想定区域図作成マニュアル (第 4 版)

ファイル名	BuildingTsunamiRiskAttribute_rank.xml
コード	説明
1	0.5m 未満
2	0.5m 以上 3m 未満
3	3m 以上 5m 未満
4	5m 以上 10m 未満
5	10m 以上 20m 未満
6	20m 以上

出典：津波浸水想定の設定の手引き

ファイル名	BuildingHighTideRiskAttribute_rank.xml
コード	説明

1	0.5m 未満
2	0.5m 以上 3m 未満
3	3m 以上 5m 未満
4	5m 以上 10m 未満
5	10m 以上 20m 未満
6	20m 以上

出典：高潮浸水想定区域図作成の手引き

ファイル名	BuildingInlandFloodingRiskAttribute_rank.xml
コード	説明
1	0.5m 未満
2	0.5m 以上 3m 未満
3	3m 以上 5m 未満
4	5m 以上 10m 未満
5	10m 以上 20m 未満
6	20m 以上

出典：内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）

ファイル名	BuildingLandSlideRiskAttribute_description.xml
コード	説明
1	急傾斜地の崩落
2	土石流
3	地すべり

出典：国土数値情報（土砂災害危険箇所）製品仕様書

ファイル名	BuildingLandSlideRiskAttribute_areaType.xml
コード	説明
1	土砂災害警戒区域（指定済）
2	土砂災害特別警戒区域（指定済）
3	土砂災害警戒区域（指定前）
4	土砂災害特別警戒区域（指定前）

出典：国土数値情報（土砂災害危険箇所）製品仕様書

ファイル名	BuildingDataQualityAttribute_srcScale.xml
コード	説明
1	地図情報レベル 2500
2	地図情報レベル 1000
3	地図情報レベル 500

ファイル名	BuildingDataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml
コード	説明
1	現地測量
2	地上レーザー測量

3	車載写真レーザー測量
4	UAV 写真測量
5	空中写真測量
6	既成図数値化
7	修正測量
8	航空レーザー測量
9	現地調査
0	推定

ファイル名	BuildingDataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml
コード	説明
1	都市計画基礎調査
6	写真判読
7	現地調査
8	GIS データ演算

ファイル名	BuildingDataQualityAttribute_appearanceSrcDesc.xml
コード	説明
1	空中写真
2	MMS 画像
3	現地写真
4	疑似テクスチャ

ファイル名	BuildingDataQualityAttribute_lod1HeightType.xml
コード	説明
1	点群から取得_最高高さ
2	点群から取得_中央値
3	点群から取得_平均値
4	点群から取得_最頻値
5	点群から取得_最低値
6	航空写真図化_最高高さ
7	建築確認申請書類等に記載された「建築物の高さ」

参考：建物三次元データ作成マニュアル（案）

列挙型	uro:BuildingLODType
値	説明
2.0	LOD2.0 (屋根面を簡略化し、切妻、寄棟、陸屋根など一般的な屋根形状及びその組み合わせで表現する。軒の表現は行わない。また、付属物も作成しない。)
2.1	LOD2.1 (「一辺 3m 以上」または「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の屋根面を表現する。軒の表現は行わない。屋根に設置された「一辺 3m 以上」または「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の付属物を表現する。)
2.2	LOD2.2 (「一辺 1m 以上」の屋根面を表現する。軒の表現は行わない。屋根に設置された「一辺 1m 以上」の付属物を表現する。)

3.0	LOD3.0 (屋根面を簡略化し、切妻、寄棟、陸屋根など一般的な屋根形状及びその組み合わせで表現する。3m以上の軒の表現を行う。屋根及び壁面に設置された「一辺 3m 以上」または「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の付属物を表現する。壁面に設置された「一辺 1m 以上」の開口部を表現する。)
3.1	LOD3.1 (「一辺 3m 以上」または「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の屋根面を表現する。1m 以上の軒の表現を行う。屋根及び壁面に設置された「一辺 3m 以上」または「面積 3m ² 以上かつ一辺 1m 以上」の付属物を表現する。壁面に設置された「一辺 1m 以上」の開口部を表現する)
3.2	LOD3.2 (「一辺 1m 以上」の屋根面を表現する。1m 以上の軒の表現を行う。屋根及び壁面に設置された一辺「1m 以上」の付属物を表現する。屋根面及び壁面に設置された「面積 1m ² 以上」の開口部を表現する。)
3.3	LOD3.3 (「一辺 1m 未満」の屋根面を表現する。1m 未満の軒の表現を行う。屋根及び壁面に設置された一辺「1m 未満」の付属物を表現する。屋根面及び壁面に設置された「一辺 1m 未満」の開口部を表現する。)

ファイル名	CityFurnitureDataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml
コード	説明
1	現地測量
2	地上レーザ測量
3	車載写真レーザ測量
4	UAV 写真測量
5	空中写真測量
6	既成図数値化
7	修正測量
8	航空レーザ測量
9	現地調査
0	推定

ファイル名	CityFurnitureDataQualityAttribute_srcScale.xml
コード	説明
1	地図情報レベル 2500
2	地図情報レベル 1000
3	地図情報レベル 500

ファイル名	CityFurnitureDataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml
コード	説明
2	道路基盤地図情報
3	道路台帳
4	道路施設台帳
5	統計調査
6	写真判読
7	現地調査
8	GIS データ演算

ファイル名	CityFurnitureDataQualityAttribute_appearanceSrcDesc.xml
コード	説明
1	空中写真
2	MMS 画像
3	現地写真
4	疑似テクスチャ

ファイル名	LandUseDetailAttribute_ownerType.xml
コード	説明
1010	国
1020	都道府県
1030	市区町村
1040	公社等
9000	未調査
9010	調査対象外
9020	不明

参考：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	Common_urbanPlanType.xml
コード	説明
21	都市計画区域
26	準都市計画区域
27	都市計画区域外

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	Common_areaClassificationType.xml
コード	説明
22	市街化区域
23	市街化調整区域
24	非線引き用途地域
25	非線引き用途白地
31	居住誘導区域
32	都市機能誘導区域

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
0	用途地域の指定をしない区域
1	第1種低層住居専用地域
2	第2種低層住居専用地域
3	第1種中高層住居専用地域
4	第2種中高層住居専用地域

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
5	第1種住居地域
6	第2種住居地域
7	準住居地域
8	田園住居地域
9	近隣商業地域
10	商業地域
11	準工業地域
12	工業地域
13	工業専用地域
14	特別用途地区
15	特定用途制限地域
16	特例容積率適用地区
17	高層住居誘導地区
18	高度地区
19	高度利用地区
20	特定街区
21	都市再生特別地区
22	居住調整地域
23	特定用途誘導地区
24	防火地域
25	準防火地域
26	特定防災街区整備地区
27	景観地区
28	風致地区
29	駐車場整備地区
30	臨港地区
31	歴史的風土特別保存地区
32	第1種歴史的風土保存地区
33	第2種歴史的風土保存地区
34	緑地保全地域
35	特別緑地保存地区
36	緑化地域
37	流通業務地区
38	生産緑地地区
39	伝統的建造物群保存地区
40	航空機騒音障害防止地区
41	航空機騒音障害防止特別地区
42	居住環境向上用途誘導地区

出典：都市計画基礎調査実施要領（第4版）

ファイル名	RoadStructureAttribute_widthType.xml
-------	--------------------------------------

コード	説明
1	15m 以上
2	6m 以上 15m 未満
3	4m 以上 6m 未満
4	4m 未満

出典：都市計画基礎調査実施要領

ファイル名	RoadStructureAttribute_sectionType.xml
コード	説明
1	土工区間
2	高架橋
3	橋梁
4	交差部
5	アンダーパス
6	トンネル

ファイル名	RoadDataQualityAttribute_GeometrySrcDesc.xml
コード	説明
1	現地測量
2	地上レーザ測量
3	車載写真レーザ測量
4	UAV 写真測量
5	空中写真測量
6	既成図数値化
7	修正測量
8	航空レーザ測量
9	現地調査
0	推定

ファイル名	RoadDataQualityAttribute_srcScale.xml
コード	説明
1	地図情報レベル 2500
2	地図情報レベル 1000
3	地図情報レベル 500

ファイル名	RoadDataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml
コード	説明
1	都市計画基礎調査
2	道路基盤地図情報
3	道路台帳
4	道路施設台帳
5	統計調査
6	写真判読

7	現地調査
8	GIS データ演算

ファイル名	RoadDataQualityAttribute_appearanceSrcDesc.xml
コード	説明
1	空中写真
2	MMS 画像
3	現地写真
4	疑似テクスチャ

ファイル名	VegetationDataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml
コード	説明
1	現地測量
2	地上レーザ測量
3	車載写真レーザ測量
4	UAV 写真測量
5	空中写真測量
6	既成図数値化
7	修正測量
8	航空レーザ測量
9	現地調査
0	推定

ファイル名	VegetationDataQualityAttribute_srcScale.xml
コード	説明
1	地図情報レベル 2500
2	地図情報レベル 1000
3	地図情報レベル 500

ファイル名	VegetationDataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml
コード	説明
2	道路基盤地図情報
3	道路台帳
4	道路施設台帳
5	統計調査
6	写真判読
7	現地調査
8	GIS データ演算

ファイル名	VegetationDataQualityAttribute_appearanceSrcDesc.xml
コード	説明

1	空中写真
2	MMS 画像
3	現地写真
4	疑似テクスチャ

ファイル名	WaterbodyFloodingRiskAttribute_adminType.xml
コード	説明
1	国
2	都道府県

ファイル名	WaterbodyRiverFloodingRiskAttribute_riskRank.xml
コード	説明
1	0.5m 未満
2	0.5m 以上 3m 未満
3	3m 以上 5m 未満
4	5m 以上 10m 未満
5	10m 以上 20m 未満
6	20m 以上

ファイル名	WaterbodyRiverFloodingRiskAttribute_riskScale.xml
コード	説明
L1	計画規模
L2	想定最大規模

ファイル名	WaterBodyTsunamiRiskAttribute_rank.xml
コード	説明
1	0.5m 未満
2	0.5m 以上 3m 未満
3	3m 以上 5m 未満
4	5m 以上 10m 未満
5	10m 以上 20m 未満
6	20m 以上

ファイル名	WaterBodyHighTideRiskAttribute_rank.xml
コード	説明
1	0.5m 未満
2	0.5m 以上 3m 未満
3	3m 以上 5m 未満
4	5m 以上 10m 未満
5	10m 以上 20m 未満
6	20m 以上

ファイル名	WaterBodyInlandFloodingRiskAttribute_rank.xml
コード	説明
1	0.5m 未満
2	0.5m 以上 3m 未満
3	3m 以上 5m 未満
4	5m 以上 10m 未満
5	10m 以上 20m 未満
6	20m 以上

(13) i-UR Urban Function で使用するコードリスト

ファイル名	Common_validType.xml
コード	説明
1	決定
2	廃止
3	変更

ファイル名	Common_urbanPlanType.xml
コード	説明
21	都市計画区域
26	準都市計画区域
27	都市計画区域外

ファイル名	Common_areaClassificationType.xml
コード	説明
22	市街化区域
23	市街化調整区域
24	非線引き用途地域
25	非線引き用途白地
31	居住誘導区域
32	都市機能誘導区域

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
0	用途地域の指定をしない区域
1	第1種低層住居専用地域
2	第2種低層住居専用地域
3	第1種中高層住居専用地域
4	第2種中高層住居専用地域
5	第1種住居地域
6	第2種住居地域
7	準住居地域
8	田園住居地域
9	近隣商業地域

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
10	商業地域
11	準工業地域
12	工業地域
13	工業専用地域
14	特別用途地区
15	特定用途制限地域
16	特例容積率適用地区
17	高層住居誘導地区
18	高度地区
19	高度利用地区
20	特定街区
21	都市再生特別地区
22	居住調整地域
23	特定用途誘導地区
24	防火地域
25	準防火地域
26	特定防災街区整備地区
27	景観地区
28	風致地区
29	駐車場整備地区
30	臨港地区
31	歴史的風土特別保存地区
32	第1種歴史的風土保存地区
33	第2種歴史的風土保存地区
34	緑地保全地域
35	特別緑地保存地区
36	緑化地域
37	流通業務地区
38	生産緑地地区
39	伝統的建造物群保存地区
40	航空機騒音障害防止地区
41	航空機騒音障害防止特別地区
42	居住環境向上用途誘導地区

ファイル名	Common_availabilityType.xml
コード	説明
1	有り
2	無し
3	不明

ファイル名	SpecialUseDistrict_usage.xml
コード	説明
1	特別工業地区
2	文教地区
3	小売店舗地区
4	事務所地区
5	厚生地区
6	娯楽レクリエーション地区
7	観光地区
8	特別業務地区
9	中高層階住居専用地区
10	商業専用地区
11	研究開発地区
12	その他

ファイル名	HeightControlDistrict_usage.xml
コード	説明
1	最高限高度地区
2	最低限高度地区

ファイル名	FirePreventionDistrict_usage.xml
コード	説明
1	防火地域（地域）
2	防火地域（路線）
3	準防火地域（地域）
4	準防火地域（路線）

ファイル名	ScenicDistrict_usage.xml
コード	説明
1	第一種風致地区
2	第二種風致地区
3	第三種風致地区
4	第四種風致地区

ファイル名	PortZone_usage.xml
コード	説明
1	商港区
2	特殊物資港区
3	工業港区
4	鉄道連絡港区
5	漁港区
6	バンカー港区
7	保安港区

8	マリーナ港区
9	修景厚生港区

ファイル名	SpecialGreenSpaceConservationDistrict_requirement.xml
コード	説明
1	無秩序な市街地化の防止、公害又は災害の防止等の為必要な遮断地帯、緩衝地帯又は非難地帯として適切な位置、規模及び形態を有するもの
2	神社、寺院等の建造物、遺跡等と一体となって、又は伝承若しくは風俗慣習と結びついて当該地域において伝統的又は文化的意義を有するもの
3	風致又は景観が優れていて、かつ当該地域の住民の健全な生活環境を確保するため必要なもの
4	動植物の生息地又は生育地として適正に保全する必要がある、かつ当該地域の住民の健全な生活環境を確保するため必要なもの
5	雨水の貯留浸透等のグリーンインフラとしての機能を有する緑地

ファイル名	ProjectPromotionArea_function.xml
コード	説明
1	市街地再開発促進区域
2	土地区画整理促進区域
3	住宅街区整備促進区域
4	拠点業務市街地整備土地区画整理促進区域

ファイル名	UrbanRoadAttribute_routeTypeNumber.xml
コード	説明
1	自動車専用道路
3	幹線街路
7	区画街路
8	特殊街路（歩行者、自転車道）
9	特殊街路（都市モノレール）
10	特殊街路（路面電車）

ファイル名	UrbanRoadAttribute_routeSizeNumber.xml
コード	説明
1	幅員 40m 以上
2	幅員 30m 以上 40m 未満
3	幅員 22m 以上 30m 未満
4	幅員 16m 以上 22m 未満
5	幅員 12m 以上 16m 未満
6	幅員 8m 以上 12m 未満
7	幅員 8m 未満

ファイル名	UrbanRoadAttribute_roadType.xml
-------	---------------------------------

コード	説明
1	自動車専用道路
2	幹線街路
3	区画街路
4	特殊街路

ファイル名	
Common_trafficFacilityStructureType.xml	
コード	説明
1	嵩上式
2	地下式
3	掘割式
4	地表式

ファイル名	
Common_trafficFacilityCrossingType.xml	
コード	説明
1	立体交差
2	平面交差

ファイル名	
VehicleTerminalAttribute_terminalType.xml	
コード	説明
1	トラックターミナル
2	バスターミナル

ファイル名	
ParkAttribute_parkTypeNumber.xml	
コード	説明
2	街区公園
3	近隣公園
4	地区公園
5	総合公園
6	運動公園
7	特殊公園 (風致の享受に供する)
8	特殊公園 (動物、植物、歴史公園等)
9	広域公園

ファイル名	
ParkAttribute_parkSizeNumber.xml	
コード	説明
2	面積 1ha 未満
3	面積 1ha 以上 4ha 未満
4	面積 4ha 以上 10ha 未満
5	面積 10ha 以上 50ha 未満
6	面積 50ha 以上 300ha 未満
7	面積 300ha 以上

ファイル名	Waterway_structure.xml
コード	説明
1	単断面式
2	複断面式
3	築堤式単断面
4	堤防式単断面
5	堤防式複断面
6	堀込式単断面
7	堀込式複断面
8	地下トンネル式単断面
9	地下式単断面
10	堀込式
11	暗渠式
12	ブロック単断面
13	ブロック堤防式

ファイル名	SewerSystemAttribute_systemType.xml
コード	説明
1	公共下水道
2	流域下水道
3	都市下水路

ファイル名	Common_plannedProjectType.xml
コード	説明
1	土地区画整理事業
2	新住宅市街地開発事業
3	工業団地造成事業
4	市街地再開発事業
5	新都市基盤整備事業
6	住宅街区整備事業

ファイル名	UrbanRedevelopmentProject_usage.xml
コード	説明
1	第一種
2	第二種

ファイル名	Common_urbanDevelopmentProjectType.xml
コード	説明
1	土地区画整理事業
2	新住宅市街地開発事業
3	工業団地造成事業
4	市街地再開発事業

5	新都市基盤整備事業
6	住宅街区整備事業

ファイル名	Common_scheduledAreaType.xml
コード	説明
1	新住宅市街地開発事業の予定区域
2	工業団地造成事業の予定区域
3	新都市基盤整備事業の予定区域
4	区域の面積が二十ヘクタール以上の一団地の住宅施設の予定区域
5	一団地の官公庁施設の予定区域
6	流通業務団地の予定区域

ファイル名	Common_districtPlanType.xml
コード	説明
1	地区計画
2	再開発等促進区を定める地区計画
3	開発整備促進区を定める地区計画
4	地区計画（誘導容積型）
5	地区計画（容積適正配分型）
6	地区計画（高度利用型）
7	地区計画（用途別容積型）
8	地区計画（街並み誘導型）
9	地区計画（立体道路制度）
10	防災街区整備地区計画
11	歴史的風致維持向上地区計画
12	沿道地区計画
13	沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画
14	集落地区計画

ファイル名	Common_districtDevelopmentPlanType.xml
コード	説明
1	地区整備計画
2	特定建築物地区整備計画
3	防災街区整備地区整備計画
4	沿道地区整備計画
5	集落地区整備計画
6	歴史的風致維持向上地区整備計画

ファイル名	ZonalDisasterPreventionFacility_facilityType.xml
コード	説明
1	地区防災施設
2	特定地区防災施設

ファイル名	Common_districtFacilityType.xml
コード	説明
1	地区施設
2	沿道地区施設
3	集落地区施設

ファイル名	District_function.xml
コード	説明
1	地区
2	沿道地区
3	防災地区

ファイル名	PromotionArea_function.xml
コード	説明
1	再開発促進区
2	開発整備促進区
3	沿道再開発等促進区

ファイル名	Boundary_function.xml
コード	説明
11	行政界
21	地番界
22	現地杭界
23	見通し界
24	境界未確定
31	道路区域(道路法により定められる)
32	道路区域(現況)
33	河川区域(河川法により定められる)
34	河川区域(現況)
35	水路界
36	鉄道界
37	護岸界、河川界、埋立界
38	都市公園法に定める公園界
41	道路中心線

ファイル名	Common_featureType.xml
コード	説明
1001	都市計画区域
1002	準都市計画区域
1100	区域区分
2000	地域地区
2100	用途地域

ファイル名	Common_featureType.xml
コード	説明
2200	特別用途地区
2201	特定用途制限地域
2202	特例容積率適用地区
2203	高層住居誘導地区
2204	高度地区
2205	高度利用地区
2206	特定街区
2207	都市再生特別地区
2208	居住調整地域
2209	特定用途誘導地区
2210	防火地域又は準防火地域
2211	特定防災街区整備地区
2212	景観地区
2213	風致地区
2214	駐車場整備地区
2215	臨港地区
2216	歴史的風土特別保存地区
2217	第1種・第2種歴史的風土保存地区
2218	緑地保全地域
2219	特別緑地保存地区
2220	緑化地域
2221	流通業務地区
2222	生産緑地地区
2223	伝統的建造物群保存地区
2224	航空機騒音障害防止地区
2225	航空機騒音障害防止特別地区
2226	居住環境向上用途誘導地区
2300	促進区域
2301	市街地再開発促進区域
2302	土地区画整理促進区域
2303	住宅街区整備促進区域
2304	拠点業務市街地整備土地区画整理促進区域
2400	遊休土地転換利用促進地区
2500	被災市街地復興推進地域
3000	都市施設
3010	交通施設
3011	道路
3012	都市高速鉄道
3013	駐車場
3014	自動車ターミナル
3015	空港

ファイル名	Common_featureType.xml
コード	説明
3016	港湾
3017	軌道
3020	公共空地
3021	公園
3022	緑地
3023	広場
3024	墓園
3030	供給施設
3031	水道
3032	電気供給施設
3033	ガス供給施設
3040	処理施設
3041	下水道
3042	汚物処理場
3043	ごみ焼却場
3044	ごみ処理場
3050	水路
3051	河川
3052	運河
3060	教育文化施設
3061	学校
3062	図書館
3063	研究施設
3070	医療施設
3071	病院
3080	社会福祉施設
3081	保育所
3090	市場、と畜場、火葬場
3091	市場
3092	と畜場
3093	火葬場
3100	一団地の住宅施設
3110	一団地の官公庁施設
3120	一団地の都市安全確保拠点施設
3130	流通業務団地
3140	一団地の津波防災拠点市街地形成施設
3150	一団地の復興再生拠点市街地形成施設
3160	一団地の復興拠点市街地形成施設
3170	政令で定める都市施設
3180	電気通信施設
3190	防風施設

ファイル名	Common_featureType.xml
コード	説明
3200	防火施設
3210	防水施設
3220	防雪施設
3230	防潮施設
3240	防砂施設
4000	市街地開発事業
4001	土地区画整理事業
4002	新住宅市街地開発事業
4003	工業団地造成事業
4004	市街地再開発事業
4005	新都市基盤整備事業
4006	住宅街区整備事業
4100	市街地開発事業等予定地域
4102	新住宅市街地開発事業の予定区域
4103	工業団地造成事業の予定区域
4105	新都市基盤整備事業の予定区域
4107	一団地の住宅施設の予定区域
4108	一団地の官公庁施設の予定区域
4109	流通業務団地の予定区域
5000	地区計画
5010	防災街区整備地区計画
5020	歴史的風致維持向上地区計画
5030	沿道地区計画
5040	集落地区計画
5100	地区整備計画
5110	特定建築物地区整備計画
5111	防災街区整備地区整備計画
5130	沿道地区整備計画
5140	集落地区整備計画
5120	歴史的風致維持向上地区整備計画
5200	地区
5210	地区施設
5220	地区防災施設
5221	特定地区防災施設

ファイル名	Common_urbanFacilityType.xml
コード	説明
3000	都市施設
3010	交通施設
3011	道路
3012	都市高速鉄道

ファイル名	Common_urbanFacilityType.xml
コード	説明
3013	駐車場
3014	自動車ターミナル
3015	空港
3016	港湾
3017	軌道
3020	公共空地
3021	公園
3022	緑地
3023	広場
3024	墓園
3025	運動場
3030	供給施設
3031	水道
3032	電気供給施設
3033	ガス供給施設
3034	地域冷暖房施設
3035	石油パイプライン
3040	処理施設
3041	下水道
3042	汚物処理場
3043	ごみ焼却場
3044	ごみ処理場
3050	水路
3051	河川
3052	運河
3060	教育文化施設
3061	学校
3062	図書館
3063	研究施設
3064	博物館
3065	美術館
3070	医療施設
3071	病院
3072	診療所
3073	保健所
3074	助産所
3080	社会福祉施設
3081	保育所
3082	乳児院
3083	母子寮
3084	養護老人ホーム

ファイル名	Common_urbanFacilityType.xml
コード	説明
3090	市場、と畜場、火葬場
3091	市場
3092	と畜場
3093	火葬場
3100	一団地の住宅施設
3110	一団地の官公庁施設
3120	一団地の都市安全確保拠点施設
3130	流通業務団地
3140	一団地の津波防災拠点市街地形成施設
3150	一団地の復興再生拠点市街地形成施設
3160	一団地の復興拠点市街地形成施設
3170	政令で定める都市施設
3180	電気通信施設
3190	防風施設
3200	防火施設
3201	防火水槽
3210	防水施設
3211	河岸堤防
3220	防雪施設
3230	防潮施設
3231	防潮堤
3240	防砂施設
3241	地滑り防止施設

ファイル名	SedimentDisasterProneArea_disasterType.xml
コード	説明
1	急傾斜地の崩壊
2	土石流
3	地すべり

ファイル名	SedimentDisasterProneArea_areaType.xml
コード	説明
1	土砂災害警戒区域（指定済）
2	土砂災害特別警戒区域（指定済）
3	土砂災害警戒区域（指定前）
4	土砂災害特別警戒区域（指定前）

ファイル名	SedimentDisasterProneArea_status.xml
コード	説明
0	特別警戒区域指定済み
1	特別警戒区域未指定

5 参照系

5.1 空間参照系

データ製品には、以下の空間参照系を適用する。

次元数	空間参照系の名称
3	日本測地系 2011 における経緯度座標系と東京湾平均海面を基準とする標高の複合座標参照系

5.2 時間参照系

データ製品に適用する時間参照系は、「グレゴリオ暦及び日本標準時」とする。

6 データ品質

データ製品が保証すべき品質の基準（品質要求）及び品質評価の手法（品質評価手順）を示す。

6.1 標準製品仕様の品質要求

標準製品仕様では、3D 都市モデルに対する標準的な品質要求を示す。ユースケースに応じて、より高い品質を要求することができる。

なお、3D 都市モデルは、都市に関わる様々なデータを格納する基盤としての活用が期待されていることから、標準的な品質要求に示された適合品質水準を下げることは原則として認めない。

6.2 品質評価手順に関する共通事項

標準製品仕様では、品質評価手法を以下の2種類に大別する。

- 全数・自動検査
- 抜取・目視検査

このうち、抜取検査を実施する場合、標準製品仕様書では、抜取方法と合否判定を「地図情報レベル 2500 数値地形図データ作成のための標準製品仕様書（案）」^[2]を参考に、以下の通り設定する。

1. 検査ロット

3D 都市モデル整備対象となる全域

2. 検査量

総面積の 2%

3. 検査単位の抽出方法

「2分の1地域メッシュ（分割地域メッシュ）」を検査単位とする。

「2分の1地域メッシュ」とは、基準地域メッシュ（第3次地域区画）を経線方向緯線方向に二分したメッシュである（出典：https://www.stat.go.jp/data/mesh/m_tuite.html）。

検査量 2%のうち、1%は監督員による任意抽出とし、残りの 1%は無作為抽出により抽出する。無作為抽出の結果、監督員が既に抽出した検査単位、検査の対象が含まれない検査単位、市町村境界の外側や海などの白部が含まれる地区が抽出された場合には、隣接する検査単位を選択する。白部が含まれない検査単位を抽出することが困難な場合には、出来る限り白部の比率が小さい検査単位を選択する。最小検査単位数は 4 とする。同一の成果に対しては、異なる品質評価項目に対しても原則として同一の検査単位を使用する。

4. アイテム (品質評価の対象) の定義

個別に規定する。

5. 抜取率 (母集団からサンプルを抽出する割合)

検査単位内の全数を対象とする。

各検査単位を 10×10 サブメッシュ (品質評価手順によっては 2×2) に分割し、サブメッシュ毎に全数を点検する。

6. 検査方法

個別に規定する。

7. 合否判定

次式により検査単位ごとに誤率を求める。

$$\text{誤率 (\%)} = \text{エラーが一つでも含まれるサブメッシュ数} / \text{検査単位ごとの全サブメッシュ数} \times 100$$

検査単位ごとの全サブメッシュ数は 100 に等しく、検査単位の一部に白部が含まれる場合にも 100 として誤率を計算する。

一つ以上の検査単位で誤率が適合品質水準を超えたら「不合格」とする。不合格となった場合、全般について再点検を行う。

再点検が終了したら、3%の面積に相当する検査単位の抽出を行うものとし、その結果不適合が認められた場合には、さらに 4%の追加実施を行うか、再作業を行う。

6.3 品質要求及び品質評価手順

データ製品に対する品質要求及び品質評価手順を示す。

6.3.1 完全性

完全性とは、データ集合内の過剰なデータの存在 (過剰) とデータ集合内のデータの欠落 (漏れ) である。

No	C01
品質要求	データ製品内に、gml:id が同一となるインスタンスがない。
品質要素	完全性・過剰
品質適用範囲	データ製品内の全ての gml:id をもつインスタンス。
品質評価尺度	インスタンスに与えられた gml:id と同じ gml:id をもつ他のインスタンスがデータ製品内に存在しない。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. データ製品に含まれる全てのインスタンスについて、gml:id の値が同じインスタンスの数をエラーとして数える。

No	C02 : 参照データに含まれるデータを分割・統合・追加・削除せずに使用する場合
品質要求	参照データとインスタンス数が等しい。
品質要素	完全性・過剰/漏れ
品質適用範囲	データ集合内の全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	参照データと都市モデルに含まれる各地物のインスタンス数が等しい。

適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。エラーの数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 参照データに含まれるデータ数を、地物型ごとに数える。 2. 都市モデルに含まれるインスタンス数を地物型ごとに数える。 3. 1. と 2. の結果より、地物型ごとに差を計算し、その絶対値の和をエラーの数とする。

No	C03：参照データに含まれるデータを分割・統合・追加・削除し使用する場合、または新規にデータを作成する場合
品質要求	参照データと比較して過剰・漏れが許容誤差の範囲内である。
品質要素	完全性・過剰/漏れ
品質適用範囲	データ集合内の全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合をエラーとする。1 個以上のエラーが存在するサブメッシュをエラーサブメッシュとする。 誤率 (%) = エラーサブメッシュの数 / 100 × 100
適合品質水準	全ての検査単位の誤率が 10% 以下なら合格、10% を超える検査単位が 1 つ以上あれば不合格。
品質評価手法	抜取・目視検査を実施する。 1. 抜取検査手法に従い、検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 10×10 のサブメッシュに分割する。 3. 検査単位の範囲について、対象となる全ての地物インスタンスを抽出する。 4. 検査単位ごとに全サブメッシュについて、参照データと 3. を目視で比較して、どちらかに対応が取れない地物インスタンスがあった場合、そのサブメッシュをエラーとして、エラーの存在するサブメッシュ数を数える。 5. 4. の結果より、検査単位ごとに誤率を算出する。

No	C-bldg-01
品質要素	完全性・過剰
品質適用範囲	bldg:Building
品質評価尺度	データ製品内に、属性「uro:buildingID」が同一となるインスタンスがない。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. データ製品に含まれる全ての建築物インスタンスについて、属性「uro:buildingID」の値が同一となるインスタンスを抽出する。 2. 同一の属性「uro:buildingID」の値をもつインスタンス群について、属性「uro:branchID」又は「uro:partID」をもたないインスタンスが複数存在した場合に、エラーとしてその数を数える。

6.3.2 論理一貫性

論理一貫性とは、データの構造、属性及び関係に関する論理的規則の遵守の度合いであり、以下の 4 つから構成される。

- 概念一貫性：応用スキーマに一致しているか否か
- 定義域一貫性：定義域に含まれているか否か
- 書式一貫性：XML のフォーマットに従っているか否か
- 位相一貫性：応用スキーマに定義した位相的な特性が正しいか否か

No	L01
品質要素	論理一貫性・書式一貫性
品質適用範囲	データ製品に含まれる全ての都市モデル (core:CityModel) のインスタンス。
品質評価尺度	整形形式 (Well-Formed XML) になっていない箇所数。
適合品質水準	エラーの箇所数が 0 の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。

品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>1. 検査プログラム (XML パーサなど) によって、都市モデルの書式が、XML 文書の構文として正しくない箇所を数える。</p>
--------	--

No	L02
品質要素	論理一貫性・概念一貫性
品質適用範囲	データ製品に含まれる全ての都市モデル (core:CityModel) のインスタンス。
品質評価尺度	妥当 (Valid) な XML 文書になっていない箇所数。
適合品質水準	エラーの箇所数が 0 の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>1. 検査プログラム (XML パーサなど) によって、都市モデルに含まれる地物型の構造が、7.1 に符号化仕様として示す i-UR 及び CityGML の XML Schema が規定する構造と合致しない箇所を数える。</p>

No	L03
品質要素	論理一貫性・概念一貫性
品質適用範囲	データ製品に含まれる全ての都市モデル (core:CityModel) のインスタンス。
品質評価尺度	応用スキーマに定義していない地物型の出現箇所数。
適合品質水準	エラーの箇所が 0 個の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>1. 検査プログラムによって、各都市の拡張製品仕様書の 4 章に示す応用スキーマ (応用スキーマクラス図及び応用スキーマ文書) に定義されている地物以外の地物インスタンスが、都市モデルの子要素として出現する箇所を数える。</p> <p>なお、応用スキーマは以下より取得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ http://schemas.opengis.net/citygml/ ・ https://www.geospatial.jp/iur/schemas/

No	L04
品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
品質適用範囲	gml:CodeType を型としてもつ地物属性のうち、コードリストを参照している地物属性。
品質評価尺度	指定されたコードリストに定義されていない値となっている箇所数。
適合品質水準	エラーの箇所数が 0 の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>1. gml:CodeType に含まれるコードリストへの相対パスを取得する。</p> <p>2. 相対パスで指定されたコードリストに定義された全てのコード値 (gml:name により記述) を取得する。</p> <p>3. 検査プログラムにより、地物属性の値と取得したすべてのコード値との比較を行い、地物属性の値が、コード値と合致しない箇所を数える。</p> <p>補足：コードリストへの相対パスは、gml:CodeType の属性である codeSpace の値として記述されている。</p>

No	L05
品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
品質適用範囲	全ての都市モデル (core:CityModel) のインスタンス。
品質評価尺度	都市モデルに指定された空間参照系の識別子が、製品仕様書で指定された識別子ではない。
適合品質水準	エラーの箇所数が 0 の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>1. 都市モデルに含まれる gml:Envelope に記述された空間参照系の URI が、製品仕様書に示された URI に合致しない箇所を数える。</p> <p>補足：空間参照系の URI は、gml:Envelope の属性である srsName の値として記述されている。</p>

No	L06
品質要素	論理一貫性・定義域一貫性

品質適用範囲	全ての幾何オブジェクトのインスタンス。
品質評価尺度	幾何オブジェクトインスタンスの座標値に含まれる、緯度、経度、標高が、この幾何オブジェクトインスタンスを含む都市モデル (core:CityModel) の空間範囲に含まれる。
適合品質水準	エラーとなる幾何オブジェクトが 0 個の場合に合格。エラーとなる幾何オブジェクトが 1 個以上の場合に不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 都市モデルに含まれる gml:Envelope の属性 boundedBy に記述された、緯度、経度及び標高の下限値及び上限値を超える座標値を有する幾何オブジェクトをエラーとする。

No	L07
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:LineString のインスタンス
品質評価尺度	同一座標または頂点間での距離が近接閾値 (0.01m) 未満の頂点が連続する、または gml:LineString のインスタンスを構成する点が 2 点未満のインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L08
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:LineString のインスタンス
品質評価尺度	単一インスタンスに始点以外の「自己交差」または「自己接触」が存在する場合にエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L09
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:Ring のインスタンス
品質評価尺度	全ての gml:Ring のインスタンスの始終点の座標が一致していない、「自己交差」、「自己接触」、または、始終点以外に重複する座標値が存在するインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L10
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:Polygon 及び gml:SurfacePatch の下位クラスのインスタンス。
品質評価尺度	座標列の向きが不正なインスタンスをエラーとする。外周は反時計回り、内周は時計回りが正しい。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L11
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	LOD1 の地物の空間属性に使用される gml:Polygon のインスタンス。

品質評価尺度	gml:Polygonの境界を構成するすべての座標値が同一平面上になければならない。同一平面上にない座標値が存在するインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が0個の場合に合格。1以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L12
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	LOD2またはLOD3の空間属性に使用されるgml:Polygonのインスタンス。
品質評価尺度	gml:Polygonの境界を構成するすべての座標値が同一平面とみなす許容誤差(0.03m)内に存在しなければならない。同一平面とみなす許容誤差内に存在しない座標値が存在するインスタンスをエラーとする。 同一平面とみなす許容誤差は、作成に使用する原典資料や作成方法により異なるため、作業者が許容誤差案を作成し、監督員の確認を得てから品質評価を実施すること。
適合品質水準	エラーの数が0個の場合に合格。1以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L13
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	内周が存在するgml:Polygonのインスタンス。
品質評価尺度	gml:Polygonに内周が存在する場合に、以下に示す条件に1つ以上に合致する場合にエラーとする。 1. 内周が外周と交差している。 2. 内周と外周が接することにより、gml:Polygonが2つ以上に分割されている。 3. 内周同士が重なったり、包含関係にあったりする。
適合品質水準	エラーの数が0個の場合に合格。1以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L14
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全てのgml:Solidのインスタンス。
品質評価尺度	gml:Solidを構成する全ての境界面が、以下の条件を満たしていない場合にエラーとする。 1. 境界面が自己交差していない。 2. 閉じている。 3. すべての境界面の向きが立体の外側を向いている。 4. 境界面が立体を分断してはならない。 5. 境界面が交差してはならない。
適合品質水準	エラーの数が0個の場合に合格。1以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L15
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全てのgml:Triangleのインスタンス。
品質評価尺度	始点と終点が一致する4点の座標値から構成されていない場合に、エラーとする。
適合品質水準	エラーの数が0個の場合に合格。1以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L16
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:TriangulatedSurface 及びこの下位クラスのインスタンス。
品質評価尺度	gml:TriangulatedSurface の境界が閉じている場合にエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L-bldg-01
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	bldg:Building のインスタンス。
品質評価尺度	bldg:Building が空間属性として保持する立体 (gml:Solid) 同士が重ならない。
適合品質水準	エラーとなるインスタンスが 0 個の場合に合格。エラーとなる bldg:Building が 1 個以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 全てのインスタンスについて、bldg:lod1Solid 及び bldg:lod2Solid により構成される gml:Solid を抽出する。 2. 抽出した gml:Solid のうち、重なるべきではない gml:Solid 同士が交差している場合にエラーとする。

No	L-bldg-02
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	bldg:BuildingPart をもつ bldg:Building のインスタンス。
品質評価尺度	1 つの bldg:Building について、これを構成する bldg:BuildingPart が空間属性として保持する立体 (gml:Solid) 同士が離れていない。
適合品質水準	エラーとなるインスタンスが 0 個の場合に合格。エラーとなる bldg:Building インスタンスが 1 個以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. bldg:BuildingPart をもつ bldg:Building インスタンスを抽出する。 2. それぞれのインスタンスについて、これを構成する全ての gml:Solid を抽出し、境界面を共有していない gml:Solid が存在している場合にエラーとする。

No	L-bldg-03
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	bldg:Window 及び bldg:Door のインスタンス。
品質評価尺度	bldg:_Opening の下位クラスのインスタンスが、これを集約する bldg:_BoundarySurface の下位クラスのインスタンスに包含されていない場合にエラーとする。
適合品質水準	エラーとなる bldg:Window、bldg:Door のインスタンスが 0 個の場合に合格。エラーとなるインスタンスが 1 個以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 開口部 (bldg:Window、bldg:Door) の空間属性 (gml:MultiSurface) を、これを集約する境界面 (bldg:_BoundarySurface の下位クラス) の空間属性 (gml:MultiSurface) 上に投影する。 2. 投影された bldg:Window 及び bldg:Door の gml:MultiSurface の一部または全部が境界面の外側に存在する bldg:Window 及び bldg:Door のインスタンス数を数える。

No	L-bldg-04
品質要素	論理一貫性・概念一貫性
品質適用範囲	bldg:Building
品質評価尺度	bldg:Building の用途を示す属性が正しい階層構造を保っている。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。

品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>1. データ製品に含まれる全ての bldg:Building インスタンスについて、属性「uro:majorUsage2」をもつインスタンスを抽出する。</p> <p>2. 属性「uro:majorUsage」をもたない場合にエラーとし、その数を数える。</p>
--------	---

No	L-bldg-05
品質要素	論理一貫性・概念一貫性
品質適用範囲	bldg:Building
品質評価尺度	bldg:Building の用途を示す属性が正しい階層構造を保っている。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>1. データ製品に含まれる全ての建築物インスタンスについて、属性「uro:detailedUsage2」または「uro:detailedUsage3」をもつインスタンスを抽出する。</p> <p>2. 属性「uro:detailedUsage2」をもつインスタンスは属性「uro:detailedUsage」を、属性「uro:detailedUsage3」をもつインスタンスは属性「uro:detailedUsage2」を、それぞれもたない場合にエラーとし、その数を数える。</p>

No	L-bldg-06
品質要素	論理一貫性・概念一貫性
品質適用範囲	bldg:Building, bldg:BuildingPart
品質評価尺度	bldg:Building 又は bldg:BuildingPart の bldg:lod2Solid 及び bldg:lod3Solid により記述される立体 (gml:Solid) の境界面 (gml:CompositeSurface) に含まれる多角形 (gml:Polygon) は、bldg:boundedBy により参照する、bldg:RoofSurface, bldg:WallSurface, bldg:GroundSurface, bldg:OuterFloorSurface, bldg:OuterCeilingSurface, bldg:ClosureSurface 及びこれらが参照する開口部 (bldg:Door, bldg:Window) により記述される面 (gml:MultiSurface) に含まれる多角形 (gml:Polygon) のいずれかでなければならない。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>1. 検査プログラムによって、bldg:lod2Solid 又は bldg:lod3Solid により記述される立体 (gml:Solid) の境界面 (gml:CompositeSurface) が参照する多角形 (gml:Polygon) の gml:id が、bldg:boundedBy により参照する bldg:RoofSurface, bldg:WallSurface, bldg:GroundSurface, bldg:OuterFloorSurface, bldg:OuterCeilingSurface, bldg:ClosureSurface 及びこれらが参照する開口部 (bldg:Door, bldg:Window) の面 (gml:MultiSurface) の構成要素となる多角形 (gml:Polygon) の gml:id と一致していない場合にエラーとする。</p>

No	L-frn-01
品質要素	論理一貫性・概念一貫性
品質適用範囲	空間属性として、lod0Geometry, lod1Geometry, lod2Geomatry 又は lod3Geometry をもつ全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	空間属性により保持または参照する幾何オブジェクトの型が、応用スキーマ文書で指定された幾何オブジェクト (gml:MultiSurface 又は gml:Solid) ではないインスタンスの個数。
適合品質水準	エラーの箇所が 0 個の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合には不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>1. 検査プログラムによって、対象となるインスタンスを検索する。</p> <p>2. 検索されたインスタンスの空間属性の型が、応用スキーマ文書と合致しないインスタンスを数える。</p>

No	L-tran-01
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	tran:Road, tran:TrafficArea, tran:AuxiliaryTrafficArea
品質評価尺度	延長方向に連続するインスタンスの空間属性 (tran:lod2MultiSurface 及び tran:lod3MultiSurface) が、境界線を共有していない場合をエラーとする。
適合品質水準	エラーとなるインスタンスが 0 個の場合に合格。エラーとなるインスタンスが 1 個以上の場合には不合格。

品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>同一の地物型かつ同一の LOD で記述されている空間属性に対して実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路の延長方向に連続する全ての同一の地物型かつ同一の LOD の空間属性をもつペアを抽出する。 2. 全てのインスタンスのペアについて、“境界線で接する”、“離れている”のいずれにも該当しないオブジェクトのペアの数を数える。
--------	--

No	L-tran-02
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	tran:TrafficArea、tran:AuxiliaryTrafficArea
品質評価尺度	<p>同一の道路インスタンスに含まれる交通領域及び交通補助領域の空間属性 (tran:lod2MultiSurface 及び tran:lod3MultiSurface) は、境界線を共有するか、又は、離れているかのいずれかであり、それ以外の場合にエラーとする。</p> <p>ただし、以下は例外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央帯と分離帯 (分離帯は中央帯に含まれる場合がある。) ・ 中央帯と側帯 (側帯は中央帯に含まれる場合がある。) ・ 路肩と側帯 (側帯は路肩に含まれる場合がある。)
適合品質水準	エラーとなるインスタンスが 0 個の場合に合格。エラーとなるインスタンスが 1 個以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <p>同一の LOD で記述されている空間属性に対して実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象となる地物の全インスタンスのペアを抽出する。 2. 全てのインスタンスのペアについて、“境界線で接する”に該当しないインスタンスの数を数える。

No	L-tran-03
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	tran:Road、tran:TrafficArea、tran:AuxiliaryTrafficArea
品質評価尺度	tran:Road インスタンスに含まれる tran:TrafficArea インスタンス及び tran:AuxiliaryTrafficArea インスタンスの空間属性 (tran:lod2MultiSurface 及び tran:lod3MultiSurface) に含まれる全ての MultiSurface を道路インスタンスが参照していない場合にエラーとする。
適合品質水準	エラーとなるインスタンスが 0 個の場合に合格。エラーとなるインスタンスが 1 個以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象となる地物の全インスタンス数を数える。 2. 全てのインスタンスのペアについて、“境界線で接する”に該当しないインスタンスの数を数える。

6.3.3 位置正確度

位置正確度とは、空間参照系内の地物の位置の正確さのことである。標準製品仕様書では、位置正確度として、報告された座標値と採択された値又は真とみなす値との近さを示す絶対正確度 (外部正確度とも呼ぶ) を採用する。

標準製品仕様では、データ製品が満たすべき位置正確度として、地図情報レベル 2500 を適用することを基本とする。

ユースケースに応じて、位置正確度の適合品質水準は変更してもよい。ただし、変更にあたっては作業規程の準則に定義される地図情報レベルに従い決定すること。また、このレベルは地物型ごとに替えてよい。

● 地図情報レベル 2500 の場合の位置正確度

No	P01
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	点群や画像からの図化により取得した、データ集合内の全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	<p>データ集合内の位置の座標と、より正確度の高い参照データである点検測量成果の座標との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。</p> <p>ただし、データ品質属性の「幾何属性作成方法」の値が「0 (推定) 」となるインスタンスは検査対象としない。</p>

適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、水平位置の標準偏差が、水平距離 1.75m 以内であれば、“合格”、1.75m を超えれば不合格。
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3. 検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4. 250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上 / 辺）を抽出する。 5. 抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標を測定する。 6. 抽出した地物の点に対応する現地（又は現地とみなす資料）の点検測量成果を取得する。 7. 5. 及び 6. より、誤差の標準偏差を計算する。

No	P02
品質要素	位置正確度・外部正確度
品質適用範囲	点群や画像からの図化により取得した、データ集合内の全ての地物型のインスタンス。 ただし、地形（dem:ReliefFeature）は除く。
品質評価尺度	データ集合内の位置の座標と、より正確度の高い参照データである水準測量成果の座標との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。 ただし、データ品質属性の「幾何属性作成方法」の値が「0（推定）」となるインスタンスは検査対象としない。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュ別に、標高の標準偏差が 0.66m 以内であれば“合格”、0.66m を超えれば不合格
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3. 検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4. 250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上 / 辺）を抽出する。 5. 抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標（標高）を測定する。 6. 抽出した地物の点に対応する現地（又は現地とみなす資料）の水準測量成果を取得する。 7. 5. 及び 6. より、誤差の標準偏差を計算する。

No	P03
品質要素	位置正確度・外部正確度
品質適用範囲	GIS データからの変換により取得した、データ集合内の全ての地物型のインスタンス。 ただし、地形（dem:ReliefFeature）は除く。
品質評価尺度	「データ集合内の座標」と「原典資料の座標」との誤差の標準偏差を計算する。 ただし、原典資料は地図情報レベル 2500 の要件を満たしているものとする。また、誤差の母平均は 0 とする。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュ別に、標準偏差が 0m であれば“合格”、0m を超えれば不合格
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3. 検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4. 250m サブメッシュごとに他の地物との関係から位置が明確な点を 10 点以上抽出する。 5. 抽出した点について、データ集合上のインスタンスの座標値を取得する。 6. 原典資料を用いて、5. で抽出した地物の点の座標値を取得する。 7. 5. 及び 6. より、250m サブメッシュ毎に誤差の標準偏差を計算する。

No	P04
品質要素	位置正確度・外部正確度
品質適用範囲	既成図数值化により取得した、データ集合内の全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	「データ集合内の水平位置の座標」と「データ取得時に使用した原典資料を用いて図化したデータ集合内の水平位置の座標」との誤差の標準偏差を計算する。 ただし、原典資料は地図情報レベル 2500 の要件を満たしているものとする。また、誤差の母平均は 0 とする。

適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、図上の水平位置の標準偏差が 0.3mm 以内であれば“合格、0.3mm を超えれば不合格。
品質評価手法	<p>既成図の図郭四隅の残存誤差を計測し、図郭四隅の残存誤差が 0.2mm 以内であれば、以降の手順に従い、地物の空間属性の誤差の標準偏差を計測する。</p> <p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3. 検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4. 250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上 / 辺）を抽出する。 5. 抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標を測定する。 6. 抽出した地物の点に対応する既成図上の座標を測定する。 7. 5. 及び 6. より、250m サブメッシュ毎に誤差の標準偏差を計算する。

● 地図情報レベル 500 又は地図情報レベル 1000 の場合の位置正確度

地図情報レベルを変更する場合は、P1 及び P2 に示す適合品質水準を下表に従い変更する。図化以外（GIS データの変換及び既成図数値化）の場合には、P3 又は P4 を使用する。

表 6-1 新規測量における数値地形図データの位置精度及び地図情報レベル（作業規程の準則第 106 条）

地図情報レベル	水平位置の標準偏差	標高の標準偏差
500	0.25m 以内	0.25m 以内
1000	0.70m 以内	0.33m 以内

地図情報レベル 500 の場合の位置正確度

No	P05
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	点群や画像からの図化により取得した、データ集合内の全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	データ集合内の位置の座標と、より正確度の高い参照データである点検測量成果の座標との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。 ただし、データ品質属性の「幾何属性作成方法」の値が「0（推定）」となるインスタンスは検査対象としない。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、水平位置の標準偏差が、水平距離 0.25m 以内であれば、“合格”、0.25m を超えれば不合格。
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3. 検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4. 250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上 / 辺）を抽出する。 5. 抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標を測定する。 6. 抽出した地物の点に対応する現地（又は現地とみなす資料）の点検測量成果を取得する。 7. 5. 及び 6. より、誤差の標準偏差を計算する。

No	P06
品質要素	位置正確度・外部正確度
品質適用範囲	点群や画像からの図化により取得した、データ集合内の全ての地物型のインスタンス。 ただし、地形（dem:ReliefFeature）は除く。
品質評価尺度	データ集合内の位置の座標と、より正確度の高い参照データである水準測量成果の座標との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。 ただし、データ品質属性の「幾何属性作成方法」の値が「0（推定）」となるインスタンスは検査対象としない。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュ別に、標高の標準偏差が 0.25m 以内であれば“合格、0.25m を超えれば不合格

品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3. 検査単位に含まれるデータ (地物インスタンス) を表示又は出力する。 4. 250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上 (2 点以上 / 辺) を抽出する。 5. 抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標 (標高) を測定する。 6. 抽出した地物の点に対応する現地 (又は現地とみなす資料) の水準測量成果を取得する。 7. 5. 及び 6. より、誤差の標準偏差を計算する。
--------	---

地図情報レベル 1000 の場合の位置正確度

No	P07
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	点群や画像からの図化により取得した、データ集合内の全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	データ集合内の位置の座標と、より正確度の高い参照データである点検測量成果の座標との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。 ただし、データ品質属性の「幾何属性作成方法」の値が「0 (推定)」となるインスタンスは検査対象としない。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、水平位置の標準偏差が、水平距離 0.7m 以内であれば、“合格”、0.7m を超えれば不合格。
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3. 検査単位に含まれるデータ (地物インスタンス) を表示又は出力する。 4. 250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上 (2 点以上 / 辺) を抽出する。 5. 抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標を測定する。 6. 抽出した地物の点に対応する現地 (又は現地とみなす資料) の点検測量成果を取得する。 7. 5. 及び 6. より、誤差の標準偏差を計算する。

No	P08
品質要素	位置正確度・外部正確度
品質適用範囲	点群や画像からの図化により取得した、データ集合内の全ての地物型のインスタンス。 ただし、地形 (dem:ReliefFeature) は除く。
品質評価尺度	データ集合内の位置の座標と、より正確度の高い参照データである水準測量成果の座標との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。 ただし、データ品質属性の「幾何属性作成方法」の値が「0 (推定)」となるインスタンスは検査対象としない。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュ別に、標高の標準偏差が 0.33m 以内であれば“合格”、0.33m を超えれば不合格
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3. 検査単位に含まれるデータ (地物インスタンス) を表示又は出力する。 4. 250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上 (2 点以上 / 辺) を抽出する。 5. 抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標 (標高) を測定する。 6. 抽出した地物の点に対応する現地 (又は現地とみなす資料) の水準測量成果を取得する。 7. 5. 及び 6. より、誤差の標準偏差を計算する。

GIS データからの変換を行う場合及び既成図数値化を行う場合：適合品質水準は地図情報レベル 2500 の場合と同様とする。ただし、原典資料は変更した地図情報レベルの要件を満たさなければならない。

● 地形の位置正確度

No	P-dem-01
品質要素	位置正確度・外部正確度
品質適用範囲	dem:ReliefFeature
品質評価尺度	データ集合内の位置の座標と、より正確度の高い参照データである水準測量成果の座標との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。 ただし、データ品質属性の「幾何属性作成方法」の値が「0 (推定) 」となるインスタンスは検査対象としない。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュ別に、標高の標準偏差が 0.7m 以内であれば合格、0.7m を超えれば不合格
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3. 検査単位に含まれるデータ (地物インスタンス) を表示又は出力する。 4. 250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上 (2 点以上 / 辺) を抽出する。 5. 抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標 (標高) を測定する。 6. 抽出した地物の点に対応する現地 (又は現地とみなす資料) の水準測量成果を取得する。 7. 5. 及び 6. より、誤差の標準偏差を計算する。

6.3.4 時間正確度

CityGML では、時間オブジェクトを定義する時間スキーマ (ISO19108) を使用していないことから、標準製品仕様書でも時間スキーマは使用していない。そのため、時間正確度は本標準仕様書では対象外とする。

なお、年や日付の値が設定された地物属性は主題正確度による品質要求を行い、参照データとの比較による品質評価手法を示す。

6.3.5 主題正確度

主題正確度は、定量的属性の正確度、非定量的属性、地物分類及び地物間関係の正しさである。

なお、定量的属性とは、長さや大きさなど、値が大小関係のある数値となる属性である。また、非定量的属性とは文字列やコードのような値の大小関係がない属性である。

No	T01
品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
品質適用範囲	非定量的主題属性をもつ全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	インスタンスに設定された地物属性のうち、型が xs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml:MeasureOrNullListType または、gml:StringOrRefType となる主題属性について、設定された値が参照データの属性値と一致しないインスタンスをエラーインスタンスとする。
適合品質水準	エラーの箇所が 0 個の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い、検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 10×10 のサブメッシュに分割する。 3. 検査単位の範囲について、属性値が識別できるようにインスタンスを表示または出力する。 4. 検査単位ごとに全サブメッシュについて、参照データと 3. とを比較し、サブメッシュに含まれるすべてのインスタンスの値が妥当であるかを確認する。

No	T02
品質要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
品質適用範囲	定量的主題属性をもつ全ての地物型のインスタンス。

品質評価尺度	インスタンスに設定された地物属性のうち、型が xs:integer、xs:nonNegativeInteger、xs:double、gml:MeasureType、gml:LengthType または gml:MeasureOrNullListType となる主題属性について、設定された値が参照データの属性値と一致しないインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラーの箇所が 0 個の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い、検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 10×10 のサブメッシュに分割する。 3. 検査単位の範囲について、属性値が識別できるようにインスタンスを表示または出力する。 4. 検査単位ごとに全サブメッシュについて、参照データと 3. とを比較し、サブメッシュに含まれるすべてのインスタンスの値が妥当であるかを確認する。

No	T03
品質要素	主題正確度・分類の正しさ
品質適用範囲	地物関連（幾何オブジェクトへの参照を含む）のうち、gml:id の参照により実装されているすべてのインスタンス。
品質評価尺度	地物関連により参照される gml:id をもつインスタンスの型が、応用スキーマの中で指定された関連相手先の型と一致しない箇所の出現回数
適合品質水準	エラーの箇所が 0 個の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検査プログラムによって、xlink:href 属性により参照された gml:id をもつインスタンスを検索する。 2. 検索されたインスタンスの型が、応用スキーマで定義された関連相手先となる地物型または幾何オブジェクト型と合致しないインスタンスを数える。

No	T-bldg-01
品質要素	主題正確度・分類の正しさ
品質適用範囲	以下の地物型のインスタンス： bldg:RoofSurface, bldg:WallSurface, bldg:GroundSurface, bldg:OuterFloorSurface, bldg:OuterCeilingSurface, bldg:ClosureSurface
品質評価尺度	<p>建築物及び建築物部分を構成する境界面が、正しく区分されていないインスタンスをエラーとする。エラーが 1 つ以上存在するサブメッシュをエラーサブメッシュとする。</p> <p>誤率 (%) = エラーサブメッシュの数 / 検査単位毎の全サブメッシュ数 × 100</p>
適合品質水準	全ての検査単位の誤率が 10% 以下なら合格、10% を超える検査単位が 1 つ以上あれば不合格。
品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抜取検査手法に従い、検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 10×10 のサブメッシュに分割する。 3. 検査単位の範囲について、建築物及び建築物部分を構成する境界面が識別できるようにインスタンスを表示または出力する。 4. 検査単位ごとに全サブメッシュについて、参照データと 3. とを比較し、サブメッシュに含まれるすべてのインスタンスの境界面が妥当であるかを確認する。 5. 確認の結果、妥当ではないインスタンスが一つでも存在するサブメッシュをエラーとして、エラーの存在するサブメッシュ数を数える。 6. 5. の結果より、検査単位ごとに誤率を算出する。

No	T-bldg-02
品質要素	主題正確度・分類の正しさ
品質適用範囲	全ての bldg:BuildingInstallation のインスタンス。
品質評価尺度	bldg:lod2Geometry 又は bldg:lod3Geometry により保持または参照する幾何オブジェクトの型が、gml:MultiSurface または gml:Solid ではないインスタンスの個数。
適合品質水準	エラーの箇所が 0 個の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	<p>全数・自動検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検査プログラムによって、建築物付属物のインスタンスのうち、bldg:lod2Geometry により保持または参照する幾何オブジェクトの型が、gml:MultiSurface または gml:Solid と合致しないインスタンスを数える。

7 データ製品配布

データ製品配布とは、配布書式情報と配布媒体情報から構成される。配布書式情報は、どのようなデータフォーマットで 3D 都市モデルが記録されているかを示す情報である。配布媒体情報は、どのような媒体に記録されているかを示す情報である。

7.1 配布書式情報

7.1.1 書式名称

3D 都市モデルの書式 (データフォーマット) には、i-UR 2.0 及び CityGML 2.0 を採用する。

7.1.2 符号化仕様

符号化仕様は、応用スキーマから交換データを導き出すための具体的な方法を示す。

(1) 符号化要件

【符号化の対象とする応用スキーマとスキーマ言語】

符号化の対象とする応用スキーマは、標準製品仕様の第 4 章において、UML クラス図 (ISO/IEC 19505-2:2012, Information technology — Object Management Group Unified Modeling Language (OMG UML) — Part 2:Superstructure) を用いて示す。

【使用する文字レパートリ】

使用する文字レパートリは i-UR 2.0 及び CityGML 2.0 が採用している UTF-8 とし、W3C XML Schema 及びそれによって作成されるインスタンス文書のヘッダに以下の文を記述する。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
```

【データ集合とオブジェクトの識別】

データ集合とオブジェクトの識別は CityGML2.0 に従う。

すなわち、基本となるオブジェクト単位は、CityGML2.0 又は i-UR2.0 に定義された core:_CityObject を継承する地物型及び GML に定義された幾何オブジェクトとする。また、データ集合は、core:CityModel とする。

さらに、データ集合とオブジェクトの識別には、gml:id を用いる。

(2) 入力データ構造

入力データ構造は、応用スキーマクラス図と実装される個々のインスタンスとの関係を示すものである。入力データ構造は、CityGML が参照する GML^[6]において定義される Annex F GML-to-UML Application Schema Encoding Rules に従う。

(3) 出力データ構造

出力データ構造には、i-UR2.0 及び CityGML2.0 を使用する。拡張子は、「.gml」とする。

(4) 変換規則

1) スキーマ変換規則

スキーマ変換規則は、i-UR 2.0 及び CityGML 2.0 に従う。

なお、標準製品仕様書は、応用スキーマクラス図及びこれに対応する XMLSchema を新規に作成するのではなく、i-UR 2.0 及び CityGML 2.0 から必要な部分のみを選択し、使用している。

応用スキーマクラス図に示す、クラス名、属性名及び関連役割名は、i-UR 2.0 及び CityGML 2.0 において定義されたタグに一致させている。

また、複数の名前空間から選択しているため、全てのクラス名に、i-UR 2.0 又は CityGML 2.0 名前空間の接頭辞を付ける。

2) インスタンス変換規則

GML に準拠する。

➤ オブジェクト識別子 (gml:id)

データ製品に含まれるすべての地物には、*gml:id* による識別可能な値を与えることとし、その値には[接頭辞]_[UUID] を使用する。

[接頭辞]は、CityGML 及び i-UR の各パッケージに与えられた接頭辞 (表 7-4) を使用する。

[UUID]は、Universally Unique Identifier (UUID)^[4]とする。UUID とは、ソフトウェア上でオブジェクトを一意に識別するための識別子であり、128 ビット (16 バイト) の値で表す。先頭から 4 ビットごとに 16 進数の値 (0~f) に変換し、8 桁-4 桁-4 桁-4 桁-12 桁に区切って表現する。

➤ 集成の実装

応用スキーマに示された地物間の集成は、部品となるオブジェクトを、全体となるオブジェクトの子要素として記述する。

この時、部品となるオブジェクトの識別子 (gml:id) を、全体となるオブジェクト以外のオブジェクトが参照してもよい。

➤ 空間参照系の識別

幾何オブジェクトに適用される空間参照系は、都市モデル (*core:CityModel*) に挿入される *Envelop* 要素の属性 *srsName* において、以下の EPSG コードを挿入することにより識別する。

空間参照系の名称	srsName に挿入する値
日本測地系 2011 における経緯度座標系と東京湾平均海面を基準とする標高の複合座標参照系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSSG/0/6697

➤ schemaLocation の指定

i-UR の符号化仕様は、3D 都市モデル内の *schemas* フォルダ (7.2.4) に格納した XMLSchema ファイルへの相対パスにより *schemaLocation* を指定する。

7.1.3 文字集合

符号化したデータ集合を記述する文字集合には、「UTF-8」を使用する。

7.1.4 言語

地物の属性の値を記述する言語は、日本語とする。

7.2 配布媒体情報

7.2.1 ファイル単位

(1) ファイル単位

ファイル単位は、表 7-1 に示す i-UR 及び CityGML に定義された地物の集まり (地物集合) の単位、かつ、JISX0410 において定められた地域メッシュの単位を基本とする。また、一つのファイルには、同一の空間参照系のオブジェクトのみを含む。

地域メッシュは、第 2 次地域区画 (統合地域メッシュ、一辺の長さ約 10km) または、基準地域メッシュ (第 3 次地域区画、一辺の長さ約 1km) とする。

表 7-1 ファイル単位

地物集合	ファイル単位
建築物、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面、開口部	基準地域メッシュ (第 3 次地域区画)
都市設備	
植生	
道路	
起伏	第 2 次地域区画 (統合地域メッシュ)
土地利用	
土砂災害警戒区域	
都市計画決定情報	
洪水浸水想定区域	基準地域メッシュ (第 3 次地域区画) 加えて、同一のメッシュに複数の洪水予報河川や水位周知河川が含まれている場合は、洪水予報河川及び水位周知河川の単位とする。また、「洪水浸水想定 (計画規模) 」と「洪水浸水想定 (想定最大規模) 」とはそれぞれファイルに分ける。
津波浸水想定、高潮浸水想定区域、内水浸水想定区域	第 2 次地域区画 (統合地域メッシュ) 加えて、計算条件等の設定が複数設定されている場合は、設定毎にファイルに分ける。

(2) ファイルサイズとファイル分割

1 ファイルのデータ量の上限は最大 1GB とする。

1 ファイルのデータ量が 1GB を超える場合は、ファイルを分割する。分割したファイルは、同じメッシュを重複して含んではならない。

表 7-2 ファイル分割ルール

基本となるファイル単位	分割ルール
第 2 次地域区画	緯線方向、経線方向に 2 等分に区切る「4 分割」を基本とする。 4 分割したファイルであっても、ファイルサイズが上限を超える場合は、上限を超えるファイルのみを第 3 次地域区画に分割する。 第 3 次地域区画に分割したファイルであっても、ファイルサイズが上限を超える場合は、上限を超えるファイルのみを第 3 次地域区画をファイル単位とする場合の分割ルールに従い分割する。

第3次地域区画	<p>2分の1地域メッシュ(第3次地域区画を緯線方向、経線方向に2等分してできる区域)に分割することを基本とする。</p> <p>2分の1地域メッシュに分割したファイルであっても、ファイルサイズが上限を超える場合は、上限を超えるファイルのみを4分の1地域メッシュ(2分の1メッシュを緯線方向、経線方向に2等分してできる区域)に分割する。</p> <p>なお、4分の1地域メッシュに分割してもファイルサイズが上限を超える場合は、ファイル名称の[オプション]を使用し、ファイルを分割する。</p>
---------	--

7.2.2 境界線上の地物の取り扱い

ファイル単位となるメッシュの境界線上に存在する地物は分割を行わない。

複数のメッシュに跨って存在する地物は、それぞれのメッシュに平面投影した形状が含まれる面積の割合を算出し、この割合が最も大きいメッシュに対応するファイルに含む。面積は、小数点2桁(3桁目で四捨五入、単位は m²)で比較する。面積が同じ場合はメッシュ番号の小さい方とする。

7.2.3 ファイル名称

ファイル名称(拡張子を除いた部分)は、[メッシュコード]_[地物型]_[CRS]_[オプション]とする。

表 7-3 ファイル名の構成要素

ファイル名称の構成要素	説明	使用可能な文字
[メッシュコード]	ファイル単位となる地域メッシュのメッシュコード	半角数字
[地物型]	格納された地物の種類を示す接頭辞	半角英数字
[CRS]	格納された地物に適用される空間参照系	半角数字
[オプション]	必要に応じてファイルを細分したい場合の識別子(オプション)	半角英数字。区切り文字を使用したい場合は半角のハイフンのみ。
-	ファイル名称の構成要素同士の区切り文字	ファイル名称の構成要素同士を区切る場合には、アンダースコア(_)のみを用いる。ファイル名称の構成要素の中を区切る場合は、ハイフン(-)を用いる。いずれも半角とする。

[メッシュコード]は、ファイルの単位に対応する地域メッシュのコードとする。ファイルを分割した場合は、最も若い(左下)のメッシュコードを付与する。

[地物型]にはファイルに含まれるモジュール(又は地物型)を識別する接頭辞(表 7-4)を付与する。

表 7-4 接頭辞

地物型	接頭辞
建築物、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面、開口部	bldg
道路	tran
都市計画決定情報	urf
土地利用	luse
洪水浸水想定区域	fld
津波浸水想定	tnm
土砂災害警戒区域	lslld

高潮浸水想定区域	htd
内水浸水想定区域	ifld
都市設備	frn
植生	veg
起伏	dem

[CRS]には、当該ファイルに含まれるオブジェクトの空間参照系の略称（半角数字）として EPSG コード（<https://epsg.org/home.html>）を入力する。EPSGコードは、空間参照系に与えられた固有の識別子である。

標準製品仕様書で使用する空間参照系の略称を下表に示す。

表 7-5 空間参照系の略称

オブジェクトに適用される空間参照系	略称
日本測地系 2011 における経緯度座標系と東京湾平均海面を基準とする標高の複合座標参照系	6697
日本測地系 2011 における経緯度座標系	6668

なお、高さ方向の座標値として仮想的な高さである 0 が入力された 3D 都市モデルのファイルには、[CRS]に 6668 を適用する。

[オプション]は、メッシュ単位及び地物型単位となるファイルをさらに分割したい場合に使用する。使用しない場合は区切り文字と共に省略する。

[オプション]を使用する場合は、オプションの文字列、適用するフォルダの名称、オプションの意味の一覧を作成する。

表 オプションに使用する文字列

オプション	適用するフォルダ名	オプションの意味
l1	fld	ファイルに含まれる洪水浸水想定区域が対象とする降雨規模が計画規模である。
l2	fld	ファイルに含まれる洪水浸水想定区域が対象とする降雨規模が想定最大規模である。

7.2.4 フォルダ構成とフォルダ名称

データ製品のフォルダ構成を示す。

表 7-6 フォルダ構成

フォルダ構成	フォルダ名	フォルダの説明
	[市区町村コード]_[市区町村名英名]_[整備年度]_citygml_[更新回数]_[オプション]	<p>成果品を格納するフォルダのルート。 このフォルダの直下に格納するファイルは索引図のみであり、その他のファイルはこのフォルダに設けたサブフォルダに格納する。</p> <p>フォルダ名の[市区町村コード]は、3D 都市モデルを作成する範囲となる都道府県コード（2 桁）と市区町村コード（3 桁）の組み合わせからなる 5 桁の数字とする。 [市区町村名英名]は、市区町村コードに対応する市区町村名の英名とする。英名の表記は、「地名等の英語表記規程」（国土交通省国土地理院）に従う。 [整備年度]は、3D 都市モデルを整備した年度（半角数字 4 桁の西暦）とする。 [更新回数]は、履歴管理用に半角数字を付す。初回に作成した成果物は 1 とする。以降、修正等を行った場合はバージョンアップごとに数字を加算していく。 [更新回数]は[整備年度]ごとに加算する。[整備年度]が変わった場合は、1 から開始する。 [オプション]は、成果品が複数種類作成される場合に、これらを識別する任意の文字列とする。半角英数字のみ使用可とする。成果品が 1 種類の場合は、_ [オプション]は省略する。</p>
	codelists	ルートフォルダ直下に作成された、コードリストを格納するフォルダ。3D 都市モデルが参照する全てのコードリストを格納する。
	metadata	ルートフォルダ直下に作成された、メタデータを格納するフォルダ。
	schemas	3D 都市モデルの GMLSchema を格納するフォルダ。GMLSchema は指定された版の i-UR を G 空間情報センターより入手する。 以下に示す構造でサブフォルダを設け、3D 都市モデルが参照する GMLSchema ファイルを格納する。 /iur/uro/2.0/urbanObject.xsd /iur/urf/2.0/urbanFunction.xsd
	specification	ルートフォルダ直下に作成された、拡張製品仕様書（PDF 形式、エクセル形式）を格納するフォルダ。 拡張製品仕様書一式を PDF 形式で格納するとともに、拡張製品仕様書の作成に使用した Annex A に示す様式をエクセル形式で格納する。
	udx	ルートフォルダ直下に作成された、3D 都市モデルを格納するフォルダ。 このフォルダの直下に、接頭辞ごとのサブフォルダ（例：bldg）を作成し、そのサブフォルダの中に指定されたファイル単位で区切られた全ての 3D 都市モデルのファイルを格納する。
	bldg	建築物、建築物部分、建築物付属物及びこれらの境界面を格納するフォルダ。
	dem	地形を格納するフォルダ。
	fld	洪水浸水想定区域図を格納するフォルダ。区域図ごとにサブフォルダを作成する。サブフォルダの構成及び名称は、別途示す。
	frn	都市設備を格納するフォルダ。
	htd	高潮浸水想定区域を格納するフォルダ。区域図ごとにサブフォルダを作成する。サブフォルダの構成及び名称は、別途示す。
	ifld	内水浸水想定区域を格納するフォルダ。区域図ごとにサブフォルダを作成する。サブフォルダの構成及び名称は、別途示す。
	lslid	土砂災害警戒区域を格納するフォルダ。
	luse	土地利用を格納するフォルダ。
	tnm	津波浸水想定を格納するフォルダ。津波浸水想定ごとにサブフォルダを作成する。サブフォルダの構成及び名称は、別途示す。
tran	道路を格納するフォルダ。	
urf	都市計画決定情報を格納するフォルダ。	
veg	植生を格納するフォルダ。	

3D 都市モデルを格納する udx フォルダには、3D 都市モデルのパッケージに対応するサブフォルダを作成し、各データ製品を格納する。

ただし、災害リスクについては、災害の種類ごとに分けてサブフォルダ (fld、tnm、htd、ifld 及び lslid) を作成する。また、災害リスクのうち、浸水想定区域のサブフォルダ (fld、tnm、htd 及び ifld) には、さらに区域図ごとのサブフォルダを設ける。サブフォルダを作成する場合は、下表に従い、作成したサブフォルダの一覧を付す。

- 洪水浸水想定区域のフォルダ構成

サブフォルダ「fld」の中に、国を示すサブフォルダ「natl」と都道府県を示すサブフォルダ「pref」を作成し、「natl」及び「pref」の中にさらに洪水浸水想定区域図ごとのサブフォルダを作成する。

表 洪水浸水想定区域フォルダ構成

フォルダ名	サブフォルダ名	フォルダの説明 (洪水浸水想定区域図の名称)
natl		
pref		

- 津波浸水想定区域のフォルダ構成

サブフォルダ「tnm」の中に、津波浸水想定ごとのサブフォルダを作成する。

表 津波浸水想定フォルダ構成

サブフォルダ名	フォルダの説明 (津波浸水想定区域図の名称)

- 高潮浸水想定区域のフォルダ構成

サブフォルダ「htd」の中に、高潮浸水想定区域図ごとのサブフォルダを作成する。

表 高潮浸水想定区域図フォルダ構成

サブフォルダ名	フォルダの説明 (高潮浸水想定区域図の名称)

- 内水浸水想定区域のフォルダ構成

サブフォルダ「ifld」の中に、内水浸水想定区域図ごとのサブフォルダを作成する。

表 内水浸水想定区域図フォルダ構成

サブフォルダ名	フォルダの説明 (内水浸水想定区域図の名称)

7.2.5 媒体名

DVD、HDD またはウェブサイトからのダウンロード

ルートフォルダを ZIP 形式 (拡張子 zip) 又は 7Z 形式 (拡張子 7z) に圧縮する。

圧縮後のファイル名称は、以下とする。

[市区町村コード]_[市区町村名英名]_[整備年度]_citygml_[更新回数]_[オプション]

(オープンデータの場合は、[市区町村コード]_[市区町村名英名]_citygml_[更新回数]_[オプション]op)

[市区町村コード]、[市区町村名英名]_及び[更新回数]の表記は、「7.2.4」に従う。

[整備年度]は、3D 都市モデルを整備した年度 (半角 4 桁数字の西暦) となる。

[オプション]は、成果品が複数種類作成される場合に、これらを識別するために使用する、半角英数字からなる任意の文字列とする。成果品が 1 種類の場合は、_[オプション]を省略する。

圧縮後のファイルサイズが 160GB を越え、ファイルを分割した場合には、分割後のファイル名称及び各ファイルに格納したフォルダ又はファイルを一覧で示す。

表 分割したファイルの概要

分割後ファイル名称	格納したフォルダ又はファイルの種類

7.2.6 オープンデータのための配布媒体情報

作成したデータ製品から、オープンデータを作成する場合には、以下に従う。

- 「ファイル単位」は「7.2.1」に従う。
- 「境界線上の地物の取り扱い」は、「7.2.2」に従う。
- 3D 都市モデルの「ファイル命名規則」は[メッシュコード]_[地物型]_[CRS]_[オプション]_op とする。[メッシュコード]、[地物型]、[CRS] [オプション]の表記は「7.2.3」に従う。また、オープンデータであることを明らかにするため、末尾に「_op」を付する。
- ファイル構成は「7.2.4」に従う。ただし、ルートフォルダの名称の末尾に「_op」を付与する。
- 媒体名は「7.2.5」に従う。

8 メタデータ

データ製品に関するメタデータは、次のとおり作成する。

8.1 メタデータの形式

メタデータの形式は、JMP2.0とする。

8.2 メタデータの記載項目

メタデータの記載項目を表 8-1 に示す。

表 8-1 メタデータに含めるべき項目

メタデータ項目	記述する内容	記述例
メタデータ>ファイル識別子	udx_[市区町村コード]_[整備年度]_[地物型]_[オプション]とする。 [市区町村コード]は、2桁の都道府県コードと3桁の市区町村コードからなる5桁のコードとする。 [整備年度]は作成した西暦年度(4桁)を記述する。 [市区町村コード]及び[整備年度]は、いずれも半角数字とする。 [地物型]は、地物型またはモジュールを示す接頭辞(3文字又は4文字のアルファベット)とする。 なお、_[地物型]は、メタデータを地物型又はモジュールごとに作成せず、まとめて作成した場合は省略する。 [オプション]は、成果品が複数種類作成される場合に、これらを識別するために使用する任意の文字列とする。半角英数字のみを使用可とする。成果品を格納するルートフォルダに使用する[オプション]の文字列に一致させること。成果品が1種類の場合は省略する。	udx_27100_2020_fid
メタデータ>言語	メタデータの記述に使用する言語。日本語とする。	jpn (固定値)
メタデータ>文字集合	メタデータに使用する文字コード。UTF-8とする。	004 (固定値)
メタデータ>階層レベル	メタデータの作成対象。データ集合とする。	005 (固定値)
メタデータ>問い合わせ先	発注者の問合せ先を記述する。組織名、電話番号、オンライン情報源(ProjctPLATEAUのURL)等を記述する。 役割は「010(刊行者)」とする。	国土交通省都市局 03-5253-8397 www.mlit.go.jp/plateau/
メタデータ>日付	メタデータの作成日付をYYYY-MM-DDにより記述する。	2021-02-25
メタデータ>規格の名称	メタデータの仕様。	JMP (固定値)
メタデータ>規格の版	メタデータの版。	2.0 (固定値)
参照系情報	データ集合に適用される空間参照系の識別子。製品仕様書で指定された空間参照系の識別子を記述する。識別子は、JMP2.0を参照する。 「日本測地系 2011における経緯度座標系と東京湾平均海面を基準とする標高の複合座標参照系」の場合は、JGD2011, TP / (B, L), Hとなる。	JGD2011, TP / (B, L), H
識別情報>題名	3D都市モデル_[市区町村コード]_[整備年度] [市区町村コード]は、2桁の都道府県コードと3桁の市区町村コードからなる5桁のコードとする。 [整備年度]は作成した西暦年度(4桁)を記述する。	3D都市モデル _27100_2020
識別情報>日付及び日付型	データの作成日付をYYYY-MM-DDにより記述する。 日付型は以下より選択する。 001:作成日、002:刊行日、003:改訂日	2021-02-25, 003
識別情報>要約	3D都市モデルの概要を記載する。 データ集合に含まれる地物やそのLOD、作成に使用した原典資料、作成手法を示す。また、以下に示すデータの利用上の注意事項を入れること。 「ただし、原典資料の位置の正しさの違いや、作成された時期の違いにより、現状を正確に反映していない場合があることにご注意ください。」	

メタデータ項目	記述する内容	記述例
識別情報>目的	各都市において想定される 3D 都市モデルのユースケースを記述する。	災害リスクの三次元可視化
識別情報>状態	「完成」を示す固定値とする。	001 (固定値)
識別情報>問い合わせ先	発注者の問合せ先を記述する。組織名、電話番号、オンライン情報源 (ProjectPLATEAU の URL) 等を記述する。 役割は「010 (刊行者)」とする。	国土交通省都市局 03-5253-8397 www.mlit.go.jp/plateau/
識別情報>記述的キーワード	作成者の問合せ情報を記述する。 役割名は「060 (創作者)」とする。	
識別情報>記述的キーワード	キーワードを、複数グループ化して記述する。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「type=002」として、データ製品に含まれる都市の名称を入れる。 ➤ 「type=005」として、データ製品に含まれる地物型の名称を入れる。 ➤ 「type=005」として、データ製品に含まれる LOD のレベルを入れる。 ➤ 「type=005」として、データ製品に想定されるユースケースを入れる。 ➤ 「type=005」として、データ製品の作成に使用した原典資料の名称を入れる。 ➤ 「type=005」として、データ製品に含まれる都市の名称を入れる。 	
識別情報>利用制限	固定値とし、Licensed under CC BY 4.0 を記述する。	Licensed under CC BY 4.0
識別情報>空間表現型	ベクトルを意味する「001」を入力する。	001 (固定値)
識別情報>空間解像度	等価縮尺の分母にデータ集合に適用する地図情報レベルを入力する。 複数のレベルが混在する場合は、それぞれ記述する。	2500
識別情報>言語	メタデータの記述に使用する言語。日本語とする。	jpn (固定値)
識別情報>文字集合	メタデータに使用する文字コード。UTF-8 とする。	004 (固定値)
識別情報>主題分類	構造物を意味する「017」を入力する。	017 (固定値)
識別情報>範囲	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 作成範囲を包含する最小の矩形を、東西の経度、南北の緯度により記述する。 ➤ 地物や LOD により整備範囲が異なる場合は、作成範囲の違いを自由記述により明記する。 ➤ 地理記述には、都道府県及び市区町村名を記述する。 	LOD1 の作成範囲は●●市全域、LOD2 の作成範囲は、△△駅を中心とする半径約 300m 内。
配布情報>配布書式	CityGML2.0、i-UR 2.0 をそれぞれ書式情報として入れる。	
配布情報>オンライン	G 空間情報センターの URL を記述する。	
データ品質情報>データ品質	製品仕様書に示す品質要求の各項目について品質評価結果を記述する。 また、系譜には、主題属性の作成方法や図形と属性のアンマッチへの対処方法等、データ品質に記載できないが、データ製品の利用にあたり注意すべきデータの品質に係るデータの作成方法を記述する。	

8.3 メタデータの作成単位

メタデータは、3D 都市モデル全体について、一つのメタデータを作成することを原則とする。

ただし、洪水浸水想定区域、津波浸水想定、高潮浸水想定区域、内水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域は、それぞれを分けてメタデータを作成する。

8.4 メタデータのファイル名称

メタデータのファイル名称は、メタデータの記載項目である「ファイル識別子」に一致させる。

メタデータの拡張子は、.xml とする。

9 その他

9.1 データ取得

本来、製品仕様とは、成果物 (3D 都市モデル) が製品仕様に示された品質要求を満たしていれば、その過程 (作成手法、原典資料) は問わないが、作成した 3D 都市モデルが国際標準に準拠したものとなるよう、データ取得についても規定する。

標準製品仕様に規定する地物の取得は、「3D 都市モデル標準作業手順書」^[9]に従う。

9.2 製品仕様のプロファイル

標準製品仕様を拡張 (標準製品仕様に地物や地物属性・地物関連役割を追加) や制限 (標準製品仕様を制限し、その一部を使用) することができる。

標準製品仕様の拡張または制限においては、以下に示す規則に従う。

9.2.1 拡張規則

標準製品仕様に定義されていない地物や地物属性・地物関連役割を用いたい場合は、以下に示す規則に従う。

規則 1：標準製品仕様に定義されておらず、i-UR に定義されている地物または地物属性・地物関連を使用したい場合は、i-UR から必要な要素を抽出し、i-UR の定義と矛盾なく使用する。

規則 2：標準製品仕様に定義されておらず、CityGML に定義されている地物または地物属性・地物関連を使用したい場合は、CityGML から必要な要素を抽出し、CityGML の定義と矛盾なく使用する。

規則 3：標準製品仕様に定義されておらず、i-UR 及び CityGML のいずれにも定義されていない地物を使用したい場合には、CityGML に定義された *gen:GenericCityObject* を使用して、地物を追加する。

注記：i-UR または CityGML に該当する地物が存在する場合には、*gen:GenericCityObject* を使用してはならない。

規則 4：標準製品仕様、i-UR、または CityGML のいずれにも定義されていない地物属性を使用したい場合には、CityGML に定義された *gen:_genericAttribute* の下位型を使用して、これを該当する地物に追加する。

注記 1：標準製品仕様、i-UR または CityGML に該当する属性が存在する場合には、*gen:_genericAttribute* を使用してはならない。

注記 2：「建築物」にコード型の地物属性を追加したい場合には、「建築物」に定義された「拡張属性」の仕組みを利用し、コード型の地物属性を追加する。

規則 5：規則 1、2 または規則 4 に従い、地物属性を追加する場合において、コード型の属性を定義する場合には、必ず、参照すべきコードリストを作成しなければならない。

注記：コードリストの形式は、GML 3.1.1 simple dictionary profile (1.0.0)に従う。

規則 6：規則 1 から規則 5 までに示す拡張規則に従い、標準製品仕様を拡張する場合には、拡張の内容を示す製品仕様を作成しなければならない。

注記：製品仕様の作成においては、地理空間データ製品仕様書作成マニュアル^[4]に従うこと。

9.2.2 制限規則

規則 1：標準製品仕様に定められた地物、属性または関連を使用しない場合には、応用スキーマクラス図及び応用スキーマ文書修正は行わない。標準製品仕様書に使用する地物、属性及び関連の一覧を付し、制限の内容を示す製品仕様を作成しなければならない。

9.3 XMLSchema の多重度と運用上の多重度についての留意事項

3D 都市モデルの符号化仕様として、CityGML 及び i-UR において策定された XMLSchema を採用している。そのため、これらの XMLSchema に定義されたタグ及びその多重度に従う必要がある。

この時、CityGML は汎用的な利用が想定されていることから、全ての地物あるいは属性に対応するタグの出現回数が、XMLSchema 上では全て [0..1]又は[0..*]というように設定されている。これは、いずれの地物あるいは属性を示すタグがデータ集合に出現してもしなくてもよいことを意味する。

しかしながら、3D 都市モデルの整備や利用を推進するにあたり、その運用上、特定のタグの出現を必須（多重度[1]）としたり、あるいは出現を禁止（多重度[0]）としたり、出現回数を制限したい場合がある。例えば、*bldg:Building*（建築物）の *uro:buildingIDAttribute*（建築物識別属性）は、XMLSchema 上は多重度が[0..*]となるが、3D 都市モデル上で建築物を識別するための情報となるため、多重度を[1]としたいことが該当する。

標準製品仕様を示す応用スキーマ（UML クラス図及び定義文書）では、3D 都市モデルとして必要な運用上の多重度を示している。データ製品の実装においては、応用スキーマとの一致（運用上の多重度との一致）が必要となることに留意すること。

なお、応用スキーマの多重度と XMLSchema に定義された多重度との一覧を別表「応用スキーマと XMLSchema との多重度の対応」（https://www.mlit.go.jp/plateau/file/libraries/doc/specification_attachedTable1.xlsx）に示す。両者に差異がある場合には、併せてその内容を留意事項として示す。

9.4 XMLSchema タグの日本語表記

本標準製品仕様書に示す応用スキーマクラス図に示すクラスの名称や属性・関連役割の名称には、CityGML 及び i-UR の XMLSchema に定義されたタグを使用している。このタグに対応する日本語表記を別表「応用スキーマと XMLSchema との多重度の対応」（https://www.mlit.go.jp/plateau/file/libraries/doc/specification_attachedTable1.xlsx）に示す。

この日本語表記は 3D 都市モデルの可視化において使用できる。ユースケースによって最適な可視化方法は異なるため、別表の日本語表記の採用は必須ではないが、ユースケースの実現に支障のない範囲でこの日本語表記を採用することが望ましい。

9.5 品質評価ツール

品質評価については、関連するオープンソースソフトウェアが Project "PLATEAU"公式 GitHub リポジトリに公開されており、それらを利用しても良い（<https://github.com/Project-PLATEAU/>）。

ただし、この品質評価ツールは、3D 都市モデル標準製品仕様書第 1 版に対応しており、この標準製品仕様書が発行される時点では、この標準製品仕様書には対応していないことに留意する必要がある。

品質評価ツールは主に全数・自動検査により実施可能な品質要求を対象としている。

表 9-1 品質評価ツールと品質要求との対応

		品質評価尺度	機能概要	検査対象	論理検査	全数	補足
過剰	C01	インスタンスに与えられた gml:id と同じ gml:id をもつ他のインスタンスがデータ製品内に存在しない	カウント、数を出力	○	○	○	
漏れ	C02	参照データとインスタンス数が等しい	都市モデルの数をカウントして表示、ユーザが保持する参照データの数と比較	○	○	○	論理検査の結果を、目視で比較
書式一貫性	L01	整形形式 (Well-Formed XML) になっていない箇所数	XML 文法チェック	○	○	○	
概念一貫性	L02	妥当 (Valid) な XML 文書になっていない箇所数	CityGML/i-UR スキーマチェック	○	○	○	
	L03	応用スキーマに定義していない地物型の出現箇所数	CityGML/i-UR 未定義のクラスをカウント	○	○	○	他スキーマが読み込まれた場合、当該クラスは排除不可
	L-bldg-06	建築物の bldg:lod2Solid により記述される立体 (gml:Solid) の境界面 (gml:MultiSurface) と、bldg:boundedBy により参照する屋根面、接地面、壁面、外部天井、外部床面または閉鎖面が bldg:lod2MultiSurface により記述される面 (gml:MultiSurface) とが一致する。	Solid を構成する面が正しい BoundarySurface を参照しているかチェック	○	○	○	
定義域一貫性	L04	codeSpace により指定された辞書に定義されていない値となっている箇所数	カウント、数を出力	○	○	○	
	L05	srsName により指定された空間参照系の epsg コードが、6697 あるいは 6668 のいずれでもない。	カウント、数を出力	○	○	○	
	L06	幾何オブジェクトインスタンスの座標値に含まれる、緯度、経度、標高が、この幾何オブジェクトインスタンスを含む都市モデル (core:CityModel) の属性 boundedBy により示された空間範囲に含まれる。	カウント、数を出力	○	○	○	
位相一貫性	L10	座標列の向きが不正なインスタンスをエラーとする。外周は反時計回り、内周は時計回りが正しい。	カウント、数を出力	○	○	○	対象は Solid のみ
	L11 L12	gml:Polygon の境界を構成するすべての座標値が同一平面上になければならない。同一平面上にない座標値が存在するインスタンスをエラーとする。	カウント、数を出力	○	○	○	対象は Solid のみ

		品質評価尺度	機能概要	検査対象	論理検査	全数	補足
	L13	gml:Polygon に内周が存在する場合に、以下に示す条件に1つ以上に合致する場合にエラーとする。 1. 内周が外周と交差している。 2. 内周と外周が接することにより、gml:Polygon が2つ以上に分割されている。 3. 内周同士が重なったり、包含関係にあったりする。	カウント、数を出力	○	○	○	対象は Solid のみ
	L14	gml:Solid を構成する全ての境界面が、以下の条件を満たしていない場合にエラーとする。 1. 境界面が自己交差していない。 2. 閉じている。 3. すべての境界面の向きが立体の外側を向いている。 4. 境界面が立体を分断してはならない。 5. 境界面が交差してはならない。	カウント、数を出力	○	○	○	対象は Solid のみ
分類の正しさ	T03	id 参照により参照された gml:id を与えられたインスタンスの型が、応用スキーマにおいて示された関連相手先となる型と一致しない箇所の出現回数	Xlink 先が間違っただ型となっていないか確認、数を出力	○	○	○	
	T-bldg-02	bldg:lod2Geometry により保持または参照する幾何オブジェクトの型が、gml:MultiSurface または gml:Solid、あるいは gml:CompositeSolid ではないインスタンスの個数	Point などが混在していないか確認、数を出力	○	○	○	
	-	gen:lod0Geometry により保持または参照する幾何オブジェクトの型が、gml:MultiSurface ではないインスタンスの個数	カウント、数字を出力	○	○	○	

参考文献

- [1] 3D都市モデル標準作業手順書, 国土交通省都市局, 2021年3月
- [2] 地図情報レベル 2500 数値地形図データ作成のための標準製品仕様書(案)第1.1版, 国土交通省国土地理院, 2014年4月, <https://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/public/seihinsiyou/data/%E5%9C%B0%E5%9B%B3%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%83%AC%E3%83%99%E3%83%AB2500%E6%95%B0%E5%80%A4%E5%9C%B0%E5%BD%A2%E5%9B%B3%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E4%BD%9C%E6%88%90%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE%E6%A8%99%E6%BA%96%E8%A3%BD%E5%93%81%E4%BB%95%E6%A7%98%E6%9B%B8.pdf>
- [3] 地理情報標準プロファイル (JPGIS) Ver. 1.0, 国土交通省国土地理院, 2007年3月, https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/download/docs200703/JPGIS10_2007-03_kaisetsu.pdf
- [4] RFC 4122 A Universally Unique Identifier (UUID) URN Namespace, IETF, 2005年7月, <https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc4122>
- [5] OpenGIS® Geography Markup Language (GML) Implementation Specification version : 3.1.1, Open Geospatial Consortium, 2004年2月, <https://www.ogc.org/standards/gml>
- [6] 道路基盤地図情報(整備促進版)製品仕様書(案), 2015年5月, 国土交通省国土技術政策総合研究所, <http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0848pdf/ks084811.pdf>
- [7] 道路緑化技術基準, 国土交通省道路局, <https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/ryokuka/index.html>
- [8] 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案), 国土交通省都市局, 2010年2月 <https://www.mlit.go.jp/notice/noticedata/sgml/035/76000224/76000224.html>
- [9] わが国の街路樹VIII, 2018年11月, 国土交通省国土技術政策総合研究所, <http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1050.htm>
- [10] 国土数値情報(洪水浸水想定区域)製品仕様書 第2.1版, 国土交通省国土政策局, 2020年3月, https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/product_spec/KS-PS-A31-v2_1.pdf
- [11] 国土数値情報(土砂災害警戒区域)製品仕様書 第2.0版, 国土交通省不動産・建設経済局, 2021年3月, https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/product_spec/KS-PS-A33-v2_0.pdf
- [12] 洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版), 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室国土技術政策総合研究所河川研究部水害研究室, 2015年7月, https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/pdf/manual_kouzuishinsui_1710.pdf
- [13] 津波浸水想定の設定の手引き Ver.2.10, 国土交通省水管理・国土保全局海岸室 国土技術政策総合研究所河川研究部海岸研究室, 2019年4月, https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kaigan/tsunamishinsui_manual.pdf
- [14] 高潮浸水想定区域図作成の手引き Ver.2.10, 農林水産省農村振興局整備部防災課, 農林水産省水産庁漁港漁場整備部防災漁村課, 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課, 国土交通省水管理・国土保全局海岸室, 国土交通省港湾局海岸・防災課, 2021年7月, https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kaigan/takashioshinsui_manual.pdf
- [15] 内水浸水想定区域図作成マニュアル(案), 国土交通省水管理・国土保全局下水道部, 2021年7月, <https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/content/001415375.pdf>

改訂履歴

日付	版	説明
2021.03.26	1.0	初版発行
2022.03.29	2.0	以下に示す観点により、標準製品仕様書を改定： <ul style="list-style-type: none"> ● 地物の拡充 ● LOD (Level Of Detail : 詳細度) の拡大及び精緻化 ● 引用する仕様 (i-UR) の更新
2022.05.09	2.1	誤記修正、行間等体裁整理
2022.07.19	2.2	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路の延長方向の区切り方を改定 (4.3.10) ● 都市計画決定情報の運用上の多重度を修正 (4.3.14) ● 土砂災害警戒区域の多重度を修正 (4.3.14) ● コードリスト Road_class.xml 及び TrafficArea_surfaceMaterial.xml 追加 (4.3.16) ● 洪水浸水想定区域のファイル単位を修正 (7.2.1) ● その他、誤記及び図表の体裁修正
2022.09.30	2.3	<ul style="list-style-type: none"> ● 洪水浸水想定区域の指定河川の名称 (uro:description) の命名規則を追加 (4.3.13) ● bldg:Door 及び bldg:Window の応用スキーマ文書の関連役割名の誤記修正 (4.3.4) ● (2022.10.05追記) 洪水浸水想定区域 (wtr:WaterBody) の名称 (gml:name) の定義を追加 (4.3.12)

3D 都市モデル標準製品仕様 第 2.3 版

令和 4 年 9 月 30 日 発行

国土交通省 都市局

(協力) 内閣府 地方創生推進事務局